

らくらくホン

ISSUE DATE:

'16.9

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

はじめに

「らくらくホン F-02J」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書の構成

「かんたん操作ガイド」(冊子)

本端末の代表的な機能の操作方法を説明した取扱説明書です。説明に沿って操作することで、F-02Jの基本的な機能が使えるようになります。

「取扱説明書」(本書)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
〈パソコンから〉
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>
※最新情報がダウンロードできます。

「使いかたガイド」(本端末に搭載)

機能の操作について説明しています。
〈操作手順〉
待受画面で **メニュー** ▶ 「**6**あんしん機能を使う」 ▶ 「**0**使いかたガイドを使う」を押す

本書の見かた

メニュー一覧から ▶ P.196

目次から ▶ P.3

索引から ▶ P.254

- この『らくらくホン F-02J取扱説明書』の本文中においては、「F-02J」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書で掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。
- 本書は主にお買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定を変更していると、本端末の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。お買い上げ時の設定については、メニュー一覧をご覧ください。
- 本書では、画面を見やすくするために待受画面の設定を「表示なし」にした状態で記載しています。また、メニュー項目をリストにしている場合で説明しています。タイルに設定したときは、メニュー項目名が本書での記載と異なるものがありますが、操作するダイヤルボタンは同じです。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

❖ 基本的な操作手順とボタンの表記

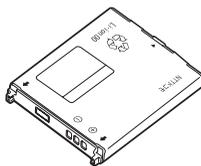
- 代表的な操作の方法をショートカット操作（→ P.29）で説明しています。また、操作手順の一部を簡略化して表記しています。
- 本書の操作の説明では、ボタンを押す動作をイラストで表現している箇所があります。本書で使用しているボタンのイラスト→P.21「各部の名称と機能」
- 本書では、（マルチカーソルボタン）を押して機能や項目を選ぶ操作を「選択」と表記しています。
- 文字の入力方法は主にインライン入力（入力欄に文字を直接入力する方法）で説明しています。→ P.39

本体付属品

■F-02J本体（保証書付き）



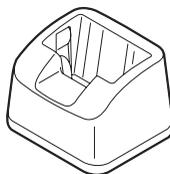
■電池パック F33



■リアカバー F87



■卓上ホルダ F49



■取扱説明書（本書）



■かんたん操作ガイド



- 本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。

<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

目次

■ 本書の見かた	1	インターネット	94
■ 本体付属品	2	らくらくコミュニティ	98
■ 本端末のご利用について	5	らくコムゲーム	99
■ 安全上のご注意 (必ずお守りください)	6	i チャンネル	99
■ 取り扱い上のご注意	12	i コンシェル	100
■ 防水/防塵、耐衝撃性能	17		

ご使用前の確認と設定 21

各部の名称と機能	21
ドコモ nanoUIM カードを使う	23
電池パック	24
充電	25
電源を入れる/切る	27
基本操作	28
プロフィール	34
ワンタッチブザーの鳴らしかた	36
初期設定	37
らくらくホンセンター	38
使いかたガイド	38
文字入力	39

電話 46

電話をかける	46
電話を受ける	49
通話中の操作	53
発着信履歴	55
伝言メモ	57
通話メモ	60
ネットワークサービス	61
ワンタッチダイヤル	62
電話帳	65

メール/インターネット 72

メール	72
テンプレート	76
データ添付	77
メールを受信したときは	78
メール問い合わせ	78
受信/送信/未送信メールの表示	79
メールに返信/転送	79
添付データの操作	80
メールの設定	81
メッセージサービス	83
メールの管理	83
迷惑メール対策を行う	86
SMS	88
緊急速報「エリアメール」	90
メール送受信履歴	92
メールの便利な機能	93

データ通信 101

赤外線通信	101
Bluetooth® 通信	103
外部機器接続	105
microSD カードについて	105
microSD カードの管理	106
microSD カードにデータを移動/コピー ...	107
本端末にデータを移動/コピー	108
microSD カードの内容を見る	108
microSD カードのアルバム利用	109

ツール 111

カメラ・ビデオ	111
電卓	124
スケジュール	125
メモ	130
辞書	130
ワンセグ	131
目覚まし	134
おやすみモードを使う	135
お知らせタイマー	136
ボイスレコーダ	136
トルカ	137
あんしん機能	137
LINE	143
地図/GPS 機能	144
歩数計・活動量計を使う	146
さまざまな画面で検索機能を使う	150
スイッチ付イヤホンマイクの使いかた	150

本体設定 153

画面の設定	153
電話着信時の設定	157
メール・メッセージ受信時の設定	158
相手の声の音量調節	160
ボタン確認音の設定	160
音声読み上げ	160
音声読み上げの単語登録	167
音声で電話帳を呼び出す	168
音声で機能呼び出す	169
時計の設定	170
音質や画質を設定	170
エコモードの設定	171
ドコモのサービス	172

着信設定	172
電話・電話帳の詳細設定	173
音の詳細設定	176
新着お知らせの設定	178
情報の表示・リセット	178
操作の制限	180
視覚サポート	184
Wi-Fi	185
高度な設定	187

海外利用 191

国際ローミング (WORLD WING) の概要 ..	191
海外で利用可能なサービス	191
海外でご利用になる前に	192
滞在先で電話をかける／受ける	193
国際ローミングの設定	194
帰国後の確認	195

付録／索引 196

メニュー一覧	196
着信音用メロディ	207
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧	208
絵文字読み上げ一覧	209
記号・かな・英数字読み上げ一覧	224
顔文字読み上げ一覧	232
トラブルシューティング (FAQ)	238
保証とアフターサービス	241
ソフトウェア更新	243
主な仕様	246
携帯電話機の比吸収率 (SAR)	247
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones	248
輸出管理規制について	252
知的財産権について	252
SIM ロック解除	253
索引	254

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態マークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末はiモードのサイト(番組)への接続、iアプリなどには対応していません。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用になれます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- 本端末では、マナーモード、音量的設定に関わらず、シャッター音、撮影開始音/撮影終了音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音が鳴ります。
- お客様の電話番号(自局電話番号)は、待受画面で   「自分の電話番号を見る」を押してご確認いただけます。
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用の機能やサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P.243
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードや本体メモリの空き容量が少ない場合、起動中の機能が正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 本端末の機能およびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Google™が提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 利用規約などが表示された場合は、画面に従って操作してください。
- 紛失に備えセキュリティ解除方法を設定し、端末のセキュリティを確保してください。→P.180
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※ ¹ ）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※ ¹ ）を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※ ² ）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※ ³ ）の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
 - ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
 - ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。
- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモ nanoUIMカードの取り扱い（共通）	6
本端末の取り扱い	7
電池パックの取り扱い	9
アダプタ、卓上ホルダの取り扱い	10
ドコモ nanoUIMカードの取り扱い	11
医用電気機器近くでの取り扱い	11
材質一覧	11

◆本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモ nanoUIMカードの取り扱い（共通）

 危険	
 禁止	高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 禁止	電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 禁止	砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 防水・防塵性能については以下をご参照ください。 →P.17「防水／防塵、耐衝撃性能」
 禁止	水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 防水性能については以下をご参照ください。 →P.17「防水／防塵、耐衝撃性能」
 分解禁止	分解、改造をしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 水濡れ禁止	水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 防水性能については以下をご参照ください。 →P.17「防水／防塵、耐衝撃性能」

 充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P.17「防水／防塵、耐衝撃性能」

 オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告

 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

 ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

 使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。
- 電池パックを本端末から取り外す。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意

 破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

 ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。

 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P.17「防水／防塵、耐衝撃性能」

 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。

 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。

 本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

通話、データ通信、ワンセグや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末や電池パック、アダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

◆本端末の取り扱い

危険

 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

 釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

 ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告

 赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。
目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。

 赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のドコモnanoUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ベットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ワンタッチブザーを鳴らす場合は、耳元で鳴らさないでください。

難聴などの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスやプラスチック、露出した本端末の内部にご確認ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

リアカバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。

リアカバーが破損し、けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを取り付けるときは、指を挟まないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを外したまま使用しないでください。

やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。
→P.11「材質一覧」



指示

本端末を開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。

けがなどの原因となります。



指示

本端末のカメラ、受話口、スピーカー、ワンタッチダイヤルボタン(3)、(5)と(6)周辺に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所である程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

◆ 電池パックの取り扱い

⚠ 危険



禁止

金属片(ネックレスやヘアピンなど)や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒を持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電池パックを本端末にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きが正しいかを確認してください。

誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パック内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

電池パック内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ベットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



禁止

電池パック内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

-  **アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  **アダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  **DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  **雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。**
感電などの原因となります。
-  **コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  **アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  **コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  **ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。**
発火、発熱、感電などの原因となります。
-  **本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  **濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダに触れないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  **指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。**
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

 **DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。**
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

 **電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

 **アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。**
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

 **電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。**
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

 **本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。**
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 **充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。**
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 **使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。**
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 **水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

 **お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。**
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

 **コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。**
やけどなどの原因となります。

◆ ドコモnanoUIMカードの取り扱い

⚠ 注意



ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
けがなどの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

⚠ 警告



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆ 材質一覧

■ F-02J 本体

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	可動部 背面ディスプレイ面	PC-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	可動部 ディスプレイ面	PA-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	固定部	PC-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	ヒンジ部 固定側	PC+ABS-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
リアカバー	リアカバー	PC-GF樹脂+エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	ディスプレイパネル	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
背面パネル	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理	
カメラパネル	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理	
サイドボタン	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理	
操作ボタン	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理	
操作ボタン周囲の化粧シート	PET樹脂・ウレタンアクリレート系UV硬化樹脂／表面処理なし	
ワンタッチダイヤルボタン	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理	
プザースイッチ	POM樹脂／表面処理なし	
外部接続端子キャップ	本体	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	屈曲部	エラストマー樹脂／表面処理なし
	ツメ部	エラストマー樹脂／表面処理なし
	止水部	シリコンゴム／表面処理なし
外部接続端子	ステンレス鋼／錫メッキ	
電池端子	電池端子コネクタ本体	PPS樹脂／表面処理なし
	電池端子	ベリリウム銅／金メッキ（下地Ni-Pdメッキ）
ネジ（電池収納部）	ステンレス鋼／表面処理なし	
電池収納面	板金	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
	銘板シール	PET樹脂／表面処理なし

使用箇所		材質／表面処理
電池パック	本体	PC樹脂／表面処理なし
	端子部	銅／ニッケルメッキ+金メッキ
	ラベル	PET／マットニス印刷
	水濡れ反応シール	上質紙／ラミネート（PET）
充電端子	接点部	ステンレス鋼／金メッキ
	接点ホルダ部	PPS樹脂／表面処理なし
ドコモnanoUIMカードトレイ		POM樹脂／表面処理なし

■卓上ホルダF49

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	上下ケース	ABS樹脂／シボ加工
	フロントフック	POM樹脂／表面処理なし
	サイドレバー	POM樹脂／表面処理なし
充電端子	充電端子（レバー）	POM樹脂／表面処理なし
	充電端子（接点部）	リン青銅／金メッキ
ゴム足		ウレタンフォーム／表面処理なし
ネジ		Pタイトナベネジ／三価クロメート
外部接続端子		ステンレス鋼／錫メッキ
ラベル（上ケース）		ポリエステルフィルム／表面処理なし
ラベル（下ケース）		アート紙／表面処理なし

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- F-02Jは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。**
 - 電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモ nanoUIMカードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
 - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないください。**
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
 - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。

- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
- 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 故障、破損の原因となります。

◆ 本端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
- 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
- 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
- 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、本端末を閉じないでください。
- 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。
- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
- 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

- ディスプレイやボタンのある面に、極端に厚みのあるシールやラベルなどを貼らないでください。
- 本端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損、誤動作の原因となります。
- microSDカードの使用中は、本端末の電源を切らないでください。
- データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
- キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
- 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 光センサー部をフィルムやシールなどでふさいだり、汚したりしないでください。
- 光センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
光センサーの位置は、以下をご参照ください。
→P.22

◆ 電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
 - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

本端末が電池パックの膨らみによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

保管に適した電池残量は、目安として電池マーク表示が2本、または残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。
- 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

◆ アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
 - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を变形させないでください。
 - 故障の原因となります。
- 卓上ホルダのスタンドを収める場合は、指やアダプタのコードなどを挟まないようご注意ください。
 - けがなどの事故や破損の原因となります。

◆ ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
 - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
 - 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH/XX : 変調方式がFH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
- ③ 1 : 想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④  : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

ご利用の国によってはBluetooth機能の利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

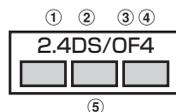
●無線LANについて

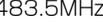
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

●周波数帯について

本端末の無線LAN機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF : 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4 : 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤  : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

ドコモnanoUIMカードが挿入されていない場合や挿入されていても圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャンネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆ 注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の銘板シールに表示されております。

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵、耐衝撃性能

F-02Jは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けられた状態で、IPX5^{*1}、IPX8^{*2}の防水性能、IP5X^{*3}の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験^{*4}をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
- ※2 F-02JにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-02Jを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します（水中においてカメラ機能は使用できません）。
- ※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75 μ m以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかかはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。
- ※4 アメリカ国防総省が制定したMIL-STD-810G w/Change1 Method 516.7-Shockに準拠した独自の落下試験を実施しています。

防水	浸漬	30分間にわたる水深1.5mでの浸漬試験
	風雨	30分間にわたる18m/sの降雨試験
防塵		連続6時間（粉塵10 \pm 7g/m ³ 、風速8.9m/s）の粉塵試験
耐衝撃		高さ約1.22mから26方向で合板（ラワン材）に落下させる試験
耐振動		3時間（3方向各1時間）の振動試験
耐日射		連続24時間（合計1,120W/m ² ）の日射試験
防湿		連続10日間（湿度95%、30～60 $^{\circ}$ C）の高湿度試験
温度耐久	高温動作	動作環境：60 $^{\circ}$ Cの高温試験
	高温保管	保管環境：70 $^{\circ}$ Cの高温試験
	低温動作	動作環境：-20 $^{\circ}$ Cの低温試験
	低温保管	保管環境：-30 $^{\circ}$ Cの低温試験
低圧対応	低圧保管	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
	低圧動作	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
塩水耐久		連続96時間（濃度5%の塩水を噴霧24時間、乾燥24時間を2サイクル）の塩水耐久試験

米国国防総省の調達基準（MIL-STD-810G）の14項目、防水（浸漬、風雨）、防塵、耐衝撃、耐振動、耐日射、防湿、温度耐久（高温動作、高温保管、低温動作、低温保管）、低圧対応（低圧保管、低圧動作）、塩水耐久に準拠した試験を実施しています。本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無故障：無故障を保証するものではありません。

◆F-02Jが有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話やワンセグの視聴ができます。
 - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 常温の水道水で手洗いすることができます。
 - リアカバーや外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
 - 規定（→P.17）以上の強い水流を直接当てないでください。
 - ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
 - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
 - 洗った後は所定の方法（→P.19）で水抜きしてください。
- 風呂場で使用できます。
 - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P.19）で水抜きしてください。
 - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
 - 風呂場では、温度は5 $^{\circ}$ C～45 $^{\circ}$ C、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
 - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
 - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

◆防水／防塵性能を維持するために

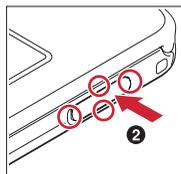
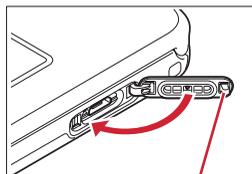
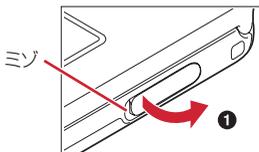
水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 外部接続端子キャップとリアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- マイク（送話口）、受話口、スピーカー、背面マイク、外部接続端子キャップなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

■外部接続端子キャップの開きかた／閉じかた

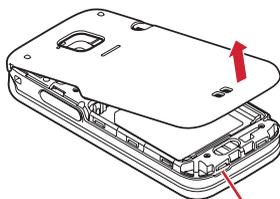
ミゾに指先をかけて外部接続端子キャップを矢印(1)の方向に開きます。使用後は外部接続端子キャップをしっかりと閉じて矢印(2)の方向に押し込みます。

- ○部分をしっかりと押し、外部接続端子キャップの浮きがないことを確認してください。



■リアカバーの取り外しかた

リアカバー取り外し部の位置でリアカバー側に爪をかけ、リアカバーを垂直に持ち上げながら取り外す

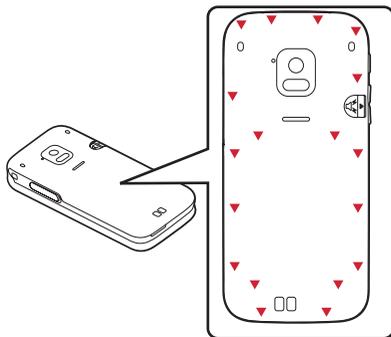


リアカバー取り外し部

■リアカバーの取り付けかた

リアカバーの向きを確認して本端末に合わせるように装着し、リアカバー裏のツメと本端末のミゾを合わせて▼部分をしっかりと押す

- 浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。



防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹸／洗剤／入浴剤をつける



ブラシ／スポンジで洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を当てる



海水につける



温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- オプション品は防水／防塵性能を有していません。本端末の外部接続端子にACアダプタを接続している状態では、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないで下さい。
- 規定（→P.17）以上の強い水流を直接当てないでください。F-02JはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたらしないでください。
- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。充電端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- マイク（送話口）、受話口、スピーカー、背面マイクに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- リアカバーや外部接続端子キャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- リアカバーや外部接続端子キャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

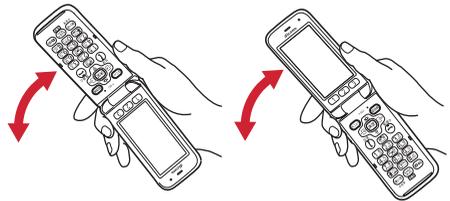
◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

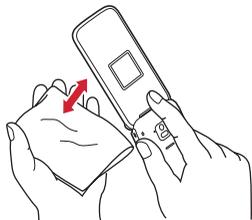
- ① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- ③ マイク（送話口）、受話口、スピーカー、背面マイク、ボタンなどのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るよう押し当てて確実に拭き取ってください。



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
 - すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆ 充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

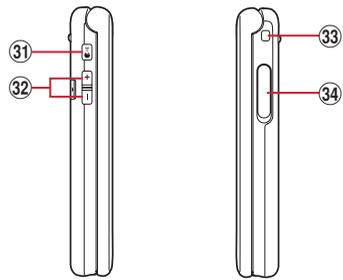
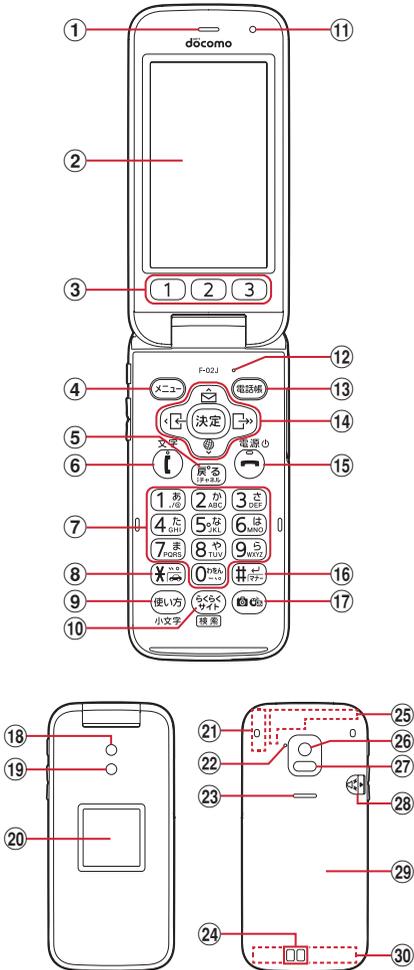
- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから充電してください。
- 外部接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

ここでは、F-02Jの各部の名称と、ボタンに割り当てられている主な操作の説明をします。

・操作の説明では、各ボタンをここで説明したイラストで表しています。



左側側面

右側側面

- ① 受話口
相手の声都在这里聞こえます。
- ② ディスプレイ
- ③ ①②③ ワンタッチダイヤルボタン
ワンタッチダイヤルを登録します。
1秒以上押しと登録した相手に電話をかけられます。
- ④ **メニュー** ボタン
メニューの表示、ガイド行の左側に表示される操作の実行に使用します。
1秒以上押しとボイスメニューが使用できます。
- ⑤ **戻る** / **i** チャンネルボタン
文字の消去、1つ前の画面に戻る、i チャンネル一覧の表示に使用します。
1秒以上押しと新着情報の表示を消去できます。
- ⑥ **電話開始** / **文字** ボタン
電話をかける / 受ける、スピーカーホン機能での通話切り替え、文字入力モードや文字種の一覧を表示するときに使用します。
1秒以上押しと留守番電話の伝言メッセージが再生できます。
- ⑦ **1**～**9** **0** **ダイヤル** ボタン
電話番号や文字の入力、メニュー項目の選択に使用します。待受画面や電話番号の入力画面で **0** を1秒以上押しと、国際電話をかけるときの「+」が入力されます。
- ⑧ ***** / **運転中モード** ボタン
「*」や濁点、半濁点などの入力に使用します。
1秒以上押しと運転中モードの設定 / 解除ができます。
- ⑨ **使い方** / **小文字** ボタン
使いかたを確認するためのメニュー表示、文字入力時の大文字 / 小文字の切り替えに使用します。
1秒以上押しとらくらくホンセンターに電話をかけられます。

- ⑩  **らくらくサイトボタン**
インターネットに接続し、dメニューサイトを表示します。→P.94
1秒以上押すとらくらく検索を起動できます。
- ⑪ **光センサー***1
画面の明るさを自動調整するときに使います。
- ⑫ **マイク (送話口)** *2
通話や音声メモ録音時などに自分の声をここから送ります。集音器として利用中は周囲の音を拾います。
- ⑬  **電話帳ボタン**
電話帳の表示、ガイド行の右側に表示される操作の実行、スピーカーホン機能での通話切り替えに使います。
1秒以上押すと電話帳の音声検索ができます。
- ⑭ **マルチカーソルボタン (十字ボタン)**
決定 決定ボタン
選択した操作の実行、便利ツールメニューの表示に使います。お知らせ情報があるときは、お知らせの内容を表示します。
 **メール/上ボタン**
メールメニュー画面の表示、カーソルの上方向への移動、音量の調節 (大) に使います。
1秒以上押すとメール作成画面が表示されます。
 **ブラウザ/下ボタン**
インターネットメニュー画面の表示、カーソルの下方向への移動、音量の調節 (小) に使います。
1秒以上押すとお知らせ一覧が表示されます。
 **着信履歴/左ボタン**
着信履歴の表示、カーソルの左方向への移動、画面の切り替え、音量の調節 (小) に使います。
 **リダイヤル/右ボタン**
リダイヤルの表示、カーソルの右方向への移動、画面の切り替え、音量の調節 (大) に使います。
- ⑮  **終了/電源**  **ボタン**
通話や操作中の機能の終了、応答保留に使います。
2秒以上押すと電源のON/OFFができます。
- ⑯  **#/改行/マナーモードボタン**
「#」の入力や改行に使います。
1秒以上押すとマナーモードの設定/解除ができます。
- ⑰  **カメラ/音声入力ボタン**
写真撮影画面の起動、メール作成時の音声入力に使います。
1秒以上押すとカメラメニューが表示されます。

- ⑱ **充電ランプ**
充電中、音声録音中などに点灯/点滅します。
- ⑲ **ランプ**
電話の着信時、メールの受信時などに点灯/点滅します。
- ⑳ **背面ディスプレイ**→P.32
- ㉑ **GPS/Wi-Fi/Bluetoothアンテナ***3
- ㉒ **背面マイク**
通話時に騒音を抑えるために使用します。ふさがないようにご注意ください。
- ㉓ **スピーカー**
着信音やスピーカーホン機能使用中の相手の声、音声読み上げの音声などがここから聞こえます。
- ㉔ **充電端子**
- ㉕ **LTE/FOMAアンテナ***3
- ㉖ **カメラ**
写真やビデオの撮影、QRコードの読み取りとして使います。
- ㉗ **赤外線ポート**
赤外線データを送受信するときに使います。
- ㉘  **ワンタッチプザースイッチ (スィッチ)**
ワンタッチプザーを鳴らすときに使います。→P.36
- ㉙ **リアカバー**
リアカバーを外して電池パックを取り外すと、ドコモnanoUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。→P.23、P.105
- ㉚ **LTEアンテナ***3
- ㉛  **読上ボタン**
背面ディスプレイの照明の点灯や表示の切り替え、ゆっくりボイスの設定、音声読み上げ、目覚まし音・予定の通知の音声の停止に使います。
- ㉜  **音量ボタン**
背面ディスプレイの照明の点灯、各種音量や撮影時の明るさの調節などに使います。
- ㉝ **ストラップ取付口**
ストラップを取り付ける際は、リアカバーをいったん取り外したあと、ストラップを本端末のストラップ取付口に通し、内部のフックにかけてから、再びリアカバーを取り付けます。
- ㉞ **外部接続端子**
充電時などに使用する統合端子です。→P.27、P.150
- *1 光センサーをふさぐと、照明設定の自動調整が正しく行えない場合があります。
- *2 マイクをふさぐと、相手にお客様の声が聞こえにくくなったり、正常に録音・集音できなくなったりする場合があります。
- *3 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

〈ワンセグアンテナについて〉

ワンセグアンテナは本体に内蔵されており、端末全体がアンテナの役割をしています。よりよい条件で受信するために、端末を持ってワンセグ視聴をする場合は、手で覆う部分が最小になるようにしてください。

ドコモnanoUIMカードを使う

ドコモnanoUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

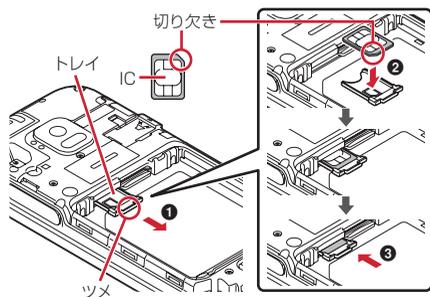
- 本端末ではドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- ドコモnanoUIMカードを正しく取り付けていない場合やドコモnanoUIMカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- ドコモnanoUIMカードの取り扱いについての詳細は、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外し

- 電源を切ってから本端末を閉じ、手に持って行ってください。本端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→P.18、P.24
- ドコモnanoUIMカードの取り付けには、必ずトレイを使用してください。ドコモnanoUIMカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

■ 取り付けかた

- ① **トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す (1)**
 - トレイはドコモnanoUIMカードスロットから外れる構造になっています。
- ② **ドコモnanoUIMカードのIC面を上にしてトレイに乗せる (2)**
 - 切り欠きの方向にご注意ください。
- ③ **トレイをドコモnanoUIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む (3)**



電池パック

◆ 電池パックの取り付け／取り外し

- 電源を切ってから本端末を閉じ、手に持って行ってください。本端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- 本端末が濡れているときは、水分をよく拭きとってから、リアカバーを取り外しはすしてください。
- リアカバーの取り付け／取り外しについては「防水／防塵性能を維持するために」をご覧ください。→P.18
- 本端末専用の電池パック F33をご利用ください。
- 電池パックを取り外すとソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定を「手動で設定する」に設定中に電池パックを取り外すと、日付・時刻が消去される場合があります。

■ 取り外しかた

- ① トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出してドコモnanoUIMカードを取り外す
- ② トレイをドコモnanoUIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む

✓お知らせ

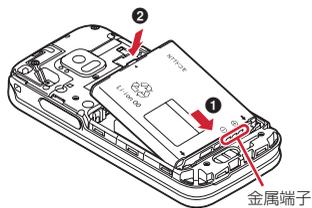
- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモnanoUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモnanoUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- トレイをドコモnanoUIMカードスロットに抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。トレイが破損する恐れがあります。

◆ ドコモnanoUIMカードの暗証番号

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.181

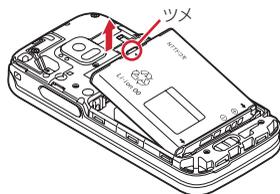
■取り付けかた

- ① 電池パックの「NTTドコモ」印字面を上にして、電池パックの金属端子を本端末の金属端子に合わせて①の方向に差し込みながら、②の方向に取り付ける



■取り外しかた

- ① 電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外す



▼お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとすると本端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、本端末やリアカバーが破損するおそれがあります。
- 水濡れや粉塵の侵入を防ぐため、リアカバーをしっかりと取り付けてください。
- 内蓋のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

充電

お買い上げ時、電池パックは十分に充電されています。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- F-02Jの性能を十分に発揮するために、必ず電池パック F33をお使いください。

◆充電時のご注意

- 充電を開始すると充電ランプが点灯します。ただし、環境によっては充電開始時に充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、本端末をACアダプタや卓上ホルダなどから外してもう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合はドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 十分に充電されている電池パックを本端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、充電ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 充電中は本端末や電池パック、ACアダプタ、DCアダプタが温くなる場合がありますが、異常ではありません。ただし、充電中に通話や通信、その他機能の操作を長時間行ったりすると、本端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- 電源を切っているときや通話中、通信中、マナーモード中、運転中モード設定中、おやすみモード設定中、充電確認音を「知らせない」に設定しているときは、充電開始音や完了音は鳴りません。

❖ 電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら、通話などを長時間行くと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくとつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。



Li-ion 00

❖ ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

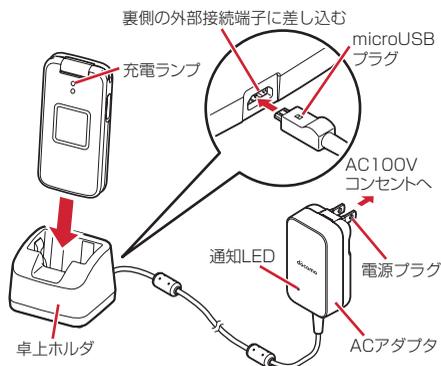
ACアダプタ 05 (別売品)：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用している場合は行わないでください。

DCアダプタ 04 (別売品)：自動車の中で充電する場合に使用します。

◆ 卓上ホルダを使って充電

卓上ホルダ F49（付属品）とACアダプタ 05（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

- ① ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、卓上ホルダ裏側の外部接続端子に水平に差し込む
- ② 本端末を卓上ホルダに差し込む
 - 端末の向きをよくご確認の上、正しく差し込んでください。無理に差し込むと破損の原因となります。
- ③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - 充電中は本端末の充電ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
 - 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。
- ④ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、本端末を卓上ホルダから取り外す
- ⑤ 卓上ホルダからACアダプタのmicroUSBプラグを抜く



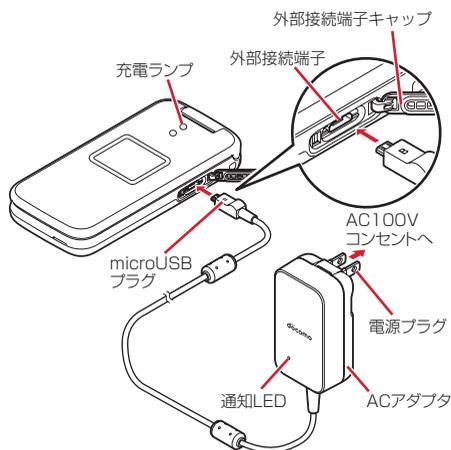
✓お知らせ

- 本端末と卓上ホルダの間にストラップの紐などを挟み込まないようにしてください。
- 卓上ホルダ裏側の外部接続端子は充電専用です。指定のACアダプタ以外は接続しないでください。
- 落としたり、重いものをのせたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。

◆ ACアダプタを使って充電

ACアダプタ 05 (別売品) を使って充電する場合は次の操作を行います。

- ① ミジに指先をかけて外部接続端子キャップを開ける→P.18
- ② ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、外部接続端子に水平に差し込む
- ③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - 充電中は本端末の充電ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
 - 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。
- ④ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く



◆ パソコンを使って充電

microUSB接続ケーブル 01 (別売品) などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、[キャンセル] を選択してください。

電源を入れる／切る

本端末の電源の入れかた、切りかたについて説明します。〈電源ON／OFF〉

- 電源を入れたときに、ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示される場合があります。→P.243

◆ 電源を入れる

1 〻を2秒以上押す

本端末が1回振動し、しばらくたつと防水確認のメッセージが表示され、待受画面が表示されます。

- 〻を2秒以上押し続けなくても、数回続けて押した場合にも電源が入ることがあります。
- 初めて電源を入れたとき→P.37

◆ 電源を切る

1 〻を2秒以上押す

本端末が2回振動し、終了している旨のメッセージが表示された後、電源が切れます。

✓お知らせ

- サービスエリア外や電波の届かない所で、ディスプレイ上部にが表示されているときに通話や通信を行うには、表示が消える場所まで移動してください。ただし、が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れる場合があります。
 - ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は、ドコモnanoUIMカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、ドコモnanoUIMカードを取り付けてから電源を入れ直してください。→P.23
 - PIN1コード使用の設定中は、PIN1コードの入力が必要です。→P.182
 - 本端末を開いたまま何も操作しないしていると、約1分でディスプレイの照明が暗くなります(照明設定で「さらに暗く設定」を設定した場合を除く)。約30分が経過すると、ディスプレイに何も表示されなくなります(省電力)。エコモード中は、約1分間でディスプレイに何も表示されなくなります。→P.171
- ディスプレイに何も表示されない状態のときは、**決定**が点滅して省電力の状態であることをお知らせします。通話中でも同様に省電力の状態になります。いずれかのボタンを押すか、電話の着信などがあつたりすると、ディスプレイは再び表示されます。

基本操作

基本的な操作方法を説明します。

◆メニューの選択

待受画面で メニュー を押すと表示されるメニュー画面や、 メール を押すと表示されるメールメニュー画面などから、各種機能を選択して実行します。機能を選択するには、マルチカーソルボタン（十字ボタン）を押す方法と、ダイヤルボタンを押す方法があります。本書では、操作の方法を主にダイヤルボタンを押す方法（ショートカット操作）で説明しています。

- メニューのほかに、各種項目の一覧などでも、マルチカーソルキーで選択できます。項目に番号や記号が割り当てられている場合は、ショートカット操作でも選択できます。
- 実行できる機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→P.196
- 各種ロック機能を設定している場合やドコモ nanoUIMカードを取り付けていない場合などに機能を選択すると、実行できない理由などを表示します。サブメニューの場合は、実行できない機能はグレーなどで薄く表示され選択できません。
- メニュー形式選択でメニューのデザインを「タイトル」に設定したときは、タイトル形式のメニューの項目名は本書での記載と異なります。また、マルチカーソルボタン（十字ボタン）での機能の選択方法も異なります。
- メニュー形式の選択とメニュー項目名について→P.154

◆マルチカーソルボタン（十字ボタン）での選択

■リスト形式のメニューから機能を選択

1 待受画面で メニュー を押す



メニュー画面が表示されます。

① ページ

表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。

② カーソル

選択している機能の色が変わります。

③ 次の階層のメニューがあることを示します。

④ 表示中のメニュー画面に続きがある場合に表示されます。→P.29

- 上 ：カーソルが上の機能に移動します。
- 下 ：カーソルが下の機能に移動します。
- 左 ：前のページを表示します。
- 右 ：次のページを表示します。

■タイトル形式のメニューから機能を選択

1 待受画面で メニュー を押す



メニュー画面が表示されます。

① カーソル

選択している機能の色が変わります。

- 上 ：カーソルが上の機能に移動します。
- 下 ：カーソルが下の機能に移動します。
- 左 ：カーソルが左の機能に移動します。
- 右 ：カーソルが右の機能に移動します。

◆ダイヤルボタンで選択〈ショートカット操作〉

各メニューや項目に番号や記号が割り当てられている場合は、対応するダイヤルボタン（**1**～**9**、**0**）や（**X**）、（**#**）を押して選択できます。これをショートカット操作といいます。

- メニュー形式が「タイル（アイコン）」の場合は、各メニュー番号や記号が表示されていませんが、「タイル（文字）」と同様のショートカット操作ができます。

〈例〉電卓を選択する

- 待受画面で（メニュー）▶「5 便利なツールを使う」▶「1 電卓を使う」を押す



◆待受画面や1つ前の画面に戻る

機能を選択した後で、1つ前の画面や待受画面に戻るときは次のボタンを押します。

戻る：1つ前の画面に戻ります。

←：待受画面に戻ります。

◆前後のページや項目の表示

メニューや選択項目が複数ページにわたる場合は、ガイド行の◀▶表示に従って、次の操作で前後のページや項目を表示します。

- ガイド行に◀▶が表示されている場合は、カーソル位置のメニューや項目の上下に項目があることを示しています。（戻る）（決定）を押してカーソルを移動します。ページの最後の項目で（決定）を押すと次のページまたは最初のページが、ページの先頭の項目で（戻る）を押すと前のページまたは最後のページが表示されます。
- ガイド行に◀▶が表示されている場合は、前後のページまたはカーソル位置の項目の左右に項目があることを示しています。（左）（右）を押してカーソルを移動します。前後のページまたは最後のページが、（左）を押すと前のページまたは最後のページが、（右）を押すと次のページまたは最初のページが表示されます。画面によっては、（メニュー）で前のページを、（電話帳）で次のページを表示できます。

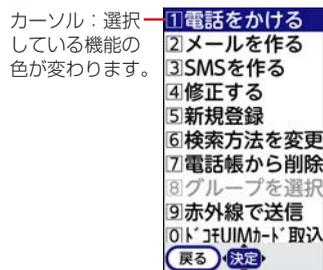
◆サブメニューからの機能選択

ガイド行の左側に「メニュー」と表示されているときは、（メニュー）を押してサブメニューを表示し、さまざまな操作ができます。

〈例〉電話帳検索結果一覧画面のサブメニューを表示する

- 待受画面で（電話帳）▶電話帳を検索する

- （メニュー）を押す



サブメニューが表示されます。

- サブメニューは、操作する画面により異なります。

3 ダイヤルボタンを押す

機能が実行されます。

- 利用する機能の左側に表示される番号に対応するダイヤルボタンを押します。
- サブメニュー表示中に **メニュー** を押すと、サブメニューが閉じます。
- **メール** **電話帳** を押して利用する機能を選択し、**決定** を押しても機能を実行できます。

◆縦／横画面表示の切り替え

動画の再生中やワンセグ視聴中、画像を表示中（待受画面を除く）に、本端末を左に90度、または右に90度傾けると、傾きに合わせて画面の縦横や表示サイズが自動的に切り替わります。（オートローテーション設定）

- アルバム再生、着信音設定やメール添付時の内容確認の再生では切り替わりません。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **「*」設定を行う** ▶ **「#」その他の設定を行う** ▶ **「9」画面の縦横を自動で切替える** ▶ **「1」切替える** または **「2」切替えない** を押す

決定 を押すとメニュー画面に戻ります。

◆スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 **カメラ** ボタンと **スクリーンショット** ボタンを同時に1秒以上押す

スクリーンショットが保存され、待受画面に **スクリーンショット** マークが表示されます。

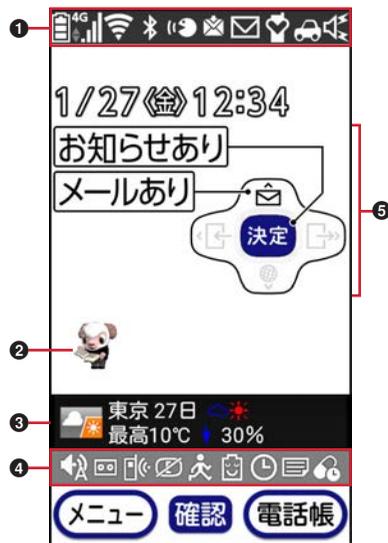
- 待受画面で **決定** を押し、お知らせ一覧からスクリーンショットのお知らせを選択するか、待受画面で **メニュー** ▶ **「3」写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **「2」写真・画像を見る** を押して「保存した画像」アルバムを選択すると、画像を確認できます。

◆待受画面の見かた

待受画面に表示されるマークや、お知らせ情報・新着情報などで、現在の状態を知ることができます。

◆表示されるマークや情報

待受画面に表示されるマークや情報などで、現在の状態（ステータス）やお知らせ・新着情報などを確認できます。

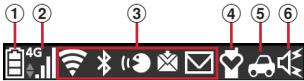


「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

- 1 マーク（上部）→P.31
- 2 マチキャラ→P.156
- 3 iチャンネルのテロップ→P.99
- 4 マーク（下部）→P.31
- 5 お知らせ情報・新着情報→P.31

■マーク（上部）

待受画面表示中や操作中にディスプレイの上部に表示される主なマークは次のとおりです。



- ① : 電池残量51～100%
 - ② : 電池残量16～50%
 - ③ : 電池残量0～15%
 - ④ : 受信レベルの表示→P.27
 - ⑤ : 4G (LTE) / 3G使用可能
・通信中は△(アップロード時) ▽(ダウンロード時) が白く表示されます。
 - ⑥ : 機内モード設定中→P.180
 - ⑦ : SSL/TLSページ表示中
 - ⑧ : Wi-Fi接続中→P.185
 - ⑨ : Bluetooth機能オン→P.104
 - ⑩ : Bluetooth機器接続中→P.104
 - ⑪ : GPS測位中→P.144
 - ⑫ : 位置提供ON→P.172
 - ⑬ : オートGPS ON→P.146
 - ⑭ : 音声読み上げ可能/音声読み上げ中→P.160
 - ⑮ : 未読エリアメールあり→P.91
 - ⑯ : 未読メールあり→P.78
 - ⑰ : 未読SMSあり→P.89
 - ⑱ : らくらくコミュニティからの新着お知らせ
 - ⑲ : i コンシェルからの新着お知らせ→P.100
 - ⑳ : 表示しきれない通知あり
- ※
- ④ : マナーモード中→P.177
 - ⑤ : 電話着信時の振動を設定中→P.158
 - ⑥ : 漢字かな 半角カ 英字 数字 全角かな 全角カ
入力モードの表示→P.40

⑤ : 運転中モード設定中→P.52

⑥ : おやすみモード設定中→P.135

⑦ : ワンタッチブザー有効/起動不可→P.36、P.138

※ 待受画面以外では時刻が表示されます。

■マーク（下部）

待受画面表示中にディスプレイの下部に表示される主なマークは次のとおりです。



- ① : オートスピーカーホン設定中→P.51
- ② : 伝言メモの設定中→P.57
- ③ : 未確認の伝言メモあり→P.57

④ : 伝言メモが満杯→P.58

⑤ : 未確認の不在着信情報あり→P.56

⑥ : ダイヤル発信制限中→P.184

⑦ : 歩数計・活動量計の使用設定中→P.147

⑧ : エコモード中→P.171

⑨ : 目覚まし設定中→P.134

⑩ : 予定の通知を設定中→P.125

⑪ : お薬アラーム設定中→P.139

◆お知らせ情報・新着情報の表示

メールやメッセージR/Sの受信や不在着信の記録、伝言メモの録音、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージの録音があると、待受画面で新着情報としてお知らせします。

- ・ i コンシエルのインフォメーションを受信したときは、ポップアップメッセージでお知らせします。
- **決定** を押すとインフォメーション一覧やリンク先のサイトが表示されます。→P.100



① **お知らせあり**: **決定** を押すとお知らせ一覧が表示されます。

- ・ お知らせを選択すると、対応する機能を起動し確認できます。

- ・ お知らせ一覧で **電話帳** を押すとお知らせを消去できます。

- ・ お知らせ一覧で **メニュー** を押すと、実行中アプリの切り替えや、お知らせの詳細を開いたり、全てのお知らせを消去できます。

② **メールあり**: を押すと受信メールのフォルダー一覧が表示されます。→P.79

③ **着信あり**: を押すと着信履歴画面が表示されます。→P.55

④ **伝言あり**: を押して着信履歴画面が表示されてから **決定** を押すと、伝言メモを再生できます。→P.57

⑤ **メッセージあり**/**メッセージあり**: を押すとメッセージRまたはメッセージSの一覧が表示されます。→P.83

⑥ **留守番(長押し)**: を1秒以上押すと留守番メッセージを再生するかどうかの確認画面が表示されます。→P.61

- **戻る** を1秒以上押すと新着情報の表示を消します。
- 本端末を閉じているときは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。

❖ ガイド行の表示

ガイド行には、**メニュー**、**決定**、**電話帳** を押して実行できる操作が表示されます（表示される操作は画面により異なります）。表示位置とボタンは、図のように対応しています。

本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するボタン（**メニュー**、**決定**、**電話帳**）を使って説明しています。

- ガイド行の **四方向** は、マルチカーソルボタン（十字ボタンの **上**、**下**、**左**、**右**）に対応しています。
- ガイド行の右側に「ガイド」と表示されているときに **電話帳** を押すと、機能の詳細を説明するガイド画面が表示されます。ガイド画面を終了するには、**電話帳** または **戻る** を押します。



◆ 背面ディスプレイの見かた

本端末を閉じていても、設定されている機能やさまざまな情報を背面ディスプレイで確認できます。

❖ 背面に表示されるマーク

背面ディスプレイでは主に次のマークを表示して状態をお知らせします。



- ① **電池**: 電池残量の表示
- ② **電波**/**飛行機**: 受信レベルの表示→P.27
飛行機: 機内モード設定中→P.180
- ③ **左向き電波**/**右向き電波**: ワンタッチブザー有効/起動不可→P.36、P.138
- ④ **虫歯**: らくらくコミュニティからの新着お知らせ
*****: Bluetooth機能オン→P.104
Bluetooth: Bluetooth機器接続中→P.104
WiFi: Wi-Fi接続中→P.185
- ⑤ **イヤホン**: マナーモード中→P.177
音読: 音声読み上げ可能/音声読み上げ中→P.162
- ⑥ **目覚まし**: 目覚まし設定中→P.134
- ⑦ **通知**: 予定の通知を設定中→P.125
- ⑧ **お薬**: お薬アラーム設定中→P.139
- ⑨ **運転**: 運転中モード設定中→P.52
おやすみ: おやすみモード設定中→P.135
GPS: GPS測位中→P.144
- ⑩ 新着情報→P.31
着信: 不在着信あり
メール: 未読メールあり
伝言: 未確認の伝言メモあり
留守: 留守番サービスセンターに伝言メッセージあり
R/S: 未読メッセージR/Sあり
- ⑪ 歩数の表示→P.146

◆着信や受信などの状態表示

本端末を閉じているときに、電話を着信した場合やメール受信中等、待受中から変化があると、背面ディスプレイで状態をお知らせします。主な表示内容は次のとおりです。



<電話着信の場合>



<メール受信完了の場合>

■電話

着信中や通話中、応答保留中、切断中などの状態を表示します。

※ 背面ディスプレイ設定の「着信時の表示を設定する」を「表示しない」に設定しているときは、電話がかかってきても相手の電話番号や名前は表示しません。→P.155

■伝言メモ

伝言メモの応答中や録音中に表示します。

• 伝言メモ→P.57

■メールやSMS、メッセージR/S、エリアメール

メールやSMS、メッセージR/S、エリアメールを受信したときなどの状態を表示します。

※ 背面ディスプレイ設定の「着信時の表示を設定する」を「表示しない」に設定しているときは、メールを受信しても相手のメールアドレスや名前は表示しません。→P.155

• メール受信→P.78

• SMS受信→P.89

• メッセージR/S受信→P.83

• エリアメール受信→P.91

■目覚まし、予定、お知らせタイマー

目覚まし時刻やスケジュール帳の予定を通知する日時になったとき、お知らせタイマーのカウントダウン中や時間になったときに表示します。

• 目覚まし→P.134

• スケジュール帳→P.125

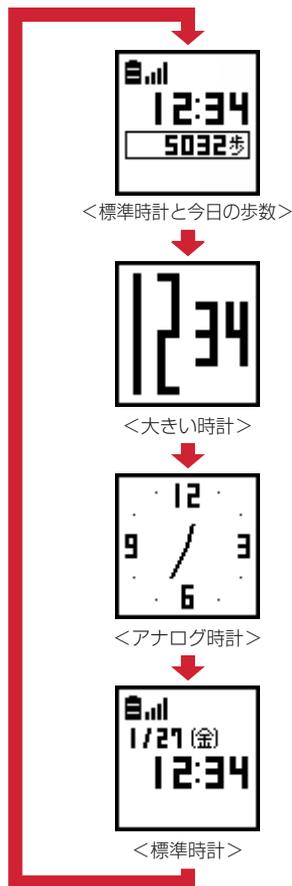
• お知らせタイマー→P.136

※ この他にも、電池が切れそうなときや開閉ロック起動時の状態を表示したり、電話着信音量の調節、メール問い合わせ、集音中、音声録音、i コンシエルのインフォメーションの受信を行ったときなどにも表示します。

◆背面の表示切り替え

背面ディスプレイの照明が点灯しているときに \square を押すと、押すたびに表示が切り替わります。切り替えた表示の設定は、電源を入れ直すか各種設定リセットを行うまで保持されます。

• 背面ディスプレイ設定の「背面画面の時計表示を設定する」を「読上ボタンで切替」に設定する必要があります。



- 歩数計の設定を「利用しない」に設定している場合は、標準時計と今日の歩数は表示されません。
- 本端末を閉じると、背面ディスプレイの照明が点灯します。約15秒間何も操作しないと照明が消灯しますが、 \square 、 \square 、 \square のいずれかを押すと再度点灯します。エコモード中に照明が消灯した場合は、何も表示されなくなります。
- 新着情報があるときは、新着情報のマークが表示された標準時計に切り替わります。

- 標準時計の表示形式は、24時間形式または12時間形式に設定できます。→P.154

✓お知らせ

- 背面ディスプレイに情報が表示されているときに本端末を開くと、表示は消えます。
- 本端末を閉じているときに電話がかかってきたりメールを受信したりして背面ディスプレイの表示が切り替わった場合は、照明が自動的に点灯します。
- 大きい時計、アナログ時計を表示しているときは、すべてのマークが表示されません。ただし、新着情報のマークが表示されるときは標準時計に切り替わり、マークが確認できます。
- 電話着信時やメール受信時の相手の情報が1行に表示できる文字数を超える場合は、スクロールして表示されます。再びスクロール表示するときには、を押します。
- 絵文字が登録された連絡先（名前）やメッセージが表示された場合、絵文字によっては見えにくくなる場合があります。

◆タスク管理

などを押してアプリの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能で実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 を3秒以上押す

アプリ履歴画面が表示されます。

- 実行中のアプリを選択するとアプリを表示できます。
- アプリを選択▶を押すとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するには  を押します。

プロフィール

自分の電話番号（自局電話番号）や登録した個人情報を確認します。

1 待受画面で ▶「自分の電話番号を見る」を押す

メールアドレスの自動取得の確認画面が表示された場合：「登録する」を押す

- 「登録しない」を選択すると、個人情報画面が表示されます。これ以降は、メールアドレスが登録されていない場合でも自動取得の確認画面は表示されなくなります。
- ：登録情報が複数ある場合に表示を切り替えます。

2 を押す

メニュー画面に戻ります。

◆個人情報の登録・修正

自分の名前や電話番号、メールアドレス、住所、メモ、誕生日などが登録できます。

- お客様のメールアドレスの確認方法→P.72

〈例〉2つ目の電話番号入力／メールアドレスを直接入力する

1 待受画面で ▶「自分の電話番号を見る」を押す

- メールアドレスの自動取得の操作は「メールアドレスの自動取得の確認画面が表示された場合」をご覧ください。→P.34

2 を押す

3 名前を入力▶ を押す

4 フリガナを確認▶ を押す

必要に応じて修正します。

5 2つ目の電話番号入力の確認画面で「1」入力する」▶電話番号を入力▶決定を押す

- 「2」入力しない」を押すと、電話番号の登録を終了します。

6 メールアドレス入力の確認画面で「2」直接入力する」▶メールアドレスを入力▶決定を押す

- 「1」自動で取得する」を押した場合は、自動でメールアドレスを取得できます。
- 「2」入力しない」を押すと、メールアドレスの登録を終了します。

7 郵便番号と住所入力の確認画面で「1」入力する」▶郵便番号を入力▶決定▶住所を入力▶決定を押す

- 「2」入力しない」を押すと、郵便番号と住所の登録を終了します。

8 メモ入力の確認画面で「1」入力する」▶メモを入力▶決定を押す

- メモを登録するか、「2」入力しない」を押すと、メモの登録を終了します。

9 誕生日入力の確認画面で「1」入力する」を押す

- 誕生日を登録するか、「2」入力しない」を押すと、誕生日の登録を終了します。

10 「1」明治で入力する」～「4」平成で入力する」のいずれか▶年を入力▶決定▶月を入力▶決定▶日を入力▶決定▶登録の確認画面で決定を押す

決定」を押すと個人情報（基本）画面に戻ります。

西暦で入力する場合：「5」西暦で入力する」▶誕生日を入力▶決定を押す

✓お知らせ

- メールアドレスは半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。英字入力モード時に「1」を押すと「.」 「@」 「-」、を押すと「@docomo.ne.jp」 「.com」 「.or.jp」 などを入力できます。
- お客様の本端末の電話番号（局内電話番号）はドコモ nanoUIMカードに登録されているため修正できません。それ以外の項目は本端末に記録されます。

- 個人情報のメールアドレスを変更しても、spモードのメールアドレスは変更されません。また、spモードのメールアドレスを変更しても、個人情報のメールアドレスは自動的に変更されません。
- 個人情報画面のサブメニューから個人情報を利用できます。
- 赤外線通信を利用して個人情報を赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどに送信できます。→P.101

ワンタッチブザーの鳴らしかた

本端末で大音量のブザーを鳴らすことができます。ブザーを鳴らしたとき、自動で電話を発信したり、GPS機能を利用して居場所を知らせたりすることもできます。

• 本機能を利用するには、あらかじめワンタッチブザーの設定を行う必要があります。→P.138

1 本端末の裏側の スイッチを外側にスライドさせ、スイッチを入れる

大音量でブザーが鳴ります。

ブザーを停止する場合：  スイッチを元に戻す

• このとき、電話発信や位置提供の動作は継続します。

■自動音声電話発信を設定している場合

ブザーが鳴ると、発信先番号に自動で電話が発信されるように設定できます（→P.138）。相手が電話を受けると、ブザー音は停止します。「緊急通話です」という音声ガイダンスが3回流れた後、スピーカーホン（→P.54）通話に切り替わります。

- 登録した発信先番号のいずれかの相手が電話を受けると、順次発信を繰り返します。
- 発信者番号通知の設定に関わらず、相手に自分の電話番号が通知されます。
- 電話発信を中止する場合は、発信中、呼出中、待機中に  を押します。
- ワンタッチブザー通知中の画面が表示されているときに  を押すと、スピーカーホン機能を使用した通話に切り替わります。
- 音声ガイダンスや通話を終了する場合は、  を押します。

■位置提供が行われている場合

ブザーが鳴ると、位置提供要求が送信されるように設定できます（→P.139）。位置提供の要求があると、測位を行って位置情報を送信します。

✓お知らせ

- ワンタッチブザーのスイッチを外側にスライドした状態で、リアカバーを取り外さないでください。リアカバーやスイッチが破損します。
- 国際ローミング中は、ワンタッチブザーのGPS機能をご利用いただけません。
- PINコードがロックされているときは、ブザーは鳴りますが電話発信や位置提供は行われません。
- ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は、電話発信や位置提供は行われませんのでご注意ください。
- ワンタッチブザーの音量は調節できません。大音量で音が鳴りますので、ご使用の際はご注意ください。

- 通話中（発信先番号と緊急通報を除く）にスイッチを入れた場合、通話は切断されワンタッチブザーが動作します。
- 着信中にスイッチを入れた場合、着信は切断されワンタッチブザーが動作します（発信先番号と緊急通報を除く）。かかってきた電話は、着信履歴に記録されます。
- マナーモード中もワンタッチブザーは動作します。
- 電池がなくなった旨のメッセージが表示されている場合は、ワンタッチブザーを起動できません。
- 呼出中から約30秒経過しても相手の応答がないと、発信を中断します。発信先番号を複数登録した場合は、登録番号順に次の発信先に音声電話を発信します。
- すべての発信先番号に音声電話を発信しても応答がない場合は、発信の中断後、約1分間待機して再び音声電話を発信します。
- 発信先番号の相手が応答保留や伝言メモ応答した場合でも、相手が応答したことになります。また、留守番電話サービスや転送でんわサービスの利用など、相手の状態によっては相手が応答したことになる場合があります。
- 電源を入れて起動中のときや、ソフトウェア更新の書き換え中にスイッチを入れると、ワンタッチブザーを有効に設定していても動作しません。
- 位置提供要求を送信できても、位置提供を行えない場合があります。
- ワンタッチブザーを有効に設定していないときにスイッチを入れると「ワンタッチブザーが無効です」の画面が表示されます。スイッチを元に戻してください。
- 長期間に渡って使用しない場合、定期的に操作して正常に動作することを確認してください。
- ワンタッチブザーは、周囲の注意をこちらに向けたためのもので、犯罪防止や安全を保障するものではありません。本機能を使用した際に、万が一損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

初期設定

初めて電源を入れたときは、確認画面が表示されるので、必要に応じて設定や操作を行います。設定した内容は後から変更できません。

- データー一括削除の再起動後も、同様に設定画面が表示されます。
- 初期設定に含まれる設定を行わずに電源を切った場合は、電源を入れ直したときに未設定の項目が再び表示されます。
- 端末エラー情報送信の確認画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

1 携帯電話を使う前の準備を始める旨の確認画面で**決定**を押す

2 画面の指示に従って各項目を設定する

音声読み上げ：音声で読み上げるかどうか設定します。→P.160

メニュー形式：メニュー形式を選択します。→P.154

端末暗証番号：各種端末操作の端末暗証番号を変更します。→P.182

- お買い上げ時は暗証番号が「0000」に設定されています。

誕生日の設定：誕生日を入力し登録します。→P.171

歩数計／活動量計：身長／体重を入力し設定します。→P.147

3 ドコモサービス設定画面で**決定**を押す

4 各注意事項を確認し「同意する」を押す

5 画面の指示に従って各項目を設定する

dアカウント：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。

ドコモアプリパスワード：ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。

- ドコモアプリパスワードの初期値は「0000」に設定されています。

ドコモ位置情報：本端末の位置情報を提供するかを選択します。

遠隔初期化：遠隔初期化を設定します。

- ドコモアプリパスワードを設定すると表示されます。

6 設定完了画面で**決定**を押す

待受画面が表示されます。

らくらくホンセンター

携帯電話の使いかたが分からないときに、簡単な操作でらくらくホンセンターに電話をかけて確認できます。また、使いかたガイドを使って調べることができます。

らくらくホンセンターとは各種手続き、お問い合わせなどのご用件をアドバイザーが直接お答えする受付センターです。らくらくホンセンターに電話した際の通話料はかかりません。
受付時間 午前9：00～午後8：00（年中無休）

1 待受画面で(使い方)を押す

らくらくホンセンターにすぐに電話する場合：
待受画面で(使い方)を1秒以上押す

2 「1らくらくホンセンターに電話する」▶ 「1電話する」を押す

らくらくホンセンターに電話がかかります。

使いかたガイドを使う場合：「2使いかたガイドを見る」を押す

- 以降の操作は「使いかたガイド」をご覧ください。→P.38

使いかたガイド

携帯電話の使いかたや、困ったときの対処など、目次や索引、キーワードから調べたり、調べた機能を実行することができます。

1 待受画面で(メニュー)▶「6あんしん機能を使う」▶「0使いかたガイドを使う」を押す

使いかたガイドメニューが表示されます。

- 初回起動時は表示された画面を確認し、「1次回も表示する」または「2以後表示しない」を押します。

2 「1使いかた検索」～「4便利な使いかた」のいずれかを押す

目次／索引／キーワードから調べる場合：「1使いかた検索」▶「1目次から検索」～「4しゃべって検索」のいずれかを押す

- 「1目次から検索」を押した場合は、目次を選択▶決定▶項目を選択▶決定を押します。
- 「2索引から検索」を押した場合は、索引を選択▶決定を押します。
- 「3入力して検索」を押した場合は、検索したい単語や文章を入力▶決定▶検索結果から項目を選択▶決定を押します。
- 「4しゃべって検索」を押した場合は、決定▶検索したい単語や文章を発声▶検索結果から項目を選択▶決定を押す

検索履歴から調べる場合：「2検索履歴」▶履歴のタイトルを選択▶決定を押す

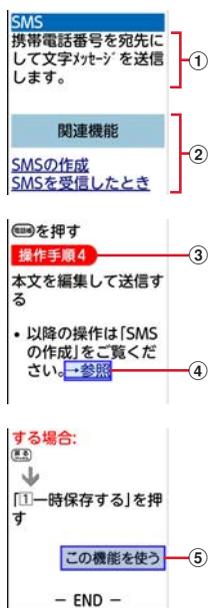
エラーメッセージなどから調べる場合：「3困ったときには」▶「1故障かな?と思ったら」～「3問い合わせ先」のいずれか▶タイトルやメッセージを選択▶決定を押す

便利な使いかたを調べる場合：「4便利な使いかた」▶タイトルを選択▶決定を押す

- 検索結果によっては、さらに項目を選択して決定を押す必要があります。

❖ ガイド画面の見かたと操作

使いかたガイドのガイド画面では、表示項目やボタンを操作して、関連する機能を調べたり、機能を実行することができます。



- ① 機能の概要を表示しています。
 - ② 「関連機能」：機能に関連した内容を一覧から選択して**決定**を押すと関連する説明画面に移動します。
 - ③ 「操作手順」：機能の操作手順を表示しています。
 - ④ 「→参照」：選択して**決定**を押すと関連する説明画面に移動します。
 - ⑤ **この機能を使う**：選択して**決定**を押し、機能を起動するか確認画面で「1」起動するを押すと調べた機能を実行します。機能を実行すると、使いかたガイドは終了します。らくらく検索から使いかたガイドを起動した場合などで、他の機能が起動しているときは、機能を実行できません。
- ガイド行に「大きく」または「小さく」と表示されている場合は、**メニュー**を押すと表示する文字サイズを変更できます。ガイド画面の表示は文字サイズを小さくしたときの例です。
 - ガイド行に「タイトル」と表示されている場合は、**電話機**を押すとタイトルを確認できます。

文字入力

文字を入力する方法を説明します。

- 文字には「全角文字」と「半角文字」があります。

◆ 文字入力画面

文字の入力画面には、インライン入力と、全画面入力の2種類があります。

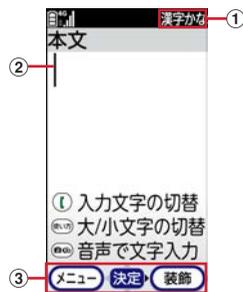
■ インライン入力

画面を切り替えずに入力欄にカーソルを合わせて、文字を直接入力します。

■ 全画面入力

入力欄を選択したときに全画面で表示される入力エリアで、文字を入力します。

〈例〉メールの本文入力画面に文字を入力する



① 入力モード

現在の入力モードを示します。

② カーソル (点滅)

文字が入力または挿入される位置を示します。

電話機 **電話機** **電話機** **電話機** で移動できます。

③ ガイド行

❖ 文字入力のガイド表示について

ガイド行の右側に「ガイド」が表示されている画面で**電話機**を押すと、ガイド画面が表示されます。

- **電話機**を押すと元の画面に戻ります。
- ガイド画面では、入力文字の切り替え、大文字／小文字の切り替え、音声文字入力、1つ前の文字に戻す、改行の操作を画像で説明します。
- ガイド画面は、操作する画面により表示が異なります。

◆文字入力画面のサブメニュー

文字入力画面で(メニュー)を押すと表示されるサブメニュー(→P.29)から、次の操作ができます。

サブメニュー	説明	参照先
①絵文字・記号	絵文字や記号を一覧から入力します。	P.42
②デコレーション	メール作成時に、メール本文を装飾します。	P.75
③テンプレート呼出し	メール作成時に、テンプレートを使用します。	P.76
④かんたんデコメ	メール作成時に、自動的に絵文字などを挿入したり、メール本文を装飾します。	P.43
⑤声で文字を入力	メール作成時に、音声で文字を入力します。	P.45
⑥定型文を貼付け	定型文を一覧から入力します。	P.43
⑦署名を挿入する	メール作成時に、署名を挿入します。	P.73
⑧コピー切り取り	文字をコピーまたは切り取ります。	P.44
⑨文字を貼付け	コピーまたは切り取った文字を貼り付けます。	P.44
⑩1つ編集を戻す	直前の操作を1回分取り消して、文字列を操作前の状態に戻します。	P.41
*電話帳を呼出す	電話帳の内容を引用して入力します。	P.45
#位置情報貼付け	位置情報を付加します。	—

※ ひらがな／漢字入力モードでは、文字が確定するまでサブメニューを表示できません。

◆入力モードの切り替え

入力する文字の種類に合わせて入力モードを切り替えます。

1 文字入力画面で(1)▶「①漢字かな」～「④数字」のいずれかを押す

- 文字入力画面によっては、選択できない入力モードがあります。
- 全角英字や全角数字は、ひらがな／漢字入力モードで読みを入力しても変換できます。

◆文字の入力

文字は、ダイヤルボタンを押して入力します。1つのボタンに割り当てられた複数の文字を、ボタンを押す回数で文字を切り替えて入力します。

- 文字の割り当てについては「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」をご覧ください。→P.208

〈例〉電話帳の登録で「六本木」と入力する

1 待受画面で(メニュー)▶「①電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「④電話帳に登録する」を押す

2 「ろっぽんぎ」と入力する

「ろ」: (9.ろ)を5回押します。

「っ」: (4.ち)を3回押して(使い方)を押します。

「ぼ」: (6.ぼ)を5回押して(※)を2回押します。

「ん」: (0.ん)を3回押します。

「ぎ」: (2.か)を2回押して(※)を押します。

- ボタンを押した間違えたときは(戻す)を押して取り消します。

同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力する場合:

最初の文字を入力した後に(→)を押してカーソルを右に移動させ、次の文字を入力します。

別のボタンに割り当てられている文字を続けて入力する場合:

続けて別のボタンを押すと、カーソルは自動的に移動して文字が入力されます。

文字に濁点、半濁点を付ける場合:

文字を入力して(※)を押します。

〈例〉「ぼ」を入力して(※)を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぼ」→「ぼ」→…と切り替わります。

大文字と小文字を切り替える場合:

文字を入力して(使い方)を押します。英字を入力するときも同様に操作します。

〈例〉「あ」を入力して(使い方)を押すと、押すたびに「あ」→「あ」→…と切り替わります。

同じボタンを複数回押しても、大文字と小文字が切り替えられません。

〈例〉「あ」を入力して(1.あ)を押すと、押すたびに「い」→「う」→「え」→「お」→「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」→「1」→「あ」→…と切り替わります。

- 切り替えが可能な文字については「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」(→P.208)をご覧ください。

入力中に1つ前の文字に切り替える場合：

文字入力中に Ⓜ を押すと、押すたびにボタンに割り当てられている1つ前の文字に切り替わります。

〈例〉「あ」を入力して Ⓜ を押すと、押すたびに「1」→「お」→「え」→「う」→「い」→「あ」→「お」→「え」→「う」→「い」→「あ」→…と切り替わります。

3 ☎ を押す

- 候補選択リスト(→P.42)が表示されていない場合は ☎ を押しても変換されません。
- Ⓜ ：変換した後に押すと、変換前の状態に戻ります。

ひらがなのまま確定する場合：

ひらがなを入力した状態で 決定 を押します。

カタカナ、英字、数字、日付、時刻に変換する場合：

ひらがなを入力した状態で メニュー を押し、表示された一覧から選択します。

変換候補一覧から選択する場合：

☎ を押しても目的の文字が表示されないときは、 ☎ または ☎ を押し、表示された変換候補一覧から選択します。

4 決定 を押す

文字が確定します。 決定 を押すと文字入力が終了して、フリガナの入力画面が表示されます。

文字列を1つ前の状態に戻す場合：

- メニュー ▶「 0 1つ編集を戻す」を押します。
- 直前に入力したり、削除したりした操作を取り消して元の状態に戻します。ただし、かんたんデコメを利用して絵文字を挿入したり、装飾した文字列は元に戻せません。
 - 最大で10回前の状態まで戻せます。

改行する場合：

改行する位置にカーソルを移動して Ⓜ を押します。

- 入力欄によっては改行できない場合があります。

❖文字の修正

文字入力中や入力確定後に文字の挿入や削除をします。

1 文字入力画面で ☎ ☎ ☎ を押して修正位置にカーソルを移動する

文字を挿入する場合：

文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

文字を削除する場合：

カーソルが文中にあるとき

(例：六本木)

- Ⓜ を押すと、カーソルの右の1文字が削除されます。
- Ⓜ を1秒以上押すと、カーソル位置以降の文字をすべて削除します。

カーソルが文末にあるとき

(例：六本木)

- Ⓜ を押すと、カーソルの左の1文字を削除します。
- Ⓜ を1秒以上押すと、すべての入力文字を削除します。

✓お知らせ

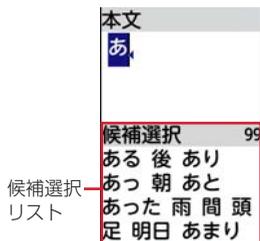
- ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して、顔文字などに交換できます。読みと文字の対応→P.232「顔文字読み上げ一覧」
- 入力文字の末尾にカーソルがある場合、 ☎ を押すと空白が入力できます。

◆入力予測機能

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する単語を候補選択リストに表示させたり、選択した単語に続く候補を予測する機能です。候補選択リストには、一度入力した単語が自動的に予測辞書データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

〈例〉候補選択リストから「明日」を選択して入力する

1 メール本文入力画面で「あ」を入力する



- 入力文字が増えるたびに候補が変わります。
- **決定**：ひらがなのまま確定します。
- **メニュー**：カタカナ、英字、数字、日付、時刻に変換する一覧を表示します。

2 **決定** ▶ 候補から「明日」を選択 ▶ **決定** を押す

- 入力した文字列によっては、次に続く文字列の候補が選択できます。たとえば、「おはよう」と入力し文字を確定すると、候補選択リストには「ございます」などの文字列の候補が表示されます。続けて入力するときは、候補を選択してください。
- 候補選択リストに目的の単語の候補がない場合は、**電話機**を押すと候補選択リストが消え、続けて **メール** または **電話機** を押すと変換候補一覧から選択できます。

3 「閉じる」を選択 ▶ **決定** を押す

文字が確定します。**決定**を押すとメール作成画面に戻ります。

◆入力予測機能の設定

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[3]文字入力の設定を行う** ▶ **[1]文字の入力方法を設定する** を押す

2 **[1]有効にする**または**[2]無効にする**を押す

決定を押すとメニュー画面に戻ります。

◆絵文字・記号

絵文字一覧や記号一覧からデコメ絵文字®や絵文字、記号を選択して入力します。

- デコメ絵文字®は、メール本文入力画面、メール例文やテンプレート本文編集画面で入力できます。

1 文字入力画面で **メニュー** ▶ **[1]絵文字・記号** を押す

絵文字や記号の読みで入力する場合：文字入力画面で絵文字または記号の読みを入力

▶ **決定** ▶ 絵文字または記号を選択 ▶ **決定** を押す

- メール本文入力画面では **決定** を押した後に **メニュー** を押すと、デコメ絵文字®や絵文字のみ候補選択リストに表示されます。
- 絵文字の読みについて→P.209

2 **[1]デコメ絵文字**～**[3]記号**のいずれかを押す

- 絵文字または記号が入力できる場合のみ選択できます。
- 文字入力画面で **決定** ▶ **[5]デコメ絵文字**～**[7]記号**のいずれかを押しても入力できません。入力後は **戻る** を押すと、文字入力画面に戻ります。

3 一覧から選択 ▶ **決定** を押す

- 入力履歴欄からも文字を選択できます。
- **メニュー** / **電話機**：前後のページを表示できます。記号一覧の場合、半角記号と全角記号を切り替えられます。

✓お知らせ

- **(Xニュー)** ▶ 「**1** 絵文字・記号」 ▶ 「**3** 記号」を押して記号を入力した場合、かっこの左側(例: { })を選択すると、右側のかっこ(例: { })も自動的に入力されます。
- 赤外線通信などでデータ転送を行った際、絵文字や記号は正しく表示されなかったり、デコメ絵文字®は削除される場合があります。

◆かんたんデコメ

メール本文入力中に絵文字を選択することなく、文章から予測して自動的に絵文字やデコメ®ピクチャを挿入したり、文字や背景を装飾します。

1 メール本文入力画面で **(Xニュー)** ▶ 「**4** かんたんデコメ」を押す

- **(電話機)**を押すと、次の候補を表示します。
- **(戻る)**を押すと、メール本文入力画面に戻ります。
- メールアドレスの途中に絵文字が挿入された場合は、**(電話機)**を押して絵文字が途中に挿入されていない候補に切り替えてください。
- メール本文入力画面で **(I)** ▶ 「**8** かんたんデコメ」を押しても、同様に操作できます。

2 **(決定)**を押す

文字変換レベルを変更する場合：

- ① **(Xニュー)** ▶ 「**1** 絵文字変換レベル」 ▶ 「**1** こつてり」 ~ 「**3** あっさり」のいずれかを押す
 - **(戻る)**を押すと、メール本文入力画面に戻ります。
 - 本機能終了後も装飾の設定は保持されます。
- ② **(決定)**を押す

3 「**1** はい」を押す

絵文字の挿入や装飾された内容で、メール本文入力画面に戻ります。

✓お知らせ

- 文字や背景の装飾は、メール本文入力画面、メール例文やテンプレート本文編集画面で利用できます。

◆定型文の入力

あらかじめ登録されている定型文や、自分で登録した定型文を呼び出して入力します。

1 文字入力画面で **(Xニュー)** ▶ 「**6** 定型文を貼付け」を押す

- 定型文が入力できる場合のみ選択できます。
- 文字入力画面で **(I)** ▶ 「**9** 定型文」を押しても、定型文一覧が表示されます。

2 フォルダを選択 ▶ **(決定)**を押す

3 一覧から選択 ▶ **(決定)** ▶ **(決定)**を押す

- メール本文入力画面で定型文を入力したとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、これ以上入力できない旨のメッセージが表示され、**(決定)**を押すとメール本文入力画面に戻ります。

✓お知らせ

- 顔文字は「かお」または「かおもじ」と入力するか、読みを入力しても変換できます。→P.232

◆定型文登録

定型文を新しく登録したり、お買い上げ時に登録されている定型文を編集して新しい定型文として登録したりできます。

- 登録した定型文は「ユーザ作成」フォルダに登録されます。

1 待受画面で **(Xニュー)** ▶ 「***** 設定を行う」 ▶ 「**#** その他の設定を行う」 ▶ 「**3** 文字入力の設定を行う」 ▶ 「**3** よく使う定型文を登録する」を押す

2 「ユーザ作成」フォルダを選択 ▶ **(決定)** ▶ 「**<**新しい定型文」を選択 ▶ **(決定)**を押す

登録済みの定型文を編集して登録する場合：

- ① 使用したい定型文が登録されているフォルダを選択 ▶ **(決定)** ▶ 利用したい定型文を選択 ▶ **(決定)**を押す
- ② **(決定)**を押す

3 定型文を入力 ▶ **(決定)**を押す

(決定)を押すと定型文一覧に戻ります。

◆定型文の削除

「ユーザ作成」フォルダに登録されている定型文を削除します。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **設定を行う** ▶ **その他の設定を行う** ▶ **文字入力の設定を行う** ▶ **よく使う定型文を登録する** を押す

2 「ユーザ作成」フォルダを選択 ▶ **決定** ▶ 削除する定型文を選択 ▶ **メニュー** を押す

- 削除する定型文を選択し **決定** を押すと、登録内容が確認できます。そのまま **メニュー** を押しても同様に削除できます。

3 **削除する** を押す
決定 を押すと定型文一覧に戻ります。

◆文字のコピー／切り取り／貼り付け

入力済みの文字を選択してコピーまたは切り取りを行い、コピーまたは切り取った文字を別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

- コピーまたは切り取った文字は、新たにコピーまたは切り取りを行うか、電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

1 文字入力画面で **メニュー** ▶ **コピー切り取り** を押す

2 **コピー** または **切り取り** を押す

3 コピーまたは切り取り開始位置を選択
▶ **決定** を押す
• **メニュー** : 全文を選択します。

4 コピーまたは切り取り終了位置を選択
▶ **決定** を押す
決定 を押すと文字入力画面に戻ります。
• **メニュー** / **電話機** : カーソルを文頭／文末に移動します。

5 文字入力画面で貼り付ける位置を選択
▶ **メニュー** ▶ **文字を貼付け** を押す

- メール本文入力画面で貼り付けを行ったとき、入力可能な文字数を超える場合、文字を貼り付けることができません。

✓お知らせ

- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレス欄の場合は半角英数字しか入力できないため、ひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に、「**J**」(改行マーク)を含んだ文字列を貼り付けた場合は、半角空白に置き換えられる場合があります。

◆単語登録

よく使う単語を好きな読みで登録し、登録した読みを入力して変換できるようにします。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **設定を行う** ▶ **その他の設定を行う** ▶ **文字入力の設定を行う** ▶ **よく使う単語を登録する** を押す

2 **決定** を押す

3 「新規登録」を選択 ▶ **決定** を押す
単語を編集する場合：編集する単語を選択
▶ **電話機** を押す
単語を削除する場合：削除する単語を選択
▶ **メニュー** ▶ **削除する** ▶ **削除する**
▶ **決定** を押す

4 単語を入力 ▶ **決定** を押す

5 読みを入力 ▶ **決定** を押す
決定 を押すと単語の一覧に戻ります。

✓お知らせ

- 単語と読みは必ず入力してください。
- 単語と読みの組み合わせが同じ単語が登録されている場合は、登録できません。

◆ 電話帳引用による入力

電話帳の登録内容を引用して入力することができます。

- 電話帳登録の文字入力画面では、本機能を使用できません。

1 文字入力画面で ▶「*」電話帳を呼出す」を押す

2 電話帳を検索▶引用する相手を選択▶を押す

- 検索方法→P.67

3 引用する内容を選択▶を押す

選択した内容が挿入されます。

✓お知らせ-----

- 入力画面によっては、選択した内容が挿入されない場合があります。

◆ 音声入力

音声を文字に変換して入力します。

- 次の入力画面で利用できます。
 - メール（題名、本文）
 - SMS（本文）
 - 電話帳（住所、メモ）
 - スケジュール帳（予定の内容、詳細内容、場所）
 - メモ（内容、詳細）
- 次の場合は、音声を認識しないことがあります。
 - 周囲の雑音が多い場合
 - 発音が明瞭でない場合
 - 発音が中断された場合
 - 発声の前後に咳払いをしたり、雑音を出したりした場合
 - ボタンを押したり、こすったりした場合
- ステレオイヤホンマイク O2（別売）などの使用時はマイク部分を口に近づけて発声してください。

〈例〉メール本文に音声で「お元気ですか」と入力する

1 メール本文入力画面で を押す

2 「お元気ですか」と発声する

3 変換された文字を確認し「**1**決定」を押す
音声入力した文章が確定され、メール本文入力画面に戻ります。

再入力する場合：「**2**やり直す」を押す

表示された画面で、再度言葉を発声してください。

消去する場合：「**3**キャンセル」を押す

✓お知らせ-----

- 文字入力画面で ▶「5」声で文字を入力」を押しても、同様に音声入力ができます。

電話をかける

電話番号を入力したり、リダイヤル／着信履歴、伝言メモなどの電話番号を選択したりして発信します。電話帳に電話番号を登録していれば、メールなどの各種履歴からも発信できます。

◆ 電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力する

- 一般電話にかけるときは、同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- **戻る**：電話番号を訂正できます。1秒以上押すと待受画面に戻ります。

2 **Ⓛ**を押す

- ディスプレイには通話時間が表示されます。→P.53
- 通話中画面に自分の電話番号を表示できます。→P.175

3 お話しが終わったら**Ⓛ**を押す

- 本端末を閉じても電話を切ることができます。

✓お知らせ

- **Ⓛ**を押してから電話番号を入力しても、約5秒経過すると自動的に電話がかかります。
- 番号通知お願いのガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定する(→P.47)か、「186」を付ける(→P.47)かして、かけ直してください。

◆ 電話帳から電話をかける

- 選択した相手の1件目の電話番号が対象になります。
- 「電話帳」を押すと、クラウド利用開始画面が表示されます(初回のみ)。クラウドを「利用する」にすると、電話帳データをクラウドサーバで管理することができます。クラウドを利用することで、パソコンで電話帳データの閲覧・編集が可能になるほか、機種変更時のデータ移行なども簡単に行えるようになります。

1 待受画面で**電話帳**▶電話帳を検索する

- 検索方法→P.67
- 電話帳の登録件数が0件の場合、「**1**新規に登録する」／「**2**登録しない」が表示されます。「**1**新規に登録する」を押した場合は、「電話帳の登録のしかた」(→P.66)を参照してください。「**2**登録しない」を押すと待受画面に戻ります。

2 相手を選択▶**Ⓛ**を押す

電話がかかります。

電話帳の詳細画面から電話をかける場合：相手を選択▶決定▶Ⓛ**を押して電話番号を表示▶**Ⓛ**または**決定**を押す**

◆ 緊急通報

本端末から次の緊急通報に発信できます。

警察への通報：(局番なし) 110

消防・救急への通報：(局番なし) 119

海上での通報：(局番なし) 118

✓お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があります。ため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 以下の機能が有効な状態で緊急通報へ電話をかけると、設定は無効に変更され、約5分後に自動的に再設定されます。設定が無効に変更されている間も、画面上の表示は変更されません。
 - 登録外着信拒否
 - 電話帳の着信許可／拒否設定
- 「運転中モード」「機内モード」「おやすみモード」を設定中に緊急通報に電話をかけた場合は、設定が解除されます。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

◆ 通話ごとに発信者番号を通知／非通知

電話をかけるときに相手の電話番号の前に特定の番号を付けることで、自分の電話番号を相手に通知するか通知しないかを選択できます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
- 番号通知お願いのガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。
- 電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知をあらかじめ一括して設定できます。→P.175
- 相手の電話番号に「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号がついた電話番号が記録されます。

◆ 「186」／「184」を入力して設定

電話番号を入力して指定します。

■ 発信者番号を通知する

- 1 待受画面で **1** あ **8** や **6** ほ **▶** 電話番号を入力 **▶** **Ⓛ** を押す
電話がかかります。

■ 発信者番号を通知しない

- 1 待受画面で **1** あ **8** や **4** た **▶** 電話番号を入力 **▶** **Ⓛ** を押す
電話がかかります。

◆ 「通知」／「非通知」を選択して設定

サブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択します。リダイヤルや着信履歴などから電話をかけるときにも選択できます。

〈例〉発信者番号を通知して電話をかける

- 1 待受画面で電話番号を入力 **▶** **メニ** を押す
サブメニューが表示されます。

2 「[3]通知で電話」を押す

発信者番号を通知して電話がかかります。

発信者番号を非通知にして電話をかける場合：

「[4]非通知で電話」を押す

発信者番号を非通知にして電話がかかります。

◆ 追加番号を入力して発信

本端末からプッシュ信号（DTMF）を送って、対応する各種サービス进行操作したり、外線番号に続けて内線番号を発信したりできます。

✓お知らせ

- プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（「；」）、タイマー（「J」）を入力して電話をかけることはできません。

◆ 通話中にプッシュ信号（DTMF）を送る

通話中にダイヤルボタンを押すとプッシュ信号が送信されます。

- 1 通話中に **0** パ **9** ワ **✕** **＃** を押す
プッシュ信号が送出されます。

◆ ポーズ「；」を送る

ご自宅の留守番電話の操作やチケットの予約などに利用します。

- 1 待受画面で電話番号を入力 **▶** **✕** を1秒以上 **▶** 送出する番号を入力 **▶** **Ⓛ** を押す
電話がかかります。

2 電話がつながったら **決定** を押す

ポーズ（「；」）以降の番号が送出されます。

◆タイマー「I」を送る

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。

- 1 待受画面で電話番号を入力▶を1秒以上▶内線番号を入力▶を押す
電話がかかります。

2 電話がつながると内線番号が送出される

- タイマー（「I」）ひとつにつき約1秒の間隔をとります。
- タイマー（「I」）は連続して入力できます。

◆サブアドレスをつけて電話をかける

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出します。

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。
- 電話番号に含まれる「*」以降の番号をサブアドレスと認識します。

- 1 待受画面で電話番号を入力▶（サブアドレスの区切り）▶サブアドレスを入力▶を押す
電話がかかります。

✓お知らせ

- ボーズ（「:」）やタイマー（「I」）を入力した後に「*」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「*」を含んだプッシュ信号（DTMF）として送出されます。

◆国際電話（WORLD CALL）

「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。
- 接続可能な国および海外通信事業者などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆日本から海外に電話をかける

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 009130▶010▶国番号▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号でもかけられます。

〈例〉海外の一般電話へ電話をかける

- 1 待受画面で  ▶国番号を入力する
- 2 地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶を押す
国際電話がかかります。
海外の携帯電話へ電話をかける場合：先頭の「0」を除いた携帯電話番号を入力▶を押す

※「ワールドコール」を選択して国際電話を発信

サブメニューの「ワールドコール」を選択して国際電話をかけます。

1 待受画面で国番号▶地域番号(市外局番)の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶▶「ワールドコール」を押す

- ・イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2 を押す

ドコモの国際アクセス番号「009130010」が付加され、国際電話がかかります。

✓お知らせ

- ・ダイヤル入力画面または発信中画面には「009130010」が表示されますが、リダイヤルには「+」に変換されて記録されます。

※「+」を入力して国際電話を発信

待受画面で0を1秒以上押して「+」を入力し、国番号、地域番号(市外局番)、電話番号を入力しても国際電話がかかります。

1 待受画面でを1秒以上▶国番号▶地域番号(市外局番)の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶を押す

WORLD CALLで音声電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

- ・イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2 「1 電話をかける」を押す

国際電話がかかります。

元番号でかける場合：「2 元番号でかける」を押す

元番号で電話がかかります。

電話をかけない場合：「3 電話をかけない」を押す

待受画面に戻ります。

電話を受ける

かかってきた電話を受けます。

◆電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、が点滅します。

2 を押す

電話につながります。

- ・ディスプレイには通話時間などが表示されます。→P.53

3 お話しが終わったらを押す

- ・本端末を閉じて電話を切ることができます。

✓お知らせ

- ・転送された電話がかかってきた場合は、着信画面に転送元の電話番号が「転：XXX…」と表示されます。転送元の電話番号を電話帳に登録している場合は名前が表示されます。ただし、転送元によっては電話番号が表示されないことがあります。
- ・次の場合は、転送元の電話番号は表示されません。
 - 発信元の電話番号をワンタッチダイヤルに登録し、着信画像を設定しているとき
- ・国際電話を着信した場合、発信者番号の先頭に「+」が表示されます。

◆着信中の表示について

電話番号が通知されたときは電話番号が、電話番号を電話帳に登録しているときは電話番号と名前が表示されます。→P.65

ワンタッチダイヤルに登録(→P.62)し、着信画像を設定(→P.63)しているときは、名前と着信画像が表示されます。

■電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知設定：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合

公衆電話：公衆電話などから発信した場合

通知不可能：海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

• 非通知理由別着信設定で設定した着信動作が優先されます。→P.175

■着信中の背面ディスプレイの表示

本端末を閉じているときは、「電話です」と相手の名前や電話番号、発信者番号非通知理由が表示されます。背面ディスプレイの着信表示の設定によっては、相手の名前や電話番号は表示されません。→P.155

◆着信中のサブメニューからの操作

着信中に(メニュー)を押すとサブメニューから次の操作ができます。

①**伝言メモ**：伝言メモで応対（クイック伝言メモ）

②**着信拒否**：電話を受けずに切断

③**応答保留***：電話を受けて保留

④**拒否してSMS**：電話を受けずにSMSを送信

* 応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

◆通話中着信音が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかを契約済みで、通話中着信設定が「開始中」の場合、通話中に別の電話が着信すると「プブ…プブ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスを開始にしていると各サービスが動作します。

• 通話中に着信したとき、着信中のサブメニュー操作では伝言メモは選択できません。

◆ダイヤルボタンなどを押して電話を受ける

電話がかかってきたとき、(1)以外に(0^{フリー}～9^{ダイヤル})、(決定)、(X^{拒否})、(H^{保留})を押して電話に出られるようにするかどうかを設定します。〈エニーキーアンサー設定〉

• 通話中の着信に対しては無効です。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[2]電話着信時の設定を行う」▶「[4]ダイヤル/決定ボタンで着信を受ける」を押す

ダイヤルボタンや決定ボタンでも応答できるようにするかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1]応答する」または「[2]応答しない」を押す

ダイヤル/決定ボタンで応答する/しないに設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

◆本端末を開いて電話を受ける

電話がかかってきた時、本端末を開いて応答できるように設定します。〈着信中オープン応答〉

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[2]電話着信時の設定を行う」▶「[5]本体を開いて着信を受ける」を押す

本体を開いて応答できるようにするかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1]応答する」または「[2]応答しない」を押す

本体を開いて応答する/しないに設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

• 本機能設定中は、応答保留中、伝言メモ応答ガイドス中、伝言メモ録音中でも本端末を開いて応答できません。

◆ 自動で電話を受ける

電話が着信してから約4秒後に自動で電話を受けるかどうかを設定します。〈オートスピーカーホン機能〉

- 電話を受けた後の動作は、スピーカーホン機能を使用した通話と同様です。→P.54

1 待受画面で ▶ ▶ ▶ ▶ を押す

オートスピーカーホンを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 設定する」または「2 解除する」を押す

オートスピーカーホンを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。 を押すとメニュー画面に戻ります。

- オートスピーカーホン設定中は待受画面に が表示されます。

✓お知らせ

- 次の場合は、本機能を設定していても動作しません。
 - 自動的に電話がつながる前に を押して電話を受けた場合
 - 通話中に電話がかかってきた場合
 - 本端末を閉じている場合
 - 運転中モード中 (→P.52) またはマナーモード中 (→P.177)
 - ステレオイヤホンマイク 02 (別売) や外部機器などを接続中の場合
- マナーモード中に本機能を設定しようとすると、マナーモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
- 電話帳指定着信拒否／許可 (→P.173)、非通知理由別着信設定 (→P.175)、登録外着信拒否 (→P.174) を設定中は、対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
- 本機能と無音着信時間設定 (→P.172) を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、本機能は動作しません。

◆ 着信中の着信音量の調節

着信中に着信音量を調節します。

- 電話を切ると設定は解除されます。
- 「だんだん大きく」は設定できません。
- 待受中の音量設定→P.157
- マナーモード中は、本機能は動作しません。

1 着信中に または を押す

呼出音量の設定画面が表示されます。

2 または を押して音量を調節する

ボタン操作後しばらくたつと音量が設定され、着信中画面に戻ります。

◆ 電話に出られないときに保留にする

電話がかかってきたとき、すぐに電話に出られないときは応答保留にします。〈応答保留〉

- 応答保留中に を押すか相手が電話を切ると、通話は終了します。
- 応答保留中でも相手側には通話料金ががかかります。

1 着信中に ▶ を押す

応答保留になります。相手には電話に出られない旨をお知らせする応答保留ガイダンスが流れます。

2 電話に出られる状態になったら または を押す

電話につながります。

✓お知らせ

- オートスピーカーホン設定中は、着信してからオートスピーカーホン機能が動作するまでの約4秒間に応答保留の操作を行ってください。→P.51

◆ 公共モードの利用

公共モード (電源OFF) は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。

- 公共モードとネットワークサービスを同時に設定している場合、留守番電話サービス^{※1}、転送でんわサービス^{※1}、番号通知お願いサービス^{※2}は、公共モードに優先して動作します。

※1 呼出時間が「0秒」以外では、公共モードのガイダンスの後にサービスが動作します。

※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。

- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否登録した相手からの着信では公共モードは動作しません。

◆公共モード（電源OFF）の設定

病院など電波の影響が心配で電源を切る必要がある場合は、公共モード（電源OFF）を設定します。公共モード（電源OFF）中で電源を切っている間に着信すると、携帯電話の電源を切る必要がある旨を発信者にガイダンスでお知らせし、自動的に電話を終了します。

- 電話で発信して設定します。音声ガイダンスで設定／解除をお知らせします。

1 待受画面で

        を押す

サービスを開始した旨のガイダンスが流れ、公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。

公共モードを解除する場合：

公共モード中に待受画面で

        を押す

サービスを停止した旨のガイダンスが流れ、公共モード（電源OFF）が解除されます。

公共モードの設定内容を確認する場合：

待受画面で

        を押す

現在の設定がガイダンスで流れます。

■公共モード（電源OFF）を起動すると

- 「*25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

◆運転中モードの設定

運転中など電話の利用を抑えなければならない場合は、運転中モードを設定します。運転中モード設定中に着信すると、電話の利用を抑えなければならない旨を発信者にガイダンスでお知らせし、自動的に電話を終了します。

- ガイダンス中でも相手側には通話料金がかかります。
- 本機能の設定や解除は待受中のみ操作できます。圏外でも操作できます。
- 本機能設定中は次の動作となります。
 - 通常どおり電話をかけることができます。
 - 緊急通報（110番、119番、118番）すると、応答可能とするために設定は解除されます。
 - マナーモード中、伝言メモ開始中でも、優先して動作します。

1 待受画面で を1秒以上押す

運転中モードを設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すと待受画面に戻ります。

運転中モードを解除する場合：運転中モード中に待受画面で を1秒以上押す

運転中モードを解除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すと待受画面に戻ります。

- 本機能設定中、待受画面に が、本端末を閉じているときは背面ディスプレイに が表示されます。

■運転中モードを起動すると

本端末は着信動作を行わず、待受画面には新着情報（→P.31）が表示され、着信履歴に記録されます。メール着信時も着信音は鳴らず、待受画面に新着情報が表示されます。

- 次の音が鳴りません。また、バイブレータ（振動）やランプも動作しません。
 - 電話、メール・メッセージの着信音
 - お知らせタイマー音、目覚まし音、予定の通知音声
 - 待受中の電池残量警告音※、充電確認音
- ※ 本端末を閉じているとき、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示もされません。
- 本端末を閉じているときに、不在着信や新着メールなどがあると、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。
- 本端末を持ち上げたときでも、背面ディスプレイの照明は点灯しません。
- 省電力の状態でも、**決定**は点滅しません。
- 開閉ロックを設定し、本端末を閉じてランプは点滅しません。

通話中の操作

通話中にさまざまな操作ができます。

◆ 通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。



- ① はっきりボイス／あわせるボイスの利用状況
- ② 自分の電話番号
- ③ ゆっくりボイスの利用状況
- ④ 通話時間
- ⑤ 名前や電話番号
- ⑥ 高音質通話中
VoLTE通話中に表示されます。

✓お知らせ

- 自分の電話番号を表示していない場合、通話中画面で **メニュー** ▶ 「**8**自分の電話番号」を押すと確認できます。
- VoLTEは、通話を高音質でご利用いただけます。VoLTEで通話中の場合、画面に「HD」が表示されます。VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - VoLTE利用可能エリアであること
 - モバイルネットワーク設定^{※1}が、「4G／3G（自動）」にチェックを付ける、通話モード設定^{※2}が「VoLTEを有効」（「VoLTEを無効」設定ではない）であること
- ※1 待受画面で **メニュー** ▶ 「*****設定を行う」▶ 「**#**その他の設定を行う」▶ 「**#**高度な設定を行う」▶ 「モバイルネットワーク」▶ 「**4**ネットワークモード」を押す
- ※2 待受画面で **メニュー** ▶ 「*****設定を行う」▶ 「**#**その他の設定を行う」▶ 「**4**電話・電話帳の詳細を設定する」▶ 「*****通話モードの設定を行う」を押す

◆ 通話中の受話音量の調節

通話中に相手の声の音量を調節します。また、通話中に **+**/**-** ボタンを押しても受話音量が変更されないようにあらかじめ設定することができます。

- 通話終了後も設定は保持されます。
- 呼出中に操作しても受話音量を変更できます。
- 待受中の受話音量の調節→P.160
- スピーカーホン機能利用中の設定は通話終了後も保持されますが、受話音量には反映されません。

1 通話中に **メール** **スピーカー** または **+**/**-** を押す
受話音量の調節画面が表示されます。

2 **メール** **スピーカー** **+**/**-** または **+**/**-** を押して音量を調節する

ボタン操作後しばらくたつと音量が設定され、通話中画面に戻ります。

✓お知らせ

- 音量調節後すぐに通話中画面に戻す場合は、**決定** **戻る** のいずれかを押します。

◆ 通話中受話音量調節の設定

通話中に **+**/**-** を押ししまっても受話音量が変更されないようにあらかじめ設定できます。

〈例〉通話中に **+**/**-** ボタンによる受話音量調節を無効にする

1 待受画面で **メニュー** ▶ 「*****設定を行う」▶ 「**#**その他の設定を行う」▶ 「**4**電話・電話帳の詳細を設定する」▶ 「**8**通話中の音量調整を設定する」を押す

+/**-** ボタンでの通話中受話音量調節を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 「**2**無効にする」を押す

+/**-** ボタンでの通話中受話音量調節を無効にした旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すとメニュー画面に戻ります。

◆通話中に保留にする

通話中に自分の声が相手に聞こえないようにします。

- 保留中も、電話をかけた方に通話料金がかかります。
- 保留中に本端末を閉じると、電話は切れます。

1 通話中に**決定**を押す

通話が保留になり、ランプが点滅します。相手にメロディが流れます。

保留中は、通話中画面に「通話保留」が点滅します。

保留を解除する場合： **決定** または **Ⓛ** を押す
通話中画面に戻ります。

✓お知らせ

- 保留中に流れるメロディは変更できません。
- ステレオイヤホンマイク O2 (別売) を接続して保留中に本端末を閉じた場合は、保留は継続されます。
- 保留中は、3分経過するごとに5回まで「パターンA」で振動します。ただし、運転中モード設定中は振動しません。

◆スピーカーホンで通話する

ハンズフリー通話を利用できます。

- マナーモード中またはキャッチホン中でもスピーカーホン機能を使用できます。

1 通話中に**Ⓛ** または **電話帳** を押す

通話先が受話口／スピーカーで切り替わります。

- 通話中は **Ⓛ** または **電話帳** を、発信中または呼出中、キャッチホン中は **Ⓛ** を押すたびに出力先が切り替わります。

■スピーカーホン機能に切り替えると

- スピーカーホン機能に切り替えると、音量が急に大きくなりますので、本端末を耳から離して使用してください。
- 本端末から約50cm以内の距離でお話してください。周囲や相手側の雑音が大きき場合は、聞き取りにくいことがあります。その場合は受話口からの通話に切り替えてください。

◆通話中に電話帳を表示する

通話中に電話帳を表示して確認できます。

1 通話中に **メニュー** ▶ **「1 電話帳を見る」** ▶ **電話帳を検索する**

検索方法→P.67

◆はっきりボイス

はっきりボイスとは、通話中に周囲の騒音に応じて最適な方法で調節し、相手の声を聞き取りやすくする機能です。また、相手や自分の声が小さいときにも自動的に音量を大きくします。

- 通話開始時は「はっきりボイスオン」に設定されています。通話終了後も設定は保持されます。
- スピーカーホン機能使用中は、はっきりボイスは動作しません。
- はっきりボイスは受話音量を調節するものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調節してください。→P.160

1 通話中に **メニュー** ▶ **「4 はっきりボイスオフ」** または **「4 はっきりボイスオン」** を押す

はっきりボイスをオンにすると、通話中画面に **はっきりボイス** が赤色で表示されます。オンでも動作しないときはグレーで表示されます。

◆あわせるボイス

はっきりボイス動作中に、揺れや移動状況などから現在の行動を認識して、はっきりボイスよりさらに最適な音質に調節します。

- はっきりボイスがオンで動作中であれば、あわせるボイスは自動的に動作します。設定は必要ありません。
- 「歩行中」「走行中」を認識します。

◆ゆっくりボイス

ゆっくりボイスとは、通話中の無音区間を利用して相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節する機能です。

- 通話開始時は「ゆっくりボイスオフ」に設定されています。通話終了後、設定は解除されます。
- スピーカーホン機能使用中でも、ゆっくりボイスは動作します。

1 通話中に **電話帳** を押す

ゆっくりボイスがオンになり、通話中画面には **ゆっくりボイス** が表示されます。

ゆっくりボイスをオフにする場合： ゆっくりボイス設定中に **電話帳**

- 通話中画面には **ゆっくりボイス** が表示されます。

✓お知らせ

- ゆっくりボイスをオンにすると、相手の声質、音楽、時報などが変化する場合があります。
- 相手が区切りのない話しかたをしたときなど、ゆっくりボイスが機能しない場合は、通常の数度に聞こえます。

◆響カット

声の響く場所などで電話中に残響音を抑え、相手に聞き取りやすくします。

- VoLTEでは、響カットはご利用いただけません。
- 響カットはON/OFFの操作はできません。常にONの状態です。

発着信履歴

電話の発信と着信の履歴を記録しておく機能です。

通話メモまたは伝言メモがある場合も記録されます。

- リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

◆リダイヤルの表示

かけた相手を表示します。

- 1 待受画面で (リダイヤル) ▶ を押して相手を表示する



- ① リダイヤルの番号
- ② 電話をかけた日時
- ③ 発信者番号の通知／非通知→P.47
- ④ 国際電話をかけた場合→P.48
- ⑤ 通話メモが記録されている場合→P.60
- ⑥ 電話帳に登録している場合は名前→P.65
- ⑦ 電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

◆着信履歴の表示

かけてきた相手を表示します。

- 1 待受画面で (着信履歴) ▶ を押して相手を表示する



- ① 着信履歴の番号
- ② 電話がかかってきた日時
- ③ 不在着信の呼出時間

- ④ 国際電話がかかってきた場合
- ⑤ 不在着信の場合は不在、伝言メモが記録されている場合は伝言メモ、通話メモが記録されている場合は通話メモ
- ⑥ 電話帳に登録している場合は名前→P.65
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由→P.50
- ⑦ 電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

✓お知らせ

＜リダイヤル／着信履歴共通＞

- 通話中にリダイヤル／着信履歴を表示する場合は、
▶「**2**着信履歴を見る」または「**3**リダイヤルを見る」を押します。

＜リダイヤル＞

- 同じ電話番号に通知または非通知を設定してかけた場合は、それぞれ最新の1件がリダイヤルに記録されます。

＜着信履歴＞

- 会社などでダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。

❖不在着信

かかってきた電話に出なかったときは、待受画面に新着情報（→P.31）とが表示されます。本端末を閉じているときは、背面ディスプレイにが表示されます。

- 着信履歴には、着信してから相手呼び出しを止めるまでの時間（呼出時間）が表示されます。覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

◆リダイヤル／着信履歴の操作

リダイヤル／着信履歴から電話をかけたり、メールを送信したりします。

＜例＞電話をかける

- 1 待受画面で（リダイヤル）または（着信履歴）▶を押して相手を表示する

リダイヤル／着信履歴が表示されます。

リダイヤルの通話メモを再生する場合：リダイヤルでを押す

通話メモが再生されます。

- 複数の通話メモが記録されているときは、通話メモの選択画面が表示されます。

着信履歴の通話メモ／伝言メモを再生する場合

合：**着信履歴**でを押す

通話メモまたは伝言メモが再生されます。

2 を押す

電話がかかります。

メールを作成する場合：▶「**8**メールを作る」を押す

リダイヤル／着信履歴の電話番号をメールアドレスとともに電話帳に登録している場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作は「簡単メールの作成・送信」（→P.72）、「通常メールの作成・送信」（→P.73）をご覧ください。

◆リダイヤル／着信履歴の削除

1件ずつ、またはすべてのリダイヤル／着信履歴をまとめて削除できます。伝言メモまたは通話メモを同時に削除することもできます。

- 通話メモは、最新の通話から10件分記録されるため、1件のリダイヤルに複数の通話メモが記録されることがあります。リダイヤルを削除すると、未確認の通話メモが削除される場合があります。
- 通話メモを保護している場合はリダイヤル／着信履歴のみ削除されます。

＜例＞通話メモが記録されているリダイヤル／着信履歴を1件削除する

- 1 待受画面で（リダイヤル）または（着信履歴）▶を押して削除する相手を表示する

リダイヤル／着信履歴が表示されます。

2 ▶「**4**削除する」を押す

リダイヤル／着信履歴の削除件数の選択画面が表示されます。

3 「[1] 選択1件」を押す

記録されているメモも同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。

全件削除する場合：「[2] 全件」▶ 端末暗証番号を入力▶ **決定**を押す

- メモが記録されていない場合は、リダイヤル／着信履歴を削除するかどうかの確認画面が表示されます。操作5に進みます。

4 「[1] 削除する」または「[2] 削除しない」を押す

リダイヤル／着信履歴とメモを同時に削除する場合：「[1] 削除する」を押す

リダイヤル／着信履歴とメモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

メモを残してリダイヤル／着信履歴を削除する場合：「[2] 削除しない」を押す

リダイヤル／着信履歴を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

5 「[1] 削除する」を押す

削除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すと次のリダイヤル／着信履歴が表示されます。

- リダイヤル／着信履歴がない場合や全件削除したときは、待受画面が表示されます。
- 「[2] 削除しない」を押すと、選択したリダイヤル／着信履歴に戻ります。

✓お知らせ

- リダイヤル／着信履歴に記録されているメモを同時に削除しなくても、メニューから通話メモ（→P.60）または伝言メモ（→P.59）を削除できます。

伝言メモ

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音します。

- 最大10件、1件につき約60秒間録音できます。

◆ 伝言メモの設定

相手の用件を録音できるようにします。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ 「[1] 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶ 「[5] 伝言メモ・通話メモを使う」▶ 「[2] 伝言メモを開始／停止する」▶ 「[1] 開始する」または「[2] 停止する」を押す
伝言メモを開始／停止した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。
 - 伝言メモ設定中は待受画面に **伝言** (黒) が表示されます。

※ 伝言メモを設定すると

電話がかかってくると、相手の用件を録音します。

- 伝言メモ設定中でも電話を受けられます。

1 電話がかかってくる

呼出時間設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答中画面が表示され、相手には伝言メモ応答メッセージが流れます。

- 本端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「伝言メモ起動中」が表示されます。

2 相手のメッセージが録音される

伝言メモ録音中画面が表示されます。

- 開始時と終了時に相手には「ピーッ」と音が鳴ります。

3 録音が終了すると、電話が切れる

伝言メモが録音されると、待受画面に新着情報（→P.31）と **伝言** が表示されます。

- 本端末を閉じているときは、背面ディスプレイに **伝言** が表示されます。

✓お知らせ

- 伝言メモ応答中、伝言メモ録音中でも**①**を押して電話に出ることができます。
- 本端末の電源が入っていないときや圏外にいるときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモが10件録音されると、待受画面に**②**(赤)が表示され伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。
- 伝言メモが動作しない状態で伝言メモを設定しようとすると、削除を促す画面が表示されます。
- 伝言メモが録音された場合でも、着信履歴に記録されます。そのため、着信履歴を削除するときに伝言メモも同時に削除される場合があります。→P.56

◆録音の開始時間の設定

電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を設定します。〈呼出時間設定〉

- お買い上げ時は「13秒」に設定されています。

1 待受画面で**③**▶「**①**電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「**⑤**伝言メモ・通話メモを使う」▶「**③**伝言メモを設定する」▶「**①**伝言メモ呼出時間設定する」を押す
呼出時間の設定画面が表示されます。

2 呼出時間を入力▶**決定**を押す
呼出時間を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。
• 0~120秒の間で入力します。

✓お知らせ

- オートスピーカーホン機能(→P.51)、オート着信設定(→P.152)、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの呼出時間を各機能やサービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されない場合があります。

◆応答メッセージの選択

伝言メモ設定中に相手に流れる応答メッセージを選択します。〈伝言メモメッセージ選択〉

1 待受画面で**③**▶「**①**電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「**⑤**伝言メモ・通話メモを使う」▶「**③**伝言メモを設定する」▶「**②**伝言メモの応答メッセージを選ぶ」を押す
応答メッセージの選択画面が表示されます。
応答メッセージを再生する場合：メッセージを選択 
再生を停止する場合：決定を押す
再生中に音量を調節する場合：   
のいずれかを押す
音声の再生先を受話口/スピーカーで切り替える場合： **①**を押す

2 「**①**標準」~「**③**移動中用」のいずれかを押す
伝言メッセージを設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

◆伝言メモの再生

伝言メモを再生します。再生後に続けて削除することもできます。

1 待受画面で**③**▶「**①**電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「**⑤**伝言メモ・通話メモを使う」▶「**①**伝言メモを再生する」を押す
保存されているメモの件数が表示されます。

2 **決定**を押す

3  を押してメモを表示する
伝言メモが表示されます。
• **①**を押すとメモの相手に電話がかかります。



① メモの番号

② 録音された日時

- ③ 国際電話の場合
- ④ 電話帳に登録している場合は名前→P.65
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由→P.50
- ⑤ 電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

4 **決定**を押す

メモが再生されます。
• 再生が終了すると、削除するかどうかの確認画面が表示されます。「1」削除する ▶ **決定**を押すと再生済みのメモが削除されます。

再生を停止する場合： **決定**を押す

再生中に音量を調節する場合：    
のいずれかを押す

音声の再生先を受話口／スピーカーで切り替える場合： を押す

◆ 伝言メモの削除

1件ずつ、またはすべての伝言メモをまとめて削除します。

〈例〉1件削除する

1 待受画面で  ▶ 「1」電話帳・伝言メモ・音声メモを使う ▶ 「5」伝言メモ・通話メモを使う ▶ 「1」伝言メモを再生する
▶ **決定** ▶  を押して削除するメモを表示する

伝言メモが表示されます。

2  ▶ 「4」削除する ▶ 「1」選択1件」を押す

メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

全件削除する場合：  ▶ 「4」削除する ▶ 「2」全件」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ **決定**を押す

3 「1」削除する」 ▶ **決定**を押すと次の伝言メモが表示される

- メモがない場合や、全件削除した場合は、メニュー画面に戻ります。
- 「2」削除しない」を押すと、選択した伝言メモに戻ります。

◆ 着信中に伝言を録音する

伝言メモが停止中でも、着信中に操作を行うと、その着信に限り伝言メモを動作させることができます。
〈クイック伝言メモ〉

- この操作は、伝言メモを設定するものではありません。

1 着信中に  ▶ 「1」伝言メモ」を押す

伝言メモ応答中画面が表示され、相手のメッセージが録音されます。

✓お知らせ

- 伝言メモがすでに10件録音されている場合は、本機能を使用できません。不要な伝言メモを削除してください。

通話メモ

通話を録音するかどうかを設定します。

- 電話を切る約1分前からの通話が最大10件録音されます。10件を超えると、保護されていない古い通話メモから順に上書きされます。残しておきたい通話メモは保護してください。→P.61

1 待受画面で ▶ 「1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶ 「5 伝言メモ・通話メモを使う」▶ 「5 通話音声メモを開始/停止する」を押す

通話音声メモを開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 開始する」または「2 停止する」を押す

通話音声メモを開始/停止した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 通話保留中に、相手が保留にした場合は、保留中に流れるメロディは録音されますが、相手の声は録音されません。自分が保留にした場合は、保留中に流れるメロディも自分の声も録音されません。
- 通話中に別の電話がかかってきたり電話をかけたたりした場合は、それぞれの通話が録音されます。通話相手を切り替えるたびに新たに録音を開始します。
- 通話メモはリダイヤル/着信履歴に記録されるため、リダイヤル/着信履歴を削除するときに通話メモも同時に削除される場合があります。→P.56
- 通話メモが10件保護されている状態で通話音声メモを開始しようとすると、保護件数がいっぱい旨のメッセージが表示され、開始できません。不要な通話メモの保護を解除してください。→P.61

◆通話音声メモの再生

通話メモを再生します。

1 待受画面で ▶ 「1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶ 「5 伝言メモ・通話メモを使う」▶ 「4 通話音声メモを再生する」を押す

保存されているメモの件数が表示されます。

2 **決定**を押す

1件目のメモが表示されます。

- 通話メモ画面の主な表示内容は次のとおりです。
 - メモの番号、録音された日時が表示されます。
 - 国際電話の場合はが表示されます。
 - 電話番号を電話帳に登録済みの場合は名前(→P.65)が、発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由(→P.50)が表示されます。

3 を押して再生するメモを表示する

通話メモが表示されます。

- を押すとメモの相手に電話がかかります。

4 **決定**を押す

メモが再生されます。再生が終了すると通話メモ画面に戻ります。

再生を停止する場合: **決定**を押す

再生中に音量を調節する場合:   

のいずれかを押す

音声の再生先を受話口/スピーカーで切り替える場合: を押す

◆通話音声メモの削除

通話メモを削除します。

〈例〉1件削除する

1 待受画面で ▶ 「1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶ 「5 伝言メモ・通話メモを使う」▶ 「4 通話音声メモを再生する」

▶ **決定** ▶  を押して削除するメモを表示する

通話メモが表示されます。

2 (メニュー) ▶ 「4 削除する」 ▶ 「1 選択 1 件」を押す

メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

全件削除する場合：(メニュー) ▶ 「4 削除する」 ▶ 「2 全件」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ (決定) を押す

3 「1 削除する」を押す

削除した旨のメッセージが表示されます。(決定) を押すと次の通話メモが表示されます。

- 「2 削除しない」を押すと、選択した通話メモに戻ります。
- メモがない場合や全件削除した場合は、メニュー画面に戻ります。

◆ 通話音声メモの保護／解除

削除したり、上書きされたりしないように通話メモを保護します。

1 待受画面で(メニュー) ▶ 「1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」 ▶ 「5 伝言メモ・通話メモを使う」 ▶ 「4 通話音声メモを再生する」 ▶ (決定) ▶ (メール) (通話) を押して保護／保護解除するメモを表示する

通話メモが表示されます。

2 (メニュー) ▶ 「5 保護する」または「5 保護を解除する」を押す

通話メモに戻ります。通話メモが保護されると、通話メモの番号の横に「保護」と表示されます。

ネットワークサービス

ドコモのネットワークサービスや通話、インターネット通話に関するさまざまな設定を行います。

1 待受画面で(メニュー) ▶ 「* 設定を行う」 ▶ 「# その他の設定を行う」 ▶ 「1 ネットワークサービスを設定する」を押す

2 利用したいサービスを選択

- 1 留守番サービスを設定する：サービスの開始／停止、呼出時間設定などを行います。
- 2 キャッチホンを設定する：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
- 3 転送サービスを設定する：サービスの開始／停止、設定確認などを行います。
- 4 迷惑電話ストップを設定する：登録、削除、登録件数の確認などを行います。
- 5 番号通知お願いサービスを設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
- 6 通話中着信設定を行う：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
- 7 着信通知を行う：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
- 8 海外で使うときの設定を行う：→P.194
- 9 海外からネットワークサービスを使う：→P.195

その他のサービスを設定する場合は：「0 その他のサービスを設定する」 ▶ 利用したいサービスを選択

- 1 遠隔操作設定を行う：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
- 2 英語ガイダンスを設定する：設定、設定確認を行います。
- 3 公共モード（電源OFF）設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
- 4 ドコモへのお問い合わせはこちら：らくらくホンセンターやドコモ故障問合せ窓口などに電話をすることができます。
- 5 オープンソースライセンスを見る：オープンソースライセンスを表示します。
- 6 ソフトウェアを更新する：ソフトウェアを更新します。→P.243

ワンタッチダイヤル

よく連絡を取る相手をワンタッチダイヤルに登録しておく、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで簡単に電話をかけたり、メールを送ることができます。

- 着信音や着信画像を設定することができます。
- 電話帳の登録時に続けて本機能に登録することもできます。→P.66
- ワンタッチダイヤルからメールを送信できます。→P.64
- 名前の表示について→P.65

◆ワンタッチダイヤルに登録する

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン

①～③のいずれかを押す

- 電話帳に1件も登録していない場合は、新規に登録するかどうかの確認画面が表示されます。「①新規に登録する」を押して電話帳へ登録してください。→P.66

2 「②新規に登録する」▶名前／フリガナ／電話番号／メールアドレスなどを入力して**決定**を押す

ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。

決定を押すとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

電話帳から登録する場合：「①電話帳から選ぶ」▶登録したい相手を選択▶**決定**▶ワンタッチダイヤルに登録する電話番号／メールアドレス／ワンタッチダイヤル専用着信音を選択▶**決定**を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

◆ワンタッチダイヤルの編集

ワンタッチダイヤルの登録内容を編集します。

❖ワンタッチダイヤル登録の変更

ワンタッチダイヤル登録する相手を変更します。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン

①～③のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 **メニュー**▶「①登録内容を修正」▶「①登録相手を変更」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

3 電話帳を検索▶登録する相手を選択▶**決定**を押す

- 以降の操作は「ワンタッチダイヤルに登録する」をご覧ください。→P.62

❖ワンタッチダイヤル登録の電話帳の修正

ワンタッチダイヤルから電話帳を修正します。その場合、続けてワンタッチダイヤルに電話番号やメールアドレスを登録し直します。

〈例〉電話帳修正後、上書きする

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン

①～③のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 **メニュー**▶「①登録内容を修正」▶「②電話帳を修正」を押す

名前を入力画面が表示されます。

3 電話帳の内容を修正▶**決定**を押す

上書き確認画面が表示されます。

- 名前／フリガナ／電話番号／メールアドレス／郵便番号と住所／メモ／誕生日／グループの順に修正できます。
- ワンタッチダイヤル登録の修正操作の詳細は「電話帳の登録のしかた」をご覧ください。→P.66

4 「1 上書きする」を押す

続けてワンタッチダイヤルに登録する画面が表示されます。

新しく電話帳に登録する場合：「2 新規登録する」▶ **決定** を押す

5 **決定** ▶ ワンタッチダイヤルに登録する電話番号／メールアドレスを選択 ▶ **決定** を押す

ワンタッチダイヤル登録完了画面が表示されます。**決定** を押すとワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

- ワンタッチダイヤルへの再登録操作の詳細は「ワンタッチダイヤルに登録する」(→P.62)をご覧ください。

❖ ワンタッチダイヤル登録の解除

ワンタッチダイヤル登録を解除します。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン (1) ~ (3) のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 **(メニュー)** ▶ 「1 登録内容を修正」▶ 「3 ワンタッチダイヤル解除」を押す

ワンタッチダイヤル設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 解除する」を押す

ワンタッチダイヤル設定を解除した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと待受画面が表示されます。

- ワンタッチダイヤル登録の解除をしない場合は、「2 解除しない」を押します。

❖ ワンタッチダイヤル登録相手の着信画像の設定

ワンタッチダイヤルに登録した相手には着信画像を設定できます。電話がかかってくる時に設定した画像を表示してお知らせします。

- 設定した画像の表示は、相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。

〈例〉着信画像を撮影して設定する

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン

(1) ~ (3) のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 **(メニュー)** ▶ 「4 着信画像を設定」を押す

設定する画像の選択画面が表示されます。

3 「1 今から撮影する」▶ 被写体にカメラを向けて **決定** ▶ **決定** ▶ **決定** を押す

撮影した写真が本体に保存され、着信画像に設定されます。

- 写真撮影→P.112

- (メニュー)**：撮影時の設定ができます。→P.117

写真をアルバムから選択して設定する場合：

「2 アルバムから選ぶ」▶ アルバムを選択

▶ **決定** ▶ 画像を選択 ▶ **決定** を押す

着信画像を解除する場合：「3 解除する」を押す

4 **決定** を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

■ ワンタッチダイヤル登録相手の着信画像を確認する

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン

(1) ~ (3) のいずれか ▶ **(メニュー)** ▶ 「5 着信画像を確認」を押す

着信画像の確認画面が表示されます。

- 決定** を押すとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

❖ ワンタッチダイヤル登録相手の着音音の変更

ワンタッチダイヤルに登録した相手の電話、メールの着音音を設定します。

〈例〉電話着音音を設定する

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン

①～③のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 **メニュー**▶「2電話着音音」▶「1設定する」を押す

ワンタッチダイヤル専用の着音音の種類を選択画面が表示されます。

メール着音音を設定する場合：**メニュー**▶「3メール着音音」▶メール着音音の設定画面で「1着音音設定」▶「1鳴らす」▶メール着音音の設定画面で「2着音音」▶「1設定する」を押す

- ワンタッチダイヤル専用の電話着音音／メール着音音を登録しない場合は、「2設定しない」を押します。**決定**を押すとワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

3 「1メロディ」を押す

保存先の選択画面が表示されます。

メール着音音を設定する場合：「1メロディ・音」を押す

名前を読み上げるように設定する場合：「2名前の読み上げ」▶**決定**を押すとワンタッチダイヤル詳細画面が表示される
名前の読み上げについて→P.159

4 保存先を選択▶**決定**▶着音音を選択▶**決定**を押す

メール着音音を設定する場合：保存先を選択▶**決定**▶着音音を選択▶**決定**▶**電話機**を押す

ワンタッチダイヤル専用着音音設定完了画面が表示されます。**決定**を押すとワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

- microSDカード内のデータは設定できません。
- メロディの再生方法は「電話着音時の着音音の変更」をご覧ください。→P.157

メール着音音の鳴らす時間／回数を設定する場合：メール着音音の設定画面で「3鳴らす時間」▶鳴らす時間を入力▶**決定**▶**電話機**を押す
ワンタッチダイヤル専用のメール着音音を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

✓お知らせ

- 登録した複数の相手から同時にメールが送られてきた場合は、最後に受信したメールの相手の設定に従って動作します。

◆ ボタン1つで電話をかける

よく連絡を取る相手の電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておく、ワンタッチダイヤルボタン1つで簡単に電話をかけることができます。〈ワンタッチダイヤル〉

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン

①～③のいずれかを1秒以上押す

ワンタッチダイヤルボタンに登録している相手に電話がかかります。

- 待受画面でワンタッチダイヤルボタンのいずれかを押して①を押しても電話がかかりません。

❖ ワンタッチダイヤルからのメール作成

ワンタッチダイヤルに登録した相手にメールアドレスを登録している場合、ワンタッチダイヤル詳細画面から簡単な操作でメールを作成できます。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン

①～③のいずれか▶**メール**を押す

登録しているメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作は「簡単メールの作成・送信」(→P.72)、「通常メールの作成・送信」(→P.73)をご覧ください。

◆ ボタン2つで電話をかける

よく連絡を取る相手を短縮ダイヤルに登録しておく、ボタン2つ押すだけで簡単に電話をかけたり、メールを送ることができます。

◆短縮ダイヤルの設定

よく連絡を取る相手を0～9に登録しておく、ツータッチダイヤル、ツータッチメールを利用できます。
(短縮ダイヤル設定)

1 待受画面で 電話帳を検索する

- 検索方法→P.67

2 相手を選択 ▶ ▶ 「短縮ダイヤル」を押す

短縮ダイヤル一覧画面が表示されます。

短縮ダイヤルを解除する場合：相手を選択

▶  を押す

短縮ダイヤルを解除した旨のメッセージが表示されます。 を押すと電話帳の検索結果一覧に戻ります。

3 短縮ダイヤルNo.を選択 ▶ ▶ 短縮ダイヤルに登録する電話番号／メールアドレスを選択 ▶ を押す

- 短縮ダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。 を押すと電話帳の検索結果一覧に戻ります。

✓お知らせ

- 電話帳の情報を変更した場合は、再度登録が必要です。

◆ツータッチダイヤルで電話をかける

ボタンを2つ押すだけで、短縮ダイヤルを設定した相手に電話をかけることができます。

1 待受画面で短縮ダイヤルNo. (~

)を入力 ▶  を押す

電話がかかります。

◆ツータッチメールでメールを作成

ボタンを2つ押すだけで、短縮ダイヤルを設定した相手のメールアドレスを宛先にしたメールを作成できます。

1 待受画面で短縮ダイヤルNo. (~

)を入力 ▶  を押す

登録しているメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作は「簡単メールの作成・送信」(→P.72)、「通常メールの作成・送信」(→P.73)をご覧ください。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを入力できます。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。

◆名前の表示について

電話帳に登録した相手と電話の発着信を行うと、電話帳の名前と電話番号が発信中、呼出中、着信中、通話中の画面に表示されます。

- 電話帳の名前は、発着信情報を記録しているリダイヤルや着信履歴、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを入力したとき、伝言メモ、通話メモ、受信メールの送信元、送信メール／未送信メールの宛先、メールの送受信履歴にも表示されます。
- メールを受信した際、送信元と電話帳のメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳の名前が表示されます。
- SMSを受信した際、電話番号が一致した場合は電話帳の名前が表示されます。
- 電話帳の名前が長い場合、発着信時の画面などには、画面に表示できる文字数分のみ名前が表示されます。
- 背面ディスプレイの着信表示の設定で、背面ディスプレイに相手の名前や電話番号を表示しないように変更できます。→P.155

◆ 電話帳の登録のしかた

よく利用する電話番号やメールアドレスなどを、名前とともに登録できます。

- ドコモショップなど窓口での機種変更時など、新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によっては本端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電話帳を登録する場合、名前は必須入力項目です。

1 待受画面で ▶ 「1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」 ▶ 「4 電話帳に登録する」を押す

名前の入力画面が表示されます。

2 名前を入力 ▶ を押す

3 フリガナを入力 ▶ を押す

- フリガナは電話帳の音声検索（ボイスダイヤル）やフリガナ検索に使用しますので、正しく入力してください。
- 電話帳を音声で呼び出すには、記号、空白、濁点、半濁点を除いて3文字以上で入力します。→P.168

4 「1 直接入力」 ▶ 電話番号を入力 ▶ ▶ 「2 入力しない」を押す

着信履歴／リダイヤルから登録する場合：「2 着信履歴から」または「3 リダイヤルから」 ▶   を押して電話番号を表示 ▶  を押す

電話番号を登録しない場合：「4 入力しない」を押す

- 電話番号には、ポーズ（「;」）、タイマー（「.」）、国際電話発着信時に利用する「+」、「#」、サブアドレスの区切り（「*」）を入力できます。

5 「1 直接入力」 ▶ メールアドレスを入力 ▶ 「2 入力しない」を押す

メールの送受信履歴から登録する場合：「2 受信メールから」または「3 送信メールから」 ▶   を押してメールアドレスを選択 ▶  を押す

メールアドレスを登録しない場合：「4 入力しない」を押す

- メールアドレスには、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。

- 半角英字入力モード時に  を押すと「.」「@」「-」などメールアドレスによく使う記号を入力できます。
- 半角英字入力モード時に  を押すと「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

6 「2 入力しない」を押す

郵便番号と住所を入力する場合：「1 入力する」 ▶ 郵便番号を入力 ▶  ▶ 住所を入力 ▶  ▶ 「2 入力しない」を押す

7 「2 入力しない」を押す

メモを入力する場合：「1 入力する」 ▶ メモを入力 ▶  を押す

8 「2 入力しない」を押す

誕生日を入力する場合：「1 入力する」 ▶ 「1 明治で入力する」～「4 平成で入力する」 ▶ 年を入力 ▶  ▶ 月を入力 ▶  ▶ 日を入力 ▶  ▶  を押す

「5 西暦で入力する」を選択した場合は、誕生日を入力して  を押します。

9 「1 設定する」 ▶ グループを選択 ▶ ▶ を押す

- グループを登録するか、「2 設定しない」を押すと、グループの登録を終了します。
- グループが登録されていないとグループの選択画面は表示されません。→P.71

10 「2 終了する」を押す

ワンタッチダイヤルに登録する場合：「1 登録する」 ▶ 「1 ワンタッチダイヤル1」～「3 ワンタッチダイヤル3」 ▶ 電話番号／メールアドレス／ワンタッチダイヤル専用着信音を選択 ▶  を押す

メニュー画面が表示されます。

◆リダイヤル／着信履歴からの電話帳登録

リダイヤル／着信履歴などから電話帳に登録したり追加したりできます。

- サイトやメールなどから電話番号やメールアドレスを登録することもできます。→P.93

〈例〉新規登録する

1 待受画面で (リダイヤル) または (着信履歴) ▶ を押して登録する相手を表示する

2 ▶ 「1」電話帳に登録を押す

名前を入力画面が表示されます。
以降の操作は「電話帳の登録のしかた」をご覧ください。→P.66

電話帳に追加登録する場合： ▶ 「2」電話帳に追加 ▶ 電話帳の検索結果一覧で相手を選択 ▶ **決定** を押す

ワンタッチダイヤル登録確認画面が表示されます。

✓お知らせ

- 電話番号の入力画面には、選択したリダイヤル／着信履歴の電話番号が入力されています。

◆電話帳を検索する

さまざまな方法で電話帳を呼び出すことができます。

- 電話帳の呼び出しかたには次の検索方法があります。
 - 50音順検索→P.67
 - グループ検索→P.68
 - 音声検索→P.68
 - フリガナ検索→P.68
 - 電話番号検索→P.68
 - メモ検索→P.68
- お買い上げ時は、50音順検索で表示されます。

■検索結果一覧での操作

電話帳の検索結果一覧では、次の操作が行えます。

- ~ : ボタンに割り当てられている行の先頭を表示します。

: ア行、 : 力行、 : サ行、 : タ行、 : ナ行、 : ハ行、 : マ行、

: ヤ行、 : ラ行、 : フ行

/ : 他

たとえば、「携帯三郎」を表示する場合は、「け」(力行) に対応する を押します。

- : 画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭を表示します（音声検索、フリガナ検索を除く）。

✓お知らせ

- 電話帳を検索しても検索結果がない場合は、該当する電話帳がない旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと直前の検索画面に戻るので、再度入力して検索してください。

❖50音順検索

50音順に検索して表示します。

1 待受画面で ▶ 「1」電話帳・伝言メモ・音声メモを使う ▶ 「3」電話帳の内容を見る ▶ 「1」50音順検索を押す

検索結果一覧が表示されます。

◆グループ検索

グループから検索します。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」** ▶ **「3 電話帳の内容を見る」** ▶ **「2 グループ検索」**を押す
グループ一覧が表示されます。

- 2 検索するグループを選択 ▶ **決定**を押す
検索結果一覧が表示されます。
 - 同じグループでは50音順→アルファベット順→その他の順に表示されます。

◆音声検索

音声で検索します。

- 記号、空白、濁点、半濁点を除いて3文字以上のフリガナが登録されている電話帳が対象です。
- 周囲の状況や発声のしかたにより、音声認識されない場合があります。
- ボイスダイヤルについて→P.168
- 待受画面で **電話帳** を1秒以上押しても、音声で検索できます。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」** ▶ **「3 電話帳の内容を見る」** ▶ **「3 音声検索」**を押す
音声での電話帳検索画面が表示されます。
 - 以降の操作は「音声で電話帳を呼び出す」をご覧ください。→P.168

◆フリガナ検索

フリガナの先頭の一部を入力して検索します。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」** ▶ **「3 電話帳の内容を見る」** ▶ **「4 フリガナ検索」**を押す
フリガナの入力画面が表示されます。

- 2 フリガナを入力 ▶ **決定**を押す
検索結果一覧が表示されます。

◆電話番号検索

電話番号の一部を入力して検索します。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」** ▶ **「3 電話帳の内容を見る」** ▶ **「5 電話番号検索」**を押す
電話番号の入力画面が表示されます。

- 2 電話番号の一部を入力 ▶ **決定**を押す
検索結果一覧が表示されます。

◆メモ検索

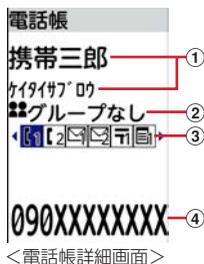
メモの一部を入力して検索します。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」** ▶ **「3 電話帳の内容を見る」** ▶ **「6 メモ検索」**を押す
- 2 メモの一部を入力 ▶ **決定**を押す
検索結果一覧が表示されます。

◆電話帳の詳細表示

登録内容を表示して確認します。

- 1 待受画面で **電話帳** ▶ **電話帳を検索する**
 - 検索方法→P.67
- 2 詳細表示する相手を選択 ▶ **決定**を押す



- ① 名前、フリガナ
- ② グループマーク、グループ名
- ③ 登録内容がわかるマーク（電話番号／メールアドレス／郵便番号と住所／メモ／誕生日）
- ④ 選択している電話番号／メールアドレス／郵便番号と住所／メモ／誕生日
 - **電話帳**：登録している各項目の表示を切り替えます。

✓お知らせ

- 電話帳の詳細画面では次の操作ができます。
 - **090**～**9000**：ボタンに割り当てられている行の先頭の詳細画面を表示します。
 - **〒**、**〒**、**〒**：アルファベット、数字、記号のいずれかで始まる電話帳がある場合、その先頭の詳細画面を表示します。
 - **電話帳**、**電話帳**：前後の詳細画面を表示します。

◆ 電話帳からメール／SMSを作成する

1 待受画面で **電話帳** ▶ 電話帳を検索する

- 検索方法→P.67

2 相手を選択 ▶ **メニュー** ▶ 「**2**メールを作る」または「**3**SMSを作る」を押す

1件目のメールアドレス／電話番号を宛先にしたメール／メッセージ作成画面が表示されます。

- 以降の操作は「簡単メールの作成・送信」(→P.72)、「通常メールの作成・送信」(→P.73)、「SMSの作成」(→P.88)をご覧ください。

電話帳の詳細画面からメールを作成する場合：

相手を選択 ▶ **決定** ▶ **電話帳** ▶ **決定** を押す

電話帳の詳細画面からSMSを作成する場合：

相手を選択 ▶ **決定** ▶ **電話帳** ▶ **決定** ▶ 「**3**SMSを作る」を押す

◆ 優先する検索方法を設定

待受画面で **電話帳** を押したときに表示される電話帳の検索方法を設定します。〈電話帳検索優先設定〉

1 待受画面で **メニュー** ▶ 「**1**電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶ 「**3**電話帳の内容を見る」を押す

電話帳の検索方法選択画面が表示されます。

2 優先する検索方法を選択 ▶ **メニュー** を押す

優先する検索方法を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと検索方法選択画面に戻ります。

- 優先設定している検索方法に **優先** が表示されます。お買い上げ時は50音順検索が優先設定されています。

◆ 電話帳一覧の文字サイズ設定

電話帳一覧の文字の大きさを設定します。

1 待受画面で **メニュー** ▶ 「**1**電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶ 「**9**電話帳の文字の大きさを変更」を押す

電話帳一覧の文字の大きさの設定画面が表示されます。

2 「**1**標準の大きさ」または「**2**大きく表示」を押す

文字の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すとメニュー画面に戻ります。

◆ 電話帳の修正

電話帳の登録内容の修正やグループの移動ができます。

1 待受画面で **電話帳** ▶ 電話帳を検索する

- 検索方法→P.67

2 相手を選択 ▶ **メニュー** ▶ 「**4**修正する」を押す

名前の入力画面が表示されます。

3 電話帳の内容を修正 ▶ **決定** を押す

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

- 名前／フリガナ／電話番号／メールアドレス／郵便番号と住所／メモ／誕生日／グループの順に修正できます。
- 操作の詳細は「電話帳の登録のしかた」をご覧ください。→P.66

4 「**1**上書きする」または「**2**新規登録する」▶ 「**2**終了する」を押す

検索結果一覧に戻ります。

- 続けてワンタッチダイヤルに登録する場合は、「**1**登録する」を押します。

✓お知らせ

- 名前を修正してもフリガナは自動で変更されません。フリガナも修正してください。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目の電話番号やメールアドレスを削除すると2件目以降が繰り上げ登録されます。

◆グループ変更

電話帳のグループを変更します。

1 待受画面で「電話帳」▶電話帳を検索する

- ・検索方法→P.67

2 相手を選択▶「メニュー」▶「[8]グループを選択」を押す

グループ選択画面が表示されます。

- ・グループが登録されていないとグループの選択画面は表示されません。→P.71

電話帳の詳細画面からグループを変更する場合：

相手を選択▶決定▶「メニュー」▶「[6]グループを選択」を押す

3 変更するグループを選択▶決定▶「電話帳」を押す

選択したグループに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと検索結果一覧に戻ります。

◆電話帳のコピー

電話帳の項目をコピーして別の場所に貼り付けます。

◆登録内容のコピー

電話帳の個々の登録内容（名前や電話番号など）をコピーします。

1 待受画面で「電話帳」▶電話帳を検索する

- ・検索方法→P.67

2 相手を選択▶決定▶「メニュー」▶「[9]名前等をコピー」を押す

電話帳の項目一覧画面が表示されます。

3 コピーする項目を選択▶決定を押す

選択した項目をコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すと電話帳の詳細画面に戻ります。

- ・貼り付け方法→P.44「文字のコピー／切り取り／貼り付け」

◆電話帳の削除

1件分の電話帳を削除します。

〈例〉電話帳の検索結果一覧から削除する場合

1 待受画面で「電話帳」▶電話帳を検索する

- ・検索方法→P.67

2 相手を選択▶「メニュー」▶「[7]電話帳から削除」を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

電話帳の詳細画面から削除する場合：相手を選択▶決定▶「メニュー」▶「[5]電話帳から削除」を押す

3 「[1]削除する」を押す

電話帳を1件削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと検索結果一覧に戻ります。

- ・電話帳が1件もなくなった場合は、電話帳に登録がない旨のメッセージが表示されます。

✓お知らせ

- ・ワンタッチダイヤルに登録している電話帳を削除すると、ワンタッチダイヤル登録からも削除されます。

◆グループの設定を変更する

グループの名前を変更したり、グループの追加や削除をします。

◆グループ名の変更

電話帳に追加したグループの名前をグループ名称の一覧から変更したり、直接入力して変更できます。

- ・「グループなし」は変更できません。
- ・入力されているグループ名をすべて削除すると、お買い上げ時のグループ名に戻ります。

〈例〉グループ名称の一覧から選択する

1 待受画面で「メニュー」▶「[1]電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「[6]電話帳のグループを設定する」▶「[1]グループ名を変更する」を押す

グループの選択画面が表示されます。

2 グループを選択▶決定を押す

グループ名の入力方法選択画面が表示されます。

3 「[1]一覧から選ぶ」▶「[1]家族」～「[0]その他」のいずれかを押す

グループ名を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

直接入力する場合：「2直接入力する」▶グ

ループ名を入力▶決定を押す

グループ名を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

❖グループの追加

電話帳にグループを一覧から選んで追加したり、直接入力して追加したりできます。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「6電話帳のグループを設定する」▶「2グループを追加する」を押す

2 「1一覧から選ぶ」▶「1家族」～「0その他」のいずれかを押す

グループを追加した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

直接入力する場合：「2直接入力する」▶グ

ループ名を入力▶決定を押す

グループ名を追加した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

❖グループを削除

電話帳に追加したグループを削除できます。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「6電話帳のグループを設定する」▶「3グループを削除する」を押す

2 グループを選択▶決定を押す

3 「1削除する」を押す

グループを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

削除しない場合：「2削除しない」を押す

メニュー画面に戻ります。

◆電話帳の登録件数を確認する

電話帳の登録件数を確認します。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「8電話帳の登録件数を見る」を押す

登録件数の確認画面が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

◆電話帳を分ける

ドコモnanoUIMカードからの取り込みで、結合された電話帳を分けることができます。

1 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

2 相手を選択▶決定▶(メニュー)▶「*電話帳を分ける」を押す

結合された電話帳を分離した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、電話帳詳細画面に戻ります。

✓お知らせ

ドコモnanoUIMカードから電話帳を取り込むとき、本端末に同じ名前の電話帳が登録されている場合は、電話帳が結合されます。

メール／インターネット

メール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

■自分のメールアドレスを確認・変更

現在設定しているメールアドレスを確認・変更します。

1 待受画面で  ▶ 「**8** メールアドレスを確認・変更する」を押す

2 画面の指示に従ってメールアドレスを確認または変更する

✓お知らせ

- 待受画面で  ▶ 「**9** メールを設定する」▶ 「**8** その他の設定をする」▶ 「**1** 自分のメールアドレスを見る」を押してもメールアドレスを確認できます。

◆メールの作成・送信

◇簡単メールの作成・送信

簡単な操作方法でメールを作成して送信します。

〈例〉文章のみを作成して送信する

1 待受画面で  を1秒以上押す

- 前回、簡単メール作成でメールを作成した場合は、操作3に進みます。

2  ▶ 「**1** 切り替える」を押す

3 「**1** 文章のみ」を押す

デコレーションメールを作成する場合：「**2** デコレーションメール」を押す

- 以降の操作は「メール作成中にテンプレートを使う」をご覧ください。→P.76

写真を添付する場合：「**3** 写真」▶ 「**1** 今から撮影する」または「**2** アルバムから選ぶ」を押す

- 以降の操作は「データ添付」をご覧ください。→P.77

ビデオを添付する場合：「**4** ビデオ」を押す

- 以降の操作は「データ添付」をご覧ください。→P.77

音声を添付する場合：「**5** メロディ・音」▶

「**1** 今から録音する」または「**2** 一覧から選ぶ」を押す

- 以降の操作は「データ添付」をご覧ください。→P.77

位置情報を添付する場合：「**6** 位置情報添付」▶

「**1** 現在地から」または「**2** 写真から」を押す

4 「**4** 直接入力」▶ 宛先を入力▶  を押す

最近送受信した履歴から選択する場合：「**1** 最近送信した人」または「**2** 最近受信した人」▶

送信する履歴を選択▶  を押す

電話帳から選択する場合：「**3** 電話帳から選ぶ」▶

電話帳を検索▶ 送信する相手を選択▶

 ▶ メールアドレスを選択▶  を押す

- 検索方法→P.67

5 「**2** 次へ進む」を押す

宛先を編集する場合：「**1** この宛先を編集」▶

宛先を編集▶  を押す

他の宛先を編集する場合：「**3** 他の宛先を編集」▶

編集するメールアドレスを選択▶  ▶ 宛先を編集▶  を押す

6 「**1** 直接入力する」▶ 題名を入力▶  を押す

例文から選択する場合：「**2** 例文から選ぶ」▶

例文を選択▶  ▶  を押す

7 「**3** 次へ進む」▶ 「**1** 本文を編集する」▶ 本文を入力▶  を押す

8 「**2** 次へ進む」を押す

- Ⓜ：作成したメールを修正します。

9 内容を確認▶  を押す

1 送信する：メールを送信します。

2 保存して終了：作成したメールを未送信メールのフォルダに保存して終了します。→P.79

- 10 「1送信する」を押す
メールが送信されます。
決定を押すと待受画面に戻ります。

◆通常メールの作成・送信

メールを作成して送信します。

- 1 待受画面で を1秒以上押す
- 簡単メール作成画面が表示されたときは、
 ▶ 「1切り替える」を押します。

- 2 宛先欄を選択 ▶ 決定を押す
- ワンタッチダイヤルボタンから宛先を選択する
場合：宛先欄を選択 ▶ ワンタッチダイヤルボ
タン ①～③ のいずれかを押す
操作4に進みます。

宛先を追加する場合： ▶ 「7宛先を追加す
る」を押す

- ①宛先 (To)：送信相手のメールアドレスを入
力します。
- ②Cc：直接の送信相手 (宛先 (To)) 以外に
メールの内容を知らせたい宛先を追加します。
- ③Bcc：宛先 (To) やCcに設定した送信相手
に知らせたくない宛先を追加します。入力し
たメールアドレスは他の送信相手には表示さ
れません。

宛先種別 (宛先 (To)、Cc、Bcc) を変更する
場合：変更する宛先を選択 ▶ ▶ 「9宛先
種別を変更」 ▶ 「1宛先 (To)」～
「3Bcc」のいずれかを押す

宛先を削除する場合：削除する宛先を選択
▶ ▶ 「8宛先を削除する」 ▶ 「1削除す
る」を押す

- 3 「4直接入力する」▶ 宛先を入力 ▶ 決定 を
押す

最近送受信した履歴から選択する場合：「1最
近送信した人」または「2最近受信した人」
▶ 送信する履歴を選択 ▶ 決定 を押す

電話帳から宛先を選択する場合：「3電話帳か
ら選ぶ」▶ 電話帳を検索 ▶ 送信する相手を選
択 ▶ 決定 ▶ メールアドレスを選択 ▶ 決定 を押
す

- 検索方法→P.67

- 4 題名欄を選択 ▶ 決定 ▶ 題名を入力 ▶ 決定 を
押す

- 5 本文欄を選択 ▶ 決定 ▶ 本文を入力 ▶ 決定 を
押す

署名を挿入する場合：本文欄を選択

▶ 決定 ▶ ▶ 「7署名を挿入する」を押す

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。
→P.81

- 6 「送信する」を選択 ▶ 決定 を押す

メールが送信されます。
決定を押すと待受画面に戻ります。

作成中のメールを保存する場合： ▶ 「2保
存する」を押す

◆圏内自動送信の設定について

圏外のためにメールを送信できないときは、圏内
に移動したときに自動送信するように設定できます。

■圏内自動送信を設定する

圏外にいるときにメールを送信しようとする、圏
内に移動したら自動送信するかどうかのメッセー
ジが表示され、次の操作ができます。

①設定する：圏内自動送信を設定した旨のメッセー
ジが表示されます。決定を押すとメニュー画面に
戻ります。

圏内自動送信を設定したメールは未送信メールの
フォルダに保存されます。→P.79

②設定しない：待受画面に戻ります。通常のメール
として未送信メールのフォルダに保存されます。
→P.79

■圏内になると

圏内になると、圏内自動送信に設定したメールが自
動的に送信されます。

✓お知らせ

- 圏内自動送信の設定を解除するには、未送信メールの
フォルダ (→P.79) に保存された圏内自動送信を設定
したメールを選択 ▶ 決定 ▶ 「1再編集する」を押しま
す。
- 送信が正常に終了したときは、メールが送信メールの
フォルダ (→P.79) に保存されます。
- デコメ絵文字[®]を使用すると、デコメール[®]として送信
されます。
- 絵文字を入力したメールを他社携帯電話に送信すると、
自動的に受信側の類似絵文字に変換されます。ただし、
受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示さ
れないことや、該当する絵文字がない場合に文字また
は に変換されることがあります。
- 一部の絵文字は、相手の端末の機種によっては正しく
表示されない場合があります。

- 送信に失敗したときは、メールは未送信メールのフォルダに保存されます。未送信メールのフォルダからメールを編集して送信できます。→P.79

❖ 例文を利用してメールを作成

あらかじめ登録されている例文を呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にメールを作成できます。

- SMSには使用できません。

■ 例文からメールを作成

例文を選んでメールを作成します。

1 待受画面で ▶ 「3 例文を使ってメールを作る」を押す

2 読み込む例文を選択 ▶ **決定** を押す

- 以降の操作は「简单メールの作成・送信」(→P.72)、「通常メールの作成・送信」(→P.73) をご覧ください。

■ メール作成時に例文を使う

メール作成中に例文を選んで作成します。

1 待受画面で を1秒以上押す

- 简单メール作成画面が表示されたときは、 ▶ 「1 切り替える」を押します。

2 ▶ 「6 例文を使う」を押す

3 読み込む例文を選択 ▶ **決定** を押す

- **決定** を押すとメール作成画面に戻ります。
- 以降の操作は「通常メールの作成・送信」をご覧ください。→P.73
- すでに入力中の項目がある場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
「1 本文のみ上書き」を押すと、本文に入力中の文章を消去して例文を読み込みます。
「2 すべて上書き」を押すと題名や本文に、入力中の文章を消去して例文を読み込みます。
「3 上書きしない」を押すと、例文の読み込みを中止します。

■ 例文を編集して保存

登録されている例文の内容を編集します。

1 待受画面で ▶ 「9 メールを設定する」▶ 「2 例文・テンプレートを確認・編集する」▶ 「1 例文」を押す

2 編集する例文を選択 ▶ **決定** ▶ 題名または本文を選択 ▶ **決定** を押す

3 例文を編集 ▶ **決定** ▶ を押す

- **決定** を押すと例文一覧に戻ります。

◆デコメール®の作成・送信

メール本文の文字サイズや背景色の変更、撮影した写真やお買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®の挿入などの装飾をして送信できます。

- ・デコメール®を非対応端末に送信すると、閲覧用URLが記載されたメールを受信します。

1 待受画面でを1秒以上押す

- ・簡単メール作成画面が表示されたときは、▶「**1**切り替える」を押します。

2 本文欄を選択▶▶を押す

3 装飾の操作を行う

デコメ®ピクチャを挿入する場合：「**1**デコメを挿入する」▶カテゴリを選択▶デコメ®ピクチャを選択▶を押す

文字色を変更する場合：「**2**文字色を変更」▶「**1**色指定なし」～「**#**灰色」のいずれか▶▶本文を入力する

文字サイズを変更する場合：「**3**文字サイズを変更」▶「**1**大」～「**3**小」のいずれか▶▶本文を入力する

- ・デコメ絵文字®は変更できません。

画像を撮影して挿入する場合：「**4**画像を挿入する」▶「**1**今から撮影する」▶被写体にカメラを向けてを押す

画像をアルバムから選択して挿入する場合：「**4**画像を挿入する」▶「**2**アルバムから選ぶ」▶フォルダを選択▶▶画像を選択▶を押す

文字に動きをつける場合：「**5**点滅／動き設定」▶「**1**点滅開始」または「**2**テロップ開始」▶▶本文を入力する

文字位置を変更する場合：「**6**文字位置を変更」▶「**1**左寄せ」～「**3**右寄せ」のいずれか▶本文を入力する

罫線を引く場合：「**7**罫線を引く」を押す

背景色を変更する場合：「**8**背景色を変更」▶「**1**色指定なし」～「**#**灰色」のいずれかを押す

入力済みの文字の範囲を選択して装飾を変更する場合：

- ①「**9**範囲を指定する」▶開始位置を選択▶を押す
 - ・：全文を選択します。
 - ②終了位置を選択▶を押す
 - ・／：開始位置から文頭／文末までを選択します。
 - ③「**1**文字色を変更」～「**6**デコレーションなし」のいずれか▶装飾の操作を行う
- カーソル位置の装飾を解除して文字を入力する場合：「**0**デコレーションなし」▶を押す

設定されている装飾をすべて解除する場合：

「*****デコレーション全解除」▶「**1**全て解除する」▶を押す

4 ▶を押す

- ・以降の操作は「通常メールの作成・送信」をご覧ください。→P.73

◆デコメカテゴリの表示設定

デコメ®ピクチャ挿入時に、表示するカテゴリを設定します。

1 待受画面で▶「**9**メールを設定する」を押す

2 「**0**デコメカテゴリの表示を設定する」を押す

デコメカテゴリを更新する場合：「*****デコメカテゴリを更新する」を押す

3 各カテゴリを選択▶▶「**1**表示する」または「**2**表示しない」を押す

デコメカテゴリを並び替える場合：並び替えるカテゴリを選択▶▶「**1**一つ上へ移動」または「**2**一つ下へ移動」を押す

テンプレート

お買い上げ時に保存されているテンプレートを利用して、装飾したメール（デコメール®）を作成できます。

- デコメール®を非対応端末に送信すると、閲覧用URLが記載されたメールを受信します。
- 本書では「デコメール®テンプレート」や「メールテンプレート」を「テンプレート」と記載しています。

◆メール作成中にテンプレートを使う

メール作成中にテンプレートを読み込んでデコメール®を作成します。

1 待受画面でを1秒以上押す

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、▶「**1**切り替える」を押します。

2 ▶「**5**テンプレートを使う」▶「**1**テンプレート呼出し」を押す

- すでに本文が入力されていると、テンプレートを本文に上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「**1**上書きする」を押すとテンプレート一覧が表示されます。

3 読み込むテンプレートを選択▶を押す

- を押すとメール作成画面に戻ります。
- 以降の操作は「通常メールの作成・送信」をご覧ください。→P.73
- テンプレート一覧でを押すと、選択したテンプレートの詳細が表示されます。を押すとテンプレート一覧に戻ります。

◆テンプレートを作成して保存

作成または送受信したデコメール®をテンプレートとして保存します。

〈例〉作成したデコメール®を保存する

1 待受画面でを1秒以上押す

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、▶「**1**切り替える」を押します。

受信メールを保存する場合：待受画面で▶

「**1**受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶▶テンプレートに登録するメールを

選択▶▶▶「**9**登録する」▶「**3**テンプレート登録」を押す

操作4に進みます。

送信メールを保存する場合：待受画面で▶

「**6**送信したメールを見る」▶フォルダを選択▶▶テンプレートに登録するメールを

選択▶▶▶「**8**登録する」▶「**3**テンプレート登録」を押す

操作4に進みます。

2 装飾の操作を行う

- 装飾方法→P.75「デコメール®の作成・送信」

3 ▶「**5**テンプレートを使う」▶「**2**テンプレートに保存」を押す

4 テンプレート名を入力▶を押す

- を押すとメール作成画面に戻ります。

データ添付

メールに写真やビデオなどのデータを添付して送信できます。

- 添付できるデータは次のとおりです。
 - ビデオ・音声（動画）
 - 写真（静止画・画像）
- データによっては添付できないものがあります。

1 待受画面で を1秒以上押す

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、 ▶ 「**1**切り替える」を押します。

2 添付欄を選択 ▶ **決定** を押す

3 「**1**写真」～「**3**メロディ・音」のいずれかを押す

写真を撮影して添付する場合：「**1**写真」▶

「**1**今から撮影する」▶ 被写体にカメラを向けて **決定** ▶ **決定** ▶ **決定** ▶ 「**1**小さくして送る」または「**2**このまま送る」を押す

写真をアルバムから選択して添付する場合：

「**1**写真」▶ 「**2**アルバムから選ぶ」▶ アルバムを選択 ▶ **決定** ▶ 画像を選択 ▶ **決定** を押す
• 写真の大きさを小さくするかどうかの確認画面が表示された場合は、「**1**小さくして送る」または「**2**このまま送る」を押します。

ビデオをビデオ一覧から選択して添付する場合：

「**2**ビデオ」▶ フォルダを選択 ▶ **決定** ▶ ビデオを選択 ▶ **決定** ▶ 「**1**このまま送る」を押す

音声を録音して添付する場合：「**3**メロディ・音」▶ 「**1**今から録音する」▶ **決定** ▶ **決定** ▶ **決定** を押す

音声を音一覧から選択して添付する場合：「**3**メロディ・音」▶ 「**2**一覧から選ぶ」▶ カテゴリを選択 ▶ **決定** ▶ フォルダを選択 ▶ **決定** ▶ 音声を選択 ▶ **決定** を押す

4 メールを編集して送信する

- 以降の操作は「通常メールの作成・送信」をご覧ください。→P.73

✓お知らせ

- 音声／写真／ビデオの保存領域の空きが足りないときは、空き容量が不足している旨の通知画面が表示されます。不要なファイルを削除して操作し直してください。

- 受信側の端末が対応していない添付データは、センターで削除されたり、正しく表示や再生されなかったりします。
- 添付データのサイズによっては、送信するまでに時間がかかる場合があります。
- 動画のファイルサイズによっては添付できない場合があります。
- 写真を添付する場合、「小さくして送る」を選択すると、縦横（または横縦）のサイズが320×240（ドット）に収まるように変換されます。

◆添付データの追加／解除

メールに添付するデータを追加したり、解除したりします。

〈例〉添付データを1件解除する

1 待受画面で を1秒以上 ▶ メールを編集する

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、 ▶ 「**1**切り替える」を押します。
- 編集方法は「データ添付」をご覧ください。→P.77

2 解除する添付データを選択 ▶ ▶ 「**3**添付データ」を押す

3 「**2**解除する」を押す

添付データを追加する場合：「**1**追加する」を押す

- 以降の操作は「データ添付」をご覧ください。→P.77

添付データを全件解除する場合：「**3**全て解除する」を押す

4 「**1**解除する」を押す

添付データが解除され、メール作成画面に戻ります。

メールを受信したときは

送信されてきたメールを自動的に受信し、画面表示や着信音、振動、ランプでお知らせします。

- 受信したメールは受信メールのフォルダに保存されます。→P.79
- 本端末を閉じているときに受信が完了すると、背面ディスプレイに「メール受信」と送信元のメールアドレスまたは電話帳の名前が表示されて **メール** が表示されます。

✓お知らせ

- 極端に容量の大きいメールは、センターで受け付けずに送信元に返信されることがあります。
- 次のような場合に送られてきたメールは、センターに保管されます。
 - 電源が入っていないとき
 - 機内モード中
 - おまかせロック中
 - 受信に失敗したとき
 - 圏外するとき

メール問い合わせ

圏外にいた間や電源を切っていた間などにメールやメッセージR/Sが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によっては問い合わせができない場合があります。

- 1 待受画面で  ▶  「メールがあるか問い合わせる」を押す

受信／送信／未送信メールの表示

受信メールや未送信／送信メールを表示します。

1 待受画面で ▶ 「1 受信したメールを見る」を押す

未送信／送信メールを表示する場合：待受画面で  ▶ 「5 未送信のメールを見る」または「6 送信したメールを見る」を押す

2 フォルダを選択 ▶ を押す

- 送信元を電話帳に登録しているときは、電話帳の名前が表示されます。→P.65
- 題名はメールによって、表示されない場合があります。
- 主なマークの意味は次のとおりです。

マーク	説明
状態	
	未読メール
	既読メール
	保護されたメール
	未読メール (返信済み)
	既読メール (返信済み)
	未読メール (転送済み)
	既読メール (転送済み)
	圏内自動送信設定中
	未送信メール
添付	
	添付データあり (ファイル未取得)
	添付データあり

3 メールを選択 ▶ を押す

-  ：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
-  ：前後のメールを表示できます。
- マークの意味は次のとおりです。
 - ：送受信した日時
 - ：送信元のメールアドレスまたは電話帳の名前
 -   ：送信先のメールアドレスまたは電話帳の名前
 - ：題名

✓お知らせ

- パソコンなど、デコメール®対応端末以外から装飾されたメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

メールに返信／転送

受信したメールに返事を出したり、他の宛先に転送します。

- 受信メールによっては返信できない場合があります。

1 待受画面で ▶ 「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ を押す

2 返信するメールを選択 ▶ ▶ 「1 返信する」を押す

- 前回の操作で簡単メール作成を使用していた場合は、操作5に進みます。

メールを転送する場合：転送するメールを選択 ▶  ▶ 「2 転送する」を押す

操作5に進みます。

- 複数の宛先に送られた受信メールに返信するときは、返信先の選択画面が表示されます。「1 差出人のみ」を押すと、送信元だけに返信します。「2 全員に返信」を押すと、自分以外のすべての宛先と送信元に返信します。

3 「1 引用する」または「2 引用しない」を押す

- メール返信引用設定を「利用する」に設定している場合に操作できます。→P.81

4 「く自分で入力」を押す

らくらく返信を使用する場合：返信する本文を選択 ▶  を押す

5 メールを編集して送信する

- 以降の操作は「簡単メールの作成・送信」(→P.72)、「通常メールの作成・送信」(→P.73)をご覧ください。
- 返信すると、受信メールの状態マークが、 /  から  /  になります。マークの意味については「受信／送信／未送信メールの表示」をご覧ください。→P.79

✓お知らせ

- 受信メール一覧で  を押しても返信メールを作成できません。
- 引用返信で引用されるのは、本文と装飾、本文中に貼付された画像のみです。

添付データの操作

メールに添付されているデータを表示・保存します。

◆ 添付画像の表示・保存

メールに添付されている画像を表示・保存します。

1 待受画面で ▶ 「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ **決定** を押す

2 画像が添付されているメールを選択 ▶ **決定** を押す

3 ▶ 「7 添付データを操作」▶ を押す

決定 を押すと添付ファイル一覧に戻ります。

画像を表示する場合：表示する画像を選択

▶ **決定** を押す

メール本文中に貼り付けられた画像を保存する

場合： ▶ 「デコメ操作」▶ 保存する画像を選択 ▶ **決定** ▶ 「2 保存する」を押す

デコメカテゴリに保存されます。**決定** を押すとメール画面に戻ります。

✓お知らせ

- 保存した添付画像は「保存した画像」アルバムで確認できます。→P.113
- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 送信メール詳細画面から操作する場合は、 ▶ 「6 添付データを操作」を押します。
- メッセージR/S詳細画面から操作する場合は、 ▶ 「4 添付データを操作」を押します。
- 画像の保存領域の空きが足りないときは、空き容量が不足している旨の通知画面が表示されます。不要なファイルを削除して保存し直してください。

◆ 添付動画の再生・保存

メールに添付されている動画を再生・保存します。

1 待受画面で ▶ 「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ **決定** を押す

2 動画が添付されているメールを選択 ▶ **決定** を押す

3 ▶ 「7 添付データを操作」を押す

4 動画を選択 ▶ **決定** ▶ 「1 表示する」または「2 保存する」を押す

- 動画再生中の操作については「動画の再生」をご覧ください。→P.119

添付データをすべて保存する場合： を押す

✓お知らせ

- 保存した添付動画は「保存したビデオ」アルバムで確認できます。→P.119
- 動画によっては正しく再生できない場合があります。
- 送信メール詳細画面から操作する場合は、 ▶ 「6 添付データを操作」を押します。
- 動画の保存領域の空きが足りないときは、空き容量が不足している旨の通知画面が表示されます。不要なファイルを削除して保存し直してください。

メールの設定

メールに関するさまざまな設定を行います。

1 待受画面で ▶ 「9 メールを設定する」を押す

メール設定のメニュー画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

- 1 メールに付ける署名を設定する：→P.81
- 2 例文・テンプレートを確認・編集する：→P.74
- 3 メール返信引用を設定する：→P.81
- 4 らくらく返信を設定する：→P.81
- 5 らくらく返信の本文を編集する：→P.82
- 6 メールの振り分けを設定する：→P.82
- 7 共通の設定をする：自動通信や本文保持件数、添付ファイルを本文と同時に受信するかどうかを設定します。
- 8 海外自動通信を設定する：海外ローミング中にメールを自動受信するかどうかを設定します。
- 9 電話帳登録名表示を設定する：メールの宛先／送信元に電話帳に登録された名前を表示するかどうかを設定します。
- 0 デコメカテゴリの表示を設定する：→P.75
- * デコメカテゴリを更新する：デコメ®ピクチャのカテゴリを更新します。
- # その他の設定をする：自分のメールアドレスの確認、メール削除動作、迷惑メールの設定、dアカウントの設定などができます。

2 「1 メールに付ける署名を設定する」～「# その他の設定をする」のいずれかを押す

共通の設定をする場合：「7 共通の設定をする」▶ 「1 自動通信を設定する」～ 「3 添付ファイル自動取得を設定する」のいずれかを押す

海外ローミング中の自動通信を設定する場合：「8 海外自動通信を設定する」▶ 「1 自動で通信する」～ 「3 通信しない」のいずれかを押す

電話帳の登録名表示を設定する場合：「9 電話帳登録名表示を設定する」▶ 「1 表示する」または 「2 表示しない」を押す

その他の設定をする場合：「# その他の設定をする」▶ 「1 自分のメールアドレスを見る」～ 「7 Wi-Fi・dアカウントを設定する」のいずれかを押す

◆ 署名設定

メール作成時に、本文に付ける署名を登録したり、自動挿入するかどうかを設定したりします。

1 待受画面で ▶ 「9 メールを設定する」▶ 「1 メールに付ける署名を設定する」を押す

2 「1 自動挿入」▶ 「1 挿入する」または 「2 挿入しない」を押す

3 「2 署名登録」▶ 署名を入力 ▶ **決定** を押す

4 を押す **決定** を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 署名も本文の文字数に含まれます。

◆ メール返信引用設定

受信メールの一覧や詳細画面で、 を押して返信メールを作成するときに、受信元の本文を引用するかどうかと、引用する本文の先頭に付ける引用文字を設定します。

1 待受画面で ▶ 「9 メールを設定する」▶ 「3 メール返信引用を設定する」を押す

2 「1 返信引用」▶ 「1 引用する」または 「2 引用しない」を押す

3 「2 引用符編集」▶ 引用文字を入力する

4 を押す **決定** を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 引用できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

◆ らくらく返信設定

メールに返信するときに、らくらく返信を利用するかどうかを設定します。

1 待受画面で ▶ 「9 メールを設定する」▶ 「4 らくらく返信を設定する」を押す

2 「1 利用する」または 「2 利用しない」を押す **決定** を押すとメニュー画面に戻ります。

❖ らくらく返信本文編集

らくらく返信の本文を編集して、よく使う文章に変更することができます。

1 待受画面で ▶ 「9 メールを設定する」▶ 「5 らくらく返信の本文を編集する」を押す

2 編集する本文を選択 ▶ **決定** ▶ 本文を入力▶ **決定** ▶ 「1 上書きする」を押す
決定 を押すとらくらく返信本文一覧に戻ります。

◆ メール振り分け設定

振り分け条件を設定し、受信または送信したメールを自動的にフォルダに振り分けれます。

- 受信／送信メールの振り分け条件は、それぞれ20件登録できます。
- フォルダの作成方法→P.83

❖ メール振り分け条件を設定

メールをフォルダに振り分ける条件を設定します。
• 送受信済みのメールは振り分けられません。

〈例〉受信メールの振り分け条件を設定する

1 待受画面で ▶ 「9 メールを設定する」▶ 「6 メール振り分けを設定する」を押す

2 「1 受信振り分け条件」を押す
送信メールの条件を設定する場合：「2 送信振り分け条件」を押す

3 振り分けるフォルダを選択 ▶ **決定** を押す
• 振り分け条件が既に登録されている場合は、振り分け条件の一覧が表示されます。条件を追加する場合は を押します。
• マークの意味は次のとおりです。
：メールアドレス
：題名
：電話帳グループ

4 「1 メールアドレス」を押す
題名で振り分ける場合：「2 題名」▶ 題名を入力▶ **決定** を押す
電話帳グループで振り分ける場合：「3 電話帳グループ」▶ グループを選択 ▶ **決定** を押す

5 「3 電話帳から選ぶ」▶ 電話帳を検索 ▶ 振り分ける相手を選択 ▶ **決定** ▶ メールアドレスを選択 ▶ **決定** を押す

- 検索方法→P.67

最近送受信した履歴から選択する場合：「1 最近送信した人」または「2 最近受信した人」▶ 履歴を選択 ▶ **決定** を押す
決定 を押すと設定したフォルダの振り分け条件一覧が表示されます。

✓お知らせ

- 受信／送信メールのフォルダ一覧から操作する場合は、 ▶ 「7 振り分け条件設定」を押します。

❖ メール振り分け条件の削除・変更

設定したメール振り分け条件を削除したり、変更したりします。

〈例〉条件を1件削除する

1 待受画面で ▶ 「9 メールを設定する」▶ 「6 メール振り分けを設定する」を押す

2 「1 受信振り分け条件」を押す
送信メールの条件を操作する場合：「2 送信振り分け条件」を押す

3 削除／変更する振り分け条件を選択 ▶ **決定** を押す

4 ▶ 「3 削除する」を押す
条件を変更する場合： ▶ 「2 編集する」を押す

5 「1 削除する」を押す
決定 を押すと振り分け条件一覧画面に戻ります。振り分け条件がなくなったときは、メール振り分け設定画面に戻ります。

✓お知らせ

- 受信／送信メールのフォルダ一覧から操作する場合は、 ▶ 「7 振り分け条件設定」を押します。

メッセージサービス

メッセージサービスを提供するサイトに申し込む(メッセージR)、またはメールの初回起動時に利用許諾に同意する(メッセージS)と、メッセージが自動的に受信できます。

- 受信したメッセージR/Sは受信メールの「メッセージR」フォルダまたは「メッセージS」フォルダに保存されます。→P.79
- 本端末を閉じているときに受信が完了すると、背面ディスプレイに「メッセージR受信」または「メッセージS受信」と表示されて **R** または **S** が表示されます。

✓お知らせ

- 次のような場合に送られてきたメッセージR/Sはセクターに保管されます。
 - 電源が入っていないとき
 - 機内モード中
 - おまかせロック中
 - 受信に失敗したとき
 - 圏外するとき

メールの管理

本端末には、メールをより使いやすくするためのさまざまな管理機能があります。

◆メールフォルダの管理

〈例〉受信メールのフォルダを追加する

1 待受画面で  ▶ 「1 受信したメールを見る」を押す

2  ▶ 「1 フォルダを追加」▶ フォルダ名を入力する

フォルダ名を変更する場合：フォルダ名を変更するフォルダを選択 ▶  ▶ 「3 フォルダ名変更」▶ フォルダ名を入力する

フォルダを削除する場合：削除するフォルダを選択 ▶  ▶ 「2 フォルダを削除」▶ 「1 削除する」▶ **決定** を押す

- フォルダ内にメールが残ったままフォルダを削除するときは、端末暗証番号を入力 ▶ **決定** を押します。

メール保存件数を確認する場合：件数を確認するフォルダを選択 ▶  ▶ 「6 メール件数確認」を押す

3 **決定** を押す

決定 を押すとフォルダ一覧に戻ります。

✓お知らせ

- お買い上げ時に登録されているフォルダのフォルダ名は変更できません。
- お買い上げ時に登録されているフォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護を解除してからフォルダを削除してください。

◆他のフォルダへのメール移動

受信/送信メールを別のフォルダに移動します。

〈例〉受信メールを他のフォルダに移動する

1 待受画面で ▶ 「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ **決定** を押す

2 移動するメールを選択 ▶ ▶ 「5 フォルダへ移動」を押す

3 「1 選択1件」を押す

複数選択して移動する場合：「2 選択複数件」

▶ 移動するメールを選択 ▶ **決定** ▶ を押す

• **決定**：メールを選択/解除します。

フォルダ内のメールを全件移動する場合：「3 フォルダ内全件」▶ **決定** を押す

4 移動先のフォルダを選択 ▶ **決定** を押す
決定 を押すと受信メール一覧に戻ります。

✓お知らせ

• 送信メール一覧から操作する場合は、移動するメールを選択 ▶ ▶ 「4 フォルダへ移動」を押します。

◆メールの削除

受信/送信/未送信メールから不要なメールを削除します。

• 保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合でも、保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除してから削除してください。

〈例〉受信メールを1件削除する

1 待受画面で ▶ 「1 受信したメールを見る」を押す

2 フォルダを選択 ▶ **決定** を押す

3 削除するメールを選択 ▶ ▶ 「3 削除する」を押す

未送信/送信メール一覧から操作する場合：削除するメールを選択 ▶ ▶ 「2 削除する」を押す

メッセージR/S一覧から操作する場合：削除するメールを選択 ▶ ▶ 「1 削除する」を押す

4 「1 選択1件」を押す

複数選択して削除する場合：「2 選択複数件」

▶ 削除するメールを選択 ▶ **決定** ▶ を押す

• **決定**：メールを選択/解除します。

フォルダ内のメールを全件削除する場合：「3 フォルダ内全件」▶ 端末暗証番号を入力 ▶ **決定** を押す

5 「1 削除する」を押す

決定 を押すと受信メール一覧に戻ります。

◆メール削除動作設定

メールを削除した場合の動作を設定します。

1 待受画面で ▶ 「9 メールを設定する」▶ 「# その他の設定をする」▶ 「3 メール削除の動作を設定する」を押す

2 「1 ごみ箱に移動」または「2 完全に削除する」を押す

決定 を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

• ごみ箱に移動したメールを完全に削除する場合は、待受画面で ▶ ▶ 「2 ごみ箱のメール」▶ ▶ 「2 削除する」または「3 ごみ箱内を削除」を押します。

◆メールの保護/解除

受信/送信/未送信メールを誤って削除したり、保存領域の空きがなくなって上書きされないように、メールを保護します。

〈例〉受信メールを保護する

1 待受画面で ▶ 「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ **決定** を押す

2 保護するメールを選択 ▶ ▶ 「4 保護/解除する」を押す

送信/未送信メール一覧から操作する場合：保護するメールを選択 ▶ ▶ 「3 保護/解除する」を押す

メッセージR/S一覧から操作する場合：保護するメールを選択 ▶ ▶ 「2 保護/解除する」を押す

3 「1 選択1件保護」～「3 フォルダ内全保護」のいずれかを押す

• メールを保護すると マークが表示されます。

保護を解除する場合：「4」選択1件解除」～

「6」フォルダ内全解除」のいずれかを押す

- 「2」選択複数件保護」または「2」選択複数件解除」を押した場合は保護／解除するメールにチェックを付ける▶「戻る」を押します。

✓お知らせ

- メール詳細画面から操作する場合は、「戻る」▶「保護する」または「保護を解除」を押します。

◆メール一覧の表示方法変更

受信メール一覧を一時的にメールの状態別に表示します。

1 待受画面で「受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

2 「戻る」▶「7」表示方法を変更」を押す

3 「1」全て表示」または「2」未読のみ表示」を押す

✓お知らせ

- 受信メール一覧の表示を終了すると「全て表示」に戻ります。

◆メールの表示サイズ設定

受信／送信メールなどの内容を表示するときのサイズを変更します。

- 本機能の設定は受信／送信メール、メール作成中の本文すべてに反映されます。

〈例〉受信メール詳細画面の表示サイズを変更する

1 待受画面で「受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定▶メールを選択▶決定を押す

2 「戻る」▶「6」表示サイズを変更」を押す
送信メール詳細画面から操作する場合：「戻る」▶「5」表示サイズを変更」を押す

3 「1」大きく表示」～「3」小さく表示」のいずれかを押す

✓お知らせ

- 表示サイズを変更すると、次にメールを表示するときも同じ表示サイズで表示されます。

◆メールの送信元／宛先確認

メールに表示されているメールアドレスや電話帳の名前がすべて表示されない場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。

〈例〉受信メールのメールアドレスを確認する

1 待受画面で「受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

2 メールアドレスを表示するメールを選択▶「戻る」▶「8」差出人等を確認」を押す

- 決定を押すと受信メール一覧に戻ります。

✓お知らせ

- 未送信／送信メール一覧から操作する場合は、メールアドレスを表示するメールを選択▶「戻る」▶「宛先を確認」を押します。
- 受信／送信メール詳細画面から操作する場合は、「戻る」▶「*」差出人等を確認」または「0」宛先を確認」を押します。

迷惑メール対策を行う

ドコモメール設定サイトや受信したメールから、迷惑メールの対策ができます。

- ドコモメール設定サイトからは、メールアドレスやドメインの指定受信や指定拒否、特定URL付メール拒否、大量送信者からのメール拒否などの設定ができます。→P.86

また、ドコモがオススメする設定値に一括で変更できる「かんたん設定」もご利用できます。

- 受信したメールからは、簡単にメールアドレスやドメインを指定受信や指定拒否に追加することができます。→P.86

受信済みのメールから個別に設定を行う場合はこちらをオススメします。

◆ドコモメール設定サイトから設定を行う

ドコモメール設定サイトに接続することで迷惑メール対策の設定が行えます。

- 1 待受画面で  ▶ 「**8** メールアドレスを確認・変更する」を押す

- 2 「**1** 接続する」を押す

- 接続確認画面が表示された場合は、内容を確認し、「**1** 利用する」を選択してください。

- 3 ドコモメール設定サイトへ遷移後、迷惑メール対策の設定を行う

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

◆受信したメールから設定を行う

受信したメールを指定して、指定受信／拒否設定が行えます。

- 1 待受画面で  ▶ 「**1** 受信したメールを見る」を押す

- 2 フォルダを選択 ▶ **決定** を押す

- 3 設定するメールを選択 ▶  ▶ 「**#** 受信／拒否設定」を押す

- 4 「**1** 接続する」を押す

- 5 ドコモメール設定サイトへ遷移後、指定受信／拒否設定を行う

メール／インターネット

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ

- メール詳細画面から操作する場合は、メールアドレス（本文中も含む）を選択 ▶  ▶ 「受信／拒否設定」を押します。

◆迷惑メール報告をする

■ドコモにおける取り組み

広告または宣伝などを内容とした電子メールを、受信者の同意を得ずに送信したり、表示義務を遵守せずに送信したりする、いわゆる迷惑メールが届くケースが引き続き発生しております。

お寄せいただいた情報は、迷惑メール送信者の利用停止などに活用させていただきます。

また、携帯電話事業者間で相互に情報を提供させていただきます。

■迷惑メールおまかせブロックご利用の方へ

迷惑メールおまかせブロックの自動判定機能をご利用の方で、迷惑メールと適切に判定されず迷惑メールフォルダに振り分けられなかったメールに関して、対象のメールをシマンテックへ報告していただくことで判定エンジンの精度向上に活用させていただきます。→P.87

◇迷惑メール報告の方法

迷惑メールを受信したときに、ドコモへ迷惑メールとして報告する手順を説明します。

- 1 待受画面で  ▶ 「**1** 受信したメールを見る」を押す

- 2 フォルダを選択 ▶ **決定** を押す

- 3 報告するメールを選択 ▶  ▶ 「***** 迷惑メール報告」を押す

- 4 画面の内容を確認し **決定** を押す

迷惑メールおまかせブロックをご利用の方の場合：報告先を選択 ▶ 「**1** 同意する」を押す

- メール作成画面が表示されます。

- 5 **決定** を押す

✓お知らせ

- 迷惑メール報告では迷惑メール対策設定に反映されませんので、指定受信／拒否設定から拒否設定を行ってください。

◇迷惑メール報告に関する注意事項

■迷惑メール報告全般に関して

- プライバシー情報を含むメールは、送信しないでください。
- 保護されているメールの迷惑メール報告はご利用いただけません。
- 迷惑メール報告の送信可能サイズは添付ファイル含め最大約5Mバイトです。
- 迷惑メール報告後、元メールはごみ箱へ移動されます。
- お寄せいただくメールへの返信はしておりません。
- パソコンなどから送信される迷惑メールについては、一般財団法人日本データ通信協会にて迷惑メールの情報収集を行っておりますので、お手数ですがお客様より情報提供をお願いいたします。
- 一般財団法人日本データ通信協会の受付窓口などについては、一般財団法人日本データ通信協会のホームページでご確認いただくか、ドコモのホームページにも記載しておりますのでご確認ください。
(ドコモホームページTOP▶「お知らせ」▶「迷惑メールでお困りの方へ」▶「迷惑メール報告のお願い」を選択)

■シマンテックへ報告する場合に関して

迷惑メール報告の対象となるメールは、迷惑メールおまかせブロックにおいて迷惑メール自動判定機能を利用したメールが対象となります。
シマンテックへの報告には、判定エンジンの精度向上のために必要となる迷惑メールの原文を添付して送付します。

◆誤判定メール報告をする

■迷惑メールおまかせブロックご利用の方へ

迷惑メールおまかせブロックの自動判定機能をご利用の方で、適切に判定されず迷惑メールフォルダに振り分けられたメールに関して、対象のメールを迷惑メール判定エンジンの提供元であるシマンテックへ報告していただくことで判定エンジンの精度向上に活用させていただきます。

◇誤判定メール報告の方法

シマンテックへ報告する手順は次のとおりです。

- 1 待受画面で ▶「**1** 受信したメールを見る」を押す
- 2 フォルダを選択▶ **決定**▶ 誤判定メールを選択▶ **決定**を押す
- 3 ▶「誤判定メール報告」を押す
- 4 画面の内容を確認し **決定**を押す
 - ・メール作成画面が表示されます。
- 5 **決定**を押す

◇誤判定メール報告に関する注意事項

■誤判定メール報告全般に関して

- プライバシー情報を含むメールは、送信しないでください。
- 誤判定メール報告の送信可能サイズは添付ファイル含め最大約10Mバイトです。
- 誤判定メール報告後、元メールは受信フォルダへ移動されます。
- お寄せいただくメールへの返信はしておりません。
- 誤判定メール報告の対象となるメールは、迷惑メールおまかせブロックにおいて迷惑メール自動判定機能を利用したメールが対象となります。
- シマンテックへの報告には、判定エンジンの精度向上のために必要となる誤判定メールの原文を添付して送付します。

◆迷惑メールフォルダ表示を変更する

迷惑メールおまかせブロックご利用者は保存された迷惑メールのフォルダ（「迷惑メール_ドコモ用」フォルダ）の表示／非表示を変更できます。

- 1 待受画面で  ▶ 「9 メールを設定する」を押す
- 2 「# その他の設定をする」▶ 「6 迷惑メールおまかせブロックの設定」を押す
- 3 「1 迷惑メールフォルダの表示を設定する」▶ 「1 表示する」または「2 表示しない」を押す

◆迷惑メールフォルダ表示変更時の注意事項

■「表示する」に変更した場合

「表示する」に変更するとクラウドサーバ上にある迷惑メールフォルダ内のメールデータが取得されます。メールデータの取得にはデータ通信が発生する可能性がありますのでWi-Fi環境で実施することをお奨めします。

取得中に中断をした場合は「表示する」に変更されますが、迷惑メールフォルダ内の全てのメールデータが取得できない可能性があり、以降「迷惑メール_ドコモ用」フォルダを選択した際には、メールデータの取得のためのダイアログが表示されます。

■「表示しない」に変更した場合

「表示しない」に変更すると取得済みのメールデータの削除が行われます。この操作ではクラウドサーバ上のデータは変更されません。

削除中に中断をした場合は、表示設定は「表示する」のままとなります。その際、削除済みのメールデータの復旧は行われません。

SMS

携帯電話番号を宛先にして文字メッセージを送受信します。

- 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス（SMS）」をご覧ください。

◆SMSの作成

SMSを作成して送信します。

- 1 待受画面で  ▶ 「4 SMSを見る・作る」▶  を押す
- 2 「2 番号を直接入力」を押す
電話帳から宛先を選択する場合：「1 電話帳から選択」▶ 電話帳を検索 ▶ 送信する相手を選択 ▶  ▶ 電話番号を選択 ▶  を押す
• 検索方法→P.67
- 3 宛先を入力 ▶  を押す
- 4 本文欄を選択 ▶  ▶ 本文を入力 ▶  を押す
- 5 「送信する」を選択 ▶  を押す
作成中のSMSを保存する場合： ▶ 「1—時保存する」を押す

✓お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様の間でも、送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合は、「+」（0を1秒以上押す）「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力するか、または「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（受信した海外からのSMSに返信する場合も、「+」または「010」を入力します）。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。
- 受信側の端末によっては文中の改行が空白に置き換わって表示されます。改行も本文の文字数に含まれません。
- 発信者番号通知を「通知しない」に設定していても、SMS送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを送信できない旨のメッセージが表示され、SMSを作成できません。不要なSMSを削除してください。→P.84
- 電波状態や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。

- ・送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。→P.90
- ・送信に失敗したときはスレッドに保存されます。保存されたSMSは再送信できません。→P.89
- ・送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手の端末に届いたことをお知らせする送達通知が送られてきます。ただし、他社携帯電話宛に送信したときは、送達通知が届かない場合があります。

◆SMSを受信したときは

SMSが送られてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、振動、ランプでお知らせします。

- ・受信したSMSはスレッドに保存されます。→P.89
- ・本端末を閉じているときにメッセージの受信が完了すると、「メッセージ受信」と送信元の電話番号または電話帳の名前が表示されます。

✓お知らせ

- ・本端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されているSMSは削除されます。

◆送受信したSMSの表示

保存されているSMSを表示します。

1 待受画面で  ▶ 「**4**SMSを見る・作る」を押す

2 表示する相手を選択 ▶ **決定** を押す

3 表示するSMSを選択する

- ・マークの意味は次のとおりです。

- : 受信SMS
- : 送信SMS
- : 送達通知のSMS
- : 送信失敗のSMS

未送信SMSを再編集する場合：「**1**再開する」を押す

SMSを削除する場合：削除するSMSを選択

 ▶ 「**2**メッセージを削除」▶ 「**1**1件削除」または「**2**全件削除」▶ 「**1**削除する」を押す

✓お知らせ

- ・海外通信事業者からSMSを受信した場合は、送信元のアドレスに自動的に「+」が付きます。電話帳に「+」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。
- ・同じ相手のSMSをすべて削除する場合は、相手先一覧で  ▶ 「**4**削除」▶ 削除する相手を選択 ▶  ▶ 「**1**削除する」を押します。

◆SMSに返信

受信したSMSに返事を出します。

1 待受画面で  ▶ 「**4**SMSを見る・作る」を押す

2 返信する相手を選択 ▶ **決定** を押す

3 返信するSMSを選択 ▶  を押す

4 本文を編集して送信する

- ・以降の操作は「SMSの作成」をご覧ください。→P.88

◆ドコモnanoUIMカード内SMSの操作

他の端末でドコモnanoUIMカードに保存したSMSを本端末にコピー／削除します。

- ・本端末のSMSをドコモnanoUIMカードにコピーすることはできません。

1 待受画面で  ▶ 「**4**SMSを見る・作る」を押す

2  ▶ 「**6**ドコモUIMカードのSMS」を押す

3 コピー／削除するSMSを選択 ▶ **決定** ▶ 「**1**本体にコピーする」または「**2**削除する」を押す

◆SMSの設定

SMSを利用する際の各種条件を設定します。

通常はSMSセンター番号の設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で ▶ 「4」SMSを見る・作る ▶ ▶ 「5」設定を押す

SMS設定の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

- 1 着信ランプ：SMS受信時にランプで知らせるかどうかの設定をします。
- 2 送達通知：SMSを送信する際に、相手に届いたことを知らせる送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。
- 3 SMSセンター番号：他社／海外のSIMで端末を利用する場合に、SMSを送信するのに必要なSMSセンターの番号を設定します。

2 「1」着信ランプ～「3」SMSセンター番号のいずれかを押す

着信ランプを設定する場合：「1」着信ランプ

▶ 「1」点灯する」または「2」点灯しない」を押す

送達通知を設定する場合：「2」送達通知 ▶

「1」要求する」または「2」要求しない」を押す

SMSセンター番号を設定する場合：「3」SMSセンター番号 ▶ 番号を入力 ▶ 決定 ▶ 「1」変更する」または「2」変更しない」を押す

3 を押す

 を押すとスレッド画面に戻ります。

✓お知らせ

- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手の端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知のSMSマークで確認できます。→P.89

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。
- 次のような場合は受信できません。
 - 電源が入っていない場合や圏外の場合
 - 通話中（VoLTEを利用した通話中を除く）
 - 機内モード中
 - おまかせロック中
 - お預かりセンター接続中
 - 赤外線通信／microSDカード使用中
 - ソフトウェア更新中
- 次のような場合は、受信できないことがあります。
 - パソコンとつないだパケット通信中
- 次のような場合は、受信しても受信完了画面または内容表示画面は表示されません。
 - 運転中モード設定中
 - カメラ起動中
 - アラーム鳴動中

◆ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールは自動的に受信します。

1 エリアメールを受信する

[1]が点灯し、充電ランプが点滅し、専用のブザー警報音または専用着信音が鳴り、内容表示画面または受信完了画面が表示されます。

- エリアメール受信時の着信音、内容表示画面または受信完了画面のどちらが表示されるかは配信元の設定によります。
- 内容表示画面は **[決定]**、**[戻る]**、**[閉じる]**のいずれかを押しと、受信完了画面は任意のボタンを押すか約15秒間何も操作しないと消えます。
- お買い上げ時はマナーモード中、運転中モード設定中でも鳴動します。なお、各モードに従い鳴動しないように設定できます。→P.91
- 本端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「メッセージ受信 エリアメール」が表示されます。

✓お知らせ

- エリアメールは50件まで保存できます。
- 受信メールの保存領域の空きや最大保存件数に関わらず、エリアメールの最大保存件数を超えるときは、古いエリアメールから順に削除されます。
- エリアメールの内容表示画面が表示されているときは、目覚ましやスケジュール帳などの指定日時になってもアラームは鳴りません。

◆ 受信したエリアメールの表示

受信したエリアメールを表示します。

1 待受画面で **[メニュー]** ▶ **[6] あんしん機能を使う** ▶ **[3] エリアメールを使う** を押す

2 エリアメールを選択 ▶ **[決定]** を押す

エリアメールを削除する場合：削除するエリアメールにチェックを付ける ▶ **[メニュー]** ▶ **[4] 削除** を押す

アプリ情報を確認する場合： **[メニュー]** ▶ **[2] アプリ情報** を押す

◆ 緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールに関連したさまざまな設定をします。

1 待受画面で **[メニュー]** ▶ **[6] あんしん機能を使う** ▶ **[3] エリアメールを使う** を押す

2 **[メニュー]** ▶ **[1] 設定** を押す

緊急速報「エリアメール」設定の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

エリアメールを受信します：緊急速報「エリアメール」を受信するかを設定します。

鳴動・マナーモード動作設定：緊急情報を受信したときに鳴る専用のブザー警報音の鳴動時間を設定したり、マナーモード設定中、運転中モード設定中にエリアメールを受信したときの鳴動方法を設定します。

受信画面・着信音確認：エリアメールの受信画面や専用のブザー警報音、着信音を確認します。

やさしい日本語表示：緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかを設定します。

3 「エリアメールを受信します」～「やさしい日本語表示」のいずれかを押す

エリアメールを受信する場合：「エリアメールを受信します」 ▶ **[決定]** を押す

設定した項目には が表示されます。

ブザー警報音の鳴動時間を設定する場合：「鳴動・マナーモード動作設定」 ▶ 「鳴動時間を設定します」 ▶ ブザーを鳴らす時間を入力 ▶ **[電話機]** ▶ **[決定]** を押す

マナーモード中などに鳴動音を鳴らす場合：「鳴動・マナーモード動作設定」 ▶ 「マナーモード時も音を鳴らします」 ▶ **[決定]** を押す

設定した項目には が表示されます。

エリアメールの受信画面やブザー警報音を確認する場合：「受信画面・着信音確認」 ▶ 「緊急地震速報」～「災害・避難情報」のいずれか ▶ **[1] 音を鳴らす** ▶ 「閉じる」を押す

やさしい日本語表示に設定する場合：「やさしい日本語表示」 ▶ **[決定]** を押す
設定した項目には が表示されます。

メール送受信履歴

送受信したメールの宛先や送信元をメールの履歴として記録しておく機能です。この履歴を利用して、メールを作成したり、電話帳に登録したりできます。

- 同じ宛先にメールを送信した場合は、送信履歴には最新の1件が記録されます。
- 返信不可のメールは受信履歴に記録されません。

◆メール送受信履歴の表示

記録されているメール送受信履歴を表示します。

- 1 待受画面で  ▶ 「0 メールを送受信した人を見る」▶ 「1 最近送信した人を見る」または「2 最近受信した人を見る」を押す
 - ：押すたびに一覧画面と詳細画面が切り替わります。

◆メール送受信履歴の利用

メール送受信履歴表示中に次の操作ができます。

- メールを作成する場合：送受信履歴一覧でメールを作成するメールの履歴を選択 ▶  を押す**
- 以降の操作は「簡単メールの作成・送信」(→P.72)、「通常メールの作成・送信」(→P.73)をご覧ください。

- 電話帳に新規登録する場合：送受信履歴一覧で電話帳に登録する履歴を選択 ▶  ▶ 「2 電話帳に登録」を押す**

- 以降の操作は「電話帳の登録のしかた」をご覧ください。→P.66

電話帳に追加登録する場合：

- ① 送受信履歴一覧で電話帳に追加登録する履歴を選択 ▶  ▶ 「3 電話帳に追加」を押す
 - 検索方法→P.67
- ② 登録先の相手を選択 ▶  を押す
 -  を押すとワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- ③ 「2 終了する」を押す

◆メール送受信履歴の削除

〈例〉送受信履歴を1件削除する

- 1 待受画面で  ▶ 「0 メールを送受信した人を見る」▶ 「1 最近送信した人を見る」または「2 最近受信した人を見る」を押す
- 2 削除する履歴を選択 ▶  ▶ 「4 削除する」を押す
- 3 「1 選択1件」を押す
送受信履歴を全件削除する場合：「2 全件」▶ 端末暗証番号を入力 ▶  を押す
- 4 「1 削除する」を押す
 を押すと履歴一覧画面に戻ります。

メールの便利な機能

メールの文字をコピーします。本文中に電話番号やメールアドレスがあるときは、電話帳に登録できません。

◆メールの本文などのコピー

表示中のメールの内容をコピーします。コピーした文字はメール作成画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- 選択中（反転表示されている）の項目、題名、本文、メールアドレス（宛先／差出人）からコピーできます。
- コピーした文字は新たにコピーを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

〈例〉受信メール詳細画面からコピーする

1 待受画面で ▶ 「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ **決定** ▶ メールを選択 ▶ **決定** を押す

2 ▶ 「8 内容をコピー」を押す

3 「1 選択中の項目」～「4 メールアドレス」のいずれかを押す

決定 を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

- 「メールアドレス」を押した場合に、複数のメールアドレスがあるときは、コピーするメールアドレスを選択して **決定** を押します。
- 「本文」を押した場合はコピーする範囲を指定します。
- 文字のコピー方法については「文字のコピー／切り取り／貼り付け」をご覧ください。→ P.44

✓お知らせ

- 送信メール詳細画面から操作する場合は、 ▶ 「7 内容をコピー」を押します。
コピーできる内容はコピー元によって異なります。

◆メール本文中の電話番号やメールアドレスの電話帳登録

メールの詳細画面からメールアドレスや電話番号を本端末電話帳に登録します。

〈例〉受信メール詳細画面から電話帳登録する

1 待受画面で ▶ 「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ **決定** ▶ メールを選択 ▶ **決定** を押す

2 項目を選択 ▶ ▶ 「9 登録する」を押す

3 「1 電話帳新規登録」または「2 電話帳追加登録」を押す

新規登録する場合：「1 電話帳新規登録」を押す

- 以降の操作は「電話帳の登録のしかた」をご覧ください。→P.66

追加登録する場合：

① 「2 電話帳追加登録」▶ 電話帳を検索 ▶ 登録先の相手を選択 ▶ **決定** を押す

決定 を押すとワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- 検索方法→P.67

② 「2 終了する」を押す

✓お知らせ

- 送信メール詳細画面から操作する場合は、 ▶ 「8 登録する」を押します。

インターネット

パソコンと同じようにインターネットのサイトをご覧になります。パケット通信またはWi-Fi機能を利用して、ブラウザ（サイトを閲覧するためのアプリ）でインターネットに接続します。

◆dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめるサイトやお客様サポートなどに簡単にアクセスすることができます。

1 待受画面で  ▶ 「1 dメニューを見る」を押す

- 接続確認画面が表示された場合は、内容を確認し、「1 利用する」を選択してください。

✓お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続には、別途パケット通信料がかかります。
- dメニューで紹介しているサイトには、一部有料のコンテンツが含まれる場合があります。

◆ブラウザ起動

インターネットに接続して、さまざまなサイトを表示します。

1 待受画面で  ▶ 「1 dメニューを見る」を押す

- 接続確認画面が表示された場合は、内容を確認し、「1 利用する」を選択してください。

2 見たい項目を選択 ▶ **決定** を押す

3 見終わったら  /  ▶ 「1 はい」を押す

✓お知らせ

-  を押してもサイトに接続できません。

◆Google™ 検索

検索サイトのGoogleを表示します。Googleを利用してサイトを検索できます。

1 待受画面で  ▶ 「5 Google検索を使う」を押す

- 接続確認画面が表示された場合は、内容を確認し、「1 利用する」を選択してください。

◆URL入力

URLを入力してサイトを表示できます。

1 待受画面で  ▶ 「4 URLを入力して接続する」を押す

2 **決定** ▶ URLを入力 ▶ **決定** ▶  を押す

✓お知らせ

- サイト画面から操作する場合は、**戻る** ▶ 「9 別サイトに移動」 ▶ 「1 URLを入力」を押します。

◆サイト閲覧履歴

閲覧したサイトのURL履歴からサイトを表示できます。

1 待受画面で  ▶ 「3 サイト履歴から接続する」を押す

2 表示するURLを選択 ▶ **決定** を押す

URL履歴を削除する場合：削除するURLを選択 ▶ **戻る** ▶ 「2 削除する」 ▶ 「1 選択1件」または「2 全件」 ▶ 「1 削除する」 ▶ **決定** を押す

- URL履歴を全件削除する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

◆サイト表示中のボタン操作

サイト画面では次のボタン操作ができます。

カーソルの移動（ケータイモード）： /  を押す

ポインタの移動（マウスモード）： /  /  を押す

画面の上下スクロール： /  を1秒以上押す
項目を選択／リンク先へ移動：**決定** を押す

- マウスモード中は、項目やリンクを操作できる場合はポインタが  に切り替わります。

表示の拡大／縮小： /  を押す

-  を1秒以上押すと、拡大／縮小を解除できます。

サブメニューの利用：**戻る** を押す

前後のページに移動：**戻る** ▶ 「1 戻る」または「2 進む」を押す

前後のページに移動（ケータイモード）： /  を押す

◆マウスモード／ケータイモードの切り替え

- 1 サイト画面で  ▶ 「 マウスモード」または「 ケータイモード」を押す

◆便利な機能

表示中の画面（サイト、画面メモなど）の電話番号やe-mailアドレス、URLから直接電話をかけたり、メール作成や電話帳に登録することもできます。また、サイトから画像などを本端末に保存することもできます。

- サイトやホームページ、パソコンなどから送信されたメールによっては利用できない機能があります。

◆表示中画面からの電話発信

表示中の画面にある電話番号から、直接電話をかけます。

〈例〉サイト内の電話番号に電話をかける

- 1 サイト画面で電話番号を選択 ▶  を押す
電話番号を電話帳に登録する場合：電話番号を選択 ▶  ▶ 「 URL確認・利用」 ▶ 「 電話帳に登録」を押す

- 2 「 電話をかける」を押す

◆表示中画面からのメール送信

表示中の画面にあるメールアドレスから、直接メールを作成します。

〈例〉サイト内のメールアドレスにメールを送信する

- 1 サイト画面でメールアドレスを選択 ▶  を押す
• 以降の操作は「簡単メールの作成・送信」（→ P.72）、「通常メールの作成・送信」（→ P.73）をご覧ください。

◆URLのコピー

表示中のサイトや画面メモのURLをコピーしたり、メール作成したりすることができます。

- コピーした文字は新たにコピーを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

〈例〉サイトのURLをコピーする

- 1 サイト画面で  ▶ 「 URLの確認・利用」を押す

- 2 「 URLを表示」 ▶  ▶ 「 URLをコピー」を押す

証明書を表示して確認する場合：「 証明書詳細表示」を押す

メール本文に挿入する場合：「 メールを作る」を押す

- 以降の操作は「簡単メールの作成・送信」（→ P.72）、「通常メールの作成・送信」（→ P.73）をご覧ください。

- 3 コピーする範囲を選択 ▶  を押す

- 文字のコピー方法については「文字のコピー／切り取り／貼り付け」をご覧ください。→ P.44

◆画像のダウンロード

サイトから画像などを本端末に保存します。

- 1 画像のあるサイトを表示して  ▶ 「 画像を保存」を押す
マウスモードのポインタが表示されます。

- 2  /  /  /  でポインタを移動 ▶  を押す
• 画像を選択できる場合はポインタが  に切り替わります。

- 3  ▶ 保存した画像を確認 ▶  を押す

■ダウンロード履歴

サイトからダウンロードした画像などを確認します。

- 1 待受画面で  ▶ 「 ダウンロード履歴を見る」を押す
- 2 ダウンロードしたデータを選択 ▶  を押す

ダウンロードしたデータを削除する場合：

 ▶ 「 削除する」 ▶ 「 選択1件」または「 全件」を押す

- ダウンロードしたデータを全件削除する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

◆ブックマーク

よく見るサイトやインターネットホームページをブックマークに登録しておくと、ブックマークを選択するだけで、サイトやインターネットホームページをすばやく表示することができます。

❖ブックマークの登録

ブックマークを5個のフォルダに分けて登録できます。

1 サイト画面で **(Xニュー)** ▶ 「4 ブックマークに登録」を押す

2 登録先フォルダを選択 ▶ **決定** を押す
決定 を押すとサイト表示に戻ります。

✓お知らせ

- ブックマークが最大保存件数を超えるときは、登録済みのブックマークを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従い書き換えるブックマークを選択します。
- すでに同じURLが登録されているときは、ブックマークを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。書き換える場合は「1書きかえる」を押します。
- 画面メモ一覧、画面メモ表示画面から操作する場合は、**(Xニュー)** ▶ 「2ブックマークに登録」を押します。画面メモについて→P.97

❖ブックマークからサイトを表示

登録したブックマークからサイトやインターネットホームページを表示します。

1 待受画面で **(🔍)** ▶ 「2ブックマークを見る」を押す

2 フォルダを選択 ▶ **決定** を押す

- マークの意味は次のとおりです。

(🔍): ブックマークが保存されている

(📁): ブックマークが保存されていない

フォルダ名を変更する場合: 変更するフォルダを選択 ▶ **(Xニュー)** ▶ 「3フォルダ名変更」 ▶ フォルダ名を入力 ▶ **決定** ▶ **決定** を押す

3 表示するブックマークを選択 ▶ **決定** を押す

- 簡易接続に登録されているブックマークにはボタン番号 **(0)~(9)** が表示されます。

ブックマークの題名を変更する場合: 変更するブックマークを選択 ▶ **(Xニュー)** ▶ 「1題名を変更」 ▶ 題名を入力 ▶ **決定** ▶ **決定** を押す

ブックマークを削除する場合: 削除するブックマークを選択 ▶ **(Xニュー)** ▶ 「3削除する」 ▶ 「1削除する」または「2フォルダ内全件」 ▶ 「1削除する」 ▶ **決定** を押す

- フォルダ内のブックマークをすべて削除する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

ブックマークを他のフォルダへ移動する場合: 移動するブックマークを選択 ▶ **(Xニュー)** ▶ 「6フォルダへ移動」 ▶ 移動先フォルダを選択 ▶ **決定** ▶ **決定** を押す

ブックマークを並び替える場合:

① **(Xニュー)** ▶ 「7並び順を変更」を押す

並び順の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

① **アクセス日付順**: アクセス日時が新しい順に並べ替えます。

② **題名順**: 題名を50音順に並べ替えます。

③ **URL順**: URLをアルファベット順に並べ替えます。

④ **アクセス回数順**: アクセス回数が多い順に並べ替えます。

② 「1アクセス日付順」 ~ 「4アクセス回数順」のいずれかを押す

✓お知らせ

- サイト画面から操作する場合は、**(Xニュー)** ▶ 「5ブックマークを見る」を押します。

❖ 少ないボタン操作でのサイト表示

ブックマークを簡易接続に登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。

■ 簡易接続に登録する

少ないボタン操作で表示したいブックマークを簡易接続に登録します。

- ・1つのダイヤルボタンにつき1件、合計10件まで登録できます。

1 待受画面で  ▶ 「**7**簡易接続を見る・登録する」を押す

2 未登録の登録先を選択 ▶ **決定** を押す
簡易接続の登録を解除する場合：解除するブックマークを選択 ▶ **メニュー** ▶ 「**1**簡易接続を解除」を押す

3 フォルダを選択 ▶ **決定** ▶ 登録するブックマークを選択 ▶ **決定** を押す
決定 を押すと簡易接続先選択画面に戻ります。

✓お知らせ

- ・ブックマーク一覧から操作する場合は、登録するブックマークを選択 ▶ **メニュー** ▶ 「**2**簡易接続に登録」 ▶ 登録先を選択 ▶ **決定** を押します。

■ 簡易接続に登録したサイトを表示する

待受画面から少ないボタン操作でサイトを表示します。

1 待受画面で簡易接続に登録した番号 (**0** ~ **9**) を入力 ▶  を押す

◆ 画面メモ

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。

❖ 画面メモの保存

表示中のサイトを画面メモとして保存します。

1 画面メモに保存するサイトを表示して
 ▶ 「**6**画面メモに保存」を押す
決定 を押すとサイト表示に戻ります。

❖ 画面メモの表示

保存した画面メモを表示します。

1 待受画面で  ▶ 「**6**画面メモを見る」を押す
・マークの意味は次のとおりです。
：通常画面メモ
：保護されている画面メモ

2 表示する画面メモを選択 ▶ **決定** を押す
・画面メモ表示画面の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同様です。

画面メモの題名を変更する場合：題名を変更する画面メモを選択 ▶ **メニュー** ▶ 「**1**題名を変更」 ▶ 題名を入力 ▶ **決定** ▶ **決定** を押す

画面メモを削除する場合：削除する画面メモを選択 ▶ **メニュー** ▶ 「**3**削除する」 ▶ 「**1**選択1件」または「**2**1全件」 ▶ 「**1**削除する」 ▶ **決定** を押す

・画面メモをすべて削除する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

画面メモを保護／解除する場合：保護／解除する画面メモを選択 ▶ **メニュー** ▶ 「**4**保護する」または「**4**解除する」を押す

✓お知らせ

- ・画面メモを表示中の場合でも、パケット通信料がかかる場合があります。
- ・保存したWebページを表示したとき、コンテンツによっては以下の動作となります。
 - リンクを選択 ▶ **決定** を押してもページ遷移しない場合があります。
 - 広告などWebページ中の一部が表示されない場合があります。
 - Webページ中のJavaScriptは動作しません。

◆ブラウザの設定

サイトを閲覧するための詳細設定をします。

1 待受画面で ▶ 「8 インターネットを設定する」を押す

インターネット設定の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

- 1 文字の大きさを選ぶ：サイトを表示するときの文字の大きさを設定します。
- 2 画像表示を設定する：画像を表示するかを設定します。
- 3 照明を設定する：ディスプレイの照明方法を設定します。
- 4 ファイル保存先を設定する：サイトからダウンロードしたファイルや画像の保存先を設定します。
- 5 プライバシーとセキュリティ：利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
- 6 高度な設定をする：サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。
- 7  ボタンを設定する：  を押した際の動作を設定します。

2 「1 文字の大きさを選ぶ」～「7 ボタンを設定する」のいずれかを押す

文字の大きさを変更する場合：「1 文字の大きさを選ぶ」▶ 「1 標準の大きさ」または「2 大きく表示」を押す

画像を表示するかどうかを設定する場合：「2 画像表示を設定する」▶ 「1 表示する」または「2 表示しない」を押す

照明を常に表示させるかどうかを設定する場合：「3 照明を設定する」▶ 「1 常に点灯」または「2 端末設定に従う」を押す

ファイルの保存先を変更する場合：「4 ファイル保存先を設定する」▶ 「1 本体」または「2 microSD」を押す

プライバシーとセキュリティを変更する場合：「5 プライバシーとセキュリティ」▶ 「1 キャッシュを削除する」～「7 位置情報を削除する」のいずれかを押す

高度な設定を変更する場合：「6 高度な設定をする」▶ 「1 文字コードを変更する」～「5 初期設定にする」のいずれかを押す

 を押した際の動作を変更する場合：「7  ボタンを設定する」▶ 「1 dメニューへ接続」または「2 インターネットメニュー表示」を押す

らくらくコミュニティ

「らくらくコミュニティ」は、趣味や生活に役立つクチコミ、面白い情報が満載で、登録者どうしでの交流が楽しめるインターネット上のコミュニケーションの場です。

- らくらくコミュニティは利用登録が必要な無料のサービスです。ただし、サービス利用にはパケット通信料がかかります。

1 待受画面で ▶ 「7 コミュニケーションを楽しむ」▶ 「1 らくらくコミュニティを使う」を押す

- 接続確認画面が表示された場合は、内容を確認し、「1 利用する」を選択してください。

2 「利用規約に同意して登録を開始する」を押す

登録が完了して、登録番号とパスワードが表示されます。

- 登録番号とパスワードは、機種変更時などで必要となります。メモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。

3 「利用を開始する」を押す

興味のあるコーナーを選び、趣味や生活に役立つさまざまな記事を読んだり、他の利用者と交流したりできます。

- らくらくコミュニティの使いかたなどを確認するときは、「使い方に困ったら」を選択します。

✓お知らせ

- 機能の利用制限（→P.140）を解除後は、らくらくコミュニティからの新着お知らせがディスプレイに表示されません。次の方法ですぐに新着通知を表示できるようになります。
 - 本端末を再起動する
 - 通信状態を変更するために、機内モードを一度設定し、その後すぐに解除する

らくコミュゲーム

インターネット上で「ナンバープレイス」と「リバーシ」のゲームが利用できます。また、「らくらくコミュニティ」と連携すると、ニックネームの登録や「ゲームコーナー」掲示板への投稿ができます。

1 待受画面で ▶ 「7 コミュニケーションを楽しむ」▶ 「2 らくコミュゲームを使う」を押す

- 接続確認画面が表示された場合は、内容を確認し、「1 利用する」を選択してください。

2 画面の指示に従って操作する

- ゲームのルールや操作方法などを確認するとき、「ゲーム説明を見る」を選択します。

i チャンネル

ニュースや天気などの情報が i チャンネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、を押すことでチャンネル一覧に表示されたりします

(チャンネル一覧の表示方法→P.99)。

また、i チャンネルにはドコモが提供する「ベーシックチャンネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャンネル」の2種類があります。「ベーシックチャンネル」は、配信される情報の自動更新時にバケット通信料はかかりません。お好きなチャンネルを登録し利用できる「おこのみチャンネル」は、情報の自動更新時に別途バケット通信料がかかります。「ベーシックチャンネル」「おこのみチャンネル」ともに詳細情報を閲覧する場合は、別途バケット通信料がかかりますのでご注意ください。

- i チャンネルはお申し込みが必要な有料サービスです。
- i チャンネルの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ i チャンネルを表示する

i チャンネルを表示すると、テロップで流れている情報の詳細を見ることができます。

- i チャンネルテロップの表示設定について→P.156

1 i チャンネル情報を受信する

- 使用状況によりチャンネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。

2 待受画面で を押す

3 表示する情報を選択 ▶ を押す

✓お知らせ

- 次の場合は、テロップは表示されません。
 - ドコモnanoUIMカードを正しく取り付けていないときやドコモnanoUIMカードに異常があるとき
 - おまかせロック中
 - 開閉ロック中
- i チャンネルサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、待受画面で  を押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、待受画面で  を押すと最後に受信した情報がチャンネル一覧に表示される場合があります。

i コンシェル

i コンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、スケジュール、トルカなど）をお預かりし、生活エリアやおお客様の居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。本端末に保存されているスケジュールやトルカなどを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。i コンセルの情報は、待受画面上でマチキャラ（待受画面上のキャラクタ）がお知らせします。

- i コンセルはお申し込みが必要な有料サービスです。
- コンテンツ（インフォメーション、i スケジュールなど）によっては、i コンセルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- i スケジュール・トルカなどの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- i コンセルの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。

◆インフォメーションを受信したときは

本端末が圏内にあるときには、自動的にインフォメーションが送られてきます。

1 インフォメーションを受信する

i コンセル着信音が鳴ってインフォメーションが表示されます。

2 ポップアップメッセージが表示された待受画面で**決定**を押す

- **戻る** または **戻る** を押すと待受画面に戻ります。
- 一度に複数のインフォメーションを受信した場合は、最新の1件が待受画面に表示されません。

◆ i コンセルの詳細表示

受信したインフォメーションの詳細を表示したり、i コンセルメニューから簡単に本端末のスケジュール帳やトルカを表示したりできます。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[8] i コンセルを使う**を押す

2 「インフォー一覧」を押す

- インフォメーションには、スケジュールや i スケジュール、トルカが添付されていたり、より詳細な情報や関連情報を見るためのサイトへのリンク項目があったりする場合があります。内容を確認するにはマークを選択します。

削除する場合：「インフォー一覧」▶ **電話帳 ▶ 削除するインフォメーションを選択**

▶ **決定 ▶ **電話帳** ▶ 「削除する」を押す**

- インフォメーションによっては削除できない場合があります。

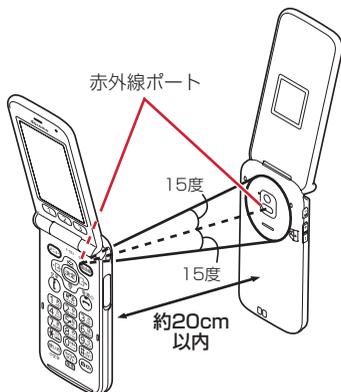
データ通信

赤外線通信

赤外線通信機能が搭載された他の携帯電話やパソコンなどとデータの送受信ができます。

◆ 赤外線通信を行うには

赤外線通信の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、本端末は相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。



✓お知らせ

• 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信が正常にできない場合があります。

◆ 赤外線送信

データを1件ずつ送信する方法と、データの種類ごとにまとめて送信する方法が利用できます。

※赤外線通信でマイプロフィールを送信

名前や本端末の電話番号（局番電話番号）、メールアドレスを相手の端末に送信します。

1 相手の端末を受信待機状態にする

2 待受画面で **メニュー** ▶ **[0] 自分の電話番号を見る** を押す

- メールアドレスの自動取得の確認画面が表示された場合→P.34

3 **メニュー** ▶ **[1] 赤外線で送る** を押す

- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作をしてください。

4 **決定** を押す

赤外線送信が開始されます。データの送信が完了すると、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと個人情報（基本）画面に戻ります。

- 中止するときには送信中に **決定** を押します。

※赤外線 1 件送信

赤外線通信でデータを1件送信します。

- 次のデータを送信できます。
電話帳、写真、動画

〈例〉本端末電話帳の1件の電話帳を相手の端末に送信する

1 相手の端末を受信待機状態にする

2 待受画面で **電話帳** ▶ **電話帳を検索する**

- 検索方法→P.67

3 送信する電話帳を選択 ▶ **メニュー** ▶ **[9] 赤外線 で送信** を押す

- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

4 **決定** を押す

赤外線送信が開始されます。データの送信が完了すると、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと本端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

- 中止するときには送信中に **決定** を押します。

◆赤外線全件送信

データの種類ごとにデータをまとめて赤外線送信します。

- 電話帳（個人情報も含む）を送信できます。
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。
- 受信側でデータの並び順が変わることがあります。

1 相手の端末を受信待機状態にする

2 待受画面で「メニュー」▶「5 便利なツールを使う」▶「9 赤外線を使う」▶「3 赤外線で全件送信する」を押す

3 「1 電話帳」を押す

4 端末暗証番号を入力▶決定▶認証パスワードを入力▶決定▶メニューを押す

- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

5 決定を押す

赤外線送信が開始されます。データの送信が完了すると、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと全件送信の対象の選択画面に戻ります。

- 中止するときは送信中に決定を押します。

✓お知らせ

- 本端末電話帳の詳細画面、画像一覧から1件送信する場合は、メニュー▶「赤外線で送信」を押します。
- 赤外線で送信するときに受信先の端末が受信待機状態になっていなかったり、自分の端末と相手の赤外線ポートが正しく向き合っていなかったりすると、「接続相手が見つかりません」と表示されます。

◆赤外線受信

データを1件ずつ受信する方法と、データの種類ごとにまとめて受信する方法が利用できます。

- 受信できるデータの種類と保存先は次のとおりです。

データの種類	保存場所
電話帳／個人情報	本端末電話帳 • 全件受信の場合は個人情報も受信します。
写真	写真・画像一覧の「保存した画像」アルバム
ビデオ	ビデオ一覧の「保存したビデオ」アルバム

◆赤外線1件受信

赤外線通信でデータを1件受信します。

- 次のデータを受信できます。ただし、本端末で対応していない形式のデータは受信できません。個人情報（電話帳として保存されます）、電話帳、写真、ビデオ

1 待受画面で「メニュー」▶「5 便利なツールを使う」▶「9 赤外線を使う」▶「1 赤外線を受信する」を押す

- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作をしてください。

2 決定を押す

3 相手側からデータを1件送信する

赤外線受信が開始されます。データの受信が完了すると、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。

- 中止するときは受信中に決定を押します。

4 決定▶「1 保存する」を押す

保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

❖ 赤外線全件受信

データの種類ごとにデータをまとめて赤外線受信します。

- 全件受信すると、受信側で保存していたデータはすべて消去され、受信したデータのみ保存されますのでご注意ください。
- 電話帳[※]のデータを受信できます。ただし、本端末で対応していない形式のデータは受信できません。
※ 個人情報（自局電話番号を除く）が送信側の設定内容で上書きされます。また、ワンタッチダイヤルの登録が解除されます。
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 待受画面で **メニュー** ▶ 「5 便利なツールを使う」▶ 「9 赤外線を使う」▶ 「2 赤外線で全件受信する」▶ 端末暗証番号を入力

▶ **決定** ▶ 認証パスワードを入力

▶ **決定** ▶ **メニュー** を押す

- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

2 **決定** を押す

受信待機状態になります。

3 相手側からデータを全件送信する

赤外線受信が開始されます。データの受信が完了すると、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。

- 中止するときは受信中に **決定** を押します。

4 **決定** を押す

全件書き換えて保存するかの確認画面が表示されます。

- 「1 保存する」を押すと、受信側で保存していたデータを消去し、受信したデータのみ保存します。

5 「1 保存する」を押す

保存した旨のメッセージが表示されます。 **決定** を押すとメニュー画面に戻ります。

✓ お知らせ

- 赤外線を受信するときに相手の端末からデータが送信されていなかったり、自分の端末と相手の赤外線ポートが正しく向き合っていなかったりすると、「接続相手が見つかりません」と表示されます。
- 本端末に保存できないデータを受信したときは、データは破棄されます。

Bluetooth[®] 通信

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✓ お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P.246
- ワンセグの音声は、A2DP対応Bluetooth機器で再生できます。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖ Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内に接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

◆無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆Bluetooth機能オン／オフ

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をオンに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためオフに設定してください。

- オンのときは  (Bluetooth機能オン) が表示されます。
- Bluetooth機能オン／オフの設定は、電源を切っても変更されません。

- 1 待受画面で  ▶  ▶  ▶  ▶  ▶  ▶  ▶  または  を押す

◆Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり、音声や音楽を再生したりすることができます。

- あらかじめBluetooth機器を検出できる状態にしてください。
- 接続中は  (Bluetooth機器接続中) が表示されます。
- プロファイルがHSP/A2DPの場合、同時に接続できるBluetooth機器は1台です。

- 1 待受画面で  ▶  ▶  ▶  ▶  ▶  を押す
 - 接続するBluetooth機器が表示されないときは、 を押します。

- 2 検出されたBluetooth機器を選択 ▶  ▶ 必要に応じてパスコード(パスキー、PIN)を入力して「決定」または「 ペア設定する」を押す

■他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード(パスキー、PIN)を入力して「決定」を押すか、「 ペア設定する」を押してください。

◆Bluetooth機器との接続解除

- 1 待受画面で  ▶  ▶  ▶  ▶  ▶  を押す

- 2 Bluetooth機器を選択 ▶  ▶  を押す

◆Bluetooth機器とのペアリング解除

- 1 待受画面で  ▶  ▶  ▶  ▶  ▶  を押す

- 2 Bluetooth機器を選択 ▶  ▶  を押す

外部機器接続

本端末とパソコンを接続し、本端末のデータをパソコンから操作します。

◆ 本体（内蔵ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリ（F-02J/内蔵ストレージ）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

- 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音
data	通話メモや迷惑メモの録音データファイル
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Download	ブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
prein movie	お買い上げ時にインストールされている動画
Ringtones	着信音

◆ 本端末のデータをパソコンから操作

PC接続用USBケーブル TO1（別売）またはmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で本端末とパソコンを接続すると、本端末のデータをパソコンから操作できます。

- Windows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10に対応しています。ただし、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

1 USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む

2 目的の操作を行う

microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカードに対応しています（2016年9月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10に対応しています。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス1に対応しています。

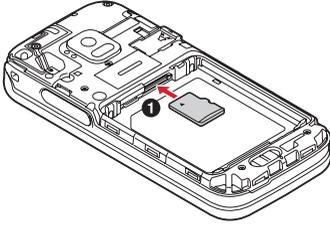
◆ microSDカードの取り付け／取り外し

microSDカードは、本端末のmicroSDカードスロットに取り付けて使用します。

- 電源を切ってから本端末を閉じ、手に持って行ってください。本端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- リアカバーと電池バックの取り付けかた／取り外しかた→P.18、P.24
- microSDカードの取り付け／取り外しを行うときは、金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- microSDカードは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードやスロットの破損、または抜き取れなくなる恐れがあります。また、正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- 傷や変形、ゴミの付着などのあるmicroSDカードは本端末に取り付けられないでください。故障の原因となる場合があります。

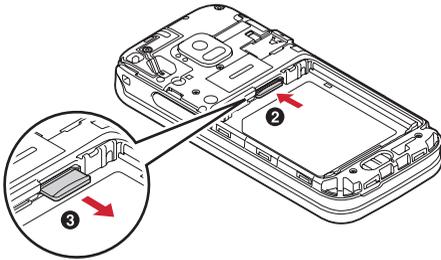
■取り付けかた

- ① microSDカードの金属端子面を下にしてスロットにゆっくり差し込み(①)、「カチッ」と音がするまで差し込む
- microSDカードの向きにご注意ください。



■取り外しかた

- ① microSDカードの中央を②の方向に軽く押し、飛び出したmicroSDカードを③の方向にまっすぐ引き出す



microSDカードの管理

microSDカードを本端末で正しく使用できるように、microSDカードを初期化したり、情報更新したりします。また、使用状況などを確認します。

◆microSDカードの初期化

microSDカードに保存してあるデータをすべて削除するときや、新たに購入したmicroSDカードを本端末で使用するときには初期化します。

- microSDカードを初期化すると、保存されているデータはすべて消去されますのでご注意ください。

- 1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[5] 便利なツールを使う** ▶ **[*] microSDカードを使う** ▶ **[3] microSDカードを初期化する** ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ **[決定]** を押す

- 2 **[1] 初期化する** を押す

初期化が開始されます。終了すると初期化した旨のメッセージが表示されます。**[決定]** を押すとメニュー画面に戻ります。

- 中止するときは初期化中に **[決定]** を押します。

microSDカードにデータを移動／コピー

本端末に保存されている画像や動画をmicroSDカードに移動／コピーします。

- データによってはmicroSDカードに移動／コピーできない場合があります。

〈例〉画像を移動／コピーする例を説明します。

- 1 待受画面で **戻る** ▶ 「3 写真・ビデオを撮る・見る」▶ 「2 写真・画像を見る」▶ アルバムを選択 ▶ **決定** ▶ 移動またはコピーする画像を選択 ▶ **戻る** を押す

動画を移動／コピーする場合：待受画面で

- 戻る** ▶ 「3 写真・ビデオを撮る・見る」▶ 「4 ビデオを見る」▶ アルバムを選択 ▶ **決定** ▶ 移動／コピーする動画を選択 ▶ **戻る** を押す

- 2 「6 移動する」▶ 「2 microSDへ移動」を押す

コピーする場合：「7 コピーする」を押す

- 3 「1 選択1件」▶ 「1 移動する」または「1 コピーする」を押す

写真を移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときは写真・画像一覧に戻ります。

- 複数選択して移動／コピーするときは、「2 選択複数件」▶ 移動／コピーする画像を選択 ▶ **決定** ▶ **電話機** ▶ 「1 移動する」または「1 コピーする」を押します。

選択すると画像に✓が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。**決定**を押すと画像の選択／解除が、**戻る**を押すとすべての画像の選択／解除ができます。

- アルバム内の画像を全件移動／コピーするときは、「3 アルバム内全件」▶ 「1 移動する」または「1 コピーする」を押します。

◆ microSDカードにデータをバックアップ・復元

本端末に取り付けたmicroSDカードを利用して、データをバックアップ／復元することができます。

- 1 待受画面で **戻る** ▶ 「5 便利なツールを使う」▶ 「* microSDカードを使う」▶ 「2 microSDカードへ保存・復元する」を押す

SDカードバックアップ画面が表示されます。

- 以降の操作は「microSDカードへ保存・復元」(→P.141)をご覧ください。

本端末にデータを移動／コピー

microSDカードに保存されている画像や動画、電話帳などのデータを本端末に移動／コピーします。

- データによっては移動／コピーができない場合があります。

◆ 画像などを本端末に移動／コピー

- 1 待受画面で **(Xメニュー)** ▶ **[5] 便利なツールを使う** ▶ **[*] microSDカードを使う** ▶ **[1] microSDカードの内容を見る** ▶ **[1] 画像・音**を押す
- 2 **[1] 写真**～**[4] その他のビデオ**のいずれか ▶ **アルバムを選択** ▶ **決定**を押す
- 3 移動／コピーするデータを選択 ▶ **(Xメニュー)** ▶ **[6] 本体へ移動**または**[7] 本体へコピー** (動画のときは**[4] 本体へ移動**または**[5] 本体へコピー**)を押す
- 4 **[1] 選択1件** ▶ **[1] 移動する**または**[1] コピーする**を押す
データを移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとデータ一覧に戻ります。アルバム内にデータがなくなったときは、アルバム一覧に戻ります。
 - 複数選択して移動／コピーするときは、**[2] 選択複数件** ▶ 移動／コピーするデータを選択 ▶ **決定** ▶ **(電話帳)** ▶ **[1] 移動する**または**[1] コピーする**を押します。
選択するとデータに✓が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。**決定**を押すとデータの選択／解除が、**(Xメニュー)**を押すとすべてのデータの選択／解除ができます。
 - アルバム内のデータを全件移動／コピーするときは、**[3] アルバム内全件** ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ **決定** ▶ **[1] 移動する**または**[1] コピーする**を押します。

microSDカードの内容を見る

microSDカードに保存されているデータを表示したり再生したりします。

◆ microSDカードの画像などの表示・再生

画像を表示したり、動画を再生したりします。

- microSDカードのメロディの再生→P.177

- 1 待受画面で **(Xメニュー)** ▶ **[5] 便利なツールを使う** ▶ **[*] microSDカードを使う** ▶ **[1] microSDカードの内容を見る** ▶ **[1] 画像・音**を押す
 - 2 **[1] 写真**～**[5] メロディ・音**のいずれか ▶ **アルバムを選択** ▶ **決定**を押す
 - 3 表示または再生するデータを選択 ▶ **決定**を押す
選択したデータが表示または再生されます。**(戻る)** (メロディ・音のときは**決定**)を押すとデータ一覧に戻ります。
 - 動画再生中の操作→P.120**データを添付してメールを作成する場合**：添付するデータを選択 ▶ **(Xメニュー)** ▶ **[1] メールで送る** ▶ **メールを作成する**
 - メール作成・送信方法→P.72、P.73**画像を待受画面に設定する場合**：設定する画像を選択 ▶ **(Xメニュー)** ▶ **[2] 待受画面に貼る** ▶ **[1] 設定する** ▶ **決定**を押して画像一覧に戻る
- データの情報を表示する場合**
- ：情報を確認するデータを選択 ▶
- (Xメニュー)**
- ▶
- [2] 情報を見る**
- (画像のときは
- [3] 情報を見る**
-) (メロディ・音のときは
- [1] 情報を見る**
-)を押す
- 画像の情報→P.114
 - 動画の情報→P.120

- メロディ・音の情報は次のとおりです。
 題名：この端末内で表示される題名を表示します。
 ファイル名：メールに添付したときなどに表示される名前を表示します。
 拡張子：拡張子を表示します。
 ファイルサイズ：ファイルサイズを表示します。
 作成日時：作成した日時を表示します。

データを削除する場合：

- ① 削除するデータを選択 ▶ **メニュー** ▶ 「**5**削除する」(動画のときは「**3**削除する」)(メロディのときは「**2**削除する」)を押す
 - ② 「**1**選択1件」を押す
 - 複数選択して削除するときは、「**2**選択複数件」▶削除するデータを選択 ▶ **決定** ▶ **電話機**を押します。
- 選択するとデータに✓が表示されます。リスト表示の場合は□がに変わります。**決定**を押すとデータの選択/解除が、**メニュー**を押すとすべてのデータの選択/解除ができます。
- 全件削除するときは、「**3**アルバム内全件」または「**1**全件」▶端末暗証番号を入力 ▶ **決定**を押します。

- ③ 「**1**削除する」を押す

動画をアルバム再生する場合： **メニュー** ▶ 「**8**アルバムを再生」 ▶ **決定**を押す

- アルバム再生中の操作→P.122

microSDカードのアルバム利用

アルバムを追加して、データの整理などに利用します。

◆microSDカードのアルバム作成

microSDカードにアルバムを追加します。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ 「**5**便利なツールを使う」▶「*****microSDカードを使う」▶「**1**microSDカードの内容を見る」を押す

- 2 「**1**画像・音」▶「**1**写真」～「**4**その他のビデオ」のいずれかを押す

- 3 **メニュー** ▶ 「**1**アルバムを追加」▶ アルバム名を入力する

- 31文字以内で入力します。

アルバム名を変更する場合：名称を変更するアルバムを選択 ▶ **メニュー** ▶ 「**3**アルバム名変更」▶ **アルバム名を変更する**

- 4 **決定**を押す

アルバムを追加した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとアルバム一覧に戻ります。

◆microSDカードのアルバム削除

microSDカードのアルバムを削除します。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ 「**5**便利なツールを使う」▶「*****microSDカードを使う」▶「**1**microSDカードの内容を見る」を押す

- 2 「**1**画像・音」▶「**1**写真」～「**4**その他のビデオ」のいずれかを押す

- 3 削除するアルバムを選択 ▶ **メニュー** ▶ 「**2**アルバムを削除」を押す

- 4 「**1**削除する」を押す

アルバムを削除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとアルバム一覧に戻ります。

- アルバム内の写真や動画と同時にアルバムを削除する場合は、端末暗証番号を入力 ▶ **決定**を押します。

❖ microSDカードのアルバムへの移動／コピー

画像などのデータをmicroSDカードのアルバムに移動します。

〈例〉画像を移動／コピーする

1 待受画面で **メニュー** ▶ 「5 便利なツールを使う」▶ 「*」microSDカードを使う」▶ 「1 microSDカードの内容を見る」を押す

2 「1 画像・音」▶ 「1 写真」または「2 その他の画像」▶ アルバムを選択 ▶ **決定** ▶ 移動／コピーする画像を選択 ▶ **メニュー** ▶ 「8 アルバムへ移動」または「9 アルバムへコピー」を押す

動画を移動／コピーする場合：「1 画像・音」▶ 「3 ビデオ」または「4 その他のビデオ」▶ アルバムを選択 ▶ **決定** ▶ 移動／コピーする動画を選択 ▶ **メニュー** ▶ 「6 アルバムへ移動」または「7 アルバムへコピー」を押す

3 「1 選択1件」または「3 アルバム内全件」を押す

- 複数選択して移動／コピーするときは、「2 選択複数件」▶ 移動／コピーするデータを選択 ▶ **決定** ▶ **電話機**を押します。
選択するとデータに✓が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。**決定**を押すとデータの選択／解除が、**メニュー**を押すとすべてのデータの選択／解除ができます。

4 移動先またはコピー先のアルバムを選択 ▶ **決定** ▶ 「1 移動する」または「1 コピーする」を押す

写真を移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときはアルバム一覧に戻ります。

カメラ・ビデオ

カメラで写真や動画を撮影できます。

◆ 撮影時の注意事項

- ・カメラは非常に精度の高い技術で作られています。常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- ・本端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- ・太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり写真やビデオが乱れたりする場合があります。
- ・レンズの特性により、写真やビデオがゆがんで見える場合があります。
- ・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があります。撮影のタイミングによっては写真やビデオの色合いが異なることがあります。「明るさの調節」の設定を変更することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。→P.118
- ・カメラで撮影した写真やビデオは、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- ・レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- ・撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- ・手ぶれにご注意ください。本端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、本端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。
- ・シャッター音が鳴ってから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。シャッター音が鳴ってから少しの間、本端末を動かさないでください。また、速く動いている被写体を撮影すると、シャッター音が鳴ったときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- ・動きの激しいものをビデオ撮影すると、映像が乱れる場合があります。

- ・microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要です。お持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- ・撮影した写真やビデオの確認画面で電池残量がなくなると、写真やビデオは自動的に保存されます。
- ・カメラは電力の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動したままにしないでください。
- ・設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

◆ 著作権・肖像権について

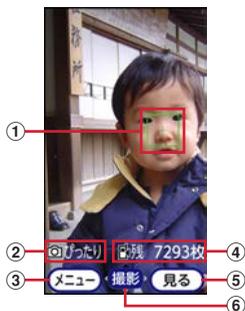
本端末を利用して撮影および録音したものなど、およびサイトやインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されておりますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆撮影画面の見かた

1 待受画面で C を押す

写真撮影画面が表示され、 決定 が一定間隔で点滅します。



① フォーカス枠

ピントが合うと枠の色が白から緑に変わります。

② 撮影サイズ→P.118

写真の大きさを表示します。

③ メニュー

メニュー を押すと、撮影サイズの変更やセルフタイマーの設定などができる撮影設定メニューを表示します。

④ 撮影可能枚数

保存できる残数の目安を表示します。

⑤ 写真を見る

電話機 を押すと、本体/microSDカードに保存した写真/画像一覧を表示します。

⑥ シャッター

決定 を押すと撮影します。

◆静止画（写真）撮影

カメラが自動的に設定変更や画像補正などをして、簡単にきれいな写真（静止画）を撮影できます。〈おまかせカメラ〉

- 自動シーン認識機能により、カメラを向けるだけで設定が切り替わります。
自動シーン認識→P.113
- 自動的に手ぶれ補正が機能します。被写体に応じて、手ぶれなどの振動による画像の乱れを補正します。
- 自動的にコントラスト補正が機能します。逆光での撮影時などに自然な画像になるよう、部分的に補正します。

1 待受画面で C を押す

写真撮影画面が表示され、 決定 が一定間隔で点滅します。

自動シーン認識機能により、ピントを合わせていることを表すフォーカス枠が表示されます。

- メニュー ▶「[4]写真を見る」を押すと「撮影した写真」アルバムに保存されている写真を見ることができます。microSDカードを取り付けられているときは、 メニュー ▶「[4]写真を見る」▶「[1]本体の写真」または「[2]microSDの写真」を押すと、「撮影した写真」アルバムまたはmicroSDに保存されている写真を見ることができます。→P.108、P.113

2 被写体にカメラを向ける▶ 決定 を押す

フォーカス枠が緑色になってピントを合わせます。

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、写真が撮影され、自動で保存されます。

- 画面にQRコードが検出されると、自動的にデータを読み取ります。→P.123
- 撮影後すぐに保存され、写真を保存した旨のメッセージが表示されます。 決定 を押すと写真撮影画面に戻ります。

✓お知らせ

- 待受画面で C を1秒以上▶「[1]写真撮影」を押しても起動できません。
- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます。
- 撮影した写真のファイルサイズや空き容量によっては、写真撮影画面に表示される残り枚数が減らない場合があります。

◆自動シーン認識

被写体に自動的にピントを合わせます。また、撮影状況を判断して、最適な撮影シーンに切り替えます。

- 自動シーン認識利用中は、人物の顔に顔検出枠が表示されます。
- 顔検出枠があるときは黄色の顔検出枠に、顔検出枠がないときは画面中央にピントを合わせます。
- 被写体から約10cm以上離して利用してください。
- 撮影画面にQRコードを認識すると、自動的に読み取って、データを表示します。ただし、読み取ったQRコードが分割されたQRコードだった場合は、QRコードリーダーに切り替わります。最初のQRコードから改めて順番に読み取ってください。
QRコードリーダー→P.123

◆拡大鏡

本端末のカメラで対象を拡大表示します。そのまま撮影することもできます。

- 対象から約10cmの距離でご利用ください。

1 待受画面で を1秒以上 ▶ 「3 拡大鏡」を押す

- 通常の写真撮影と同様に、写真を撮影することができます。「静止画(写真)撮影」をご覧ください。→P.112

✓お知らせ

- 撮影サイズは、画面ぴったり(1920×1080)になります。
- ズームは約2.0倍～約12.0倍で変更できます。→P.117
- 拡大鏡利用中は、変更できない設定があります。

◆画像の表示

本端末に保存されている写真や画像を表示します。メールに添付したり、待受画面に設定したりすることもできます。

- 本端末では、静止画(JPEGまたはGIF形式の画像)やアニメーション(GIFアニメーション、Flash画像)を表示できます。ただし、横縦(または縦横)のサイズが480×960(ドット)より大きいGIF形式の画像やGIFアニメーション、3000×4000(ドット)より大きいJPEG形式の画像は表示できません。

1 待受画面で ▶ 「3 写真・ビデオを撮る・見る」▶ 「2 写真・画像を見る」を押す

- 画像は、次のアルバムに分類して保存されます。
 -  : カメラで撮影した写真が保存されているアルバム
 -  : microSDカードのアルバム
 -  : お買い上げ時に登録されている写真・画像が保存されているアルバム
 -  : microSDカードからの移動/コピー、赤外線通信での受信、QRコードリーダーでの読み取り、パソコンなどから取り込んだ写真・画像が保存されているアルバム
 -  : 待受画像配信元で設定した条件のメールに添付された写真・画像が保存されているアルバム
- アルバムを作成すると、 が表示されます。
→P.115

2 アルバムを選択 ▶ を押す

画像一覧が表示され、カーソル位置の画像の題名などが確認できます。

microSDカード内の画像を表示する場合：

「microSDの写真」アルバムを選択 ▶  ▶ 「1 写真」または「2 その他の画像」▶ アルバムを選択 ▶  を押す

3 表示する画像を選択 ▶ を押す

- アニメーションは自動的に再生されます。
 を押すと停止/再生します。
-   : アルバム内の前後の画像を表示します。
-  : 全画面で表示します。
  のいずれかを押すと、元の表示に戻ります。
-  : 静止画を拡大表示します。
 を押すと、元の表示に戻ります。
-  : 画像一覧に戻ります。

✓お知らせ

- 全画面表示中は、本端末の向きを変えたときに画像を回転して表示します。
- 拡大表示中に画面より大きい場合は、   を押すとスクロールします。

❖ 画像添付のメールを作成

画像をメールに添付して送信します。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「3」写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **「2」写真・画像を見る** ▶ **アルバムを選択** ▶ **決定** を押す

画像一覧が表示されます。

- 2 添付する画像を選択 ▶ **メニュー** ▶ **「1」メールで送る** を押す

大きさを小さくするかどうかの確認画面が表示されます。

- 横縦（または縦横）のサイズが240×320（ドット）より小さい場合は確認画面は表示されません。操作4に進みます。

- 3 **「1」小さくして送る** または **「2」このまま送る** を押す

- 「小さくして送る」を選択すると、縦横比を保持したまま、横縦（または縦横）のサイズが240×320（ドット）に収まるように変換して添付します。

- 4 メールを作成する

- メール作成・送信方法 → P.72、P.73

✓お知らせ

- ファイルサイズが2Mバイトを超えるJPEG形式の画像を選択した場合は、送信可能なサイズに縮小してメールに添付されます。

❖ 画像を待受画面に設定

画像を待受画面に設定します。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「3」写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **「2」写真・画像を見る** ▶ **アルバムを選択** ▶ **決定** を押す

画像一覧が表示されます。

- 2 設定する画像を選択 ▶ **メニュー** ▶ **「2」待受画面に貼る** ▶ **「1」設定する** を押す

待受画面に設定した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと画像一覧に戻ります。

✓お知らせ

- 待受画像については「待受画面の設定」をご覧ください。→P.153

❖ 画像の情報の表示

画像の詳細情報を表示します。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「3」写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **「2」写真・画像を見る** ▶ **アルバムを選択** ▶ **決定** を押す

画像一覧が表示されます。

- 2 情報を確認する画像を選択 ▶ **メニュー** ▶ **「3」情報を見る** を押す

画像の情報画面が表示されます。

- **決定** を押すと画像一覧に戻ります。

項目	説明
題名	この端末内で表示される題名を表示します。
表示サイズ	画像のサイズを表示します。 • 表示される名称ごとの横×縦（ドット）のサイズは次のとおりです。 メール（640×480） ぴったり（1920×1080） SNS（2048×1536） 6M（3264×1840） 8M最大（3264×2448） • 上記のサイズに該当しない場合は、横×縦（ドット）を表示します。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示します。
ファイル種別	ファイル形式を表示します。
種別	静止画かアニメーションかを表示します。
ファイル名	メールに添付したときなどに表示される名前を表示します。
保存日時（作成日時）	保存（作成）した日時を表示します。
位置情報	位置情報のあり／なしを表示します。

◆ 画像のアルバムの利用

アルバムを作成し、画像を撮影日やジャンルなどで分類して保存します。

◆ 画像のアルバムの作成

アルバムを新規作成します。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **写真・画像を見る** を押す
写真・画像一覧が表示されます。

2 **メニュー** ▶ **アルバムを追加** ▶ アルバム名を入力する

アルバム名の入力画面が表示されます。

・ 全角/半角7文字以内で入力します。

アルバム名を変更する場合：アルバム名を変更するアルバムを選択 ▶ **メニュー** ▶ **アルバム名変更** ▶ アルバム名を変更する

3 **決定** を押す

アルバムを追加した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと写真・画像一覧に戻ります。

◆ 画像のアルバムの削除

作成したアルバムを削除します。

・ お買い上げ時に登録されているアルバムは削除できません。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **写真・画像を見る** を押す
写真・画像一覧が表示されます。

2 削除するアルバムを選択 ▶ **メニュー** ▶ **アルバムを削除** ▶ **削除する** を押す

アルバムを削除した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと写真・画像一覧に戻ります。

・ アルバム内に画像が残ったままアルバムを削除するときは、端末暗証番号を入力 ▶ **決定** を押します。アルバムを削除した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと写真・画像一覧に戻ります。

◆ アルバムへの画像移動

別のアルバムに画像を移動します。

- ・ 「内蔵写真」アルバムの画像は移動できません。
- ・ 「microSDの写真」アルバムの画像の移動→ P.108、P.110

1 待受画面で **メニュー** ▶ **写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **写真・画像を見る** ▶ アルバムを選択 ▶ **決定** を押す
画像一覧が表示されます。

2 移動する画像を選択 ▶ **メニュー** ▶ **移動する** ▶ **アルバムへ移動** を押す
移動する写真の選択画面が表示されます。

3 **選択1件**または**アルバム内全件**を押す

移動先の選択画面が表示されます。

複数選択して移動する場合：**選択複数件**

▶ 移動する画像を選択 ▶ **決定** (電話機) を押す

- ・ 選択すると画像に✓が表示されます。リスト表示の場合は が に変わります。
- ・ **決定**：画像を選択/解除します。
- ・ **メニュー**：すべての画像を選択/解除します。

4 移動先のアルバムを選択 ▶ **決定** を押す
画像を移動した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときは写真・画像一覧に戻ります。

◆ 画像の削除

本端末やmicroSDカードに保存されている画像を削除します。

- 「内蔵写真」アルバムの画像は削除できません。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[3] 写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **[2] 写真・画像を見る** ▶ **アルバムを選択** ▶ **決定** を押す
画像一覧が表示されます。

2 削除する画像を選択 ▶ **(メニュー)** ▶ **[5] 削除する** を押す
削除する写真の選択画面が表示されます。

3 **[1] 選択1件** を押す
アルバム内の画像を全件削除する場合：**[3] アルバム内全件** ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ **決定** を押す
複数選択して移動する場合：**[2] 選択複数件** ▶ **削除する画像を選択** ▶ **決定** ▶ **電話機** を押す
• 選択すると画像に✓が表示されます。リスト表示の場合は□が✓に変わります。
• **決定**：画像を選択／解除します。
• **(メニュー)**：すべての画像を選択／解除します。

4 **[1] 削除する** を押す
写真を削除した旨のメッセージが表示されます。
決定 を押すと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときは写真・画像一覧に戻ります。

◆ 画像一覧の並び順変更

本端末に保存されている画像の並び順を変更します。

- 「microSDの写真」アルバムの並び順は変更できません。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[3] 写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **[2] 写真・画像を見る** ▶ **アルバムを選択** ▶ **決定** を押す
画像一覧が表示されます。

2 **(メニュー)** ▶ **[9] 並び順を変更** を押す
並び順の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。
[1] 題名で昇順：題名を50音順に並べ替えます。
[2] 題名で降順：題名を50音順の逆に並べ替えます。
[3] 保存日時で昇順：保存日時の古い順に並べ替えます。
[4] 保存日時で降順：保存日時の新しい順に並べ替えます。

3 **[1] 題名で昇順**～**[4] 保存日時で降順**のいずれかを押す
選択した並び順で画像が並び替わります。

✓お知らせ-----
• 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名で昇順」や「題名で降順」の並び替えた結果が50音順にならない場合があります。

◆ 本端末の保存容量の確認

本端末にデータを保存できる領域のサイズや、空き領域のサイズなどを表示します。

- 空き領域のサイズは、データ、メロディ、マチキャラ、トルカの保存状況によっても変わります。

〈例〉画像の保存容量を確認する

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[3] 写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **[2] 写真・画像を見る** ▶ **(メニュー)** ▶ **[4] 保存容量を確認** を押す

動画の保存容量を確認する場合：待受画面で **(メニュー)** ▶ **[3] 写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **[4] ビデオを見る** ▶ **(メニュー)** ▶ **[2] 保存容量を確認** を押す

使用量：使用している領域のサイズを示します。

空き容量：空き領域のサイズを示します。

全容量：本端末にデータが保存できる領域のサイズを示します。

- **電話機** を押すと写真・画像一覧／ビデオ一覧に戻ります。

◆ビデオ撮影をする

音声付きのビデオ（動画）を撮影します。

1 待受画面で を1秒以上 ▶ 「[2]ビデオ撮影」を押す

ビデオ撮影画面が表示されます。

決定 が一定間隔で点滅します。



現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影時間の目安が表示されます。

- 電話機：「撮影したビデオ」アルバムに保存されているビデオを見ることができます。microSDカードを取り付けているときは、電話機 ▶ 「[1]本体のビデオ」または「[2]microSDのビデオ」を押すと、「撮影したビデオ」アルバムまたはmicroSDカードに保存されているビデオを見ることができます。→P.108、P.119

2 被写体にカメラを向けて **決定** を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り撮影が開始されます。

3 **決定** を押す

終了確認音が鳴り、撮影が終了し、自動で保存されます。

- 撮影後すぐに保存され、ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すとビデオ撮影画面に戻ります。

✓お知らせ

- 撮影中に着信があったり、目覚ましや予定の設定時刻になったりした場合、その時点で撮影が中断され、着信やアラームの画面が表示されます。

◆撮影時の設定をする

撮影するときの設定を変更します。

- 設定できる項目は次のとおりです。

項目	参照先
ズームのしかた	P.117
写真撮影／ビデオ撮影の切り替え	P.117
セルフタイマーの利用	P.118
撮影サイズの設定*	P.118
ビデオサイズの設定*	P.118
明るさの調節	P.118
カメラメニューの利用	P.119

※ 撮影終了後も設定内容が保持されます。

◇ズームのしかた

表示倍率を変更して、被写体を拡大して撮影できます。

- 撮影待機中およびビデオ撮影中（停止中を含む）に操作できません。
- 写真、ビデオ撮影時に変更できる最大ズーム倍率は約6.0倍（80段階）です。
- 拡大鏡使用時に変更できるズーム倍率は約2.0倍～約12.0倍（32段階）です。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で

  を押す

ズーム倍率を変更されます。

◇写真撮影／ビデオ撮影の切り替え

撮影待機中に、写真撮影とビデオ撮影を切り替えます。

1 写真撮影画面またはビデオ撮影画面で

 ▶ 「[1]ビデオを撮影」または「[1]写真を撮影」を押す

撮影画面が切り替わります。

❖ セルフタイマーの利用

セルフタイマーを使用すると約10秒後に自動で写真を撮影します。

- セルフタイマーを利用する場合、自動シーン認識は利用できません。

1 写真撮影画面で ▶ 「2 セルフタイマーを使う」を押す

セルフタイマー待機中になります。

- セルフタイマーを解除するときは  ▶ 「2 セルフタイマーを解除」を押します。

2 被写体にカメラを向けて を押す

画面中央にピントを合わせて、カウントダウンが始まります。写真撮影画面下部に、残り秒数が表示されます。また、カウントダウン音が鳴り、ランプが点滅します。撮影時間に近づくと、カウントダウン音の間隔が短くなり、ランプの点滅が速くなります。

-  : セルフタイマーを中止します。

3 残り秒数が0になると、自動的に撮影される

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、写真が撮影されます。

❖ 撮影サイズの設定

撮影する写真の大きさを設定します。大きくするほど、保存容量を多く使います。

- 写真の撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面で ▶ 「3 写真の大きさ」を押す

撮影サイズの選択画面が表示されます。

2 「1 メール添付」～「5 8メガ最高画素」のいずれかを押す

撮影サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。 を押すと写真撮影画面に戻ります。

❖ ビデオサイズの設定

撮影するビデオの画像サイズを設定します。

- ビデオの撮影待機中のみ操作できます。

1 ビデオ撮影画面で ▶ 「2 撮影サイズを選ぶ」を押す

ビデオサイズの選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

- 1 サイズ小** : 撮影サイズはVGA(480×640)になります。
- 2 画面ぴったり** : 撮影サイズはHD(720×1280)になります。

2 「1 サイズ小」または「2 画面ぴったり」のいずれかを押す

ビデオサイズを設定した旨のメッセージが表示されます。 を押すとビデオ撮影画面に戻ります。

❖ 明るさの調節

撮影時の明るさを調節します。

- 5段階（-2、-1、±0、+1、+2）で調節できます。
- 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面またはビデオ撮影画面で を押す

写真撮影画面で操作する場合：「6 明るさの設定」を押す

ビデオ撮影画面で操作する場合：「4 明るさの設定」を押す

画面下部に、現在の明るさが表示されます。

2 または を押し、明るさを調節 ▶ を押す

明るさを調節した旨のメッセージが表示されます。 を押すと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

✓お知らせ

- 被写体によっては、明るさを調節しても表示があまり変化しない場合があります。

❖ カメラメニューの利用

撮影画面でカメラの各種機能に切り替えられます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で を1秒以上押す

カメラの各種機能の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

- 1 拡大鏡：拡大鏡に切り替えます。→P.113
- 2 QRコード読取り：QRコードリーダーに切り替えます。→P.123
- 3 セルフタイマー：セルフタイマーを利用します。→P.118
 - ビデオ撮影画面では選択できません。
- 4 終了する：写真撮影またはビデオ撮影を終了します。

2 「1 拡大鏡」～「3 セルフタイマー」のいずれかを押す

選択した機能に切り替わります。

- 終了するときは「4 終了する」を押します。

◆ 動画の再生

本端末に保存されているビデオや音声、動画を再生します。

- 保存容量の確認について→P.116

1 待受画面で ▶ 「3 写真・ビデオを撮る・見る」▶ 「4 ビデオを見る」を押す

- 動画は、次のアルバムに分類して保存されます。
 - ：カメラで撮影したビデオが保存されているアルバム
 - ：microSDカードのアルバム
 - ：お買い上げ時に登録されている動画が保存されているアルバム
 - ：microSDカードからの移動／コピー、赤外線通信での受信、パソコンなどから取り込んだ動画が保存されているアルバム
- アルバムを作成すると、が表示されます。→P.121

2 アルバムを選択 ▶ を押す

動画一覧が表示されます。

microSDカード内の動画を再生する場合：

「microSDのビデオ」アルバムを選択

▶  ▶ 「3 ビデオ」または「4 その他のビデオ」▶ アルバムを選択 ▶  を押す

3 再生する動画を選択 ▶ を押す

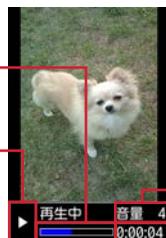
再生バー：現在の再生位置を表示します。

再生状態：

 再生中

 休止中

 停止中



再生音量

再生時間

- 再生が終わると自動的に停止します。 (P.20) を押すと動画一覧に戻ります。

❖ 動画再生中の操作

動画再生中は次の操作ができます。

決定 : 休止／再生

: 音量調節（横画面では巻き戻し再生／早送り再生）

: 音量調節

: 停止

※ 停止中に **決定** を押すと先頭から再生します。

: 巻き戻し再生／早送り再生（横画面では音量調節）

1 : 約10秒巻き戻し（再生開始から10秒未満の場合は先頭から再生）

3 : 約30秒早送り（再生終了まで30秒未満の場合は再生終了1秒前から再生）

: 縦画面と横画面の切り替え

▶ **1** : 画面表示を右に90度回転

▶ **2** : 画面表示を左に90度回転

• オートローテーション設定を「切替える」に設定しているときは、本端末を右または左に90度傾けると横画面で再生できます。→P.30

✓お知らせ

- 次の形式の動画を再生できます。形式は動画の情報で確認できます。→P.120
H.263、H.264、MPEG-4、VP8、VP9

❖ 動画添付のメールを作成

動画をメールに添付して送信します。

1 待受画面で ▶ **「3」** 写真・ビデオを撮る・見る ▶ **「4」** ビデオを見る ▶ アルバムを選択 ▶ **決定** ▶ 添付する動画を選択 ▶ ▶ **「1」** メールで送る ▶ **「1」** このまま送る ▶ メールを作成する

メール作成画面に選択した動画が添付され、ファイル名（拡張子含む）が表示されます。

- メール作成・送信方法→P.72、P.73
- **「2」** 内容を確認する を押すと、動画を再生します。

✓お知らせ

- 動画のファイルサイズによっては添付できない場合があります。

❖ 動画の情報の表示

動画の詳細情報を表示します。

1 待受画面で ▶ **「3」** 写真・ビデオを撮る・見る ▶ **「4」** ビデオを見る ▶ アルバムを選択 ▶ **決定** ▶ 情報を確認する動画を選択 ▶ ▶ **「2」** 情報を見る を押す

ビデオの情報画面が表示されます。

- **決定** を押すと動画一覧に戻ります。

項目	説明
題名	この端末内で表示される題名を表示します。
ファイル名	メールに添付したときなどに表示される名前を表示します。
ファイル種別	ファイル形式を表示します。
表示サイズ	再生したときの表示サイズを表示します。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示します。
再生時間	再生時間を表示します。
保存日時（作成日時）	保存（作成）した日時を表示します。

◆ 動画のアルバムの利用

アルバムを作成し、動画を撮影日やジャンルなどで分類して保存します。アルバム内に保存した動画を、連続して再生することもできます。

◆ 動画のアルバムの作成

アルバムを新規作成します。

- 最大10個作成できます。
- お買い上げ時に登録されているアルバムのアルバム名は変更できません。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[3] 写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **[4] ビデオを見る** を押す
ビデオ一覧が表示されます。

2 **メニュー** ▶ **[4] アルバムを追加** ▶ **アルバム名を入力する**

アルバム名の入力画面が表示されます。

- 全角/半角10文字以内で入力します。

アルバム名を変更する場合：アルバム名を変更するアルバムを選択 ▶ **メニュー** ▶ **[6] アルバム名変更** ▶ **アルバム名を変更する**

3 **決定** を押す

アルバムを追加した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すとビデオ一覧に戻ります。

◆ 動画のアルバムの削除

作成したアルバムを削除します。

- お買い上げ時に登録されているアルバムは削除できません。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[3] 写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **[4] ビデオを見る** ▶ **削除するアルバムを選択** ▶ **メニュー** ▶ **[5] アルバムを削除** ▶ **[1] 削除する** を押す

アルバムを削除した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すとビデオ一覧に戻ります。

- アルバム内に動画が残ったままアルバムを削除するときは、端末暗証番号を入力 ▶ **決定** を押します。アルバムを削除した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すとビデオ一覧に戻ります。

◆ アルバムへの動画移動

別のアルバムに動画を移動します。

- 「内蔵ビデオ」アルバムの動画は移動できません。
- 「microSDのビデオ」アルバムの動画の移動 → P.108、P.110

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[3] 写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **[4] ビデオを見る** ▶ **アルバムを選択** ▶ **決定** ▶ **移動する動画を選択** ▶ **メニュー** ▶ **[4] 移動する** ▶ **[1] アルバムへ移動** を押す
移動するビデオの選択画面が表示されます。

2 **[1] 選択1件**または**[3] アルバム内全件**を押す

移動先の選択画面が表示されます。

複数選択して移動する場合：[2] 選択複数件

▶ **移動する動画を選択** ▶ **決定** ▶ **電話機** を押す

- 選択すると動画に✓が表示されます。リスト表示の場合は が に変わります。
- **決定**：動画を選択/解除します。
- **メニュー**：すべての動画を選択/解除します。

3 **移動先のアルバムを選択** ▶ **決定** を押す

ビデオを移動した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと動画一覧に戻ります。アルバム内に動画がなくなったときはビデオ一覧に戻ります。

◆ 動画のアルバム再生

アルバム内の動画をまとめて再生します。

- お買い上げ時に登録されているアルバムでは操作できません。

1 待受画面で **(Xメニュー)** ▶ **[3] 写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **[4] ビデオを見る** を押し
ビデオ一覧が表示されます。

2 再生するアルバムを選択 ▶ **(Xメニュー)** ▶ **[3] アルバムを再生** ▶ **決定** を押し

アルバム内のビデオを連続して再生する旨のメッセージが表示されます。**決定** を押しと動画が再生されます。

繰り返し再生するかどうかを設定する場合：

(Xメニュー) ▶ **[7] 繰り返し再生** ▶ **[1] 繰り返す**
または **[2] 繰り返さない** を押し

繰り返し再生の設定を変更した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押しとビデオ一覧に戻ります。

- 再生中に **(戻る)** を押しとビデオ一覧に戻ります。繰り返し再生を「繰り返さない」に設定している場合は、アルバム内のすべての動画を再生すると自動でビデオ一覧に戻ります。

◆ アルバム再生中の操作

再生中は次の操作ができます。

決定：休止／再生

(メール) **(電話機)** / **(+)** **(-)**：音量調節

(電話機)：停止

※ 停止中に **決定** を押しと停止中の動画の先頭から再生します。

(+) (1秒以上)：動画の先頭に移動 (動画の始まりから3秒以内に操作すると前の動画に移動)

(-) (1秒以上)：次の動画に移動

◆ 動画の削除

1件ずつ削除したり、アルバム内の動画をまとめて削除します。

- 「内蔵ビデオ」アルバムの動画は削除できません。

1 待受画面で **(Xメニュー)** ▶ **[3] 写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **[4] ビデオを見る** ▶ アルバムを選択 ▶ **決定** ▶ 削除する動画を選択 ▶ **(Xメニュー)** ▶ **[3] 削除する** を押し

削除するビデオの選択画面が表示されます。

2 **[1] 選択1件** を押し

ビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

複数選択して削除する場合：**[2] 選択複数件**

▶ 削除する動画を選択 ▶ **決定** ▶ **(電話機)** を押し

• 選択すると動画に が表示されます。リスト表示の場合は が に変わります。

• **決定**：動画を選択／解除します。

• **(Xメニュー)**：すべての動画を選択／解除します。

アルバム内の動画を全件削除する場合：**[3] アルバム内全件** ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ **決定** を押し

3 **[1] 削除する** を押し

ビデオを削除した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押しと動画一覧に戻ります。アルバム内に動画がなくなったときはビデオ一覧に戻ります。

◆ 動画一覧の並び順変更

本端末に保存されている動画の並び順を変更します。

- ・「microSDのビデオ」アルバムの並び順は変更できません。

- 1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[3] 写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **[4] ビデオを見る** ▶ **アルバムを選択** ▶ **決定** ▶ **(メニュー)** ▶ **[7] 並び順を変更** を押す

並び順の選択画面が表示されます。

- 2 **[1] 題名で昇順**～**[4] 保存日時で降順**のいずれかを押す

選択した並び順で動画が並び替わります。

- ・並び順については「画像一覧の並び順変更」をご覧ください。→P.116

✓お知らせ

- ・題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名で昇順」や「題名で降順」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

◆ 動画の再生時の照明設定

動画を再生するとき照明を点灯させるかどうかを設定します。

- 1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[3] 写真・ビデオを撮る・見る** ▶ **[4] ビデオを見る** ▶ **(メニュー)** ▶ **[1] 照明を設定** ▶ **[1] 常に点灯**または**[2] 1分で消灯**を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。

決定 を押すとビデオ一覧に戻ります。

- ・「1分で消灯」に設定すると、何も操作しないで約1分経過すると消灯します。
- ・照明設定で「さらに暗く設定」に設定している場合は設定できません。→P.155

◆ QRコード読み取り

QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- ・QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- ・傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射の具合などにより読み取れない場合があります。

■ QRコードとは



縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナなどのデータを表現している2次元コードです。上のQRコードでは、「株式会社NTTドコモ」という文字情報を読み取れます。

◇ QRコードの読み取り

- 1 待受画面で **(カメラ)** を1秒以上押す ▶ **[4] QRコード読み取り** を押す

カメラをQRコードから約10cm離して読み取ってください。

- 2 QRコードを読み取る

カメラをQRコードに合わせると自動的に読み取ります。QRコードが読み取られると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- 3 データを確認する

QRコードデータ表示画面が表示されます。

コードを読み取り直す場合：**(電話機)** を押す

❖ QRコードデータの利用

QRコードデータ表示画面で、読み取ったデータを直接利用したり、登録や保存をしたりします。

読み取ったデータの文字情報をコピーする場合：

▶「**1**コピーする」を押す

情報を電話帳に新規登録する場合：電話番号を選択

▶**決定**▶「**2**電話帳登録」を押す

名前の入力画面が表示されます。

• 以降の操作は「電話帳の登録のしかた」をご覧ください。→P.66

操作後にデータ表示画面に戻ります。

• 読み取ったデータが電話帳登録用だった場合、情報の上に表示される「電話帳一括登録」を選択

▶**決定**を押しても新規登録できます。

各項目が入力された状態で表示されます。

電話をかける場合：電話番号を選択▶**決定**▶「**1**電話をかける」▶「**1**電話をかける」を押す

電話がかかります。

電話がかかります。

情報をブックマークに登録する場合：URLを選択

▶▶「**3**登録する」▶「**2**ブックマーク登録」を押す

ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとデータ表示画面に戻ります。

• 読み取ったデータがブックマーク登録用だった場合、情報の上に表示される「ブックマーク登録」を選択▶**決定**を押しても登録先フォルダ選択画面を表示できます。

メールを送信する場合：メールアドレスを選択

▶**決定**を押す

宛先が入力されたメール作成画面が表示されます。

• メール作成・送信方法→P.72、P.73

• 読み取ったデータがメール作成用だった場合、情報の上に表示される「メール作成」を選択▶**決定**

を押しても新規作成できます。

各項目が入力された状態で表示されます。

ホームページやサイトを表示する場合：URLを選択

▶**決定**を押す

ホームページまたはサイトが表示されます。

❖ 分割されたQRコードを読み取る

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータは、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。

• 分割されたQRコードの読み取りを中止するには、

を押します。読み取ったデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されます。「**1**破棄する」を押すと、読み取ったデータを破棄してQRコードリーダーが終了します。

電卓

電卓を使って+、-、×、÷の計算をします。

1 待受画面で▶「**5**便利なツールを使う」▶「**1**電卓を使う」を押す

電卓画面には、操作に使用するボタンの位置と機能が表示されます。

2 計算する

• 次のボタンを押して操作ができます。

~：数字を入力します。

///：+/-/×/÷を入力します。

：=を入力します（計算の実行）。

：小数点を入力します。

：最後に入力した数字を一桁削除します。

：入力した数字や計算結果を削除します。

〈例〉18+30=を計算する



スケジュール

行事や用件などの予定を登録して、必要なときに確認できるようにします。予定の日時に音声で通知するように設定したり、ダウンロードした i スケジュールを表示したりすることもできます。

◆カレンダーの表示

スケジュール帳のカレンダー画面を表示します。

1 待受画面で ▶ 「5 便利なツールを使う」▶ 「2 スケジュール帳・メモを使う」▶ 「1 予定を見る・登録する」を押す

カレンダー画面が表示されます。

- 予定を登録している場合は  (黒色) が、i スケジュール内の予定をダウンロードしている場合は  (オレンジ色) が、日付の右上に表示されます。 (黒色) が優先して表示されます。
- 用件マークの意味は次のとおりです。
 : スケジュール帳に登録した予定
 : 電話帳に登録した誕生日
- ダウンロードした予定や i スケジュール内の予定は、異なる用件マークが表示される場合があります。
- i コンシェルを契約すると、当日から最大8日分の週間天気予報が自動的に配信され、カレンダー画面と予定一覧に表示されます。
-     を押すと、カーソルが移動します。
-  /  を押すと、前の月/次の月が表示されます。

✓お知らせ

- 祝日を選択すると、年月の右側に祝日名が表示されます。
- 電話帳に登録した誕生日は、スケジュールから修正や削除などの操作ができません。また、登録件数確認で表示される件数に含まれません。

◆予定の登録

スケジュール帳に予定を登録します。

1 待受画面で ▶ 「5 便利なツールを使う」▶ 「2 スケジュール帳・メモを使う」▶ 「1 予定を見る・登録する」を押す

カレンダー画面が表示されます。

2 日付を選択 ▶ ▶ 「1 登録する」を押す

予定の入力画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

- 1 予定の内容：予定を入力します。
- 2 日時：予定の日時を指定します。
- 3 通知：予定の日時になったとき、通知するかどうかを設定します。

すでに予定を登録している日付に追加する場合は：日付を選択 ▶  ▶  を押す

3 「1 予定の内容」▶ 予定を入力 ▶ を押す

予定の日時を変更するかどうかの確認画面が表示されます。

- 全角300文字、半角600文字以内で入力します。

4 「1 変更する」を押す

予定を終日に設定するかどうかの確認画面が表示されます。

変更しない場合：「2 変更しない」を押す

操作2の画面に戻ります。

詳細を設定する場合は操作9に、設定しない場合は操作11に進みます。

5 「1 終日にする」または「2 日時を設定する」を押す

開始日付または開始日時の入力画面が表示されます。

- 時刻を指定せずに終日の予定にする場合は「1 終日にする」を押します。
- 時刻を指定する場合は「2 日時を設定する」を押します。

6 開始日付または開始日時を入力▶決定を押す

終了日付または終了日時の入力画面が表示されます。

- 月、日が1桁のときは前に0を付けます。
- 時刻は24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

7 終了日付または終了日時を入力▶決定を押す

予定の時刻に通知するかどうかの確認画面が表示されます。

- 入力方法は操作6と同様です。
- 終了日付または終了日時を開始日付または開始日時よりも後の日付や日時に設定すると、長期間の予定として登録されます。
- 終了日時を開始日時よりも前の日時で入力した場合は、終了日時を開始日時に合わせて設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作8に進みます。

8 「1通知する」または「3通知しない」を押す

操作2の画面に戻ります。

詳細を設定する場合は操作9に、詳細を設定しない場合は操作11に進みます。

予定の時刻よりも事前に通知する場合：「2事前に通知する」▶何分前に通知するかを入力▶決定を押す

- 0～99分の範囲で入力します。

9 決定を押す

詳細の入力画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

- 1 詳細内容：予定の詳しい内容を入力します。
- 2 場所：場所を入力します。
- 3 近くでお知らせ：登録した場所の近くでインフォメーションを受信する設定ができたり、i コンシェルでご利用いただける様々なコンテンツを探したりすることができます。i コンシェル契約時のみ表示されます。

10 「1詳細内容」▶詳細内容を入力▶決定▶場所を入力▶決定を押す

操作9の画面に戻ります。

- 詳細内容は全角300文字、半角600文字以内で入力します。場所は全角25文字、半角50文字以内で入力します。

操作2の画面に戻る場合：決定を押す

11 電話帳を押す

予定を登録した旨のメッセージが表示されます。

決定を押すと予定一覧が表示されます。

- 通知する設定にしているときは、待受画面に通知が表示されます。
- 本端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通知が表示されます。

❖ 予定を通知する日時になると

次の通知画面が表示され、電話着信音量で設定した音量で「予定の時刻です」(事前に通知する設定の場合は「もうすぐ予定の時刻です」という通知音声)が鳴り、ランプが点滅します。

- 本端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通知画面が表示されます。
- 決定を押すと予定の通知が終了し、予定の通知が動作する前の画面に戻ります。
- 決定以外のボタンを押すか、何も操作せずに約1分間経過すると予定の通知が停止します。
- 停止中に決定を押すと予定の通知が動作する前の画面に戻ります。同じ日時に複数の予定を通知するように設定している場合は、他の予定の内容が表示され、決定を複数回押すと予定の通知が動作する前の画面に戻ります。

✓ お知らせ

- 電話中や通信中、運転中モード設定中、マナーモード中に、指定した日時になったときの通知の動作は、お知らせタイマーと同様です。→P.136
- 電話着信時の振動を「振動させない」以外に設定すると、指定した時刻になったとき設定に従って本端末が振動します。

◆ 予定の確認

予定一覧や予定詳細画面を確認します。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ 「5 便利なツールを使う」 ▶ 「2 スケジュール帳・メモを使う」 ▶ 「1 予定を見る・登録する」 ▶ 日付を選択 ▶ **決定** を押す

予定一覧が表示されます。

- 表示中の日付に週間天気予報が配信されている場合は、日付の下に表示されます。

2 確認する予定を選択 ▶ **決定** を押す

予定詳細画面が表示されます。

- 同じ日付に複数の予定を登録している場合は、**戻る** を押すと前後に登録している予定詳細画面に切り替わります。
- 電話帳** を押すと予定一覧に戻ります。

指定日の予定を表示する場合：予定一覧で

- メニュー** ▶ 「4 指定日を表示」 ▶ 表示する日付を入力 ▶ **決定** を押す

入力した日付の予定一覧が表示されます。

- 月、日が1桁のときは前に0を付けます。

当日の予定を表示する場合：予定一覧で **メニュー ▶ 「5 当日に戻る」 を押す**

i コンシェルの起動：予定一覧で **メニュー** ▶ 「6 i コンシェルへ」 ▶ 画面の指示に従って操作する → P.100

当日の予定一覧が表示されます。

✓お知らせ

- 誕生日の相手の電話帳にメールアドレスや電話番号を登録している場合は、誕生日の予定詳細画面で1件目のメールアドレスや電話番号にメールやSMSを送信したり電話をかけたたりできます。

◆ 予定を修正する

登録した予定を修正します。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ 「5 便利なツールを使う」 ▶ 「2 スケジュール帳・メモを使う」 ▶ 「1 予定を見る・登録する」 ▶ 日付を選択 ▶ **決定** を押す

2 修正する予定を選択 ▶ **メニュー** ▶ 「2 修正する」を押す

- 以降の操作は「予定の登録」をご覧ください。 → P.125

✓お知らせ

- 繰り返しの予定は、長期間の予定に修正して登録できません。繰り返しを解除してから修正してください。 → P.127

◆ 予定をコピーする

登録済みの予定を、別の日付にコピーします。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ 「5 便利なツールを使う」 ▶ 「2 スケジュール帳・メモを使う」 ▶ 「1 予定を見る・登録する」 ▶ 日付を選択 ▶ **決定** を押す

2 コピーする予定を選択 ▶ **メニュー** ▶ 「6 指定日にコピー」 ▶ コピー先の日付を入力 ▶ **決定** を押す

予定をコピーした旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すとコピーした予定が予定一覧に表示されます。

- 月、日が1桁のときは、前に0を付けます。

✓お知らせ

- 複数曜日の繰り返しを設定されている予定をコピーした場合、繰り返し設定は削除されます。

◆ 予定の繰り返しを設定する

習い事や会議など、定期的に行う予定に繰り返しの種類を設定することで、毎週や毎月の予定として表示することができます。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ 「5 便利なツールを使う」 ▶ 「2 スケジュール帳・メモを使う」 ▶ 「1 予定を見る・登録する」 ▶ 日付を選択 ▶ **決定** を押す

2 繰り返す予定を選択 ▶ **メニュー** ▶ 「7 繰り返しを設定」を押す

繰り返しの種類の設定画面が表示されます。

3 「1 毎日繰り返す」～「4 毎年繰り返す」のいずれかを押す

繰り返し設定を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと予定一覧に戻ります。

曜日を指定して設定する場合：

- ① 「5 曜日を指定する」 ▶ 「1 日曜日」～「7 土曜日」のうち、選択する項目の番号を押す
 - から に変わります。
 - 決定**：曜日を選択/解除します。
 - メニュー**：すべての曜日を選択/解除します。
- ② **電話帳** を押す

繰り返しの設定を解除する場合：「6 繰り返さない」を押す

4 決定を押す

予定一覧に戻ります。

✓お知らせ

- ・ i スケジュール内の予定は、繰り返しを設定できません。

◆写真を添付／解除する

登録した予定に写真を添付します。

〈例〉アルバムから選ぶ

- 1 待受画面で「メニュー」▶「5 便利なツールを使う」▶「2 スケジュール帳・メモを使う」▶「1 予定を見る・登録する」▶日付を選択▶決定を押す

- 2 写真を添付する予定を選択「メニュー」▶「8 写真を添付する」または「8 添付を解除する」を押す

- 3 「2 アルバムから選ぶ」▶アルバムを選択▶決定▶写真を選択▶決定▶決定を押す
今から撮影する場合：「1 今から撮影する」▶決定▶決定を押す

◆予定の登録件数の確認

i スケジュールの登録件数、予定の登録件数を表示します。〈登録件数確認〉

- 1 待受画面で「メニュー」▶「5 便利なツールを使う」▶「2 スケジュール帳・メモを使う」▶「2 予定の登録件数を見る」を押す
登録件数の確認画面が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

◆予定の削除

不要な予定を削除します。

〈例〉予定を1件削除する

- 1 待受画面で「メニュー」▶「5 便利なツールを使う」▶「2 スケジュール帳・メモを使う」▶「1 予定を見る・登録する」▶日付を選択▶決定を押す

2 削除する予定を選択▶「メニュー」▶「3 削除する」を押す

削除する予定の選択画面が表示されます。

3 「1 選択1件」を押す

予定を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

選択した日付の予定をすべて削除する場合：

「2 選択1日」を押す

選択した日付より前の日付の予定をすべて削除する場合：「3 選択日付日まで」を押す
すべての予定を削除する場合：「4 全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

4 「1 削除する」を押す

予定を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとカレンダー画面に戻ります。予定を削除した日付に他の予定がある場合は日表示画面に戻ります。

- ・ 「2 選択1日」または「3 選択日付日まで」を選択した場合、削除される予定に長期間／繰り返しの予定が含まれていると、長期間／繰り返しの予定が含まれる旨のメッセージが表示されます。

◆i スケジュールを表示する

1 件の i スケジュールには、複数の予定が含まれます（i スケジュール内の予定）。新しい予定をダウンロードしたり、ケータイデータお預かりサービスで保存したデータを更新・復元したりしたときに、i スケジュールが更新されます。

- ・ 本端末の空き容量がない場合は、更新されません。
- ・ i スケジュール内の予定は個別に削除できません。削除する場合は i スケジュールを削除します。

- 1 待受画面で「メニュー」▶「5 便利なツールを使う」▶「2 スケジュール帳・メモを使う」▶「3 i スケジュールを使う」を押す

i スケジュール一覧が表示されます。

- ・ i スケジュールが登録されていない場合は i スケジュールの説明画面が表示されます。
- ・ i スケジュールの説明画面で「メニュー」▶「1 リストを確認」～「3 申し込みをする」のいずれかを押して「1 接続する」を押すと、どのような i スケジュールがあるのか（i スケジュールリスト）を確認したり、i スケジュールを使うための申し込みをしたりできます。

2 i スケジュール内の予定を表示する i スケジュールを選択 ▶ (電話帳) を押す

i スケジュール内の予定一覧が表示されます。

i スケジュールの概要を表示する場合：概要を表示する i スケジュールを選択 ▶ (決定) を押す i スケジュールの概要画面が表示されます。

(電話帳) を押すと i スケジュール内の予定一覧が表示され、(メニュー) を押すと i スケジュール一覧に戻ります。

i スケジュールリストを確認する場合：「i スケジュールリストへ」▶ 「1 接続する」を押す

3 i スケジュール内の予定を選択 ▶ (決定) を押す

i スケジュール内の予定の詳細画面が表示されます。(電話帳) を押すと i スケジュール内の予定一覧に戻ります。

❖ i スケジュールを削除する

i スケジュールを削除します。i スケジュールを削除すると、i スケジュール内の予定もすべて削除されます。i スケジュールは、i スケジュール内の予定だけを個別に削除することはできません。

〈例〉i スケジュールを1件削除する

1 待受画面で (メニュー) ▶ 「5 便利なツールを使う」▶ 「2 スケジュール帳・メモを使う」を押す

2 「3 i スケジュールを使う」を押す i スケジュール一覧が表示されます。

3 削除する i スケジュールを選択 ▶ (メニュー) ▶ 「1 削除する」を押す

i スケジュールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

すべての i スケジュールを削除する場合：

(メニュー) ▶ 「2 全件削除する」▶ 端末暗証番号を入力 ▶ (決定) を押す

4 「1 削除する」を押す

i スケジュールを削除した旨のメッセージが表示されます。(決定) を押すと i スケジュールの説明画面が表示されます。他の i スケジュールがある場合は i スケジュール一覧に戻ります。

◆クラウドと同期する

クラウドと同期します。

・ドコモクラウドの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で (メニュー) ▶ 「5 便利なツールを使う」▶ 「2 スケジュール帳・メモを使う」▶ 「5 クラウドと同期する」を押す

◆クラウドを設定する

クラウドの設定をします。

・ドコモクラウドの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で (メニュー) ▶ 「5 便利なツールを使う」▶ 「2 スケジュール帳・メモを使う」▶ 「6 クラウドを設定する」▶ 画面の指示に従って操作する

✓お知らせ

・i コンシェルを利用して、スケジュールやメモの件名、詳細欄に入力された内容と、添付画像に関連する情報を追記する設定ができます。→P.142

◆アプリケーション情報を見る

アプリケーションの情報を確認できます。

1 待受画面で (メニュー) ▶ 「5 便利なツールを使う」▶ 「2 スケジュール帳・メモを使う」▶ 「7 アプリケーション情報を見る」を押す アプリケーション名や提供者、バージョン、オープンソースライセンスを確認できます。

メモ

メモを利用します。

- クラウドと同期について→P.129
- クラウドを設定する→P.129
- アプリケーション情報について→P.129

◆メモの作成

- 1 待受画面で(メニュー)▶「5 便利なツールを使う」▶「2 スケジュール帳・メモを使う」▶「4 メモを使う」を押す
- 2 「1 メモを新しく作る」を押す
- 3 メモの内容を入力▶(決定)を押す
メモを登録した旨のメッセージが表示されます。
(決定)を押すとメモの一覧画面に戻ります。

◆メモの表示

- 1 待受画面で(メニュー)▶「5 便利なツールを使う」▶「2 スケジュール帳・メモを使う」▶「4 メモを使う」▶「2 メモを読む・修正する」を押す
メモの一覧画面が表示されます。

2 メモを選択▶(決定)を押す

■メモの一覧画面での主な操作

メモの新規作成：(メニュー)▶「1 新規作成する」を押す

メモの編集：編集するメモにカーソル▶(メニュー)▶「2 内容を修正する」を押す

詳細の追加：追加するメモにカーソル▶(メニュー)▶「3 詳細を追加する」を押す

メモの削除：削除するメモにカーソル▶(メニュー)▶「4 削除する」▶「1 削除する」▶(決定)を押す

i コンシエルの起動：(メニュー)▶「5 i コンシエルへ」▶画面の指示に従って操作する→P.100

辞書

国語／和英／英和辞典を使って用語の意味などを調べることができます。

- 1 待受画面で(メニュー)▶「5 便利なツールを使う」▶「3 辞書を使う」▶「1 国語辞典を使う」～「3 英和辞典を使う」のいずれかを押す
用語の入力画面が表示されます。

2 検索する用語を入力▶(決定)を押す

検索結果一覧が表示されます。

- 国語辞典、和英辞典は16文字、和英辞典は32文字以内で入力します。ただし英和辞典の場合は半角英字入力モードのみでの入力となります。

3 調べたい用語を選択▶(決定)を押す

詳細画面（用語の意味など）が表示されます。

入力し直す場合：検索結果一覧で(電話機)を押す
操作2に戻ります。

詳細画面の内容をコピーする場合：(メニュー)を押す

- 以降の操作は「文字のコピー／切り取り／貼り付け」をご覧ください。→P.44

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
<http://www.apab.or.jp/>

◆ワンセグのご利用にあたって

- テレビ（ワンセグ）は、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送エリアに表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

◆放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、LTEサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、LTEサービスおよびFOMAサービスの圏外/圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
 - 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
 - トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
- 向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなる場合があります。

◆ワンセグの視聴

- 1 待受画面で(メニュー)▶「5 便利なツールを使う」▶「4 ワンセグを使う」▶「1 ワンセグを見る」を押す

ワンセグ視聴画面が表示されます。

初回利用時はチャンネルリストの登録が必要です。→P.133

ワンセグの終了：(戻る)▶「1 はい」を押す

✓お知らせ

- 起動時、起動中ともに最低限必要な電池残量は11%になります。10%以下だった場合、通知画面を表示し、(決定)を押すとアプリを終了します。
- ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- ワンセグ視聴画面はコピー禁止のデータであるため、視聴中にスクリーンショット（画面保存）は実行できません。

◆ワンセグ視聴画面



- ① 番組名
- ② 電波レベルマーク
- ③ ワンセグ視聴エリア
 - データ放送内の選択項目に対して(戻る)／(決定)を押して移動・選択し、(決定)を押して実行します。(戻る)を押すと前の画面に戻ります。
- ④ 字幕／データ放送エリア
 - データ放送内の選択項目に対して(戻る)／(決定)を押して移動・選択し、(決定)を押して実行します。(戻る)を押すと前の画面に戻ります。
- ⑤ メニュー
 - メニューを表示します。ガイドの表示、番組情報の表示、チャンネルの切り替え、テレビリンクの表示、チャンネルリスト／ワンセグの設定、チャンネルの追加登録の操作ができます。
- ⑥ チャンネル
 - 縦画面で(戻る)／(決定)、横画面で(戻る)／(決定)を押してチャンネルを切り替えます。1秒以上押すとチャンネルサーチできます。

- 場所を移動したときなどにチャンネルサーチを行うと、登録されていない放送局が受信できる場合があります。受信できた放送局は、チャンネルに追加登録できます。

なお、チャンネルサーチは周波数順に検索するため、リモコン番号の順番どおりに検索されない場合があります。

- 0 (0) ~ 9 (9)、* (＊)、# (＃) を押してもチャンネルを切り替えることができます。
* (＊) が10チャンネル、0 (0) が11チャンネル、# (＃) が12チャンネルの割り当てとなります。また、チャンネルを切り替えることができるのは割り当てチャンネルがある場合に限りです。データ放送に数字キー入力がある場合は、データ放送操作となります。

⑦ 音量

- + (＋) / - (－) を押して音量を調節できます。

⑧ 画面切替

- 字幕やデータ放送の表示など、画面表示を切り替えます。
 - 横画面ではデータ放送は表示されません。
- また、「画面の縦横を自動で切替える」の設定を「**2**切替えない」に設定した場合は、縦横の切り替えも可能となります。→P.30

◆ワンセグの各種設定

1 ワンセグ視聴画面で (メニュー) ▶ 「6 ワンセグの設定」を押す

2 各項目を設定

字幕言語の設定：複数の字幕がある番組で、どの字幕を表示するかを設定します。

音声の設定：複数の音声を放送している番組で、どの音声を聴くかを設定したり、副音声を放送している番組で主音声と副音声を切り替えたりします。

データ放送の設定：データ放送の詳細を設定します。

サービス切替え：視聴するサービスを選択します。同じチャンネル内で複数の番組（サービス）が提供されている場合に操作できます。

◆テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。

※テレビリンクの登録

1 データ放送領域でテレビリンク登録可能な項目を選択する

- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

※テレビリンクの表示

1 ワンセグ視聴画面で (メニュー) ▶ 「4 テレビリンクを見る」▶ テレビリンクを選択する

- (メニュー) ▶ 「1 詳細情報を見る」を押すと、テレビリンクのタイトル名や説明などの詳細情報を確認できます。

2 「1 接続する」を押す

登録されたサイトに接続します。

❖ テレビリンクの削除

- 1 ワンセグ視聴画面で **(メニュー)** ▶ **[4] テレビリンクを見る** ▶ **テレビリンクを選択する**
- 2 **(メニュー)** ▶ **[2] 選択1件削除する** ▶ **[1] 削除する**を押す
 - **(メニュー)** ▶ **[3] 全件削除する** ▶ **[1] 削除する**を押すと、テレビリンクを全件削除できます。

❖ チャンネル設定

❖ チャンネルリストの作成

・ワンセグの初回起動時は、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。操作2から操作してください。

- 1 ワンセグ視聴画面で **(メニュー)** ▶ **[5] チャンネルリストの設定** ▶ **[1] チャンネルリストを登録**を押す
- 2 **地方を選択** ▶ **都道府県を選択** ▶ **地域を選択** ▶ **決定**を押す
- 3 **[1] 登録する**を押す
登録したチャンネルリストを視聴用に設定するかどうかの確認画面が表示されます。
- 4 **[1] 設定する**または**[2] 終了する**を押す
[1] 設定するを選択した場合は、視聴するチャンネルリストを設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとワンセグ視聴画面に戻ります。

❖ チャンネルリストの切り替え

- 1 ワンセグ視聴画面で **(メニュー)** ▶ **[5] チャンネルリストの設定** ▶ **[2] チャンネルリストを選ぶ**を押す
- 2 **チャンネルリストを選ぶ**
現在設定中のチャンネルリストには が表示されます。
視聴するチャンネルリストを設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとワンセグ視聴画面に戻ります。

❖ チャンネルリストを編集する

- 1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[5] 便利なツールを使う** ▶ **[4] ワンセグを使う** ▶ **[2] チャンネルリストを設定する** ▶ **[3] チャンネルリストを編集する**を押す
- 2 **編集するチャンネルリストを選択** ▶ **決定** ▶ **[1] チャンネルリスト名変更** ~ **[3] 登録チャンネル表示**を押す
チャンネルリスト名を変更する場合：**[1] チャンネルリスト名変更** ▶ **チャンネルリスト名を入力** ▶ **決定**を押す
チャンネルリストを削除する場合：**[2] チャンネルリストを削除** ▶ **[1] 削除する** ▶ **決定**を押す
登録チャンネルを表示する場合：**[3] 登録チャンネル表示**を押す
チャンネル番号一覧画面が表示されます。
 - **(電話機)**を押すと、放送局情報詳細画面が表示されます。
 - **(メニュー)**を押すと、リモコン番号の変更やチャンネルを削除、更新できます。

目覚まし

指定した時刻になったことを、設定した目覚まし音でお知らせします。

• 最大5件登録できます。

1 待受画面で ▶ 「**5** 便利なツールを使う」▶ 「**5** 目覚ましを使う」を押す
目覚まし一覧が表示されます。

2 「目覚まし1」～「目覚まし5」のいずれか
▶ **決定** を押す

時刻の設定画面が表示されます。

目覚ましを動かす／止める場合：登録済みの目覚ましを選択 ▶ **決定** を押す

目覚ましの動作の選択画面が表示されます。

操作12に進みます。

設定を変更する場合：登録済みの目覚ましを選択 ▶ **決定** ▶ 「**3** 設定を変更する」▶ 変更する項目を選択 ▶ **決定** ▶ 操作3～10のいずれかを行う

選択した項目の設定を変更すると、目覚ましの設定内容が表示されます。

操作11に進みます。

設定を確認する場合：登録済みの目覚ましを選択 ▶ **決定** ▶ 「**4** 設定を確認する」を押す

3 時刻を入力 ▶ **決定** を押す

繰り返しの種類の設定画面が表示されます。

• 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

4 「**1** 毎日繰り返す」～「**3** 繰り返さない」のいずれかを押す

• 「**1** 毎日繰り返す」または「**3** 繰り返さない」を押した場合は操作7に進みます。

5 「**1** 日曜日」～「**7** 土曜日」のうち、選択する項目の番号を押す

曜日の が に変わります。

- **決定**：曜日を選択／解除します。
- ：すべての曜日を選択／解除します。

6 を押す

題名の入力画面が表示されます。

7 題名を入力する

• 全角、半角7文字以内で入力します。

8 **決定** を押す

メロディ・音一覧画面が表示されます。

9 フォルダを選択 ▶ **決定** ▶ メロディ・音を選択 ▶ **決定** を押す

音量の調節画面が表示されます。

• 音の再生方法は「電話着信時の着信音の変更」をご覧ください。→P.157

10 または を押して音量を調節 ▶ **決定** を押す

目覚ましの設定内容が表示されます。

消音に設定する場合：音量1のときに

のいずれか ▶ **決定** を押す

11 を押す

目覚ましを動かすかどうかの確認画面が表示されます。

12 「**1** 動かす」または「**2** 止める」を押す

目覚ましを動かした／止めた旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと目覚まし一覧画面に戻ります。

- 目覚ましを動かす設定にしているときは、目覚まし一覧の時刻の右側に「 [起動]」と表示されます。また、待受画面に が表示されます。
- 本端末を閉じているときは、背面ディスプレイに が表示されます。

❖ 目覚ましの時刻になると

設定した音と音量で目覚まし音が鳴り、ランプが点滅します。

- 本端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通知画面が表示されます。
- 目覚ましを終了するには  を押します。それ以外のボタン (、 を除く) を押すか、何も操作せずに約1分間経過すると、スヌーズ動作(1分間鳴った後4分間停止)になります。
- スヌーズ動作で停止しているときは、次の通知時刻が表示されます。

✓お知らせ

- 電話中や通信中、運転中モード設定中に指定した時刻になったときの目覚ましの動作は、お知らせタイマーと同様です。→P.136
- 電話着信時の振動を「振動させない」以外に設定しているときや、マナーモード中に指定した時刻になったときのバイブレータ(振動)の動作は、お知らせタイマーと同様です。→P.136

おやすみモードを使う

指定した時刻に本端末を閉じているときに目覚まし以外の通知(音・バイブレータ(振動))を抑制します。

1 待受画面で ▶ 便利なツールを使う ▶ を押す

おやすみモードを設定していない場合は、機能説明画面が表示されます。

2 開始時刻を入力 ▶ ▶ 終了時刻を入力 ▶ を押す

おやすみモードを変更する場合：  開始・終了時刻を変更する ▶ 開始時刻を入力

▶  終了時刻を入力 ▶  を押す

おやすみモードを解除する：  設定を解除する ▶  を押す

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

3 を押す

おやすみモードを設定した旨のメッセージが表示されます。 を押すと待受画面に戻ります。

✓お知らせ

- おやすみモード中は、背面ディスプレイに「おやすみモード中」と表示されます。
- おやすみモード設定中に電話がかかってくると、相手に電話に出られない旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。
- おやすみモード設定中は背面ディスプレイに  が表示されます。

お知らせタイマー

タイマーでお知らせするまでの時間を入力して設定します。

1 待受画面で **メニュー** ▶ 「5 便利なツールを使う」▶ 「7 お知らせタイマーを使う」▶ 時間を入力 ▶ **決定** を押す

お知らせタイマーのカウントダウンが始まります。

- 1～60分の範囲で入力します。
- 待受画面で **0分** ～ **9分** を押して時間を入力し **電話帳** を押しても開始できます。
- カウントダウン中に本端末を閉じると、背面ディスプレイにカウントダウン画面が表示されます。
- 中止するときは、カウントダウン中に **決定** ▶ 「1 中断して終了」を押します。

❖ 指定した時間が経過すると

「目覚まし1」の音と「音量4」でタイマーが鳴り、ランプが点滅します。

- 本端末を閉じているときは背面ディスプレイに通知画面が表示されます。
- **戻る** を押すとタイマーが終了し、待受画面に戻ります。
- **戻る**、**ホーム**、**電源** 以外のボタンを押すか、何も操作せずに約1分間経過するか通話中に指定した時間が経過すると、タイマーが停止し、指定した時間が経過した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと待受画面に戻ります。

✓お知らせ

- 通話中に指定した時間になると、タイマー音ではなく通知音で鳴り、画面の表示でお知らせします。**決定** を押すと、通話中の画面に戻ります。
- 運転中モード設定中に指定した時間が経過すると、タイマー音やランプは動作せず、画面の表示のみでお知らせします。
- 電話着信時の振動を「振動させない」以外に設定しているときは、指定した時間が経過すると本端末が「パターンA」で振動します。
- マナーモード中に指定した時間が経過すると、タイマー音は鳴らず本端末が「パターンA」で振動します。

ボイスレコーダ

音声を録音して、本端末やmicroSDカードに保存したり、メールに添付して送信したりします。

- 音声はマイクから録音されます。周囲の雑音が少ないできるだけ静かな所で録音してください。

1 待受画面で **メニュー** ▶ 「5 便利なツールを使う」▶ 「8 ボイスレコーダを使う」を押す 音声録音画面が表示されます。

- **電話帳**：「録音した音声」アルバムに保存されている音声を聞くことができます。microSDカードを取り付けているときは、**電話帳** ▶ 「1 本体の音声」または「2 microSDの音声」を押すと、「録音した音声」アルバムまたはmicroSDカードに保存されている音声を聞くことができます。→P.119、P.108

2 **決定** を押す

録音確認音が鳴り録音が開始され、充電ランプが一定間隔で点滅します。

- 本端末を閉じていても録音は継続されます（開閉ロックが起動した場合を除く）。

3 **決定** を押す

音声を保存した旨のメッセージが表示されます。

- **決定** を押すと音声録音画面に戻ります。
- **電話帳**：録音した音声を再生します。**電話帳** ▶ 「1 本体の音声」または「2 microSDの音声」を押し、音声ファイルを選択して **メニュー** を押すと、録音した音声をメールで送信したり、着信音に設定したりすることができます。
- **メニュー**：音声の保存先を変更します。

✓お知らせ

- 録音中に本端末を閉じると、背面ディスプレイに「音声録音中」と表示されます。
- 録音中にボタン操作を行うと、ボタン確認音が録音される場合があります。
- 録音中に着信があったり、目覚ましや予定の設定時刻になったりした場合、その時点で録音が中断され、着信やアラームの画面が表示されます。

トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メール、ウェブダウンロード、Bluetooth機能など様々な方法で取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。

- トルカの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **5** 便利なツールを使う ▶ **1** トルカを使う を押す

2 サービス(トルカ)を選択

✓お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- Bluetooth機能でトルカを取得する際には、トルカアプリのBluetooth機能をONにする必要があります。
- コンテンツ提供者の設定によっては、次の機能がご利用になれない場合があります。
更新、トルカの共有、地図表示

あんしん機能

災害・避難情報の受信や迷惑電話の防止など、さまざまなあんしん機能を使うことができます。

◆つながりほっとサポート

「つながりほっとサポート」とは、あらかじめ指定した相手に、携帯電話の利用記録をお知らせすることができるサービスです。

- つながりほっとサポート設定中は待受画面に **1** が表示されます。
- つながりほっとサポートの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **6** あんしん機能を使う ▶ **1** つながりほっとサポートを使う を押す

つながりほっとサポート画面が表示されます。

- つながりほっとサポートを初めて起動する場合は、サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「体調を登録する」▶「元気」/「やや元気」/「わるい」/「後で登録する」のいずれかを押す

- 「体調変更」を押すと体調を変更できます。
- 「週の一覧」を押すと一週間の記録を確認できます。
- 「記録」を押すと記録を確認できます。

✓お知らせ

- **メニュー** を押すとつながりメンバーや歩数目標の設定、利用記録の停止/再開などを行うことができます。

◆災害用キット

災害用音声お届けサービスにおける災害時の音声メッセージの登録を可能とし、簡単な操作で音声メッセージを再生できるアプリです。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「6 あんしん機能を使う」** ▶ **「2 災害用キットを使う」** ▶ **「2 災害用音声お届けサービス」** を押す

災害用伝言板を使う場合：「1 災害用伝言板を使う」を押す

災害用伝言板が表示されます。

- 2 「1 音声メッセージの送信」を押す

新着音声メッセージを確認する場合：「2 新着音声メッセージの確認」を押す
新着音声メッセージの一覧が表示されます。

- 3 「1 直接入力」/「2 電話帳からの入力」/「3 入力履歴からの入力」▶ **メッセージ送信先の電話番号を入力** ▶ **電話帳** を押す

サービス利用の内容が表示されます。

◆ワンタッチブザーの設定

ワンタッチブザーを有効にしておくと、緊急時に簡単な操作で大音量のブザーを鳴らすことができます。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「6 あんしん機能を使う」** ▶ **「4 ワンタッチブザーを使う」** ▶ **「1 ワンタッチブザーを設定する」** を押す

- 2 「1 有効にする」または「2 無効にする」を押す

・「1 有効にする」を選択すると、続けて自動音声電話発信の設定と発信先番号の登録を行います。自動音声電話発信の設定方法は→ P.138

◆自動音声電話発信の設定

ワンタッチブザーが動作したとき、自動的に音声電話を発信するかどうかを設定します。

・あらかじめワンタッチブザーの設定を有効にしてください。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「6 あんしん機能を使う」** ▶ **「4 ワンタッチブザーを使う」** ▶ **「2 自動で電話発信を行う」** を押す

- 2 「1 発信する」または「2 発信しない」を押す

ワンタッチブザーを鳴らしたときの自動で電話発信を有効にした旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すとメニュー画面に戻ります。

◆発信先番号の登録

ワンタッチブザーが動作したとき、自動的に音声電話を発信する相手を登録します。

・音声電話を発信する相手は最大3件登録できます。
・操作3で「ワンタッチダイヤルから選択」または「電話帳から選択」から登録する場合は、あらかじめワンタッチダイヤルまたは電話帳に電話番号を登録してください。→ P.62、P.66

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「6 あんしん機能を使う」** ▶ **「4 ワンタッチブザーを使う」** ▶ **「3 発信先番号の登録を行う」** を押す

- 2 「1 未登録」～「3 未登録」を押す

発信先番号を登録している場合は、次の操作を行うことができます。

発信先番号を変更：変更する発信先番号にカーソル ▶ **メニュー** ▶ **「1 変更する」** ▶ 画面に従って**発信する相手を選択**

発信先番号を解除：変更する発信先番号にカーソル ▶ **メニュー** ▶ **「2 解除する」** ▶ **「1 解除する」**

- 3 目的の操作を行う

ワンタッチダイヤルから選択：「1 ワンタッチダイヤルから選ぶ」▶ **発信する相手を選択**

電話帳から選択：「2 電話帳から選ぶ」▶ **発信する相手を選択**

・発信する相手の電話帳に電話番号を2件以上登録している場合は、発信する電話番号を選択します。

電話帳に新規登録して選択：「3 電話帳を新規登録する」▶ **発信する相手を電話帳に登録**

- 電話帳の登録方法については、「電話帳の登録のしかた」をご覧ください。→P.66

4 **電話帳**を押す

発信先番号を登録した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 発信先番号に設定した電話帳を修正して上書き登録すると、発信先番号も修正した内容に変更されます。
- 自動音声発信先には緊急通報（110番、119番、118番）を登録できません。
- 次の場合は、発信先番号の設定が解除されます。
 - 発信先番号に設定した電話番号を削除したり、緊急通報（110番、119番、118番）に修正したりした場合
 - 発信先番号に設定した電話帳を削除した場合

◆ブザー検索設定

GPS機能を利用して居場所を通知できるようにする場合は、イマドコサーチの検索対象として設定されている必要があります。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。

- あらかじめワンタッチブザーの設定を有効にしてください。→P.138

1 待受画面で**メニュー**▶「**6**あんしん機能を使う」▶「**4**ワンタッチブザーを使う」▶「**4**ブザー検索を設定する」を押す

2 「**1**検索する」または「**2**検索しない」を押す

ワンタッチブザーを鳴らしたときのワンタッチブザー検索を有効にした旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

◆お薬アラーム

お薬の情報を登録して、お薬の使用時間にアラームでお知らせすることができます。

◆お薬の登録

1 待受画面で**メニュー**▶「**6**あんしん機能を使う」▶「**5**お薬アラームを使う」

▶**電話帳**▶**電話帳**を押す

- お薬を登録していない場合、お薬を登録するかどうかの確認画面が表示されます。

2 お薬の題名を入力▶お薬に関するメモを入力

3 「**1**撮影する」または「**2**撮影しない」を押す

- 「**1**撮影する」を選択すると、カメラを使ってお薬の撮影をすることができます。

4 お薬の飲み方(服用または使用するタイミング)を選択▶**電話帳**を押す

お薬を登録した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すと追加でお薬を追加するかどうかの確認画面が表示されます。

5 「**1**登録する」または「**2**登録しない」を押す

- 「**1**登録する」を選択すると、追加でお薬の情報を登録できます。

◆お薬アラームの設定

1 待受画面で**メニュー**▶「**6**あんしん機能を使う」▶「**5**お薬アラームを使う」を押す

2 「起床」～「就寝」のいずれかを選択▶**決定**を押す

3 目的の操作を行う

アラームを動かす：「**1**動かす」▶**決定**を押す
アラームを止める：「**2**止める」▶**決定**を押す
時刻や音量などの設定変更：「**3**設定を変更する」▶各設定を変更▶**電話帳**▶**決定**を押す
設定の確認：「**4**設定を確認する」▶設定内容を確認▶**決定**を押す

◆ 迷惑電話対策機能

電話帳にない相手から電話がかかってきた場合に、通話を自動で録音することができます。着信時には特別な着信音と着信ランプ（赤）でお知らせし、相手には通話を録音する旨の音声メッセージを流します。

❖ 迷惑電話対策を開始／停止

1 待受画面で ▶ 「6 あんしん機能を使う」▶ 「6 迷惑電話対策機能を使う」▶ 「2 迷惑電話対策を開始／停止する」を押す

2 目的的操作を行う

機能の説明を読んでから迷惑電話対策を開始：

「1 説明後開始する」▶ ▶ ▶ を押す

• を押すと、相手に伝えるメッセージや着信時の音を聞くことができます。

すぐに迷惑電話対策を開始：「2 すぐに開始する」▶ を押す

迷惑電話対策を停止：「3 停止する」▶ を押す

❖ 録音した迷惑メモの再生

1 待受画面で ▶ 「6 あんしん機能を使う」▶ 「6 迷惑電話対策機能を使う」を押す

2 「1 迷惑メモを再生する」▶ を押す

3 を押す

• 迷惑メモが複数ある場合は / でメモを選択できます。

• を押すと、番号を電話帳に登録したり、番号に電話をかけたりすることができます。

✓お知らせ

• 迷惑電話対策機能は、海外ではご利用できません。

◆ 集音器

周囲の声や音が聞こえにくいときに、本端末のマイク（送話口）から集音してイヤホンで聞くことができます。音量を調節することもできます。

- イヤホンを本端末に接続していない状態では、本機能を利用できません。
- 本端末に対応したイヤホンをご利用ください。

1 イヤホンを本端末に接続する

• 接続方法→P.150

2 待受画面で ▶ 「6 あんしん機能を使う」▶ 「7 集音器を使う」を押す

集音器画面が表示され、イヤホンから声や音が聞こえます。

• 約60秒間イヤホンの接続がないと、本機能は終了します。

音量を調節する場合：集音器画面表示中に

のいずれか ▶

または を押して音量を調節 ▶ を押す

• 本機能終了後、設定は保持されません。

集音器を停止する場合： を押す

メニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 本機能を起動してから本端末を閉じても利用できます。ただし、開閉ロックを設定中に本端末を閉じると、本機能は終了し開閉ロックが起動します。
- 本機能を利用中に電話がかかってきたり、エリアメールを受信したり、目覚ましや予定の通知の時刻になると、本機能は終了します。
- 音量を大きくしすぎないようにご注意ください。
- 大音量で長時間続けて聞かないようにしてください。

◆ 機能の利用制限

パケットを多く使う機能を制限します。

1 待受画面で ▶ 「6 あんしん機能を使う」▶ 「8 機能の利用を制限する」を押す

2 「1 制限する」▶ を押す

• を押すと、利用制限の対象となる機能を確認できます。

✓お知らせ

- 機能を制限すると、制限された機能に関連する機能が正常に動作しないことがあります。また、データが消える可能性があります。

◆データのバックアップ

microSDカードやケータイデータお預かりサービスを利用して、データをバックアップしたり、バックアップしたデータを本端末に復元したりできます。

◆microSDカードへ保存・復元

本端末の電話帳、メール、スケジュール/メモ、ブックマークなどをデータごとにmicroSDカードにまとめて保存（バックアップ）したり、microSDカードから本端末に復元したりできます。

- 保存するデータが複数件でもまとめて1件のデータとして保存されますが、内容は1件ずつ表示できます。
- 電話帳を保存すると、個人情報も保存されます。また、ワンタッチダイヤルに登録された電話番号やメールアドレスも保存されますが、保存された内容は表示できません。
- 添付データを含めたメールサイズが100Kバイトを超える場合は、メール本文のみ保存されます。また、添付データが複数ある場合は、100Kバイトを超えた分の添付データは保存されません。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[6] あんしん機能を使う** ▶ **[9] データをバックアップする** ▶ **[1] SDカードバックアップを使う**を押す

2 目的的操作を行う

microSDカードにバックアップ: **[1] バックアップの設定を行う** ▶ **バックアップするデータを選択** **決定** **電話帳** ▶ **[1] 開始する** ▶ **ドコモアプリパスワードを入力** **決定** **電話帳** **決定**を押す

- データの選択時にすべての項目を選択するには、**メニュー** ▶ **[1] 全項目を選択**を押します。
- バックアップ中に中止するときは **電話帳**を押します。

本端末に復元: **[2] 復元の設定を行う** ▶ **[1] 電話帳** ~ **[8] スケジュール/メモ**のいずれか ▶ **復元するデータを選択** **決定** **電話帳** **電話帳** ▶ **[1] 追加**または **[2] 上書き** ▶ **[1] 開始する** ▶ **ドコモアプリパスワードを入力** **電話帳** **決定**を押す

定期バックアップを設定: **[3] 定期バックアップの設定を行う** ▶ **[スケジュール追加]**を選択 ▶ **バックアップするデータを選択** **決定** **電話帳** ▶ **[1] 毎日** ~ **[3] 毎月**のいずれか ▶ **時刻を設定** ▶ **ドコモアプリパスワードを入力** **電話帳** **決定**を押す

- 一度登録したスケジュールは、**[3] 定期バックアップの設定を行う** ▶ **スケジュールを選択** ▶ **決定**または **電話帳**を押して編集または削除することができます。

バックアップデータを確認: **[4] バックアップデータを見る** ▶ **[1] 電話帳** ~ **[8] スケジュール/メモ**のいずれかを押す

- バックアップデータを選択 ▶ **電話帳** ▶ **[1] 削除する**を押すと、バックアップデータを削除することができます。

バックアップ履歴を確認: **[5] バックアップ履歴を見る** ▶ **確認する履歴を選択して決定**を押す

✓お知らせ

- バックアップまたは復元中に本端末の電池パックおよびmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 本端末のメモリ構成上、microSDカードが未挿入の場合、写真・ビデオなどのデータは本体メモリに保存されます。
- 本アプリでは写真・ビデオなどのデータのうち本体メモリに保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 本端末以外でバックアップした電話帳を本端末で復元をした場合、本端末に対応していない項目（電話帳内の画像やチャットなど）は表示されません。表示されない項目でも情報が保持されているものがあります。本端末でバックアップした後、対応している端末で復元すると表示されます。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 電話帳を「上書き」で復元すると、個人情報（自局電話番号を除く）、ワンタッチダイヤルに登録された電話番号やメールアドレスも上書きされます。
- F-02J以外の端末で保存（バックアップ）したブックマークは、異なったフォルダに復元される場合があります。
- ブックマークが100件を超える場合、「上書き」での復元は100件まで可能です。

- ブラウザにブックマークが登録されている場合、同じURLのブックマークを「追加」で復元することはできません。

❖ ケータイデータお預かりサービスを利用する

大切なスケジュール・メモ・トルカなどを自動更新でかんたんにバックアップできます。

- ケータイデータお預かりサービスの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。

■ クラウドを設定する

スケジュール／メモやトルカのクラウド設定や、利用状況の確認などを行います。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「6 あんしん機能を使う」** ▶ **「9 データをバックアップする」** ▶ **「2 ケータイデータお預かりサービス」** を押す

ケータイデータお預かり画面が表示されます。

2 各項目を設定

クラウド設定（スケジュール／メモ）：スケジュール／メモのクラウド設定を変更します。

ご利用状況（スケジュール／メモ）：スケジュール／メモの利用状況を確認できます。

クラウド設定（トルカ）：トルカのクラウド設定を変更します。

ご利用状況（トルカ）：トルカの利用状況を確認できます。

dアカウントの設定：dアカウントを設定します。→P.172

お預かりデータ一括復元：お預かりしていたデータを一括で復元します。→P.142

■ お預かりデータを一括で復元する

iモードでお預かりしていた電話帳データを一括で本端末に復元できます。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「6 あんしん機能を使う」** ▶ **「9 データをバックアップする」** ▶ **「2 ケータイデータお預かりサービス」** を押す

2 「お預かりデータ一括復元」を押す

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

◆ i コンシェルからお預かりセンターを利用する

i コンシエルのメニューからもスケジュール／メモやトルカのクラウドの設定を行うことができます。

- i コンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです。注意事項およびご利用方法の詳細などについては、ドコモのホームページをご覧ください。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「8 i コンシェルを使う」** を押す

2 「7 設定」▶「その他設定」欄から設定する項目を選択

スケジュール・メモ追記：スケジュール／メモのクラウド設定を変更します。

トルカ更新：トルカのクラウド設定を変更します。

3 各項目を設定 ▶ 「OK」を押す

決定 を押すと i コンシエルの設定メニュー一覧画面に戻ります。

◆ ドコモあんしんスキャン

ドコモあんしんスキャンとは、詐欺や危険サイトアクセス時の注意喚起により、本端末を安心してご利用いただくためのアプリです。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「6 あんしん機能を使う」** ▶ **「* あんしんスキャンを使う」** を押す
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ

- ドコモあんしんスキャンは、あんしんネットセキュリティのお申し込みが必要な有料サービスです。
- ドコモあんしんスキャンの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ あんしんナンバーチェック

しつこいセールスなどの迷惑な電話や、詐欺・架空請求などの危険な電話の可能性が高い電話番号からの着信を事前にお知らせするアプリです。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[6] あんしん機能を使う** ▶ **[#] あんしんナンバーチェックを使う**を押す

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ

- あんしんナンバーチェックは、あんしんネットセキュリティのお申し込みが必要な有料サービスです。
- あんしんナンバーチェックの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

LINE

LINEは、いつでも、どこでも、メッセージのやりとりや通話を楽しめるコミュニケーションアプリです。

- LINEは主にポインタで操作します。
- あらかじめLINEアカウントの登録を行ってください。
- LINEの利用方法などの詳細については、LINEのWebサイトや、LINEのトップページで [その他] ▶ [設定] ▶ [ヘルプ] を押してヘルプをご覧ください。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[7] コミュニケーションを楽しむ** ▶ **[3] LINEを使う**を押す

- 画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ

- 前の画面に戻る場合は **(戻る)** を押します。
- ゲームなど一部の機能は本端末では利用できません。
- LINEの利用を一度開始すると、LINEの更新の確認が定期的に行われるようになります。更新が通知された場合に、通知画面で「次回以降更新のお知らせを受け取らない」にチェックを付けると、その後は確認が行われなくなりますので、定期的に手動で更新の有無を確認するようにしてください。
- アップデート方法：待受画面で **(メニュー)** ▶ **[7] コミュニケーションを楽しむ** ▶ **[3] LINEを使う** にカーソル ▶ **(メニュー)** ▶ **[1] はい** ▶ **[1] 更新する** ▶ **[1] はい** ▶ **決定** を押す
- **(i)** を1秒以上押すと、ポインタをドラッグ操作に切り替えられます。プロフィール画像の表示範囲を調整する場合は、ドラッグ操作で行います。
- LINEのご利用や更新の確認／ダウンロードには別途パケット通信料がかかりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

地図／GPS機能

本端末のGPS機能を使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

◆GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、GPSアンテナが内蔵されていますので、その付近を手で覆わないようにしてお使いください。→P.21

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候

- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◇GPS機能

GPSを使用して現在地の特定を許可するかどうかを設定します。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **「9」地図を見る・GPSを使う** ▶ **「4」位置情報を使う** ▶ **「1」GPS機能を使う**を押す

2 **「1」有効にする** ▶ **「1」同意する**を押す

✓お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆地図を使う

現在地の表示や別の場所の検索、経路検索などを行います。

- 地図を利用するには、LTE／3Gネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 地図は海外ではご利用になれません。
- 地図の一部機能は、ドコモ地図ナビのお申し込みが必要な有料サービスです。
- 現在地を表示するには、あらかじめ [GPS機能] をオンにしてください。

◇現在地を表示

1 待受画面で **メニュー** ▶ **「9」地図を見る・GPSを使う** ▶ **「1」現在地の地図を見る**を押す

- 地図表示中は画面のスクロールや拡大縮小などができます。

❖場所の検索

お店や施設を検索します。

1 地図表示中に ▶ 検索ボックスにキーワードを入力 ▶ を押す

目的の場所の詳細情報が表示されます。

- 詳細情報の画面では、目的の場所をメールで送信したりルートの検索を行ったりすることができます。
- 場所によって利用できるオプションは異なります。

❖さまざまな機能の利用

地図を表示中に便利な機能を利用します。

1 地図表示中に を押す

2 各メニューを操作

■ナビゲーション

車、電車・徒歩、自転車のルートなどを検索できます。

■渋滞表示 (VICS)

地図に渋滞情報を表示します。

■スポット検索

条件を入力して検索できます。

■交通情報

交通情報についての詳細情報を確認できます。

■マイデータ

履歴の確認や自宅の設定などを行うことができます。

■設定

アプリやナビゲーションの設定や初期化したり、アプリ情報などを確認できます。

■お知らせ・ヘルプ

お知らせやヘルプを確認できます。

地図アプリを終了:  ▶ 「アプリを終了」を押す

❖地図上で場所の情報確認

1 地図上で を押す

詳細情報が表示されます。

❖ナビを使う

GPS機能と地図を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地まで乗り物、徒歩、自動車向けのナビゲーションなどができます。

- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。パケットパック/パケット定額サービスのご利用をおすすめします。

1 待受画面で ▶ 「 地図を見る・GPSを使う」▶ 「 ナビを使う」を押す

ナビルート検索画面が表示されます。

- 条件を指定して検索することもできます。

2 到着地を入力▶「ルート検索」を押す

ルートが表示されます。

- 「現在地」を押すと出発地の変更などができます。
-  を押すとルートの変更ができます。
-  を押すとルート登録や一覧、ヘルプなどを確認できます。

3 「ナビ開始」を押す

ナビが開始します。

❖現在地をメールで送る

1 地図上で ▶ 「この場所をシェアする」を押す

2 メールを作成して送信する

メールの作成・送信方法→P.72、P.73

❖ イマドコサーチを使う

GPSを使って居場所を探せるサービスです。

- イマドコサーチはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ご利用には別途検索料（検索成功時のみ）とパケット通信料がかかります。

1 待受画面で ▶「9」地図を見る・GPSを使う▶「5」イマドコサーチを使う

イマドコサーチのサイトに接続します。

- 画面の指示に従って操作してください。

❖ イマドコかんたんサーチを使う

GPSを使ってかんたんに居場所を探せるサービスです。

- ご利用には別途検索料（検索成功時のみ）とパケット通信料がかかります。

1 待受画面で ▶「9」地図を見る・GPSを使う▶「6」イマドコかんたんサーチを使う

イマドコかんたんサーチのサイトに接続します。

- 画面の指示に従って操作してください。

❖ オートGPSを使う

オートGPS設定が有効になると、GPS機能とドコモの基地局情報により位置情報を取得し、定期的に自動送信され、i コンシェルズの各種インフォメーション配信に利用されます。

- ご利用には、i コンシェルズの設定から「オートGPSを利用する」をONにする必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

■ オートGPSの位置情報を利用し、今いる場所にあわせた情報を受け取ることができる、インフォメーション

- 雨雲アラーム
- 終電アラーム
- 気象／地震情報
- その他エリア別インフォメーション

歩数計・活動量計を使う

歩数計・活動量計で、歩数や歩いた距離、活動量、消費カロリーや脂肪燃焼量、いきいき歩行やいきいき活動量などを確認できます。また、歩数計・活動量計のデータをグラフで表示したりできます。

- 歩数計・活動量計機能で表示される数値は、あくまでも目安としてご活用ください。

■ 活動量とは

日常生活での動作や歩行、運動など、体を動かした量を数値にして、「Ex（エクササイズ）」という単位で表したものです。

■ いきいき歩行、いきいき活動量とは

有酸素運動（呼吸によって取り入れられる酸素を効果的に使い、全身持久力を高めつつ体脂肪を効果的に燃やす運動）の目安となる歩行や活動量を計測したものです。

- いきいき歩行は、毎分60歩以上の速さで3分以上続けて歩いたときに計測されます。
- 4分以内の休憩は継続したものとします。

❖ 歩数計・活動量計ご利用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など体の一部のみが動作しているなど歩行や運動が本端末に伝わらない状態では、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
 - 本端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本端末を腰やかばんにぶら下げたとき
 - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
 - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗りしたりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
 - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- 本端末の開閉やボタン操作などを行ったとき、本端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。

◆ 歩数計・活動量計の設定

歩数計・活動量計の利用に必要な情報を設定します。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **「歩数・活動量計を使う」** ▶ **「歩数・活動量計を設定する」** を押す

歩数計／活動量計を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

- 2 **「1利用する」** を押す

利用しない場合： **「2利用しない」** を押す

- 3 **決定** を押す

身長の入力画面が表示されます。

- 4 **身長を入力する**

・ 100～220cmの間で入力します。

- 5 **決定** を押す

体重の入力画面が表示されます。

- 6 **体重を入力する**

・ 30～120kgの間で入力します。

- 7 **決定** を押す

歩数計／活動量計の利用を開始した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すとメニュー画面に戻ります。

◆ 歩数・活動量の履歴の確認

歩数計・活動量計で計測したデータの履歴を、1日分(→P.148)、グラフ(→P.148)、一覧(→P.149)で確認できます。

- カウント中の歩数を背面ディスプレイに表示することができます。→P.33
- 毎日午前0時0分になると、1日分の計測データが履歴として保存されます。当日を含めて1098日分記録できます。1098日を超えると、古いものから順に上書きされます。

表示項目	内容
歩数	カウントした歩数が表示されます(最大999999歩)。
距離	歩数と歩幅から算出した歩行距離※(最大9999.9km)。
活動量	体を動かした時間から算出した活動量が表示されます(最大99.9EX)。
消費カロリー	体を動かした時間、設定した体重などから算出した消費カロリーが表示されます(最大65535kcal)。
脂肪燃焼量	消費カロリーから算出した脂肪燃焼量が表示されます(最大4681g)。
いきいき歩数	いきいき歩行の歩数が表示されます(最大999999歩)。
いきいき歩行時間	いきいき歩行の歩行時間が表示されます(最大99時間59分)。
いきいき活動量	いきいき活動量が表示されます(最大99.9EX)。

※ 1分あたりの歩数により歩幅が補正されるため、歩幅から算出した歩行距離とは異なる場合があります。

✓お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- 歩数、歩いた距離、活動量、いきいき歩数、いきいき活動量は、最大値を超えた場合、最大値で表示されます。
- カウントした歩数と計測した活動量は約60分ごとに保存されます。本端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数や活動量が消失してしまう場合があります。
- 歩数計・活動量計のデータは、本端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。また、電池パックを外した状態や電池切れの状態で約1ヶ月以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆ 歩数・活動量の1日分の履歴を見る

歩数計・活動量計で測定したデータの1日分の履歴を確認します。

1 待受画面で(メニュー)▶[#]歩数・活動量計を使う▶[1]一日の歩数・活動量を見るを押す

- (決定)を押すたびに、通常情報→いきいき情報→歩数情報→活動情報の順で表示が切り替わります。ただし、歩数情報画面と活動情報画面は、当日を含めた過去7日以内の場合のみ表示できます。
- (戻る)を押すと、日付の表示が前後に切り替わります。

履歴をメールで送信する場合：(メニュー)を押す

- メール作成・送信方法→P.72、P.73

✓お知らせ

- 通常情報画面で表示される活動量と、活動情報画面で表示される活動量の合計は、算出方法が異なるため数値に差異が出る場合があります。

◆ 歩数・活動量の履歴をグラフで見る

歩数計・活動量計で測定したデータの履歴をグラフで確認します。

1 待受画面で(メニュー)▶[#]歩数・活動量計を使う▶[2]歩数・活動量のグラフを見るを押す

- 1週間単位の歩数のグラフが表示されます。
- 1週間単位のグラフの場合のみ、日曜日から土曜日の累積が折れ線グラフで表示されます。
- (決定)を押すたびに、歩数→歩いた距離→活動量→消費カロリー→脂肪燃焼量→いきいき歩数→いきいき歩行時間→いきいき活動量の順で表示が切り替わります。
- (戻る)を押すと、日付の表示が前後に切り替わります。
- (電話帳)を押すと、グラフと一覧の表示が切り替わります。

週単位のグラフを表示する場合：(メニュー)▶[2]一週間のグラフを押す

日付単位のグラフを表示する場合：(メニュー)▶[3]日ごとのグラフを押す

月単位のグラフを表示する場合：(メニュー)▶[4]月ごとのグラフを押す

◆ 歩数・活動量の履歴を一覧で見る

歩数計・活動量計で測定したデータの履歴を一覧で確認します。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **歩数・活動量計を使う** ▶ **歩数・活動量の履歴を見る** を押す

- **決定** を押すたびに、歩数→歩いた距離→活動量→消費カロリー→脂肪燃焼量→いきいき歩数→いきいき歩行時間→いきいき活動量の順で表示が切り替わります。
- **電話機** を押すと、一覧とグラフの表示が切り替わります。

1 日分の履歴を表示する場合：日付を選択

▶ **メニュー** ▶ **一日の詳細情報** を押す

- 履歴画面の表示、操作方法は「歩数・活動量の1日分の履歴を見る」と同様です。→ P.148

履歴をメールで送信する場合：日付を選択

▶ **メニュー** ▶ **メールで送る** を押す

- メール作成・送信方法→P.72、P.73

◆ 歩数・活動量の履歴の削除

歩数計・活動量計で測定したデータの履歴を削除します。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **歩数・活動量計を使う** ▶ **歩数・活動量の履歴を削除する** または **今日の履歴を削除する** を押す

歩数と活動量の履歴／今日の歩数と活動量を削除するかどうかの確認画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

歩数・活動量の履歴を削除する：すべての歩数計・活動量計データを削除します。

今日の履歴を削除する：当日の計測中の歩数計・活動量計データを削除します。

2 **削除する** を押す

歩数と活動量の履歴／今日の歩数と活動量を削除した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すとメニュー画面に戻ります。

◆ 応援メッセージ

1日に歩いた歩数や累計で歩いた歩数が一定数に達したときに、歩数計マークがメッセージで応援してくれるように設定できます。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **歩数・活動量計を使う** ▶ **応援メッセージを設定する** を押す

2 **利用する** を押す

応援メッセージを設定した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すとメニュー画面に戻ります。

さまざまな画面で検索機能を使う

待受画面や他の画面を表示中に $\text{\textcircled{電話}}$ を1秒以上押すことで、らくらくホンセンター、使いかたガイド、辞書、電話帳を利用することができます。らくらく検索)

- 使いかたガイドを表示中は本機能を利用できません。
- 電話帳検索は待受画面とメニュー画面でのみ起動できます。
- 辞書を表示中は本機能の辞書検索を利用できません。
- おまかせロック中、ソフトウェア更新中など、他の機能が起動しているときや表示中の画面によっては、本機能を利用できない場合があります。

1 $\text{\textcircled{電話}}$ を1秒以上▶「1らくらくホンセンター」～「4電話帳」のいずれかを押す

- らくらくホンセンターについて→P.38
- 使いかたガイドの操作方法→P.38
- 辞書の操作方法→P.130
- 電話帳検索の操作方法→P.67

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

外部接続端子にステレオイヤホンマイク 02 (別売)などを接続すると、スイッチを押して電話をかけた受けたりすることができます。

- スイッチを押して電話をかけるには、イヤホンスイッチ設定を設定する必要があります。→P.150
- ステレオイヤホンマイク 02などのコードを本端末に巻き付けたりアンテナ部分に近づけたりしないでください。電波の受信レベルが低下したり雑音が入ったりする場合があります。
- ステレオイヤホンマイク 02などのプラグは、確実に差し込んでください。差し込みが不十分な状態では、音が聞こえない場合があります。

❖スイッチ付イヤホンマイクの接続

- 1 外部接続端子キャップを開け、ステレオイヤホンマイク 02のmicroUSBプラグを差し込む

◆イヤホンスイッチ動作の設定

ステレオイヤホンマイク 02 (別売) のスイッチで電話を発信できるように設定します。

- 1 待受画面で $\text{\textcircled{メニュー}}$ ▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「5イヤホンを設定する」▶「2イヤホンスイッチの動作を設定する」を押す

イヤホン接続時の動作の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

- 1 イヤホンスイッチ動作：スイッチを押して電話を発信するかどうかを設定します。
- 2 発信先：電話を発信する相手を電話帳から選んで設定します。

- 2 「1イヤホンスイッチ動作」▶「1発信する」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

- スイッチを押して電話を発信しない場合：「1イヤホンスイッチ動作」▶「2発信しない」を押す

操作4に進みます。

3 電話帳を検索 ▶ 発信する相手を選択 ▶ **決定**を押す

操作1の画面に戻ります。

- 検索方法→P.67

4 **電話帳**を押す

イヤホン接続時の動作を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 発信先に設定した電話帳に電話番号を2件以上登録している場合は、1件目に登録している電話番号に電話がかかります。
- 発信先に設定した電話帳を削除したり他の電話帳で上書きしたりすると、設定は解除されます。

◆スイッチを使った電話のかけかた／受けかた

❖イヤホンスイッチで電話をかける

ステレオイヤホンマイク 02 (別売) のスイッチで電話をかけます。

1 ピピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す

イヤホンスイッチ設定の発信先に指定した電話番号に電話がかかります。

- 本端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 お話が終わったら、ピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す

❖イヤホンスイッチで電話を受ける

ステレオイヤホンマイク 02 (別売) のスイッチで電話を受けます。

1 電話がかかってきたら、ピピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す

電話につながります。

- イヤホン切替設定 (→P.152) に従って着信音が鳴ります。
- 本端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 お話が終わったら、ピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す

❖通話中に別の電話を受ける

キャッチホンをご利用中は、ステレオイヤホンマイク 02 (別売) のスイッチで通話中にかかってきた電話を受けることができます。

1 通話中に電話がかかってくる

通話中着信音 (→P.50) が聞こえます。

2 ピピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けます。

- 通話中に**電話帳**またはスイッチを1秒以上押すと、通話の相手を切り替えます。

✓お知らせ

- ステレオイヤホンマイク 02を接続中は、本端末を閉じても電話は切れません。
- マルチ接続中に通話中の相手を保留にしてスイッチを1秒以上押すと、通話の相手が切り替わらず表示中の相手との通話が切断されますのでご注意ください。

◆イヤホンをつないで自動で電話を受ける

ステレオイヤホンマイク 02（別売）などを接続しているときに着信があった場合、設定した応答時間になると自動的に応答します。電話を受けたとき、接続したイヤホンなどから音声がかかります。〈オート着信設定〉

• 通話中の着信に対しては、本機能は動作しません。

1 待受画面で〔メニュー〕▶〔*設定を行う〕▶〔#〕その他の設定を行う▶〔4〕電話・電話帳の詳細を設定する▶〔5〕イヤホンを設定する▶〔1〕イヤホン接続時の着信動作を選ぶを押す

イヤホン使用中の着信方法設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

- 1 応答方法：自動と手動のどちらで接続するかを設定します。
- 2 応答時間：着信から自動で応答するまでの時間を設定します。

2 〔1〕応答方法▶〔2〕自動で応答するを押す

応答時間の設定画面が表示されます。

手動で応答する場合：〔1〕応答方法 ▶ 〔1〕手動で応答するを押す
操作4に進みます。

3 時間を入力▶〔決定〕を押す

操作1の画面に戻ります。

- 応答時間の秒数を0～120秒の間で入力します。

4 〔電話帳〕を押す

イヤホン使用中は自動で応答する／手動で応答するに設定した旨のメッセージが表示されます。

〔決定〕を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 本機能と無音着信時間設定（→P.172）を同時に設定している場合、無音着信時間を本機能の応答時間以上に設定すると、本機能は動作しません。

◆イヤホンの種類を選ぶ

接続するイヤホンの種類を、マイクが付いていない通常のイヤホンまたはマイク付きのイヤホンから選びます。

1 待受画面で〔メニュー〕▶〔*設定を行う〕▶〔#〕その他の設定を行う▶〔5〕音を設定する▶〔3〕イヤホンの種類を選ぶを押す

2 〔1〕通常のイヤホンまたは〔2〕マイク付きイヤホンを押す

◆イヤホンだけから着信音を鳴らす

ステレオイヤホンマイク 02（別売）などを接続したときに、電話着信音をイヤホンとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンのみから鳴らすかを設定します。〈イヤホン切替設定〉

1 待受画面で〔メニュー〕▶〔*設定を行う〕▶〔#〕その他の設定を行う▶〔5〕音を設定する▶〔4〕イヤホン利用時の切替を選ぶを押す

着信音の鳴る所の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

- 1 イヤホンとスピーカー：イヤホンとスピーカーの両方から鳴らします。
- 2 イヤホンと20秒後にスピーカー：イヤホンから鳴った後、約20秒経過するとスピーカーからも鳴らします。
- 3 イヤホンのみ：イヤホンからのみ鳴らします。

2 〔1〕イヤホンとスピーカー～〔3〕イヤホンのみのいずれかを押す

イヤホンの切替を設定した旨のメッセージが表示されます。〔決定〕を押すとメニュー画面に戻ります。

本体設定

画面の設定

待受画面の画像やディスプレイの明るさなどを設定します。

◆ 待受画面の設定

待受画面の画像を変更したり、カレンダーを表示したりすることができます。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[1]画面の設定を行う** ▶ **[1]待受画面の表示を設定する**を押す
- 2 **[1]画像を表示**を押す
- 3 アルバムを選択 ▶ **決定**を押す
- 4 画像を選択 ▶ **決定**を押す
 - 画像を選択して **メニュー** を押すと画像を確認できます。
- 5 **[1]設定する**を押す
待受画面に設定した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと待受画面に戻ります。

◆ 待受画面に配信された画像を設定

待受画像配信元設定により保存された画像を待受画面に表示します。複数の画像が保存されている場合、本端末を開閉するたびに切り替えて表示します。

- あらかじめ待受画像配信元の設定が必要です。→ P.155

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[1]画面の設定を行う** ▶ **[1]待受画面の表示を設定する**を押す
- 2 **[3]待受自動切替え** ▶ **[1]利用する**を押す
項目の意味は次のとおりです。
 - 1 **画像全体を表示**：ディスプレイに収まるように画像を縮小して表示します。
 - 2 **画面いっぱいに調整して表示**：ディスプレイの横幅に合わせて画像を縮小／拡大して表示します。縦長の画像の上下が収まらない場合、その部分は表示されません。また、GIF形式の画像の場合は「画像全体を表示」の動作になります。

- 3 **[1]画像全体を表示**または**[2]画面いっぱいに調整して表示**を押す
自動切替えを設定した旨のメッセージと、画像配信元を設定するかどうかの選択画面が表示されます。
画像配信元を設定する場合：**[1]設定する** ▶ メールの題名とメールアドレスを設定 ▶ **電話帳** ▶ **決定** を押す
画像配信元を設定しない場合：**[2]設定しない** ▶ **決定** を押す

◆ 待受画面を画像以外に変更

画像の代わりにカレンダーを表示します。何も表示しないようにも設定できます。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[1]画面の設定を行う** ▶ **[1]待受画面の表示を設定する**を押す
- 2 **[2]カレンダーを表示**または**[4]表示なし**を押す
- 3 **[1]設定する**(**[1]表示なし**)のときは**[1]解除する**)を押す
設定／解除した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと待受画面に戻ります。

✓お知らせ

- ・カレンダーを設定すると、次のような動作になります。
- お知らせ情報や新着情報が表示されると、情報を確認するまでカレンダーは表示されません。

◆時計の表示を設定

待受画面の時計表示の有無や大きさ、表示形式（24時間／12時間）、表示位置を設定します。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[1]画面の設定を行う** ▶ **[2]待受画面の時計を設定する**を押す

2 **[1]待受け時計表示** ▶ **[1]特大で表示** ~ **[4]表示しない**のいずれかを押す

時計を表示しないように設定する場合：**[4]表示しない**を押す
操作5に進みます。

3 **[2]表示形式** ▶ **[1]24時間形式**または **[2]12時間形式**を押す

4 **[3]表示位置** ▶ **[1]上部に表示** ~ **[3]下部に表示**のいずれかを押す

5 **電話機**を押す

時計表示を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- ・待受画面にカレンダーを設定している場合や、お知らせ情報、新着情報などの表示中は、「小さく表示」で表示されます。

◆メニュー形式と配色の設定

❖メニューの表示形式を変更

メニューのデザインを変更します。〈メニュー形式選択〉

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[1]画面の設定を行う** ▶ **[3]メニュー形式と配色を設定する**を押す

2 **[1]メニュー形式**を押す

3 **[1]リスト** ~ **[3]タイル(文字)**のいずれかを **電話機**を押す

メニュー形式・画面の配色を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

- ・リストとタイルでメニューから選択できる機能は同じですが、表示されるメニュー項目名は異なります。

❖画面の配色を変更

画面の配色を変更します。〈画面配色設定〉

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[1]画面の設定を行う** ▶ **[3]メニュー形式と配色を設定する**を押す

2 **[2]画面の配色**を押す

- ・ **色** / **背景**を押して配色の種類を選択すると、選択されている配色で画面が表示されます。

3 **[1]青** ~ **[3]白黒反転**のいずれかを **電話機**を押す

メニュー形式・画面の配色を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

◆ディスプレイの明るさを設定

ディスプレイの照明の明るさを設定します。〈照明設定〉

- ・照明の点灯時間は約1分間です。

1 待受画面で〔メニュー〕▶〔*〕設定を行う▶〔1〕画面の設定を行う▶〔4〕画面の明るさを設定する〕を押す

- ・を押して明るさを選択すると、選択されている明るさで照明が点灯します。

2 〔1〕自動で調整〕～〔5〕さらに暗く設定〕のいずれかを押す

明るさを設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

- ・〔1〕自動で調整〕を押した場合は明るさの度合いを選択してください。

✓お知らせ

- ・「自動で調整」に設定すると、周囲の明るさによってボタン部分も点灯します（それ以外の設定では常に点灯）。このときの明るさは画面の明るさの設定に関わらず一定です。

◆背面ディスプレイの設定

背面ディスプレイの表示などを変更します。

- ・本端末を開いているときは、背面ディスプレイに何も表示されません。

◆背面ディスプレイの時計表示を設定

背面ディスプレイの時計表示を設定します。

1 待受画面で〔メニュー〕▶〔*〕設定を行う▶〔1〕画面の設定を行う▶〔5〕背面画面の表示を設定する〕▶〔1〕背面画面の時計表示を設定する〕を押す

2 〔1〕読上ボタンで切替〕～〔4〕アナログ時計〕のいずれかを押す

背面の時計表示を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

画面例を確認する場合：選択画面でを押す

- ・もう一度を押すと選択画面に戻ります。

◆背面ディスプレイの着信表示を設定

背面ディスプレイの着信時の表示を設定します。

1 待受画面で〔メニュー〕▶〔*〕設定を行う〕▶〔1〕画面の設定を行う〕▶〔5〕背面画面の表示を設定する〕▶〔2〕着信時の表示を設定する〕を押す

項目の意味は次のとおりです。

- 1 **表示する：**相手の電話番号やメールアドレス、電話帳に登録した名前を表示します。電話番号が通知されない着信の場合は発信者番号非通知理由が表示されます。
- 2 **表示しない：**「電話です」などの状態のみ表示します。

2 〔1〕表示する〕または〔2〕表示しない〕を押す

背面の相手表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

◆待受画像配信元設定

メールの題名とアドレスを設定すると、条件に一致したメールの受信時に添付された画像を自動で保存し、待受画面に配信された画像を表示します（おまかせランダム待受）。

- ・画像は写真・画像一覧の「待受アルバム」に保存されます。
- ・待受画面に待受自動切替えを設定していない場合は画像は保存されません。→P.153
- ・メールの題名とメールアドレス（複数設定した場合はいずれか1つ）のすべての文字が一致した場合のみ動作します。メールアドレスや題名のいずれかが一致しないときや、題名に設定していない文字が含まれている場合には動作しません。

1 待受画面で〔メニュー〕▶〔*〕設定を行う〕▶〔1〕画面の設定を行う〕▶〔6〕待受画像配信元を設定する〕を押す

2 〔1〕メールの題名〕▶題名を入力▶**決定**を押す

3 〔2〕メールアドレス1〕～〔4〕メールアドレス3〕のいずれかを押す

- ・複数のメールアドレスを設定する場合は操作3、4を繰り返します。

4 「[2]直接入力する」▶メールアドレスを入力▶**決定**を押す

- 半角英数字50文字以内で入力します。
- @以降の文字も含めたメールアドレス全体を指定します。
- 指定するメールアドレスが i モード端末の場合は、ドメイン (@docomo.ne.jp) を省略して指定しても登録できます。ただし、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、ドメイン (@docomo.ne.jp) を除いた携帯電話番号のみを登録してください。

電話帳から選択する場合：「[1]電話帳から選択」

▶電話帳を検索▶登録する相手を選択

▶**決定**▶メールアドレスを選択▶**決定**を押す

- 検索方法→P.67

設定しない場合：「[3]設定しない」を押す

5 **電話帳**を押す

配信元情報を登録／解除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

- 1件もメールアドレスを設定しないで登録を完了すると、配信元情報は解除されます。

✓お知らせ

- メール本文中に貼り付けられた画像、選択受信添付データなどは保存されません。
- メールに複数の画像が添付されている場合は、保存可能な1件目の画像を保存します。
- 画像の保存に失敗したときは、待受画面にお知らせ情報(→P.31)とが表示されます。**決定**を押すとメッセージが確認できます。
- アニメーションGIFは保存されますが、待受画面に表示されません。
- 「待受アルバム」に画像が21件以上保存されている場合は、一覧の先頭から20件までの画像を切り替えて表示します。表示可能な画像が保存されていない場合は、お買い上げ時の画像を表示します。
- 配信元情報を解除しても、「待受自動切替え」に設定中は保存済みの画像を表示します。

◆待受画面にキャラクタを表示する

待受画面にキャラクタを表示するように設定します。
(マチキャラ)

1 待受画面で**メニュー**▶***設定を行う**▶**[1]画面の設定を行う**▶**[7]マチキャラを設定する**を押す

2 「表示設定」▶各項目の「する」または「しない」を押す

を押すとマチキャラ設定画面に戻ります。

3 「マチキャラ選択」▶マチキャラを選択▶**決定**▶**[OK]**を押す

を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- ダウンロードしたマチキャラを設定すると、i シェルのポップアップメッセージの文字サイズは小さくなります。
- マチキャラによっては、時刻や新着情報、通話時間などによりマチキャラの動作が変化するものがあります。

◆iチャンネルの表示を設定する

待受画面に i チャンネルのテロップを表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で**メニュー**▶***設定を行う**▶**[1]画面の設定を行う**▶**[8]iチャンネルの表示を設定する**を押す

2 「[1]表示する」または「[2]表示しない」を押す

テロップ表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- i チャンネルのテロップが非表示にならない場合は、本端末を再起動してください。

電話着信時の設定

電話着信時の音や振動などを設定します。

◆ 電話着信時の着信音の変更

電話がかかってきたときの着信音を設定します。

1 待受画面で ▶ ▶ ▶ を押す

2 ▶ を押す
鳴らさないように設定する場合： を押す
操作6に進みます。

3 を押す
名前を読み上げるように設定する場合： を押す
操作6に進みます。
名前の読み上げについて→P.159

4 カテゴリを選択 ▶ を押す

5 着信音を選択 ▶ を押す
• メロディを選択して を押すと、メロディが再生できます。

6 を押す
着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。 を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

• 着信音設定を「鳴らさない」に設定すると、待受画面に が表示されます。ただし、マナーモード中は が表示されます。

◆ 電話着信時の音量設定

電話がかかってきたときの着信音の音量を調節します。

- 着信音量は、ボタン確認音、電池残量確認音の音量にも反映されます。ただし、ダイヤル発信時のボタン確認音には反映されません。ダイヤル発信時のボタン確認音はメロディ再生の音量（→P.177）を変更することで調整できます。
- 自動音量設定を「大きくする」に設定すると、周囲の状態に合わせて着信音やバイブレータ（振動）を自動で切り替えます（おまかせでか着信）。

1 待受画面で ▶ ▶ ▶ を押す

2 を押す

3 または を押して音量を調節 ▶ を押す
消音に設定する場合：音量1のときに のいずれか ▶ を押す
操作6に進みます。

4 を押す

5 または を押す
• 「大きくする」に設定すると、周囲が騒がしい場合や、歩数計・活動量計を「利用する」に設定しているときに揺れなどが多い場合、着信音量を大きくします。さらに着信音が鳴り続けるとバイブレータが振動し、電話着信音の設定に関わらず「でか着信音」になります。

6 を押す
呼出音量を設定した旨のメッセージが表示されます。 を押すとメニュー画面に戻ります。

◆ 電話着信時の振動設定

電話がかかってきたときのバイブレータ（振動）を設定します。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[2]電話着信時の設定を行う** ▶ **[3]電話着信時の振動を選ぶ** を押す

2 **[1]パターンA**～**[5]振動させない**のいずれかを押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

-   を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで振動します。

✓お知らせ

- バイブレータを設定すると、待受画面に  が表示されます。ただし、マナーモード中は  が表示されます。

メール・メッセージ受信時の設定

メールやメッセージ受信時の音や振動などを設定します。

◆ メール・メッセージ受信時の音の変更

メール、メッセージR/S、SMSを受信したときの着信音を設定します。

〈例〉メール受信時の着信音を設定する

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[3]メール・メッセージの受信設定を行う** ▶ **[1]メール・メッセージ受信時の音を選ぶ** を押す

2 **[1]メール受信時の音を選ぶ** ▶ **[1]着信音設定** を押す

メッセージ着信音を設定する場合：**[2]メッセージ受信時の音を選ぶ** ▶ **[1]メッセージR]** または **[2]メッセージS]** ▶ **[1]着信音設定** を押す

SMS着信音を設定する場合：**[3]SMS受信時の音を選ぶ** ▶ **[1]着信音設定** を押す

3 **[1]鳴らす**を押す

鳴らさないように設定する場合：**[2]鳴らさない**を押す

操作7に進みます。

4 **[1]メロディ・音**を押す

メッセージ着信音を設定する場合：操作5に進む

名前を読み上げるように設定する場合（メッセージを除く）：**[2]名前の読み上げ** ▶ **鳴らす回数を入力** ▶ **決定** を押す

操作7に進みます。

名前の読み上げについて→P.159

- 読み上げる回数を設定する場合は、1～7回の間で入力します。

5 カテゴリを選択 ▶ **決定** ▶ 着信音を選択 ▶ **決定** を押す

- メロディの再生方法は「電話着信時の着信音の変更」をご覧ください。→P.157

6 鳴らす時間を入力▶決定を押す

- 着信音を鳴らす時間は1~30秒の間で入力します。

7 電話帳を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

■着信・受信時の名前の読み上げ

着信音に名前の読み上げを設定すると、電話帳に電話番号やメールアドレスを登録している相手からの着信時や受信時に、専用メロディが鳴り、「XXXさんから電話です」「XXXさんからメールです」(XXXは登録しているフリガナまたは名前)と音声でお知らせします。

- 発信者番号非通知の場合や、電話帳に登録していない相手からの着信や受信時には、専用メロディのみが鳴ります。
- 音声読み上げの動作を「読み上げなし」に設定しても、名前が読み上げられます。
- 名前が読み上げられるときの音量は電話着信音量またはメール・メッセージ受信音量に、声質と速さは音声読み上げの設定に従います。

◆メール・メッセージ受信時の音量設定

メール、メッセージR/S、SMSを受信したときの着信音の音量を調節します。

- 1 待受画面で(メニュー)▶[*]設定を行う▶[3]メール・メッセージの受信設定を行う▶[2]メール・メッセージ受信音量を調節するを押す

- 2    または [+/-] を押して音量を調節▶決定を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

決定を押すとメニュー画面に戻ります。

消音に設定する場合：音量1のときに

  のいずれか▶決定を押す

◆メール・メッセージ受信時の振動

メール（メール、SMS）やメッセージR/Sを受信したときの振動を設定します。

〈例〉メール受信時の振動パターンを設定する

- 1 待受画面で(メニュー)▶[*]設定を行う▶[3]メール・メッセージの受信設定を行う▶[3]メール・メッセージ受信時の振動を選ぶを押す

- 2 [1]メール受信時の振動を選ぶを押す
メッセージ受信振動を設定する場合：[2]メッセージ受信時の振動を選ぶ▶[1]メッセージR]または[2]メッセージSを押す
SMS受信振動を設定する場合：[3]SMS受信時の振動を選ぶ▶[1]振動するまたは[2]振動しないを押す

SMSの振動を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

- 3 [1]振動設定▶[1]パターンA~[5]振動させないのいずれかを押す

-   を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで振動します。

- 4 [2]振動させる時間▶振動させる時間を入力▶決定▶電話帳を押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

- 振動させる時間は1~30秒の間で入力します。

相手の声の音量調節

通話中の相手の声の音量をあらかじめ設定します。

- 受話音量は、通話メモ、伝言メモの再生音量にも反映されます。
- 通話中の受話音量の調節→P.53

1 待受画面で ▶ ▶ を押す

2 または を押して音量を調節 ▶ を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。
 を押すとメニュー画面に戻ります。

ボタン確認音の設定

ボタンを押したときに、スピーカーから音を鳴らすかどうかを設定します。

- 電池残量確認音、QRコード読み取りの確認音を鳴らすかどうかも本設定に従います。

1 待受画面で ▶ ▶ を押す

2 「 鳴らす」または「 鳴らさない」を押す
ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。
 を押すとメニュー画面に戻ります。

音声読み上げ

機能の説明や画面に表示される内容を音声で読み上げることができます。

◆ 音声読み上げ設定

読み上げの動作、声質、速さ、音量を設定します。

- 動作を「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」にすると、音声読み上げが利用できます。→ P.162

1 待受画面で ▶ ▶ ▶ を押す

項目の意味は次のとおりです。

- 動作**：読み上げの動作（自動／手動）を設定または解除します。
- 声質**：読み上げの声質（女声／男声）を設定します。
- 速さ**：読み上げの速さを調節します。
- 音量**：読み上げの音量を調節します。

2 「 動作」を押す

3 「 自動で読み上げ」または「 手動で読み上げ」を押す

音声読み上げを利用しない場合：「 読み上げなし」を押す

操作7に進みます。

4 「 女性の声」または「 男性の声」を押す

5 を押して速さを変更 ▶ を押す

6 または を押して音量を調節 ▶ を押す

7 を押す

音声読み上げを設定した旨のメッセージが表示されます。
 を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 操作4～6でを押すと、選択している声質、速さ、音量で説明を読み上げます。

◆ 音声読み上げの送出先切り替え

音声読み上げ時に、音声をスピーカーから出すか受話口から出すかを設定します。

- スピーカーから出る音は、受話口から出る音より大きく聞こえます。必ず耳から本端末を離してください。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[6]音声読み上げを使う** ▶ **[3]音声読み上げの送出先を選ぶ**を押す

2 **[1]スピーカー**または**[2]受話口**を押す
音声送出先を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 新着お知らせの音の送出先も本設定に従います。
- ステレオイヤホンマイク 02 (別売)などを接続すると、音声をイヤホンからのみ聞こえます。

◆ マナーモード中の読み上げ設定

マナーモード中に受話口から読み上げが聞こえるようにするかどうかを設定します。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[6]音声読み上げを使う** ▶ **[4]マナーモード中に読み上げを使う**を押す

2 **[1]読み上げる**または**[2]読み上げない**を押す

マナーモード中の読み上げの動作を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 「読み上げる」に設定すると、マナーモード中は次のような動作になります。
 - 音声読み上げの送出先切り替えの設定 (→P.161)に関わらず、受話口から聞こえます。
 - 新着お知らせの音も受話口から聞こえます。
 - バイブレータ (振動) の設定に関わらず、バイブレータは「パターンA」で振動します。

◆ 音声読み上げ中の切り替え操作

ブラウザやメール本文の確認時に音声読み上げの切り替え操作を利用するかを設定します。

- 読み上げ動作を「自動で読み上げ」に設定している場合に利用できます。
- **使い易**を押すことに、次のように操作が切り替わります (**使い易**を押すと逆順で切り替わります)。

切り替え種別	読み上げ内容
1文字読み	1文字読み。 前後 で前後を読み上げます。
見出し読み	見出し読み。 前後 で前後の見出しを読み上げます。
リンク読み	リンク読み。 前後 で前後のリンクなどを読み上げます。
段落読み	段落読み。 前後 で前後を読み上げます。
細切れ読み	こま切れ読み。 前後 で前後を読み上げます。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[6]音声読み上げを使う** ▶ **[5]音声読み上げの切替操作を設定**を押す

2 **[1]利用する**または**[2]利用しない**を押す

音声読み上げの切り替え操作を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

◆機能説明や情報などの読み上げ

機能の説明や画面に表示されている内容などを、本端末が音声で読み上げます。

- 音声読み上げの設定（→P.160）の動作が「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」のときに読み上げが行えます（が表示されます）。読み上げ中はが点滅します。
- マナーモード中の読み上げ設定を「読み上げない」に設定している場合は、が表示されません。

「自動で読み上げ」に設定しているとき

音声読み上げに対応する画面が表示されたり、対応する項目を選択したり、対応する操作をしったりしたときに自動的に読み上げます。

- 「手動で読み上げ」に設定したときの操作も行えます。

「手動で読み上げ」に設定しているとき

音声読み上げに対応する画面の表示中や、対応する項目を選択中にを押すと読み上げます。

- 「手動で読み上げ」に設定していても、自動的に読み上げられる項目があります。
- 次の場合は、を1秒以上押すと通常と異なる読み上げを行います。
 - 文字入力中：カーソル位置から句点のある位置または改行位置、文末まで読み上げます。
 - サイト表示中：カーソルのある項目以降を続けて読み上げます。
 - 使いかたガイドのガイド画面表示中：カーソルのある項目以降を続けて読み上げます。
 - メール本文入力中：カーソルのある項目以降の文の区切りまでの内容を読み上げます。

◆読み上げ対応のアプリ

音声読み上げに対応のアプリは次のとおりです。

- インターネット
- お薬アラーム
- お知らせタイマー
- おやすみモード
- 音声呼び出し
- カメラ
- 緊急速報「エリアメール」
- 災害用キット
- シャベって検索
- 集音器
- スケジュール帳／メモ
- 設定
- 使いかたガイド
- つながりほっとサポート
- 電卓
- 電話

- 電話帳の音声検索
- ドコモ電話帳
- ドコモメール
- ボイスレコーダ
- 歩数・活動量計
- 目覚まし
- らくらく検索
- ワンセグ
- dアカウント設定（ドコモサービス）
- SMS

◆主な読み上げ項目

音声読み上げを行う主な内容は次のとおりです。ただし、一部読み上げない場合があります。

- メニュー画面やサブメニューの各機能説明
 - 各機能の設定画面や編集画面などの説明
 - 選択している項目や表示している内容（電話帳の内容やサイト表示中の内容、メールやメッセージR/Sの内容など）
 - 入力文字※¹
 - 操作方法
 - 充電開始時と完了時のお知らせ※²
 - 電池残量1になったときのお知らせ※²、³
 - 電池残量がなくなったときのお知らせ※²
- ※¹ 暗証番号やパスワードの入力画面などでは読み上げません。
- ※² 読み上げの動作を「手動で読み上げ」に設定している場合でも、自動で読み上げます。
- ※³ 待受画面が表示されたときに読み上げます。

✓お知らせ

- 読み上げ中にを押すと、読み上げの音量が変更されます。
- メールまたはメッセージR/Sに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合、「動作」の設定が「自動で読み上げ」であっても、メロディが添付されたメールまたはメッセージR/Sを開くとメロディが自動で演奏されます。メロディ演奏の終了後を押すと読み上げます。
- 読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定している場合は、待受画面を表示中に～、、を押すと読み上げます。
- 「手動で読み上げ」に設定時、と／を同時に押すと読み上げない場合があります。

❖ 待受画面の情報の読み上げ

日付や時刻、新着情報などの待受画面に表示されている情報を読み上げます。

- 音声読み上げの設定 (→P.160) が「自動で読み上げ」の場合も、自動では読み上げません。
- 新着情報がある場合、読み上げ開始時に音でお知らせすることができます。→P.178

1 待受画面で [🔊] を押す

次の項目を読み上げます。

- 日付 (月日)・曜日・時刻
- 新着情報、未読情報、お知らせ情報
- 圏外のお知らせ
- 運転中モードなどの制限機能使用中のお知らせ
- 歩数・活動量の情報
- 電池残量のお知らせまたは充電中のお知らせ

❖ 本端末を閉じたまま情報読み上げ

本端末を閉じた状態で、時刻などの背面ディスプレイに表示される情報を読み上げます。

- 音声送出先 (→P.161) を「スピーカー」にしてください。
- 新着情報がある場合、読み上げ開始時に音でお知らせすることができます。→P.178

1 本端末を閉じて [🔊] を1秒以上押す

次の項目を読み上げます。

- 時刻
- 新着情報
- 開閉ロック中や運転中モード中のお知らせ
- 歩数の情報
- 電池残量のお知らせまたは充電中のお知らせ

❖ 読み上げの停止

読み上げている音声を、途中で停止します。

1 読み上げ中に [🔊] を押す

- サイト表示中に [🔊] を押して読み上げの動作を行ったときは、[🔊] 以外のボタンを押すか連続スクロールをしても読み上げが停止されません。
- 表示している画面や表示している項目により、読み上げが停止しない場合があります。

✓お知らせ

- 音声読み上げ中に次のことが起きると、読み上げが停止されます。
 - 電話がかかってきたとき
 - 外部機器にデータを送信したとき
 - 本端末を閉じたとき
 - 電池残量がなくなったとき
 - 目覚ましや予定の通知の時刻になったとき

◆ 音声読み上げのルールについて

メール、サイト、電話帳などの読み上げは、おおむね次の規則に基づいています。読み上げが希望どおりでない場合は、読み上げ用の単語を登録してください。→P.167

■ 数字

- 数字が並んでいる場合は、24桁まで桁読みします。
 - ※ 先頭に「0」がある場合は桁読みしません。

文字例	読み上げ例
12345	イチマンニセンサンビャクヨン ジューゴ
012345	ゼロイチニサンヨンゴ

■ 英字

- 音声読み上げ辞書に従って読み上げます。

文字例	読み上げ例
i-mode	アイモード

- 音声読み上げ辞書に登録されていない4文字以上の英字文字列は、次のように読み上げます。
 - すべてローマ字と判定できる場合は、ローマ字読みで読み上げます。
 - すべてローマ字と判定できない場合は、アルファベット読みで読み上げます。

文字例	読み上げ例
yomiage	ヨミアゲ
yomiag	ワイオーエムアイエージー

■ サイト内の項目

- ・ラジオボタンは「ラジオボタン オン ×コウモクチュウ ×コウモクメ」、は「ラジオボタン オフ ×コウモクチュウ ×コウモクメ」と読み上げます。グループ設定されていない場合は「ラジオボタンデス オン」または「ラジオボタンデス オフ」と読み上げます。
- ・チェックボックスは「チェックボックス オン」、は「チェックボックス オフ」と読み上げます。
- ・プルダウンメニューは次のとおり読み上げます。
 - 単一選択のメニュー：選択されている項目を読み上げた後に「タンイツ センタクボックス ×コウモクチュウ ×コウモクメ」
 - 複数選択可能なメニュー：先頭に選択されている項目を読み上げた後に「フクスウ センタクボックス ×コウモクチュウ ×コウモクセンタク」
- ・文字入力欄は「モジニューリョクボックス」と読み上げます。文字が入力済みのときは、入力されている文字も読み上げます。
- ・パスワード入力欄が未入力のときは「パスワードニューリョクボックス」と読み上げます。パスワードが入力済みのときは、入力した文字を「ドット」として読み上げます。
- ・ボタンは「xxx ボタン」と読み上げます。
- ・サイトの内容を読み上げているときは、項目を読み上げた後に「ブツ」という区切り音が鳴ります。
- ・サイトを表示すると、ページのタイトルを最初に読み上げます。ページの最初の項目を選択してもページタイトルを読み上げます。
- ・サイトの内容を表示中にを押すと、選択している項目を読み上げます。また、を1秒以上押すと、表示しているページの選択している項目以降をすべて読み上げます。
- ・サイトのリンク項目は、設定と違う声質（「女性の声」に設定しているときは「男性の声」）で読み上げます。
- ・サイトの項目によっては、絵文字などを読み上げない場合があります。

■ 使いかたガイドのガイド画面表示中

- ・を押すと、選択している項目を読み上げます。また、を1秒以上押すと、表示しているページの選択している項目以降をすべて読み上げます。
- ・項目を読み上げたあとに、「ブツ」という区切り音が鳴ります。
- ・他のガイド画面や機能へのリンク項目は、設定と違う声質（「女性の声」に設定しているときは「男性の声」）で読み上げます。

■ 文字入力時

- ・文字入力画面でを押すと、入力済みの文字をすべて読み上げます。
「」（改行マーク）を連続して2つ以上入力して1行空いている場合、読み上げを区切ります。
「」（改行マーク）を入力して改行し、続けて文章を入力した場合は、区切らずにそのままつなげて読み上げます。
なお、「」（改行マーク）は読み上げません。
- ・文字入力画面でを1秒以上押すと、カーソル位置から、文末または句点（「。」）、改行（「」）位置までを読み上げます。このとき句点は「〜クテン」、改行は「〜カイギョー」、句点に連続して改行がある場合は、「〜クテンカイギョー」と読み上げます。
カーソル位置が文末にある場合は、「ブンマツデス」と読み上げます。
- ・デコメール®の場合は、文字入力画面でまたは（1秒以上）を押したときに次の内容を読み上げます。
 - デコメ絵文字®
 - 挿入された画像（「ガソウ」と読み上げます）
- ・音声読み上げ設定を「自動で読み上げ」に設定している場合は、文字入力画面でを押してカーソルを移動すると、次のとおり自動で読み上げます。
 -  ：を1秒以上押したときと同様に読み上げます。ただし、を押して文頭に移動したときは、「フントウデス」と読み上げたあとに、文頭から文末または句点（「。」）、改行（「」）位置までを読み上げます。
 -  ：移動先のカーソル位置の文字の読み上げます。デコメ絵文字®の場合は、画像の題名を読み上げます。
カーソル位置が文末の場合は「ブンマツデス」と読み上げ、文末でを押すと半角空白が追加され「クウハクハンカク」と読み上げます。を押して文頭に移動すると、「フントウデス」と読み上げ、続けて文頭の文字を読み上げます。

- 候補選択リストにカーソルが移動したときは、カーソル位置の候補を読み上げます。
- 文字入力画面で(電話機)を押して変換した文字や、変換候補一覧でカーソル位置の各文字の解説を読み上げます。
 - 変換候補一覧画面では、変換候補の番号を読み上げた後に、各文字の解説を読み上げます。

文字例	読み上げ例
好調になって	コノム ノ コウ シラベル ノ チョウ ヒラガナノニ ヒラガナノ ナ ヒラガナノツ コモジ ヒラガ ナノテ
校長になって	ガッコウ ノ コウ ナガイ ノ チョウ ヒラガナノニ ヒラガナノ ナ ヒラガナノツ コモジ ヒラガ ナノテ

- 候補選択リストでは、カーソル位置の候補の読みと各文字の解説を読み上げます。

文字例	読み上げ例
校長になって	コウチョウニナツテ ガッコウ ノ コウ ナガイ ノ チョウ ヒラガナノニ ヒラガナノ ナ ヒラガナノツ コモジ ヒラガ ナノテ

- 音声読み上げ設定を「自動で読み上げ」に設定している場合、文字入力画面で(電話機)を押して複数の文節を変換時に変換部分確定すると、決定した文節の読みを読み上げた後に、次の変換範囲の各文字の解説を読み上げます。
- 文字をコピー／切り取りしたとき、コピー／切り取りした旨のメッセージを読み上げます。

■その他

- 受信／送信メール詳細画面で(受信)を押すと、メール番号、日付・時刻、宛先／送信元、題名、本文の順に読み上げます。(受信)を1秒以上押すと、本文のみ読み上げます。
- 「は」を含む外来語(カタカナ語)がひらがなで表記された場合は、読みかたを誤る場合があります。

文字例	読み上げ例
はんどる	ワンドル
ふるはうす	フルワウス

- 読み上げの音声は自然の音声とは異なるため、聞きづらい音やアクセントになる場合があります。
- 句読点(「。」、「、」)がある場合は、句読点の位置で読み上げを区切ります。
- 漢字を使用した場合、正しく読み上げない場合もあります。メールでの読み誤りを減らすには、よくメールをやりとりする相手に次のことをお願いすることをおすすめします。

- 句読点を多めに使ってメールを作成してください。
- 読みが難しい漢字はカタカナにしてください。
- カタカナを使うときは長音(「ー」)を使用してください。
- 電話帳の名前の読み上げは、登録されている「フリガナ」を読み上げます。「フリガナ」が登録されていないときは、名前に入力された文字を読み上げます。
- 単語によってはフリガナの登録時に長音(「ー」)を使用すると、より自然に読み上げます。
- メールやサイトの内容を読み上げ中に(送)または(送)を押すと、読み上げが一時停止する場合があります。
- 画像や動画、メロディなどの題名やファイル名が数字の羅列になっている場合は、桁読みを行わずに数字を読み上げます。

文字例	読み上げ例
12345	イチニーサンヨンゴー

音声読み上げの単語登録

音声読み上げ辞書に、単語の読みを讀上辞書データとして追加することができます。

たとえば、お買い上げ時に「ゴジュウミネ」と読み上げられる「五十嶺」の読みを「イソミネ」と登録すると、読み上げに対応したすべての画面で「イソミネ」と読み上げられるようになります。

・最大100件登録できます。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[6]音声読み上げを使う** ▶ **[2]音声読み上げの単語を登録する** を押す

登録済みの単語の数と、登録可能な単語の数が表示されます。

2 **決定** を押す

登録済みの単語が「新規登録」の下に表示されます。

3 「新規登録」を押す

単語の入力画面が表示されます。

4 単語を入力 ▶ **決定** を押す

読みの入力画面が表示されます。
・16文字以内で入力できます。

5 読みを入力 ▶ **決定** を押す

読み上げる単語を登録した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと登録済みの単語の一覧に戻ります。

- ・半角カタカナで32文字以内で入力できます。
- ・次の場合は登録できません。
 - 濁点や半濁点を付けられない文字の次に濁点や半濁点を入力した場合
 - 先頭に濁点、半濁点、「ッ」「ー」を入力した場合
 - 「ッ」の直後に「ー」を入力した場合
 - 空白
- ・長音を含む単語の場合、長音部分に「ー」を使うと、読み上げ音声が自然に聞こえることがあります。

◆音声読み上げ単語の確認・管理

登録した音声読み上げ単語の登録内容を確認したり、読みを変更したり、削除したりします。

〈例〉単語の登録内容を確認する

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[6]音声読み上げを使う** ▶ **[2]音声読み上げの単語を登録する** を押す

登録済みの単語の数と、登録可能な単語の数が表示されます。

2 **決定** を押す

登録済みの単語が「新規登録」の下に表示されます。

3 確認先を選択 ▶ **決定** を押す

単語の登録内容が表示されます。

- ・**決定** を押すと、登録済みの単語の一覧に戻ります。

登録内容の読みを変更する場合：

① 登録先を選択 ▶ **電話機** を押す

単語の入力画面が表示されます。

② 単語を入力 ▶ **決定** を押す

読みの入力画面が表示されます。
・16文字以内で入力できます。

③ 読みを入力 ▶ **決定** を押す

読み上げる単語を登録した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと登録済みの単語の一覧に戻ります。

- ・半角カタカナで32文字以内で入力できます。

登録内容を削除する場合：

① 削除する単語を選択 ▶ **メニュー** ▶ **[2]削除する** を押す

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

② **[1]削除する** を押す

音声読み上げ用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと登録済みの単語の一覧に戻ります。

音声で電話帳を呼び出す

電話帳を音声で呼び出せません。(ボイスダイヤル)

- 音声とフリガナが一致した電話帳を表示します。
- 該当する電話帳が複数あるときは、該当する電話帳を全て表示します。
- 登録されているフリガナを全て発声しなくても、途中まで当てはまる電話帳を検索して表示します。
- 3文字以上32文字以下の音声を認識します。33文字以降は発声しても認識されません。
- 発声によっては、近い読みの電話帳が表示されることがあります。
- フリガナの英字・数字は1文字ずつ発声してください。たとえば「yomi」は「ワイオーエムアイ」、「101」は「イチゼロイチ」または「イチレイイチ」と発声してください。
- 次の文字は認識されません。その部分を抜かして発声してください。
 - 記号
 - 空白
 - フリガナの1文字目や不適切な文字の後ろにある濁点、半濁点、「ン」「ッ」「ー」「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」「ヤ」「ユ」「ヨ」
〈例〉「ア^o」の「^o」、「ッー」の「ー」、「ヒュウ」の「ウ」など
 - 読みの最後にある「ッ」
- フリガナが2文字以下の電話帳は呼び出せません(「ヨミ」、「ww」など)。
- 濁点や半濁点は前の文字と合わせて1文字として認識されます。
- 次の場合は、音声を認識しないことがあります。
 - 周囲の雑音が大きい場合
 - 発声が4秒以内に終わらなかった場合
 - 発声が明瞭でない場合
 - 発声の前後に咳払いをしたり、呼吸音などの雑音を出したりした場合
 - ボタンを押したり、こすったりした場合
- ステレオイヤホンマイク O2 (別売) などの使用時、マイク部分を口に近づけて発声してください。

1 待受画面で電話帳を1秒以上押す

2 決定 ▶ 受話口から「ピー」と聞こえたら、電話帳のフリガナの読みを発声する

- 電話帳の利用方法→P.65
- 呼び出そうとした電話帳が表示されない場合は、を押して操作1からやり直してください。
- 音声が認識されなかった場合、その旨のメッセージが表示されます。を押して操作1からやり直してください。

音声で機能呼び出す

機能を音声で呼び出して、使用できます。〈ボイスメニュー〉

- 次の場合は、音声認識しないことがあります。
 - 周囲の雑音が多い場合
 - 発声か4秒以内に終わらなかった場合
 - 発声か明瞭でない場合
 - 発声か中断された場合
 - 発声の前後に咳払いをしたり、呼吸音などの雑音を出したりした場合
 - ボタンを押したり、こすったりした場合
- ステレオイヤホンマイク O2 (別売) などの使用時、マイク部分を口に近づけて発声してください。

1 待受画面で **メニュー** を1秒以上押す

2 **決定** ▶ 受話口から「ピー」と聞こえたら、登録済みの単語の読みを発声する

- 呼び出そうとした機能が表示されない場合は、**戻る** を押して操作1からやり直してください。
- 音声か認識されなかった場合、その旨のメッセージが表示されます。**決定** を押して操作1からやり直してください。

■ 音声呼び出しの機能一覧

- 次の機能が登録されています。

呼び出す機能	単語の読み
電話着信時の着信音を選ぶ	チャクシンオン
電話着信時の音量を調節する	オンリョウ
伝言メモを再生する	デンゴン
受信したメールを見る	ジュシンメール
例文を使ってメールを作る	レイブン
メールがあるか問い合わせる	トイアワセ
写真を撮影する	シャシンサツエイ
ビデオを撮影する	ビデオサツエイ
写真・画像を見る	シャシンアルバム
ビデオを見る	ビデオアルバム
目覚ましを使う	メザマシ
電卓を使う	デンタク
発信者番号通知設定を行う	パンゴウツウチ
自分の電話番号を見る	デンワパンゴウ
電池残量を確認する	デンチザンリョウ
電話帳に登録する	デンワチョウ
SMSを見る・作る	ショートメッセージ
予定を見る・登録する	ヨテイ
辞書を使う	ジショ

呼び出す機能	単語の読み
メモを使う	メモチョウ
お知らせタイマーを使う	オシラセタイマー
ボイスレコーダを使う	ボイスレコーダ
赤外線を使う	セキガイセン
拡大鏡を使う	カクダイキョウ
microSDカードの内容を見る	エスディーカード
トルカを使う	トルカ
つながりほっとサポートを使う	ホットサポート
一日の歩数・活動量を見る	キョウノホスウ
歩数・活動量の履歴を見る	ホスウリレキ
待受画面の表示を設定する	マチウケヒョウジ
待受画面の時計を設定する	トケイヒョウジ
音声読み上げを設定する	ヨミアゲセツテイ
音声読み上げの単語を登録する	ヨミアゲトウロク
音声で呼び出す機能を見る	キノウヨビダシ
エコモードを設定する	エコモード
集音器を使う	シュウオンキ
現在地の地図を見る	ゲンザイチ
LINEを使う	ライン
らくらくコミュニティを使う	ラクコムユ
らくくミュゲームを使う	ゲーム
迷惑電話対策機能を使う	メイワクデンワ
お薬アラームを使う	オクスリ

◆ 音声で呼び出す機能の確認／編集

登録済みの機能の内容を確認したり、読みの変更をしたりします。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[7]音声で呼び出す機能を見る**を押す

2 確認先を選択 ▶ **決定** を押す

- **決定** を押すと登録済みの機能の一覧に戻ります。

登録内容の読みを変更する場合：

- ① 変更先を選択 ▶ **電話帳** を押す
- ② 読みを入力 ▶ **決定** を押す

音声呼び出し用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。**決定** を押すと登録済みの機能の一覧に戻ります。

- 半角カタカナで3～10文字入力できます。

時計の設定

本端末の日付や時刻を設定します。

◆日付と時刻の設定

ドコモのネットワークからの時刻情報を基に自動で時刻を補正するように設定したり、日付・時刻を手動で設定したりできます（通常は手動で設定する必要はありません）。〈日付時刻設定〉

〈例〉手動で日付・時刻を設定する

1 待受画面で ▶ 「*設定を行う」▶ 「8時計を設定する」▶ 「1日付と時刻を設定する」を押す

2 「2手動で設定する」を押す

自動で時刻補正をする場合：「1自動で設定する」を押す

日付と時刻を自動で設定する旨のメッセージが表示されます。を押すとメニュー画面に戻ります。

3 日付と時刻を入力する

- 時刻は24時間制（00：00～23：59）で設定します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。
- ：選択位置を変更できます。
- ：日付と時刻の入力を切り替えます。

4 を押す

日付と時刻を設定した旨のメッセージが表示されます。を押すとメニュー画面に戻ります。

音質や画質を設定

年齢に合わせて、聞きやすい音質や見やすい画面の色合いに調整します。

- あらかじめ本端末に誕生日を設定してください。

◆あわせるビューを設定

年齢に合わせて見やすい画面の色合いに調整します。

1 待受画面で ▶ 「*設定を行う」▶ 「9音質や画質を調整する」▶ 「1あわせるビューを設定する」を押す

2 「1設定する」または 「2設定しない」を押す

あわせるビューを設定した旨のメッセージが表示されます。を押すとメニュー画面に戻ります。

◆あわせるボイスを設定

本端末から出力される音声を、聞きやすい音質に調整します。

1 待受画面で ▶ 「*設定を行う」▶ 「9音質や画質を調整する」▶ 「2あわせるボイスを設定する」を押す

2 「1あわせるボイス」▶ 「1使用する」または 「2使用しない」▶ を押す

メニュー画面に戻ります。

年齢にあわせて音声を調整する場合：「2年齢にあわせる」▶ 「1あわせる」▶ を押す
メニュー画面に戻ります。

手動で音声を調整する場合：「2年齢にあわせる」▶ 「2あわせるない」▶ ▶ 「1音質1」～「6音質6」のいずれかを押す

音質を設定した旨のメッセージが表示されます。を押すとメニュー画面に戻ります。

◆誕生日を設定

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[9]音質や画質を調整する」▶「[3]誕生日を設定する」を押す

2 「[1]明治で入力する」～「[5]西暦で入力する」のいずれかを押す

3 年を入力▶決定▶月を入力▶決定▶日を入力▶決定▶決定を押す

誕生日を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

エコモードの設定

一時的にディスプレイの照明などを調整し、電池の消費を抑えます。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[0]エコモードを設定する」を押す

2 「[1]設定する」を押す

- 本機能を設定中は待受画面にが表示されます。

解除する場合: 「[2]解除する」を押す

エコモードを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

※エコモードを設定すると

- 本端末を開いたまま操作しないしていると、約1分でディスプレイに何も表示されない省電力の状態になります。いずれかのボタンを押すか、電話の着信などがあつたりすると、ディスプレイは再び表示されます。
- ディスプレイに何も表示されない省電力の状態のときは、決定が点滅して省電力の状態であることをお知らせします。約1時間経過すると決定の点滅は止まります。
- 本端末を閉じている状態で背面ディスプレイの照明が消灯すると、情報が表示されなくなります。
- エコモードを設定してもボタン部分の照明は点灯します。
- 各設定項目が次のように変更されます。エコモードを解除すると、元の設定に戻ります。
 - オートローテーション設定：切替えない
 - 照明設定：暗く設定
 - 新着お知らせ設定（ランプ）：通知しない
 - 動画の照明設定：1分で消灯
- エコモードによって変更された項目を個別に変更すると、エコモードを解除するかの確認画面が表示されます。「[1]解除する」を押すとエコモードが解除されます。

✓お知らせ

- 照明設定が「さらに暗く設定」の場合、エコモードにしても照明設定は変更されません。また、エコモード中に「さらに暗く設定」「暗く設定」のいずれかに変更してもエコモードは解除されません。

ドコモのサービス

ドコモのサービスの設定を行います。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[*]ドコモサービスを設定する」を押す

2 各項目を設定

- 1 dアカウントを設定する：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。
- 2 ドコモアプリパスワードを設定：ドコモが提供するアプリで利用するパスワードの設定を行います。お買い上げ時は「0000」に設定されています。
- 3 ドコモ位置情報を設定する：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
- 4 端末エラー情報を送信する：エラー情報をドコモが管理するサーバーへ送信するための設定を行います。
- 5 遠隔初期化を設定する：遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。
- 6 USBデバッグ切替を行う：ドコモショップなどで専用端末を利用するための設定を行います。

着信設定

電話着信時の動作を設定します。

◆ 電話帳未登録者からの着信音を無音にする

登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から電話がかかってくる時、設定した時間が経過した後に着信音などの呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。〈無音着信時間設定〉

- 本機能を使用中は、次のように動作します。
 - 待受中または通話中に電話がかかってくると、無音着信時間内はディスプレイの表示のみで着信を知らせます。無音着信時間が経過すると、待受中の場合は通常の呼出動作を開始します。通話中の場合は「プブ…プブ…」という通話中着信音（→P.50）が受話口から聞こえます。
 - 呼出時間が無音着信時間内の不在着信は、着信履歴に表示されません。また、新着情報と☎も表示されません。
 - 通常の着信履歴と無音着信時間内の不在着信は、合わせて最大30件記録されます。
- 登録外着信拒否中は、本機能を使用できません。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[2]着信設定を行う」▶「[1]無音着信時間を設定する」を押す

- 1 無音着信動作：本機能を有効にするかどうかを設定します。
- 2 無音着信時間：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。

2 「[1]無音着信動作」を押す

3 「[1]設定する」または「[2]設定しない」を押す

- 「[2]設定しない」を押した場合は操作5に進みます。

4 無音着信時間を入力▶決定を押す

- 操作1の画面に戻ります。
- 1～99秒の間で入力します。

5 (電話帳)を押す

無音着信時間を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、次のような場合は無音着信時間内の不在着信として記録され、着信履歴に表示されません。
- 発信者番号を非通知で電話をかけてきた相手が、無音着信時間内で電話を切ったとき
- 伝言メモ（→P.57）、留守番電話サービス、転送でんわサービスを設定しているとき、本設定を優先させるためには、伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間よりも無音着信時間設定の呼出時間を短く設定してください。
- 運転中モード中は、本機能は動作しません。
- 電話帳指定着信拒否/許可（→P.173）、非通知理由別着信設定（→P.175）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
- 本機能とオート着信設定（→P.152）を同時に設定している場合、無音着信時間をオート着信設定の応答時間以上に設定すると、オート着信設定は動作しません。
- 本機能とオートスピーカーホン機能（→P.51）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、オートスピーカーホン機能は動作しません。

◆ 応答拒否SMSを設定

電話の応答を拒否してSMSを送信する場合（→P.50）のメッセージを編集します。

- 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[2]着信設定を行う** ▶ **[2]応答拒否SMS**を押す
- [1]ご用件を返信ください。]**～**[4]おかけ直してください。]**のいずれかを押す
- 決定** ▶ **メッセージを編集** ▶ **決定**を押す
戻るを押すとメニュー画面に戻ります。

電話・電話帳の詳細設定

着信の拒否/許可や通話モードなどを設定します。

◆ 電話番号を指定して着信許可/拒否

本端末電話帳から相手を選んで着信拒否/許可一覧に登録し、その相手の電話番号に対して着信拒否/許可を設定します。拒否を設定すると、登録した相手からの電話はつながりません。また、許可を設定すると、登録した相手からの電話のみつながります。相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。着信拒否/許可相手の登録を行っただけでは設定されません。必ず着信拒否/許可の設定も行ってください。〈電話帳指定着信拒否/許可〉

- あらかじめ電話帳の登録が必要です。→P.66
- 番号通知お願いサービス（→P.61）や非通知理由別着信設定（→P.175）を併用することをおすすめします。

◆ 着信拒否/許可相手の登録

- 拒否/許可する相手は、それぞれ最大20件登録できます。
- ドコモnanoUIMカード電話帳から指定することはできません。

- 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[4]電話・電話帳の詳細を設定する** ▶ **[1]着信を拒否する相手を指定する**または**[2]着信を許可する相手を指定する**を押す

- 2 端末暗証番号を入力 ▶ **決定**を押す

- 3 **[3]相手を登録する**を押す

- 4 登録先の番号を選択 ▶ **決定**を押す

登録済みの相手を変更する場合：相手を選択

▶ **メニュー** ▶ **[1]編集する**を押す

操作5に進みます。

登録済みの相手を削除する場合：相手を選択

▶ **メニュー** ▶ **[2]削除する** ▶ **[1]削除する**を押す

登録データを削除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すと着信拒否/許可登録一覧に戻ります。

5 登録する相手を検索して選択▶**決定**を押す

着信を拒否／許可する相手に登録した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すと着信拒否／許可登録一覧に戻ります。

- 検索方法→P.67
- **戻る**を押すと続けて着信拒否／許可の設定ができます。以降の操作は「着信拒否／許可の設定」操作3をご覧ください。→P.174

✓お知らせ

- 登録した相手の電話帳を修正／削除した場合は、着信を拒否／許可に登録した相手のデータも修正／削除されます。

◆着信拒否／許可の設定

電話帳指定着信拒否または電話帳指定着信許可を設定します。あらかじめ着信拒否／許可相手の登録が必要です。

- 電話帳指定着信拒否と電話帳指定着信許可を同時に設定できません。

1 待受画面で**メニュー**▶**[*]設定を行う**▶**[#]その他の設定を行う**▶**[4]電話・電話帳の詳細を設定する**▶**[1]着信を拒否する相手を指定する**または**[2]着信を許可する相手を指定する**を押す

2 端末暗証番号を入力▶**決定**を押す

3 **[1]設定する**または**[2]解除する**を押す
着信拒否または着信許可を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

- 着信を拒否／許可する相手を登録していない場合は、相手が登録されていない旨のメッセージが表示されます。**決定**を押して相手を登録してください。以降の操作は「着信拒否／許可相手の登録」操作3以降をご覧ください。→P.173

✓お知らせ

- 電話帳指定着信拒否を設定中に拒否した電話番号の着信があった場合、または電話帳指定着信許可を設定中に許可していない電話番号の着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- メールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。

◆電話帳未登録者からの電話を拒否

電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときに着信を拒否します。〈登録外着信拒否〉

- 電話がかかってきたときの表示については「電話を受ける」操作1をご覧ください。→P.49
- 相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。電話番号が通知されない相手からの着信は非通知理由別着信設定に従って動作します。非通知理由別着信設定（→P.175）、および番号通知お願いサービス（→P.61）を併用することをおすすめします。
- 無音着信時間設定中（→P.172）は、本機能を使用できません。
- 緊急通報をかけた場合、通話終了後約5分間は設定が無効になり、緊急機関からの折り返し着信を受けることができます。

1 待受画面で**メニュー**▶**[*]設定を行う**▶**[#]その他の設定を行う**▶**[4]電話・電話帳の詳細を設定する**▶**[3]電話帳登録外の着信を拒否する**を押す

2 端末暗証番号を入力▶**決定**を押す

3 **[1]拒否する**または**[2]許可する**を押す
電話帳登録外の着信を拒否／許可するように設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- メールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

◆ 発信者番号が不明な電話を拒否

発信者番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由ごとに着信動作を設定します。(非通知理由別着信設定)

- 電話番号が通知されない理由(発信者番号非通知理由)について→P.49

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[4]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[4]発信番号なしの着信動作を選ぶ」を押す

2 端末暗証番号を入力▶**決定**を押す

3 「[1]非通知設定」～「[3]公衆電話」のいずれかを押す

4 「[1]着信音を選択」～「[4]設定を解除」のいずれかを押す

- 「[2]着信音量を消音」～「[4]設定を解除」のいずれかを押した場合は操作6に進みます。

5 カテゴリを選択▶**決定**▶着信音を選択▶**決定**を押す

- メロディの再生方法は「電話着信時の着信音の変更」をご覧ください。→P.157

6 **決定**を押して発信番号通知がない着信の種類を選択する画面に戻る

- 着信動作を設定した項目には「*」が表示されます。

✓お知らせ

- 本機能を「着信を拒否」に設定中に発信者番号が通知されない着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- 本機能と番号通知お願いサービス(→P.61)を同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先して動作します。
- メールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。
- 発信者番号が通知されない電話がかかってくると、電話は着信音設定より本機能で設定した着信音が優先して鳴ります。→P.158

◆ 通話中に自分の電話番号を表示する

通話中の画面に自分の電話番号を表示するかどうかを設定します。(通話中自局番号表示設定)

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[4]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[7]通話中に自分の番号を表示する」を押す

通話中に自分の電話番号を表示するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1]表示する」または「[2]表示しない」を押す

通話中の自局番号表示を設定/解除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

◆ 発信者番号通知の設定

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号(発信者番号)を表示させます。

- 詳細はドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/number_notice/
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際は、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示ができるときに表示されます。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、発信者番号通知は設定できません。電波状態のよい所で行ってください。
- 電話をかけるたびに、発信者番号を通知/非通知にすることができます。→P.47

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[4]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[9]発信者番号通知設定を行う」を押す

2 「[1]通知する」または「[2]通知しない」を押す

発信者番号通知を有効/無効にした旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

◆ 発信者番号通知の優先順位

複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知/非通知の発信が異なる場合があります。

- ① 相手の電話番号に「186」または「184」を付けた場合→P.47
- ② 発信時にサブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択した場合→P.47
- ③ 発信者番号通知の設定をした場合→P.175

◆ サブアドレスの設定

電話番号に含まれる「*」をサブアドレスの区切り子とするかを設定します。

- 1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「0サブアドレスの設定を行う」を押す

- 2 「1設定する」または「2設定しない」を押す

サブアドレスを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

◆ 通話モードの設定

VoLTEを有効にするかどうかを設定します。

- 1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「*通話モードの設定を行う」を押す

- 2 「1VoLTEを有効」または「2VoLTEを無効」を押す

VoLTEを有効／無効にした旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

音の詳細設定

充電時や電池残量警告時の音、マナーモードなどを設定します。

◆ 充電確認音の設定

充電の開始時と完了時に確認音を鳴らすかどうかを設定します。

- マナーモード中、通話中、運転中モード設定中は充電確認音は鳴りません。

- 1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「1充電開始と完了を音で通知する」を押す

- 2 「1知らせる」または「2知らせない」を押す

充電確認音を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

◆ 電池残量警告音の鳴動設定

電池残量がなくなったときの警告音を鳴らすかどうかを設定します。

- 1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「2電池残量の警告を音で通知する」を押す

- 2 「1鳴らす」または「2鳴らさない」を押す
- 電池残量警告音を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 本機能を「鳴らさない」に設定しても、通話中に電池が切れそうになったときは受話口から電池残量警告音が鳴ります。
- 本機能を「鳴らす」に設定しても、電源が入っていないときやマナーモード中、運転中モード設定中は電池残量警告音は鳴りません。

◆メロディの再生

本端末またはmicroSDカードに保存されているメロディを再生します。メールに添付することもできます。

1 待受画面で **(X2C)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[5]音を設定する** ▶ **[5]メロディ・音の一覧を見る**を押す

2 **[1]内蔵メロディ・音**～**[3]アルバム**のいずれかを押す

3 再生するメロディを選択 ▶ **決定**を押す

- 再生中は次の操作ができます。

決定 : 停止

[+/-] : 音量調節

✓お知らせ

- 次のファイル形式のメロディ・音を再生できます。AAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、AAC ELD、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM、Opus

◆マナーモードの設定

着信を振動で知らせたり、ボタンを押したときの確認音を消したりして、周囲の迷惑にならないようにする機能です。

※マナーモードの設定

1 待受画面で **(H27)** を1秒以上押す

バイブレータが振動して、マナーモードを設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すと待受画面に戻ります。

- 本機能を設定中は、待受画面には **(H27)** が、本端末を閉じているときに背面ディスプレイには **(H27)** が表示されます。

※マナーモードの解除

1 マナーモード中に待受画面で **(H27)** を1秒以上押す

マナーモードを解除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すと待受画面に戻ります。

※マナーモードを設定すると

- 着信音や目覚まし音、ボタン確認音など、スピーカーから出る音を消します。ただし、写真やビデオ撮影時の撮影確認音（シャッター音）、音声録音時の録音確認音、ビデオ撮影時の終了確認音は鳴ります。
- エリアメール設定の鳴動・マナーモード動作設定を「マナーモード時も音を鳴らします」に設定すると、エリアメール受信時に専用ブザー警報音や専用着信音が鳴ります。
- 音声読み上げの音声は消え、新着お知らせは振動で通知します。マナーモード中の読み上げ設定を「読み上げる」に設定している場合は、読み上げの音声を受話口から聞こえるように設定できます。→P.161
ただし、着信音に名前の読み上げを設定している場合（→P.157）でも、マナーモードを設定しているときは、読み上げは受話口から出力されません。
- オートスピーカーホン機能は動作しません。
- 着信時（通話中を除く）、お知らせタイマーや目覚ましの時刻、予定を通知する日時には、バイブレータが「パターンA」で振動します。
- メロディや動画の再生時には、マナーモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。

新着お知らせの設定

本端末を閉じているときの不在着信や新着情報のお知らせについて設定します。

◆新着情報をランプで知らせる

本端末を閉じている場合、不在着信やメール、iコンシェルインフォメーションなどの新着情報があると、ランプが約6秒間隔で点滅します。〈新着お知らせ設定（ランプ）〉

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[6]新着お知らせを設定する** ▶ **[1]着信ランプで通知する**を押す

2 **[1]通知する**または**[2]通知しない**を押す

新着お知らせを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。**[決定]**を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- 待受画面の新着情報（「着信あり」、「メールあり」など）を消去するとランプの点滅は停止します。

◆音声読み上げ時に新着情報を音で知らせる

不在着信やメールなどの新着情報があると、待受画面や本端末を閉じた状態での音声読み上げ開始時に音で通知します。〈新着お知らせ設定（音）〉

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[6]新着お知らせを設定する** ▶ **[2]読み上げ開始時に音で通知する**を押す

2 **[1]通知する**または**[2]通知しない**を押す

通知を設定した旨のメッセージが表示されます。**[決定]**を押すとメニュー画面に戻ります。

✓お知らせ

- マナーモード中は振動で通知します。マナーモード中の読み上げ設定を「読み上げる」に設定すると、受話口からの音と振動で通知します。
- 待受画面の新着情報（「着信あり」「メールあり」など）の表示を消去したときは通知しません。

情報の表示・リセット

通話時間やストレージの空き容量などの情報を表示したり、本端末のデータを一括削除したりできます。

◆通話時間を確認する

直前の通話時間と、積算の通話時間を確認します。〈直前通話時間／積算通話時間〉

- 通話時間は、かけた場合とかかっていた場合の両方がカウントされます。
- 直前通話時間は、直前に行った電話の通話時間が表示されます。
- 以前に積算通話時間をリセット（→P.178）した場合は、リセット時から現在までの積算通話時間が表示されます。
- 表示される通話時間はあくまでも目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[7]情報の表示やリセットを行う** ▶ **[1]通話時間を見る**を押す

2 **[1]直前の通話時間**または**[2]積算の通話時間**を押す

直前通話時間または積算通話時間の画面が表示されます。**[決定]**を押すと項目選択の画面に戻ります。

✓お知らせ

- 直前通話時間、積算通話時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- パケット通信の通信時間はカウントされません。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。

◆積算通話時間リセット

電話の積算時間をリセットします。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[7]情報の表示やリセットを行う** ▶ **[2]通話時間をリセットする**を押す

2 端末暗証番号を入力 ▶ **[決定]**を押す

3 **[1]リセットする**を押す

積算時間をリセットした旨のメッセージが表示されます。**[決定]**を押すとメニュー画面に戻ります。

◆ 電池残量を音と表示で確認

電池残量を音と表示で確認できます。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[7]情報の表示やりセットを行う」▶「[3]電池残量を確認する」を押す

電池残量が表示され、ボタン確認音の設定に従い、電話着信時の音量で残量に応じた回数分鳴ります。しばらくたつとメニュー画面に戻ります。

- 音声読み上げを設定している場合は、電池残量の読み上げも行います。
- (戻る)を押すと待受画面に戻ります。

◆ 現在の通信状態を表示

現在の通信状態を確認できます。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[7]情報の表示やりセットを行う」▶「[4]通信状態を表示する」を押す

- 「パケットのみ可能」のときは電話を除く通信サービスが利用できます。

◆ 登録したデータを一括して削除

本端末に保存、登録したデータを削除し、各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。(データ一括削除)

- 保護したデータも削除されます。
- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻りません。
 - お買い上げ時に登録されているデータ
 - つながりほっとサポートの利用記録停止／再開の設定
 - ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータ

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[7]情報の表示やりセットを行う」▶「[5]本体内容データを全て削除する」を押す

2 端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

3 「[1]削除する」を押す 本端末が再起動します。

✓お知らせ

- データ一括削除の再起動後は、初めて電源を入れたときの画面が表示されます。→P.37
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間がかかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。

◆ ストレージの使用状況の確認

本端末の全容量や空き容量などを表示します。本端末にデータを保存したり、移動／コピーしたりする場合は、空き容量を確認してください。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[7]情報の表示やりセットを行う」▶「[6]ストレージの使用量を確認する」を押す

2 (電話帳)を押す メニュー画面に戻ります。

操作の制限

開閉ロックや機内モード、PINロックなど各種操作の制限について設定します。

◆ 開閉ロック

開閉ロックを設定すると、本端末を閉じるたびに 、 以外のボタンがロックされます。本端末を開くたびに端末暗証番号の入力が必要なため、他人が不正に本端末を使用するのを防げます。

開閉ロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、端末暗証番号入力画面で を押し、緊急通報番号を入力して を押します。

◆ 開閉ロックの設定／解除

1 待受画面で ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ を押す

2 端末暗証番号を入力 ▶ を押す

3 または を押す
開閉ロックを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。 を押すとメニュー画面に戻ります。

◆ 開閉ロックが起動すると

本端末を閉じるたびに開閉ロックが起動すると 、 以外のボタンがロックされます。このとき、背面ディスプレイには「開閉ロック成功」と表示され、ランプが約4秒間点灯し、開閉ロックが起動したことをお知らせします。

- 解除するときは、本端末を開いて端末暗証番号の入力を行います。
- 解除するときに、端末暗証番号の入力に5回失敗すると、一時的に解除の操作ができなくなりますが、30秒経過後にやり直すことができます。

✓お知らせ

- 本機能を設定中に電源を入れ直すと、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号の入力をしなかった場合は開閉ロックが起動します。
- 次の機能は利用できます。
 - 電源を入れる／切る操作
 - 電話を受ける操作、緊急通報（110番、119番、118番）への発信

- 伝言メモまたは通話メモの録音
- ケータイデータお預かりサービスの自動更新
- メールやメッセージR/S、SMSの受信[※]
- エリアメールの受信
- おまかせロックの設定
- 予定の通知
- 目覚まし
- イヤホンスイッチ発信
- つながりほっとサポートの利用
- ソフトウェア更新

※ 本端末を開いた状態で受信した場合は、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

◆ 機内モードの設定

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi機能、Bluetooth機能）が無効になります。ただし、Wi-Fi機能およびBluetooth機能は機内モード中に手動で機能を有効にすることができます。

- 機内モードを設定すると、 が表示されます。

1 待受画面で ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ を押す

2 または を押す
機内モードを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。 を押すとメニュー画面に戻ります。

◆本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

本端末で利用できる主なネットワークサービスのアカウントに必要な暗証番号／パスワードは次のとおりです。

- 端末暗証番号→P.181
- ネットワーク暗証番号→P.181
- ドコモアプリパスワード→P.172
- dアカウントパスワード
dアカウント(→P.172)のパスワードです。お客様が任意に設定した英数字・記号となります。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号は避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気を付けてください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類(運転免許証など)や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード(PUK)は、ドコモショップでご契約時にお渡りする契約申込書(お客様控え)に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

◆端末暗証番号

本端末には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要な機能があります。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.182

- 端末暗証番号入力画面で誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、30秒後にもう一度やり直すことができます。

◆ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/password/network/>

◆PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PIN1コードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.183

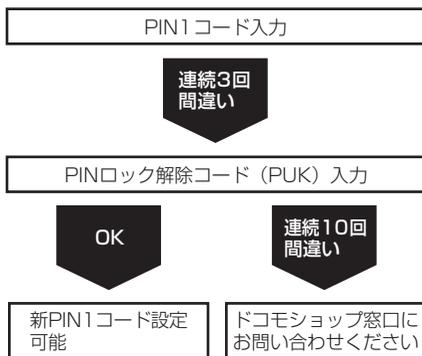
PIN1コードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付けるたび、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号(コード)です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は、「0000」となります。

◆PINロック解除コード(PUK)

PINロック解除コード(PUK)は、PIN1コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コード(PUK)の入力を連続10回間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。



✓お知らせ

- いたずら防止のため、端末暗証番号、PIN1コードはご契約後にお好きな番号に変更してください。

❖端末認証方法の変更

お買い上げ時の端末暗証番号や、現在設定している端末暗証番号を変更します。ご契約時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。また、認証方法として英字と数字を組み合わせた端末パスワードを利用するように設定することもできます。

- 入力した端末暗証番号は「●」で表示されます。

1 待受画面で **[メニュー]** ▶ **[*設定を行う]** ▶ **[#その他の設定を行う]** ▶ **[8操作の制限をする]** ▶ **[3端末認証方法を変更する]** を押す

2 端末暗証番号を入力 ▶ **[決定]** を押す

3 「**[1] 端末暗証番号**」または「**[2] 端末パスワード**」を押す

4 新しい端末暗証番号または端末パスワードを入力 ▶ **[決定]** を押す

5 操作3で入力した新しい端末暗証番号または端末パスワードをもう一度入力 ▶ **[決定]** を押す

端末暗証番号または端末パスワードを変更した旨のメッセージが表示されます。**[決定]** を押すとメニュー画面に戻ります。

◆PINコードの設定

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定したり、PIN1を変更したりします。

- PINコードの設定はドコモnanoUIMカードに記録されます。ドコモnanoUIMカードを別の端末に差し替えてお使いになる場合は、現在の設定のままご利用になれます。
- PIN1コードには、4～8桁の数字を設定します。

❖PIN1コード使用

本端末の電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

- 入力したPIN1コードは「●」で表示されます。

1 待受画面で **[メニュー]** ▶ **[*設定を行う]** ▶ **[#その他の設定を行う]** ▶ **[8操作の制限をする]** ▶ **[4PINコードを設定する]** を押す

2 「**[2] PIN1コード使用**」を押す

3 「**[1] 使用する**」または「**[2] 使用しない**」を押す

4 PIN1コードを入力 ▶ **[決定]** を押す

PIN1コードを使用する／しない旨のメッセージが表示されます。**[決定]** を押すとメニュー画面に戻ります。

- 現在の設定を変更しない場合、PIN1コードの入力画面は表示されません。
- ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。
- 本機能を設定した後に、本端末の電源を入れたと、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

❖PIN1コード使用を設定すると

本端末の電源を入れたと、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

- 入力したPIN1コードは「●」で表示されます。

1 本端末の電源が入っていない状態で **[電源ボタン]** を2秒以上押す
電源が入ります。

2 PIN1コードを入力▶**決定**を押す

待受画面が表示されます。

✓お知らせ

- PIN1コードの入力を連続3回間違えると、PIN1コードが認識できなかった旨のメッセージが表示され、PIN1コードがロックされます。**決定**を押すとPINロック解除コードの入力画面が表示されます。→P.183

◆PIN1コードの変更

PIN1コードの暗証番号を変更します。ご契約時は「0000」に設定されています。

- PIN1コードを変更するときは、あらかじめPIN1コードを使用するように設定する必要があります。→P.182
- 入力したPIN1コードは「●」で表示されます。

1 待受画面で(メニュー)▶[*]設定を行う▶[#]その他の設定を行う▶[8]操作の制限をする▶[4]PINコードを設定するを押す

2 [1]PIN1コード変更を押す

PIN1コードは3回入力できます。

3 現在のPIN1コードを入力▶**決定**を押す

4 新しいPIN1コードを入力▶**決定**を押す

5 操作4で入力した新しいPIN1コードをもう一度入力▶**決定**を押す

PIN1コードを変更した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

- 現在のPIN1コードの入力に失敗すると、PIN1コードが認識できなかった旨のメッセージが表示されます。**決定**を押して操作3からやり直してください。
- 操作4で入力した新しいPIN1コードと一致しない場合、新しいPIN1コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。**決定**を押して操作4からやり直してください。

✓お知らせ

- 現在のPIN1コードの入力を連続3回間違えると、PIN1コードが認識できなかった旨のメッセージが表示され、**決定**を押すとPIN1コードがロックされます。**決定**を押すとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→P.183
- PIN1コードを連続3回間違えてPIN1コードがロックされた場合は、電話の発着信やメールの送受信などの操作はできなくなります。

◆PINロックの解除

PINコード入力画面でPINコードの入力を連続3回間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります(PUKロック)。その場合は「PINロック解除コード(PUK)」でロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PINロック解除コード(PUK)の入力を連続10回間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。
- 入力したPINロック解除コード(PUK)、PIN1コードは「●」で表示されます。

1 PINロック解除コード入力画面でPINロック解除コード(PUK)を入力▶**決定**を押す

2 新しいPIN1コードを入力▶**決定**を押す

3 操作2で入力した新しいPIN1コードをもう一度入力▶**決定**を押す

PINロック解除コード(PUK)が認識された旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

- PINロック解除コード(PUK)の入力に失敗すると、PINロック解除コード(PUK)が認識できなかった旨のメッセージが表示されます。**決定**を押して操作1からやり直してください。
- 操作2で入力した新しいPIN1コードと一致しない場合、新しいPIN1コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。**決定**を押して操作2からやり直してください。

◆ダイヤル入力での発信を制限する

電話帳やワンタッチダイヤルボタンを利用する以外の方法では、電話を発信できないように設定します。(ダイヤル発信制限)

- ダイヤル発信制限中でも、緊急通報(110番、119番、118番)はできます。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[8]操作の制限をする** ▶ **[5]ダイヤル入力での発信を制限する**を押す

2 端末暗証番号を入力 ▶ **決定**を押す

3 **[1]制限する**または**[2]制限しない**を押す

ダイヤル入力での発信を制限/解除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

- 本機能を使用中は、待受画面に**電話帳**が表示されます。

◇ダイヤル入力での発信を制限すると

- 次の操作ができなくなります。
 - 個人情報の登録、修正
 - ダイヤル入力による発信
 - リダイヤルや着信履歴からの発信※1
 - 外部機器と接続しての発信※2
 - 電話帳の登録、修正、削除
 - ワンタッチダイヤルボタンからの電話帳の新規登録、修正※3
 - 待受画像配信元設定のメールアドレスの入力
 - メール/SMSの送信※4、メール送受信履歴からの送信※4
 - 電話帳と個人情報の赤外線送受信
 - ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
- ※1 電話帳やワンタッチダイヤルに登録している相手への発信や送信はできます。
- ※2 外部機器から本端末電話帳のメモリ番号を指定しての発信はできます。
- ※3 登録相手の変更や着信音/着信画像の設定はできません。
- ※4 電話帳やワンタッチダイヤルを利用しての送信、または電話帳やワンタッチダイヤルに登録された相手からのメールに返信はできません。

✓お知らせ

- 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。

視覚サポート

画面の色を反転したり補正したりして、見やすくします。

◆画面の色を反転する

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[0]視覚サポートを設定する** ▶ **[1]色反転をする**を押す

2 **[1]反転する**または**[2]反転しない**を押す

色の反転を設定/解除した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

◆画面の色を補正する

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[0]視覚サポートを設定する** ▶ **[2]色補正をする**を押す

2 **[1]補正設定** ▶ **[1]補正する**または**[2]補正しない**を押す

3 **[2]補正の種類** ▶ **[1]第二色弱(赤緑)**~**[3]第三色弱(青黄)**のいずれかを押す

4 **電話帳**を押す

色の補正を設定した旨のメッセージが表示されます。**決定**を押すとメニュー画面に戻ります。

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

- 無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN (IEEE 802.11b/g/n) とBluetooth機能は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

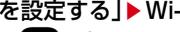
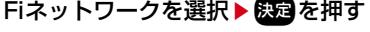
- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

❖Wi-Fi機能を有効にしてネットワークに接続

- Wi-Fiに接続すると、 (Wi-Fi接続中のマーク) が表示されます。

- 待受画面で  ▶  ▶  ▶  ▶  ▶  ▶  を押す

Wi-Fiを有効/無効にした旨のメッセージが表示されます。 を押すとメニュー画面に戻ります。

-  ▶  ▶  を押す

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、 ▶ パスワード (セキュリティキー) を入力 ▶  ▶  ▶  を押します。

✓お知らせ

- Wi-Fi機能が有効のときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE/3Gネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- アクセスポイントを選択して接続する際に誤ったパスワード (セキュリティキー) を入力すると [認証に問題] と表示されます。パスワード (セキュリティキー) をご確認ください。なお、正しいパスワード (セキュリティキー) を入力しても同様のメッセージが表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です。→P.172

❖Wi-Fiネットワークの簡単登録

WPS方式に対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

- あらかじめWi-Fi機能を有効にしてください。また、利用するWPS方式を設定してください。→P.186

- 待受画面で  ▶  ▶  ▶  ▶  ▶  を押す

-  ▶ 画面の案内に従って操作

✓お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては接続できない場合があります。接続できない場合は手動で接続してください。
- 無線LANアクセスポイント側のセキュリティによっては、接続できない場合があります。

❖Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-Fi機能を有効にしてください。

- 待受画面で  ▶  ▶  ▶  ▶  ▶  を押す

-  を押す

3 「1」SSID▶Wi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力▶決定を押す

4 「2」セキュリティ▶セキュリティを選択
・セキュリティは「なし」／「WEP」／「WPA/WPA2 PSK」／「802.1x EAP」のいずれかを設定できます。

5 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力▶電話機を押す
ネットワーク情報を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

❖Wi-Fiネットワークの切断

1 待受画面でメニュー▶[*]設定を行う▶[#]その他の設定を行う▶[*]Wi-Fi・Bluetoothを設定する▶1Wi-Fiを設定する▶3Wi-Fiの高度な項目を設定するを押す

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択▶決定▶2ネットワーク情報の削除▶1削除する▶決定を押す
ネットワーク情報を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

❖Wi-Fiの詳細設定

1 待受画面でメニュー▶[*]設定を行う▶[#]その他の設定を行う▶[*]Wi-Fi・Bluetoothを設定する▶1Wi-Fiを設定する▶4Wi-Fiの詳細設定を設定するを押す

2 各項目を設定

❖画面消灯時のWi-Fi設定

本端末の画面が消灯しているときや充電しているときにWi-Fiを切断するかどうかを設定します。

1 待受画面でメニュー▶[*]設定を行う▶[#]その他の設定を行う▶[*]Wi-Fi・Bluetoothを設定する▶1Wi-Fiを設定する▶4Wi-Fiの詳細設定を設定するを押す

2 「2画面消灯時のWi-Fi設定」を押す
画面消灯時のWi-Fi設定の選択画面が表示されます。
項目の意味は次のとおりです。

- 1画面消灯後、一定時間操作がなければWi-Fiを切断する：お買い上げ時の設定です。画面の消灯から一定時間操作がない場合はWi-Fi接続が切断されます。
- 2充電中はWi-Fiを切断しない：充電中は画面消灯時でもWi-Fi接続が切断されません。
- 3画面消灯時にWi-Fiを切断しない：画面消灯時でもWi-Fi接続が切断されません。

3 「1画面消灯後、一定時間操作がなければWi-Fiを切断する」～「3画面消灯時にWi-Fiを切断しない」のいずれかを押す
選択した機能に設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

❖WPS方式を設定する

1 待受画面でメニュー▶[*]設定を行う▶[#]その他の設定を行う▶[*]Wi-Fi・Bluetoothを設定する▶1Wi-Fiを設定する▶4Wi-Fiの詳細設定を設定するを押す

2 「6WPS方式」▶1プッシュボタン方式～3PIN入力方式(4桁)のいずれかを押す
WPS方式を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

高度な設定

モバイルネットワークやアプリの管理などについて設定します。

◆モバイルネットワーク

◇データ通信の設定

機能によっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならないかぎり、接続されたままになります。必要に応じて、パケット通信の有効/無効を切り替えてください。

- 1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **[モバイルネットワーク]** ▶ **[1]データ通信を有効にする**を押す
- 2 **[1]ON**または**[2]OFF**を押す
メニュー画面に戻りデータ通信をON/OFFにした旨のメッセージが表示されます。

◆アクセスポイント (APN) の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント (spモード) はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/>

mopera U、ビジネスmoperaインターネットを利用する際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

<https://www.mopera.net/>

◇利用中のアクセスポイントの確認

- 1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **[モバイルネットワーク]** ▶ **[3]アクセスポイント名**を押す

◇アクセスポイントの追加 (新しいAPN)

• MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- 1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **[モバイルネットワーク]** ▶ **[3]アクセスポイント名**を押す
- 2 **(メニュー)** ▶ **[1]新しいAPN**を押す
- 3 **[名前]** ▶ ネットワークプロファイル名を入力 ▶ **決定** ▶ **[OK]**を押す
- 4 **[APN]** ▶ アクセスポイント名を入力 ▶ **決定** ▶ **[OK]**を押す
- 5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 ▶ **決定** ▶ **(メニュー)** ▶ **[1]保存**を押す

✓お知らせ

• MCC、MNCの設定を変更してアクセスポイント名の一覧画面に表示されなくなった場合は、アクセスポイントの初期化を行うか、アクセスポイント名の一覧画面で **(メニュー)** ▶ **[1]新しいAPN** を押して再度アクセスポイントの設定を行ってください。

◇アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **[モバイルネットワーク]** ▶ **[3]アクセスポイント名**を押す
- 2 **(メニュー)** ▶ **[2]初期値に戻す**を押す

◆ウィジェット表示

ウィジェットの表示について設定します。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **「ウィジェット表示」** ▶ **(メニュー)** を押す

2 「貼る」▶ **ウィジェットを選択** ▶ **決定** を押す
「ウィジェット表示」画面にウィジェットが表示されます。

ウィジェットを移動する場合：「移動する」▶

移動するウィジェットを選択 ▶ **決定** ▶ 移動する場所を選択 ▶ **決定** を押す

ウィジェットをはがす場合：「はがす」▶ はがすウィジェットを選択 ▶ **決定** を押す

ウィジェットのサイズを変更する場合：「サイズ変更」▶ サイズを変更するウィジェットを選択 ▶ **決定** ▶ サイズを変更する

◆スクリーンセーバー

本端末を卓上ホルダに取り付けているときなどに、スクリーンセーバーを表示します。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **「スクリーンセーバー」** を押す

2 「ON」または「OFF」を押す

- ・「ON」にした場合は「時計」や「カラー」を押します。
- ・ **(メニュー)** ▶ 「今すぐ起動」を押すとスクリーンセーバーを確認できます。

◆ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **「ユーザー補助」** を押す

2 ユーザー補助を設定する

- テキスト読み上げの出力：テキスト読み上げに関する設定を行います。
- ・ お買い上げ時、日本語のテキスト読み上げには対応しておりません。

◆VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- ・ 認証操作が必要になる場合があります。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

◆VPNの追加

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **「VPN」** を押す

2 **(メニュー)** ▶ **「追加」** ▶ VPN設定の各項目を設定 ▶ **「保存」** を押す

◆VPNへの接続

- ・ VPNに接続すると、**VPN**（VPN接続中のマーク）が表示されます。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **「VPN」** を押す

2 接続するVPNを選択 ▶ **決定** を押す

3 必要な認証情報を入力 ▶ **決定** ▶ **「接続」** を押す

◆VPNの切断

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **「VPN」** を押す

2 切断するVPNを選択 ▶ **決定** ▶ **「切断」** を押す

◆ アプリケーション

❖ 本端末のアプリに許可されている動作の表示

- 1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **[アプリケーション]** を押す
- 2 アプリを選択 ▶ **決定** を押す

❖ アプリのデータやキャッシュの消去

- 1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **[アプリケーション]** を押す
- 2 アプリを選択 ▶ **決定** を押す
- 3 「データを消去」または「キャッシュを消去」を押す
 - 「データを消去」を選択した場合は「OK」を押します。

❖ アプリの無効化

- アプリの無効化は、一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリは、本端末に表示されず、起動もできなくなります。
- 1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **[アプリケーション]** を押す
 - 2 アプリを選択 ▶ **決定** を押す
 - 3 「無効にする」または「有効にする」を押す
 - 「無効にする」を選択した場合は「OK」を押します。

✓お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。

◆ 利用アプリの固定

現在使用しているアプリを固定して、他のアプリを使用できないように設定します。

- 1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **[利用アプリの固定]** を押す
- 2 「ON」を押す
- 3 固定したいアプリを起動する
- 4 **[+]** を3秒以上押す
アプリ履歴画面が表示されます。
- 5 固定したいアプリを選択 ▶ **[固定]** ▶ **決定** を押す
アプリが固定されます。
 - アプリの固定を解除するには、**[固定]** を3秒以上押します。

✓お知らせ

- 操作2で「利用アプリの固定を解除する前にPINの入力を求める」をONに設定すると、アプリの固定を解除するときにセキュリティの解除操作が必要になるように設定できます。

◆ 端末がロックされているとき

本端末が画面ロックされているときに、通知を表示するかどうかを設定します。〈通知へのアクセス〉

- 1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **[端末がロックされているとき]** を押す
- 2 「すべての通知内容を表示する」または「すべての通知を表示しない」を押す

◆ 認証情報の管理

信頼できる認証情報や証明書を表示したり、VPNなどに接続するための認証情報やその他の証明書をインストールしたりします。

❖ 信頼できる認証情報や証明書の表示

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **[認証情報]**を押す

2 「信頼できる認証情報」を押す

✓お知らせ

- インストールした証明書を削除する場合は、「認証ストレージの消去」から削除してください。→P.190

❖ 認証情報や証明書のインストール

- 認証操作が必要になる場合があります。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **[認証情報]**を押す

2 「ストレージからのインストール」を押す

3 インストールする認証情報／証明書を選択
▶ **決定**を押す

4 認証情報／証明書の名前を入力 ▶ **決定** ▶ **[OK]**を押す

5 必要な場合は端末暗証番号を入力 ▶ **決定** ▶ **[OK]**を押す

❖ 認証情報の消去

すべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **[認証情報]**を押す

2 「認証ストレージの消去」▶ **[OK]**を押す

◆ 端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **[端末情報]**を押す

2 項目を確認

端末の状態：電池の状態、電話番号、各種アドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを表示します。

法的情報：オープンソースライセンスを表示します。

モデル番号／Processor info／OSバージョン／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を表示します。

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

- 本端末はLTEネットワーク、3Gネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。ご利用可能エリアをご確認ください。

✓お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	3G	3G850	LTE
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール*	○	○	○
ブラウザ*	○	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をオンにしてください。→P.192

✓お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、次の方法で確認してください。
 - 待受画面で **[☎]** ▶ **[*]** 設定を行う ▶ **[#]** その他の設定を行う ▶ **[H]** 高度な設定を行う ▶ 「端末情報」 ▶ 「端末の状態」 ▶ 「ドコモUIMカードのステータス」 ▶ 「ネットワーク」 欄の表示を確認

海外でご利用になる前に

海外でのご利用の前に、出発前や滞在先で確認／設定しておくことを説明します。

◆ 出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。

- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

◆ 事前設定

■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を開始にする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます。日本国内から（→P.61）、海外から（→P.195）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆ 滞在国内の確認

海外に到着後、端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

「モバイルネットワーク」の「通信事業者」を「自動的に選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆ 海外で利用するための設定

- SIMロックを解除して他社のSIMカードを使用しデータ通信を行う場合は、アクセスポイント（APN）を設定してから操作してください。→ P.187

◇ データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定をオンにする必要があります。

- 1 待受画面で(メニュー)▶[*]設定を行う▶[#]その他の設定を行う▶[#]高度な設定を行うを押す

- 2 「モバイルネットワーク」を押す

- 3 「[2]データローミング」▶「[1]ON」または「[2]OFF」を押す

- ・オンにする場合は、「OK」を押します。

◇ 通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- 1 待受画面で(メニュー)▶[*]設定を行う▶[#]その他の設定を行う▶[#]高度な設定を行うを押す

- 2 「モバイルネットワーク」を押す

- 3 「[5]通信事業者」▶「OK」を押す

利用可能なネットワークを検索して表示します。

- ・ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、パケット通信を無効にしてから再度実行してください。→P.187

✓お知らせ

- ・自動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。
- 待受画面で(メニュー)▶[*]設定を行う▶[#]その他の設定を行う▶[#]高度な設定を行う▶「モバイルネットワーク」▶「[5]通信事業者」▶「OK」▶「[2]自動的に選択」を押す

◆ネットワークモードの設定

- 1 待受画面で **(X)メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う**を押す
- 2 「モバイルネットワーク」を押す
- 3 「**[4]ネットワークモード**」▶「**4G/3G(自動)**」または「**3G**」を押す

◆日付と時刻

日付と時刻を「自動で設定する」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われな場合があります。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P.170

◆お問い合わせについて

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国内に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在先での電話のかけかた／受けかたについて説明します。

◆滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国内から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 + **(0)**を1秒以上押す ▶ **[国番号-地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号]**を入力

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、滞在国内外に関わらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

2 **(I)**を押す

- 「国際ダイヤルアシストを設定する」の「自動国番号変換機能を設定する」を有効に設定している場合、日本への発信は日本国内のときと同様に市外局番から入力 ▶ **(I)** ▶ 「**1**電話をかける」を押します。

◆滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 待受画面で電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）から入力してください。
- 電話をかける相手がWORLD WING利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）を入力）電話をかけてください。

2 **(I)**を押す

◆滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✓お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

◆相手からの電話のかけかた

■日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

◆海外での発着信設定

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[1]ネットワークサービスを設定する** ▶ **[8]海外で使うときの設定を行う**を押す

2 目的的操作を行う

- ①ローミング時の着信を規制する：国際ローミング中に着信を規制することができます。
- ②ローミング時の着信通知を設定する：渡航中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
- ③国際ダイヤルアシストを設定する：→P.194
- ④ローミングガイドランスを設定する：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイドランスを流すことができます。

◆国際ダイヤルアシストの設定

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[1]ネットワークサービスを設定する** ▶ **[8]海外で使うときの設定を行う** ▶ **[3]国際ダイヤルアシストを設定する**を押す

2 各項目を設定

- ①自動国番号変換機能を設定する：国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。
- ②国番号を設定する：自動変換機能で使用される国番号を選択します。
- ③国際プレフィックスを設定する：自動変換機能で使用される国際プレフィックスを選択します。

◆ ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国内で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、「遠隔操作設定」を開始する必要があります。→P.195
- 海外から操作した場合は、滞在国内から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[1]ネットワークサービスを設定する** ▶ **[9]海外からネットワークサービスを使う**を押す

2 目的のサービスを選択

- 1 留守番電話（海外）を使う**：電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。（有料・お申込み必要）
- 2 転送でんわ（海外）を使う**：かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。（有料・お申込み必要）
- 3 遠隔操作設定（海外）を使う**：遠隔操作を開始するかどうかを設定します。（有料）
- 4 番号通知お願い（海外）を使う**：発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。（有料）
- 5 ローミング着信通知（海外）を使う**：（有料）→P.194
- 6 ローミングガイダンス（海外）を使う**：（有料）→P.194

3 画面に従って項目を選択 ▶ 音声ガイダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。

- ネットワークモードを「4G/3G（自動）」に設定してください。→P.193
- 通信事業者を「自動的に選択」に設定してください。→P.192

メニュー一覧

- 赤色の文字は、データ一括削除により各機能の設定がお買い上げ時の状態に戻るメニューです。
- 音声でメニューの説明を聞くことができます。→P.162

メニュー		お買い上げ時	参照先		
①電話帳・伝言メモ・音声メモを使う	①電話してきた相手を見る	—	P.55		
	②電話をかけた相手を見る	—	P.55		
	③電話帳の内容を見る	50音順検索	P.67		
	④電話帳に登録する	—	P.66		
	⑤伝言メモ・通話メモを使う	①伝言メモを再生する	—	P.58	
		②伝言メモを開始／停止する	停止する	P.57	
		③伝言メモを設定する	①伝言メモ呼出時間設定する	13秒	P.58
			②伝言メモの応答メッセージを選ぶ	標準	P.58
		④通話音声メモを再生する	—	P.60	
	⑤通話音声メモを開始／停止する	開始する	P.60		
	⑥電話帳のグループを設定する	①グループ名を変更する	—	P.70	
		②グループを追加する	—	P.71	
		③グループを削除する	—	P.71	
	⑦自分の電話番号を見る	—	—		
⑧電話帳の登録件数を見る	—	P.71			
⑨電話帳の文字の大きさを変更	標準の大きさ	P.69			
②メールを使う	①受信したメールを見る	—	P.79		
	②メールを作る	—	P.72 P.73		
	③例文を使ってメールを作る	—	P.74		
	④SMSを見る・作る	—	P.88		
	⑤未送信のメールを見る	—	P.79		
	⑥送信したメールを見る	—	P.79		
	⑦メールがあるか問い合わせる	—	P.78		
	⑧メールアドレスを確認・変更する	—	P.72		
	⑨メールを設定する	①メールに付ける署名を設定する	自動挿入：挿入しない 署名登録：—	P.81	
②例文・テンプレートを確認・編集する		—	P.74		
③メール返信引用を設定する		返信引用：引用しない 引用符編集：---	P.81		
④らくらく返信を設定する		利用する	P.81		
⑤らくらく返信の本文を編集する		了解しました。 今から帰ります。 後で連絡します。 遅くなります。 ありがとうございます。 ごめんなさい。	P.82		
⑥メールの振り分けを設定する		[受信振分け条件、送信振分け条件] —	P.82		

		メニュー		お買い上げ時	参照先	
②メールを使う	⑨メールを設定する	⑦共通の設定をする	①自動通信を設定する	通信する	P.81	
			②本文保持件数を設定する	最新300件	P.81	
			③添付ファイル自動取得を設定する	受信しない	P.81	
		⑧海外自動通信を設定する		毎回確認する	P.81	
		⑨電話帳登録名表示を設定する		表示する	P.81	
		⑩デコメカテゴリーの表示を設定する		—	P.75	
		*デコメカテゴリーを更新する		—	P.75	
		✖その他の設定をする	①自分のメールアドレスを見る	—	P.72	
			②利用者使用許諾日時を見る	—	P.81	
			③メール削除の動作を設定する	完全に削除する	P.84	
			④以前のメールを消去する	—	P.81	
			⑤一時データを削除する	—	P.81	
			⑥迷惑メールおまかせブロックの設定	①迷惑メールフォルダの表示を設定する	表示しない	P.88
				②ドコモメール（ブラウザ版）を使う	—	P.81
		⑦Wi-Fi・dアカウントを設定する	①dアカウントの設定をする	—	P.81	
			②メッセージR/S受信エラー通知を設定	—	P.81	
		⑩メールを送受信した人を見る	①最近送信した人を見る	—	P.92	
			②最近受信した人を見る	—	P.92	
		③写真・ビデオを撮る・見る	①写真を撮影する	—	P.112	
			②写真・画像を見る	—	P.113	
③ビデオを撮影する	—		P.117			
④ビデオを見る	—		P.119			
⑤QRコードを読み取り	—		P.123			
④インターネットを使う	①dメニューを見る	—	P.94			
	②ブックマークを見る	—	P.96			
	③サイト履歴から接続する	—	P.94			
	④URLを入力して接続する	http://	P.94			
	⑤Google検索を使う	—	P.94			
	⑥画面メモを見る	—	P.97			
	⑦簡易接続を見る・登録する	—	P.97			
	⑧インターネットを設定する	①文字の大きさを選ぶ	標準の大きさ	P.98		
		②画像表示を設定する	表示する	P.98		
		③照明を設定する	常に点灯	P.98		
		④ファイル保存先を設定する	本体	P.98		
		⑤プライバシーとセキュリティ	①キャッシュを削除する	—	P.98	
			②履歴を削除する	—	P.98	
③セキュリティ警告を表示する			表示する	P.98		
④Cookieを許可する	許可する		P.98			
⑤Cookieを全て削除する	—	P.98				
⑥位置情報を使用する	使用する	P.98				
⑦位置情報を削除する	—	P.98				
⑥高度な設定をする	①文字コードを変更する	Shift_JIS	P.98			
	②検索サービスを選ぶ	Google	P.98			
	③JavaScriptを許可する	許可する	P.98			

メニュー		お買い上げ時	参照先		
4 インターネットを使う	8 インターネットを設定する	4 ポップアップを制限する	制限する	P.98	
		5 初期設定にする	—	P.98	
		7 地球ボタンを設定する	インターネットメニュー表示	P.98	
	9 ダウンロード履歴を見る	—	P.95		
5 便利なツールを使う	1 電卓を使う	—	P.124		
	2 スケジュール帳・メモを使う	1 予定を見る・登録する	—	P.125	
		2 予定の登録件数を見る	—	P.128	
		3 i スケジュールを使う	—	P.128	
		4 メモを使う	1 メモを新しく作る	—	P.130
			2 メモを読む・修正する	—	P.130
			3 一覧表示の仕方を変更する	内容を二行表示する	—
		5 クラウドと同期する	—	P.129	
	6 クラウドを設定する	—	P.129		
	7 アプリケーション情報を見る	—	P.129		
	3 辞書を使う	1 国語辞典を使う	—	P.130	
		2 和英辞典を使う	—	P.130	
		3 英和辞典を使う	—	P.130	
	4 ワンセグを使う	1 ワンセグを見る	—	P.131	
2 チャンネルリストを設定する		1 チャンネルリストを登録する	—	P.133	
		2 視聴するチャンネルリストを選ぶ	—	P.133	
		3 チャンネルリストを編集する	—	P.133	
3 ワンセグを設定する		1 字幕の言語を設定する		第一言語	—
		2 音声を設定する		音声：第一音声 主音声・副音声：主音声	—
		3 データ放送を設定する	1 現在地情報の利用を設定する	毎回確認する	—
			2 携帯電話情報の利用を設定する	利用する	—
			3 放送用保存領域を削除する	—	—
5 目覚ましを使う		—	P.134		
6 おやすみモードを使う	—	P.135			
7 お知らせタイマーを使う	3分	P.136			
8 ボイスレコーダを使う	—	P.136			
9 赤外線を使う	1 赤外線を受信する	—	P.102		
	2 赤外線で全件受信する	—	P.103		
	3 赤外線で全件送信する	—	P.102		
0 拡大鏡を使う	—	P.113			
* microSDカードを使う	1 microSDカードの内容を見る	—	P.108 P.179		
	2 microSDカードへ保存・復元	—	P.141		
	3 microSDカードを初期化する	—	P.106		
# トルカを使う	—	P.137			
6 あんしん機能を使う	1 つながりほっとサポートを使う	—	P.137		
	2 災害用キットを使う	1 災害用伝言板を使う	—	P.138	
		2 災害用音声お届けサービス	—	P.138	
	3 エリアメールを使う	—	P.90		

メニュー		お買い上げ時	参照先		
⑥ あんしん機能を使う	④ ワンタッチブザーを使う	① ワンタッチブザーを設定する	無効にする	P.138	
		② 自動で電話発信を行う	—	P.138	
		③ 発信先番号の登録を行う	—	P.138	
		④ ブザー検索を設定する	—	P.139	
	⑤ お薬アラームを使う	—	P.139		
	⑥ 迷惑電話対策機能を使う	① 迷惑メモを再生する	—	P.140	
		② 迷惑電話対策を開始/停止する	停止する	P.140	
	⑦ 集音器を使う	—	P.140		
	⑧ 機能の利用を制限する	制限しない	P.140		
	⑨ データをバックアップする	① SDカードバックアップを使う	—	P.141	
		② ケータイデータお預かりサービス	—	P.142	
	⑩ 使いかたガイドを使う	—	P.38		
	* あんしんスキャンを使う	—	P.142		
# あんしんナンバーチェックを使う	—	P.143			
⑦ コミュニケーションを楽しむ	① らくらくコミュニティを使う	—	P.98		
	② らくコミュゲームを使う	—	P.99		
	③ LINEを使う	—	P.143		
⑧ i コンシェルを使う	—	P.100			
⑨ 地図を見る・GPSを使う	① 現在の地図を見る	—	P.144		
		② ナビを使う	—	P.145	
		③ 現在地をメールで送る	—	P.145	
	④ 位置情報を使う	① GPS機能を使う	—	P.144	
		② ドコモ基地局位置情報を使う	—	—	
	⑤ イマドコサーチを使う	—	P.146		
	⑥ イマドコかんたんサーチを使う	—	P.146		
	⑦ オートGPSを使う	—	P.146		
⑧ ドコモ位置情報アプリを使う	—	—			
⑩ 自分の電話番号を見る	—	P.34			
* 設定を行う	① 画面の設定を行う	① 待受画面の表示を設定する	画像を表示	P.153	
		② 待受画面の時計を設定する	待受け時計表示：大きく表示 表示形式：24時間形式 表示位置：上部に表示	P.154	
		③ メニュー形式と配色を設定する	メニュー形式：リスト 画面の配色：青	P.154	
		④ 画面の明るさを設定する	自動で調整	P.155	
		⑤ 背面画面の表示を設定する	① 背面画面の時計表示を設定する	読上ボタンで切替	P.155
			② 着信時の表示を設定する	表示する	P.155
		⑥ 待受画像配信元を設定する	メールの題名：— メールアドレス1～3：設定なし	P.155	
		⑦ マチキャラを設定する	表示設定：表示する マチキャラ：ひつじのしつじくん	P.156	
	⑧ i チャネルの表示を設定する	表示する	P.156		
	② 電話着信時の設定を行う	① 電話着信時の着信音を選ぶ	着信音設定：鳴らす 着信音：標準の電話音	P.157	
		② 電話着信時の音量を調節する	呼出音量：音量4 自動音量設定：大きくする	P.157	
③ 電話着信時の振動を選ぶ		振動させない	P.158		

メニュー		お買い上げ時	参照先	
*]設定を行う	2]電話着信時の設定を行う	4]ダイヤル/決定ボタンで着信を受ける 5]本体を開いて着信を受ける	応答しない P.50 応答しない P.50	
	3]メール・メッセージの受信設定を行う	1]メール・メッセージ受信時の音を選ぶ	1]メール受信時の音を選ぶ	着信音設定：鳴らす 着信音：穏やか着信音1 鳴らす時間：10秒 P.158
2]メッセージ受信時の音を選ぶ			[メッセージR、メッセージS] 着信音設定：鳴らす 着信音：穏やか着信音1 鳴らす時間：10秒 P.158	
3]SMS受信時の音を選ぶ			着信音設定：鳴らす 着信音：ゆらめき-便り 鳴らす時間：10秒 P.158	
4]グループ専用メール着信音を選ぶ			— —	
3]メール・メッセージ受信音量を調節する	2]メール・メッセージ受信音量を調節する	2]メール・メッセージ受信音量を調節する	音量4 P.159	
		3]メール・メッセージ受信時の振動を選ぶ	1]メール受信時の振動を選ぶ	振動設定：振動させない 振動させる時間：10秒 P.159
			2]メッセージ受信時の振動を選ぶ	[メッセージR、メッセージS] 振動設定：振動させない 振動させる時間：10秒 P.159
			3]SMS受信時の振動を選ぶ	振動しない P.159
4]グループ専用メール振動を選ぶ	— —			
4]相手の声の音量を調節する	4]相手の声の音量を調節する	音量4 P.160		
5]ボタンを押した時の音を設定する	5]ボタンを押した時の音を設定する	鳴らす P.160		
6]音声読み上げを使う	1]音声読み上げを設定する	1]音声読み上げを設定する	動作：なし 声質：女声 速さ：2 音量：4 P.160	
		2]音声読み上げの単語を登録する	— P.167	
		3]音声読み上げの送出先を選ぶ	スピーカー P.161	
		4]マナーモード中に読み上げを使う	読み上げる P.161	
		5]音声読み上げの切替操作を設定	利用しない P.161	
		7]音声で呼び出す機能を見る	7]音声で呼び出す機能を見る	— P.169
8]時計を設定する	1]日付と時刻を設定する 2]待受画面の時計を設定する 3]背面画面の時計表示を設定する	1]日付と時刻を設定する	自動で設定する P.170	
		2]待受画面の時計を設定する	待受け時計表示：大きく表示 表示形式：24時間形式 表示位置：上部に表示 P.154	
		3]背面画面の時計表示を設定する	読上ボタンで切替 —	
9]音質や画質を調整する	1]あわせるビューを設定する 2]あわせるボイスを設定する 3]誕生日を設定する	1]あわせるビューを設定する	設定する P.170	
		2]あわせるボイスを設定する	あわせるボイス：使用する 年齢にあわせる：あわせる P.170	
		3]誕生日を設定する	— P.171	
0]エコモードを設定する	0]エコモードを設定する	解除する P.171		
*]ドコモサービスを設定する	1]dアカウントを設定する 2]ドコモアプリパスワードを設定 3]ドコモ位置情報を設定する 4]端末エラー情報を送信する 5]遠隔初期化を設定する 6]USBデバッグ切替を行う	1]dアカウントを設定する	— P.172	
		2]ドコモアプリパスワードを設定	— P.172	
		3]ドコモ位置情報を設定する	— P.172	
		4]端末エラー情報を送信する	— P.172	
		5]遠隔初期化を設定する	— P.172	
		6]USBデバッグ切替を行う	許可しない P.172	

メニュー		お買い上げ時	参照先		
[*]設定を行う	[#]その他の設定を行う	① ネットワークサービスを設定する※1	① 留守番サービスを再生する	—	P.61
			② メッセージがあるか問い合わせる	—	P.61
			③ 留守番サービスを開始する	—	P.61
			④ 留守番サービスを停止する	—	P.61
			⑤ 留守番サービスの詳細を設定する	—	P.61
			⑥ 留守番呼出時間を設定する	—	P.61
			⑦ 留守番サービスの設定を確認する	—	P.61
			⑧ 件数増加時の鳴動設定を行う	—	P.61
		② キャッチホンを設定する	① キャッチホンを開始する	—	P.61
			② キャッチホンを停止する	—	P.61
			③ キャッチホンの設定を確認する	—	P.61
		③ 転送サービスを設定する	① 転送サービスを開始する	—	P.61
			② 転送サービスを停止する	—	P.61
			③ 転送先を変更する	—	P.61
			④ 転送先が通話時の設定をする	—	P.61
			⑤ ガイダンスを設定する	—	P.61
			⑥ 転送サービスの設定を確認する	—	P.61
		④ 迷惑電話ストップを設定する	① 迷惑電話着信拒否を登録する	—	P.61
			② 着信拒否する番号を登録する	—	P.61
			③ 迷惑電話登録を全件削除する	—	P.61
			④ 迷惑電話登録を1件削除する	—	P.61
			⑤ 拒否登録件数を確認する	—	P.61
			⑥ 詳細を設定する	—	P.61
		⑤ 番号通知お願いサービスを設定	① 番号通知お願いサービスを開始	—	P.61
			② 番号通知お願いサービスを停止	—	P.61
			③ 番号通知お願いサービスを確認	—	P.61
		⑥ 通話中着信設定を行う	① 通話中着信設定を開始する	—	P.61
			② 通話中着信設定を停止する	—	P.61
			③ 通話中着信設定を確認する	—	P.61

メニュー				お買い上げ時		参照先
*]設定を行う	#]その他の設定を行う	① ネットワークサービスを設定する※1	⑦ 着信通知を行う	① 着信通知を開始する	—	P.61
				② 着信通知を停止する	—	P.61
				③ 着信通知の設定を確認する	—	P.61
		⑧ 海外で使うときの設定を行う	① ローミング時の着信を規制する	① ローミング時着信規制を開始する	—	P.194
				② ローミング時着信規制を停止する	—	P.194
				③ ローミング時着信規制を確認する	—	P.194
			② ローミング時の着信通知を設定する	① ローミング着信通知を開始する	—	P.194
				② ローミング着信通知を停止する	—	P.194
				③ ローミング着信通知を確認する	—	P.194
			③ 国際ダイヤルアシストを設定する	① 自動国番号変換機能を設定する	有効にする	P.194
				② 国番号を設定する	81 日本	P.194
				③ 国際プレフィックスを設定する	WORLD CALL 009130010	P.194
			④ ローミングガイドランスを設定する	① ローミングガイドランスを開始する	—	P.194
				② ローミングガイドランスを停止する	—	P.194
				③ ローミングガイドランス設定を確認する	—	P.194

メニュー				お買い上げ時		参照先	
[*]設定を行う	#]その他の設定を行う	① ネットワークサービスを設定する※1	⑨ 海外からネットワークサービスを使う	① 留守番電話（海外）を使う	① 留守番サービスを開始する	—	P.195
				② 留守番サービスを停止する	—	P.195	
				③ 留守番メッセージを再生する	—	P.195	
				④ 留守番サービスを設定する	—	P.195	
				⑤ 留守番呼出時間を設定する	—	P.195	
			② 転送でんわ（海外）を使う	① 転送サービスを開始する	—	P.195	
				② 転送サービスを停止する	—	P.195	
				③ 転送サービスを設定する	—	P.195	
				③ 遠隔操作設定（海外）を使う	—	P.195	
				④ 番号通知お願い（海外）を使う	—	P.195	
		⑩ その他のサービスを設定する	⑤ ローミング着信通知（海外）を使う	⑤ ローミング着信通知（海外）を使う	—	P.195	
				⑥ ローミングガイドランス（海外）を使う	—	P.195	
				① 遠隔操作設定を行う	① 遠隔操作を開始する	—	P.61
			② 英語ガイドランスを設定する	② 遠隔操作を設定を確認する	② 遠隔操作を停止する	—	P.61
					③ 遠隔操作の設定を確認する	—	P.61
					① ガイドランスを設定する	① ガイドランスを設定する	—
			② ガイドランスを設定する	② ガイドランスの設定を確認する	② ガイドランスの設定を確認する	—	P.61

メニュー				お買い上げ時	参照先		
*設定を行う	#その他の設定を行う	① ネットワークサービスを設定する※1	① その他のサービスを設定する	③ 公共モード（電源OFF）設定	① 公共モード（電源OFF）を開始する	—	P.52
				② 公共モード（電源OFF）を停止する	—	P.52	
				③ 公共モード（電源OFF）を確認する	—	P.52	
			④ ドコモへのお問い合わせはこちら	① らくらくホンセンターに電話する	—	P.61	
				② ドコモ故障問合せ窓口で電話する	—	P.61	
				③ 海外紛失窓口で電話する	—	P.61	
				④ 海外故障窓口で電話する	—	P.61	
			⑤ オープンソースライセンスを見る	—	—	P.61	
				⑥ ソフトウェアを更新する※2	—	P.243	
			② 着信設定を行う	① 無音着信時間を設定する	無音着信動作：設定しない	P.172	
					② 応答拒否SMS	—	P.173
			③ 文字入力の設定を行う	① 文字の入力方法を設定する	有効にする	P.42	
				② よく使う単語を登録する	—	P.44	
	③ よく使う定型文を登録する	—		P.43			
	④ バージョン情報を確認する	—		—			
	④ 電話・電話帳の詳細を設定する	① 着信を拒否する相手を指定する	—	P.173			
		② 着信を許可する相手を指定する	—	P.173			
		③ 電話帳登録外の着信を拒否する	許可する	P.174			
		④ 発信番号なしの着信動作を選ぶ	[非通知設定、通知不可能、公衆電話] 設定を解除	P.175			
		⑤ イヤホンを設定する	① イヤホン接続時の着信動作を選ぶ	応答方法：手動	P.152		
			② イヤホンスイッチの動作を設定する	イヤホンスイッチ動作：発信しない	P.150		
		⑥ オートスピーカーホンを設定する	解除する	P.51			
		⑦ 通話中に自分の番号を表示する	表示する	P.175			
		⑧ 通話中の音量調整を設定する	有効にする	P.53			
		⑨ 発信者番号通知設定を行う	通知する	P.175			
		⑩ サブアドレスの設定を行う	設定する	P.176			
		※通話モードの設定を行う	VoLTEを有効	P.176			
⑤ 音を設定する		① 充電開始と完了を音で通知する	知らせる	P.176			
	② 電池残量の警告を音で通知する	鳴らす	P.176				

メニュー		お買い上げ時	参照先		
[*]設定を行う	#]その他の設定を行う	5]音を設定する	3]イヤホンの種類を選ぶ	通常のイヤホン	P.152
			4]イヤホン利用時の切替を選ぶ	イヤホンとスピーカー	P.152
			5]メロディ・音の一覧を見る	—	P.177
	6]新着お知らせを設定する	1]着信ランプで通知する	通知する	P.178	
			2]読み上げ開始時に音で通知する	通知する	P.178
	7]情報の表示やリセットを行う	1]通話時間を見る	—	P.178	
		2]通話時間をリセットする	—	P.178	
		3]電池残量を確認する	—	P.179	
		4]通信状態を表示する	—	P.179	
		5]本体内データを全て削除する	—	P.179	
		6]ストレージの使用量を確認する	—	P.179	
	8]操作の制限をする	1]開閉ロックを設定する	解除する	P.180	
		2]機内モードを設定する	解除する	P.180	
		3]端末認証方法を変更する	0000	P.182	
		4]PINコードを設定する	[PIN1コード変更、PIN1コード使用] —	P.182	
		5]ダイヤル入力での発信を制限する	制限しない	P.184	
	9]画面の縦横を自動で切替える	切替える	P.30		
	0]視覚サポートを設定する	1]色反転をする	反転しない	P.184	
		2]色補正をする	補正設定：補正しない 補正の種類：第二色弱（赤緑）	P.184	
	[*]Wi-Fi・Bluetoothを設定する	1]Wi-Fiを設定する	1]Wi-Fiの有効/無効を設定する	無効にする	P.185
			2]Wi-Fiを簡単に登録する	—	P.185
			3]Wi-Fiの高度な項目を設定する	—	P.185
			4]Wi-Fiの詳細設定を設定する	—	P.186
		2]Bluetoothを設定する	1]Bluetoothを使う	無効にする	P.104
			2]Bluetoothの機器を検索する	—	P.104
		#]高度な設定を行う	モバイルネットワーク	—	P.187
			デバイス管理機能の選択	—	—
	ウィジェット表示		—	P.188	
	スクリーンセーバー		OFF	P.188	
	ユーザー補助		—	P.188	
	VPN		—	P.188	
	アプリケーション		—	P.189	
	利用アプリの固定		OFF	P.189	
端末がロックされているとき	すべての通知を表示しない		P.189		
認証情報	—		P.190		
端末情報	—	P.190			
#]歩数・活動量計を使う	1]一日の歩数・活動量を見る	—	P.148		
	2]歩数・活動量のグラフを見る	—	P.148		
	3]歩数・活動量の履歴を見る	—	P.149		
	4]歩数・活動量の履歴を削除する	—	P.149		
	5]今日の履歴を削除する	—	P.149		

メニュー		お買い上げ時	参照先
[#]歩数・活動量計を使う	[6]歩数・活動量計を設定する	利用する（身長：160cm 体重：50kg）	P.147
	[7]応援メッセージを設定する	利用する	P.149

※1 ネットワークサービスについてはドコモのホームページをご覧ください。

※2 データ一括削除を行うと、自動更新設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

着信音用メロディ

メロディ	
アメージンググレース	うぐいす
エンターテイナー	おもちゃの兵隊のマーチ
カノン	くっきり着信音
サバナの風	ジュピター
ソフトな電子音	ティータイム
でか着信音	トライアングル
トレパーク くるみ割り人形より	ノクターン第2番
ヒグラシのなき声	ビジネスフォン
ふるさと	ボサノバギター
マリンバ	ゆらめき
威風堂々	花のフルツ
蛍の光	軽快な電話音
幻想即興曲	黒電話
水上の音楽	静かな森
川の流れるように	朝のきらめき
電話です	灯火の陰
南米	巴里
標準の短め電話音	標準の電話音
風の贈り物	無音
明るい気分で	木漏れ日

許諾番号：T-1670017



ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

ボタン	ひらがな／漢字 入力モード※1	全角カタカナ 入力モード※1	半角英字入力モード	半角数字入力 モード※2
①あ /e	あ い う え お 1	ア イ ウ エ オ 1	. / @ ` ~ - : _ [¥] ^ ` { }	1
②か ABC	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
③さ DEF	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
④た GHI	た ち □ て と 4	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
⑤な JKL	な に め ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
⑥は MNO	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
⑦ま PQRS	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
⑧や TUV	や ゆ よ 8	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
⑨ら WXYZ	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0わ /0	わ を ん ー 、 。 ・ ? ! 「 」 ■ 0	ワ ラ ン ー 、 。 ・ ? ! 「 」 ■ 0	! " # \$ % & ' () * + , ; < = > ? ■ 0	0 + ※3
X /0	" "	" "	@docomo.ne.jp @ezweb.ne.jp @softbank.ne.jp @gamil.com http://www. http:// .net .com .co.jp .ne.jp .or.jp .ac.jp .go.jp	* ; ※3
# /0	J (改行)	J (改行)	J (改行)	# ; ※3

■ : 空白を示します。

■ : 文字入力後に(あ)を押すか、ボタンを押す操作を繰り返しても大文字／小文字に切り替わります。ただし、「わ」を入力した場合は(あ)を押した場合のみ大文字／小文字に切り替わります。

※1 数字は半角で入力されます。

※2 半角数字入力モードの「|」「+」「#」「*」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。

※3 該当するボタンを1秒以上押すと入力できます。

絵文字読み上げ一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→P.40

音声読み上げ設定を「自動で読み上げ」に設定しているとき（→P.160）に、入力した絵文字や変換候補一覧の絵文字を選択したり、絵文字を入力変換して確定したりした場合の読み上げを記載しています。

読 み	変換	音声読み上げ
にこ、わらい、かお	😊	にこりとしたかお
わらい、えがお、かお	😄	わらいがお
ういんく、えがお、かお	👉	ういんくしたかお
わらい、えがお、かお	😁	うれしがお
うまい、べろ、かお	😋	おいしそうなかお
にこ、わらい、かお	😄	うっしっしとしたかお
わらい、なみだ、かお	😄	なきわらいがお
わらい、えがお、かお	😄	わらいがお
わらい、にやり、かお	😏	にやりがお
すき、はーと、かお	💖	めがはーとのかお
きす、ちゅー、かお	🍷	ちゅーのかおはーとつき
きす、ちゅー、かお	🍷	ちゅーのかお
ほっ、かお	😄	あんしんしたかお
ふーん、しらける、かお	😏	しらけているかお
あせ、かお	😓	あせつきえがお
こまる、あせ、かお	😓	あせがついたこまったかお
こまる、あせ、かお	😓	すこしこまりぎみのかお
こまる、あせ、かお	😓	こまったようすのかお
こまる、かお	😓	こまったかお
しょんぼり、こまる、かお	😓	しょんぼりしたかお
わからない、こまる、かお	😓	わからなくてこまったかお
こまる、ほえー、かお	😓	うんざりしたかお
こまる、ふらふら、かお	😓	めがばつこのこまったかお
こまる、しょっく、かお	😓	がまんしているかお
おどろく、びっくり、かお	😱	おどろいているかお
しょっく、がーん、かお	😱	しょっくをうけたかお
しょっく、がーん、かお	😱	げっそりしたかお
こまる、かお	😓	こまっているかお
なく、かなしい、かお	😓	こまってないているかお
なく、かなしい、かお	😓	めからひとつぶなみだがでているかお
おこる、かお	👊	おこったかお
おこる、ぶん、かお	👊	ぶんくれつら
てへ、べー、かお	👊	あっかんべー
てへ、べー、かお	👊	したをだしたかお
ねむい、おやすみ、かお	😴	ねているかお
えっへん、どや、かお	😏	えっへんがお
てるる、よっぱらう、かお	😏	てるているかお
ますく、かぜ、かお	👊	ますくしているかお
すまいる、にこ、かお	😊	すまいる
にこ、わらい、ねこ	😺	ほほえんでいるねこ
にこ、わらい、ねこ	😺	にやりとしたねこ
わらい、なく、ねこ	😺	わらっているねこ
ちゅー、きす、ねこ	😺	ちゅーがおのねこ

読 み	変換	音声読み上げ
はーと、すき、ねこ		めがはーとのねこ
なく、かなしい、ねこ		ないているねこ
おこる、すねる、ねこ		おこっているねこ
きりり、きりっ、ねこ		きりりとしたひょうじょうのねこ
こまる、ほえー、ねこ		こまったかおのねこ
えぬじー、ばつ、だめ		てをこうさしてえぬじー
おーけー、まる、おっけー		てでまるをつくっておーけー
ごめん、どげざ、あやまる		ごめんなさいのぼーず
はい、ばいばい、またね		きよしゅ
わーい、ばんざい、やった		りょうてきよしゅ
かなしい、こまる、おちこむ		かなしいかお
おこる、むっ、ぷい		おこっているかお
おねがい、ごめん		てをあわせておねがい
みざる、さる、もんきー		みざる
いわざる、さる、もんきー		いわざる
きかざる、さる、もんきー		きかざる
しょうねん、だんし、こども		しょうねんのかお
しょうじょ、じよし、こども		しょうじょのかお
だんせい、おとこ、だんし		だんせいのかお
じよせい、おんな、じよし		じよせいのかお
ばにーがーる、うさみみ、ばにー		ばにーがーるのかお
はなよめ、けっこん、しんぶ		はなよめのかお
ひめ、ぷりんせす、おひめさま		ぷりんせすのかお
ぶろんど、きんぱつ		ぶろんど
ぼうし		ちゅうごくじん
たーばん		たーばん
おじいちゃん、おじいさん、そぶ		おじいさんのかお
おばあちゃん、おばあさん、そぼ		おばあさんのかお
あかちゃん、べびー、こども		あかちゃんのかお
かぞく、ふぁみりー		かぞく
かっがる、だんじょ、てをつなぐ		かっがる
きす、こいびと、ちゅー		きす
こいびと、らぶらぶ、かっがる		こいびと
けいさつ、けいかん、ほりす		けいさつかんのかお
こうじ、けんせつ		へるめっとをかぶったかお
えいへい、へいし、ぐんじん		えいへい
いんぷおめーしょん、あんない、おしらせ		あんないじょ
おばけ、ゆうれい、きもだめし		おばけ
てんし、えんじえる		てんし
あくま、でびる、こあくま		あくま
うちゅうじん、えいりあん、ぐれい		うちゅうじん
うちゅうじん、えいりあん、かせいじん		えいりあん
どくろ、ほね、すかる		どくろ
おに、なまはげ		なまはげ
てんぐ		てんぐ
しるえっと、かげ、ひとかげ		じょうはんしんのしるえっと
はーと		つやありはーと
はーと、どきどき		ゆるるはーと
はーと、しつれん		ひびわれはーと

読 み	変換	音声読み上げ
はーと		はーとふたつ
はーと		ひかるはーと
はーと		びんくのはーと
はーと		やがささっているはーと
はーと		あおいはーと
はーと		みどりのはーと
はーと		おれんじいろのはーと
はーと		むらさきのはーと
はーと、ぶれぜんと		りぼんつきはーと
はーと		かいてんするはーと
はーと		くりぬいたはーとまーく
きらきら、ぴかぴか、ひかり		きらきら
ほし、きらきら、ひかり		しろぬききらきら
ほし		はいいろのほし
ほし		きいろいほし
ほし、ながれほし		ながれほし
ほし、きらり		きらきら
おんぷ、るんるん、おんがく		はちぷおんぷ
おんぷ、るんるん、おんがく		はちぷおんぷみっつ
ぶーけ、はなたば		ぶーけ
くらっかー、おめでとう、ばーていー		くらっかー
くすだま、おめでとう		くすだま
まる、はなまる、てすと		はなまる
ひゃくてん、まんてん、てすと		ひゃくてん
でんきゅう、らいと、ひらめき		でんきゅう
めまい、くらくら、ふらふら		めまいのまーく
あせ、あせる		とびちるあせ
あせ、あせる、なみだ		いってきのあせ
いそぐ、だっしゅ		だっしゅ
ねむい、ねる、おやすみ		ねむいぜっとまーく
いかり、むかつ、おこる		あおすじ
しょうげき、ばくはつ、どんっ		しょうげき
ばくだん		ばくだん
ほのお、ふぁいあ、ひ		ほのお
けいこく、きけん、びっくり		きけん・けーこくまーく
えすおーえす、たすけて		えすおーえす
かね、さんざい、しゅっぴ		はねのついたおさつ
うんち、うんち		うんち
がんばれ、ぐー、て		ぐー
びーす、ちょき、て		ちょき
またね、ぱー、て		ぱー
ばんち、ぐー、て		ばんち
りょうかい、おーけー、て		おやゆびでおーけー
うえ、これ、て		ひとさしゆびでいち
うえ、これ、て		ひとさしゆびでうえ
した、これ、て		ひとさしゆびでした
ひだり、これ、て		ひとさしゆびでひだり
みぎ、これ、て		ひとさしゆびでみぎ
ばいばい、またね、て		てでばいばい

読 み	変換	音声読み上げ
はくしゅ、ばちばち、て		はくしゅ
りょうかい、おーけー、て		ひとさしゅびとおやゆびでおーけー
ばっど、ぶーいんぐ、て		おやゆびさげてぶーいんぐ
だめ、のー、て		りょうのてでのー
きんにく、ちからこぶ、がんばる		うでのちからこぶ
め、みる		め
みみ、きく		みみ
はな、かぐ、におう		はな
きすまーく、くちびる、ちゅー		きすまーく
くち、くちびる		くちびる
した、べろ、ペー		した
あしあと、あし		はだしのあしあと
びっくり、えくすくらめーしょん		あかいびっくりまーく
びっくり、えくすくらめーしょん		あかいぶちどりがああるびっくりまーく
びっくり、えくすくらめーしょん		びっくりまーくふたつ
びっくり、はてな、えくすくらめーしょん		びっくりりはてなまーく
はてな、くえすちよん		はてなまーく
はてな、くえすちよん		あおいぶちどりのはてなまーく
いぬ、どっぐ、どうぶつ		いぬ
ねこ、きゃっと、どうぶつ		ねこ
あしあと、にくきゅう		どうぶつのあしあと
うさぎ、らびっと、どうぶつ		うさぎ
くま、ペあー、どうぶつ		くま
ぱんだ、どうぶつ		ぱんだ
ざる、もんきー、どうぶつ		ざる
ざる、もんきー、どうぶつ		ずわっているざる
はむすたー、どうぶつ		はむすたー
うま、けいば、どうぶつ		うま
ぞう、えれふぁんと、どうぶつ		ぞう
とら、たいがー、どうぶつ		とら
おおかみ、いぬ、どうぶつ		おおかみ
へび、どうぶつ		へび
ねずみ、まうす、どうぶつ		ねずみ
いのしし、どうぶつ		いのしし
かえる、どうぶつ		かえる
らくだ、きゃめる、どうぶつ		らくだ
ぶーどる、いぬ、どうぶつ		ぶーどる
こあら、どうぶつ		こあら
ひつじ、どうぶつ		ひつじ
ぶた、ぶー、どうぶつ		ぶた
ぶた、はな		ぶたのはな
うし、どうぶつ		うし
にわとり、とり、どうぶつ		にわとり
ひよこ、とり、どうぶつ		ひよこ
ひよこ、とり、どうぶつ		ひよこしょうめん
ひよこ、とり、どうぶつ		からからかおだすひよこ
とり、ばーど、どうぶつ		とり
ぺんぎん、すいぞくかん、どうぶつ		ぺんぎん
さかな、まぐる、どうぶつ		さかな

読み	変換	音声読み上げ
いるか、どるふいん、どうぶつ		いるか
くじら、ほえーる、どうぶつ		くじら
たこ、さかな、どうぶつ		たこ
ねったいぎよ、さかな、どうぶつ		ねったいぎよ
ふぐ、さかな、どうぶつ		ふぐ
まきがい、かい		まきがい
かめ、どうぶつ		かめ
りゅう、どらごん、どうぶつ		りゅう
あり、むし		あり
てんとうむし、むし		てんとうむし
かたつむり、でんでんむし、むし		かたつむり
むかで、げじげじ、むし		むかで
はち、みつばち、むし		はち
ごはん、らいす、たべもの		ごはん
おにぎり、おむすび、たべもの		おにぎり
ぼん、たべもの		しょくぼん
はんぱーがー、たべもの		はんぱーがー
ふらいどぼと、ぼと、たべもの		ふらいどぼと
どんぶり、らーめん、たべもの		どんぶり
えびふらい、たべもの		えびふらい
すばげてい、ばすた、たべもの		すばげてい
かれーらいす、かれー、たべもの		かれーらいす
おでん、たべもの		おでん
すし、にぎり、たべもの		すし
べんとう、たべもの		べんとう
なべ、たべもの		なべ
なると、らーめん、たべもの		なると
いも、やきいも、たべもの		やきいも
びざ、たべもの		びざ
にく、ほねつきにく、たべもの		ほねつきにく
にく、たーきー、たべもの		とりにく
けーき、たんじょうび、ばーすでー		ばーすでーきやんどる
けーき、しょーとけーき、たべもの		しょーとけーき
あいすくりーむ、あいす、たべもの		あいすくりーむ
かきごおり、ふらっぺ、たべもの		かきごおり
そふとくりーむ、あいす、たべもの		そふとくりーむ
どーなつ、どーなつ、たべもの		どーなつ
びすけつと、くつきー、たべもの		びすけつと
ちょこれーと、ちょこ、たべもの		ちょこれーと
あめ、きやんでい、たべもの		きやんでい
あめ、きやんでい、たべもの		ぺろぺろきやんでい
ぶりん、たべもの		ぶりん
はちみつ、つぼ、たべもの		はちみつつぼ
だんご、たべもの		だんご
せんべい、おせんべい、たべもの		せんべい
めだまやき、りょうり、たべもの		めだまやき
ほうちょう、ないふ、りょうり		ほうちょう
しょくじ、ごはん、れすとらん		しょくじ
こーひー、かふえ、のみもの		かふえ

読 み	変換	音声読み上げ
ちょうちん、いざかや、あかちょうちん		ちょうちん
かくてる、ば一、のみもの		かくてる
びーる、じょっき、のみもの		びーる
おちゃ、ゆのみ、のみもの		ゆのみ
にほんしゅ、さけ、のみもの		とっくり
わいん、ぐらす、のみもの		わいんぐらす
かんぱい、びーる、のみもの		びーるでかんぱい
とろびかる、じゅーす、のみもの		とろびかるじゅーす
さくらんぼ、ちえりー、くだもの		さくらんぼ
ばなな、くだもの		ばなな
りんご、あつぷる、くだもの		りんご
あおりんご、りんご、くだもの		あおりんご
みかん、おれんじ、くだもの		みかん
いちご、すとりべりー、くだもの		いちご
すいか、くだもの		すいか
とまと、やさい		とまと
なす、なすび、やさい		なす
めろん、くだもの		めろん
ばいナップる、ぱいん、くだもの		ばいナップる
ぶどう、ぐれーぶ、くだもの		ぶどう
もも、びーち、くだもの		もも
とうもろこし、こーん、やさい		とうもろこし
きのこ、まっしゅるーむ		きのこ
くり、まろん		くり
はれ、たいよう、てんき		はれまーく
くもり、くも、てんき		くもりまーく
くもり、はれ、てんき		はれくもりまーく
あめ、かさ、てんき		あめまーく
にじ、れいんぼー		にじ
ゆき、ゆきだるま、てんき		ゆきだるま
ゆき、けっしょう		ゆきのけっしょう
かみなり、さんだー、てんき		かみなりまーく
たいふう、てんき		たいふう
きり、てんき		きりはっせい
ひので、たいよう、あさひ		やまあいからのひので
ひので、たいよう、あさひ		すいへいせんからのひので
ゆうやけ、ゆうがた、ゆうぐれ		としのゆうぐれ
ゆうやけ、ゆうがた、ゆうひ		としのにちぼつ
よる、つき、ほし		みかづき
はし、よる		よるのはし
しんげつ、つき		しんげつ
はんげつ、つき		じゅうさんや
はんげつ、つき		はんげつ
みかづき、つき		みかづき
まんげつ、つき		まんげつ
みかづき、つき		かおありみかづき
ちきゅう		ちきゅう
なみ、うみ		なみ
かざん、やま、ふんか		かざん

読 み	変換	音声読み上げ
よつば、くろーばー		くろーばー
ちゅーりっぶ、はな		ちゅーりっぶ
ふたば、わかば、め		わかば
はーぶ、はっば		はーぶ
さくら、はる、はな		さくら
ばら、はな		ばら
はな		あかいはな
はいびすかす、はな		はいびすかす
ひまわり、はな		ひまわり
やしのき、やし		やしのき
さぼてん		さぼてん
おちば、はっば		おちるは
かれは、おちば、はっば		かれは
もみじ、こうよう、あき		もみじ
いね、いなほ		いね
かどまつ、しょうがつ、あけましておめでとう		かどまつ
おひなさま、ひなまつり、ひなかざり		おひなさま
そつぎょう、ぼうし		だいがくぼう
らんどせる、しょうがくせい		あかいらんどせる
こいのぼり、たんごのせつく、こどものひ		こいのぼり
たなばた、たんざく、ねがいごと		たんざく
あまのがわ、たなばた		あまのがわ
ふうりん		ふうりん
はなび、せんこうはなび		せんこうはなび
はなび、うちあげはなび		はなび
おつきみ、つきみ、じゅうごや		おつきみ
はろういん、かぼちゃ、ばんびきん		はろういんのかぼちゃ
くりすますつりー、もみのき、くりすます		くりすますつりー
さんたくろーす、くりすます、さんた		さんたくろーす
ていーしゃつ、しゃつ、ふく		ていーしゃつ
ふく、しゃつ		ようふく
ゆにぶおーむ、らんになんぐ、すぼーつ		ゆにぶおーむ
ねくたい、すーつ、ふく		ねくたい
ずぼん、じーんず、ふく		じーばん
どれす、ふく		あかいどれす
きもの、ゆかた、ふく		きもの
びきに、みずぎ		びきに
かわぐつ、くつ、しゅーず		かわぐつ
すにーかー、くつ、しゅーず		くつ
はいひーる、くつ		はいひーる
さんだる、くつ		じょせいもののさんだる
ぶーつ、くつ		じょせいもののぶーつ
はんどばっぐ、ばっぐ		はんどばっぐ
ぶりーふけーず、かばん、しごと		ぶりーふけーず
ぼーち、ばっぐ		さいふ
かさ、あめ、てんき		とじたかさ
ぼうし		つばひろぼうし
しるくはっと、ぼうし		ぼうし
おうかん、くらうん、かんむり		おうかん

読 み	変換	音声読み上げ
いかり、とらいでんと		いかり
めがね		めがね
ゆびわ、りんぐ、だいやもんど		ゆびわ
だいやもんど、だいやもんど、ほうせき		だいやもんど
りぼん		りぼん
くちべに、りっぷ、けしょう		くちべに
ねいる、つめ、まにきゅあ		ねいる
えすて、ふえいすまっさーじ		えすて
びょういん、びょうしつ、さんぱつ		びょういん
とこや、りはつてん、さんぱつ		とこや
やきゅう、ぼーる、すぼーつ		やきゅう
さっかー、ぼーる、すぼーつ		さっかー
ばすけつとぼーる、ばすけ、すぼーつ		ばすけつとぼーる
ごるふ、すぼーつ		ごるふ
てにす、すぼーつ		てにす
らくびー、あめふと、ぼーる		らくびーぼーる
あるく、とほ、ほごうしゃ		あるく
はしる、にげる、らんなー		はしる
さーふいん、さーふあー、すぼーつ		さーふいん
すいえい、ぶーる、すぼーつ		すいえい
すのーぼーど、すのぼ、すぼーつ		すのーぼーど
すきー、すぼーつ		すきー
だんす、おどる、だんさー		だんす
うま、けいば、じょうば		うま
とろふいー、ゆうしょう		とろふいー
えふわん、もーたーすぼーつ、すぼーつ		えふわん
つり、ふいっしんぐ		つり
おんせん、せんとう、ふる		おんせん
てんと、きゃんぷ		てんと
ゆうえんち、めりーごーらんど、うま		めりーごーらんど
ゆうえんち、かんらんしゃ		かんらんしゃ
ゆうえんち、じえつとごーすたー、ぜつきょう		じえつとごーすたー
さーかす、てんと、いべんと		さーかすてんと
かちんこ、えいが、さつえい		かちんこ
ぶたい、えんげき、おめん		おめん
げーむ、こんとろーらー		げーむ
うらない、すいしょう		うらない
びりやーど		びりやーど
ぼーりんぐ、ぼーりんぐ		ぼーりんぐ
さいころ、だいす、げーむ		さいころ
あたり、てきちゅう		あたり
するっと、ばちする		するっと
まーじゃん		まーじゃん
はなふだ、こいこい		はなふだ
じょーかー、ばば、とらんぷ		じょーかー
さっくす、がっき		さっくす
ぎたー、がっき		えれきぎたー
ぴあの、きーぼーど、がっき		ぴあの
とらんぺつと、らつぱ、がっき		とらんぺつと

読 み	変換	音声読み上げ
ばいおりん、がっき		ばいおりん
がくふ、おんがく		とおんきごう
じてんしゃ、チャリ、のりもの		じてんしゃ
じどうしゃ、くるま、のりもの		じどうしゃ
じどうしゃ、くるま、のりもの		あーるぶいじどうしゃ
たくしー、のりもの		たくしー
とらっく、のりもの		とらっく
しょうぼうしゃ、かじ、のりもの		しょうぼうしゃ
きゅうきゅうしゃ、のりもの		きゅうきゅうしゃ
ぼとかー、けいさつ、のりもの		ぼとかー
ぼとらんぶ、さいれん、けいさつ		ぼとらんぶ
ばす、のりもの		ばす
ばすてい		ばすてい
でんしゃ、のりもの		でんしゃ
えき、でんしゃ		えき
ちかてつ、めとろ、のりもの		ちかてつ
ちかてつ、めとろ、のりもの		ちかてつのえむ
しんかんせん、のりもの		しんかんせん
しんかんせん、のりもの		きゅうしきしんかんせん
ざせき、しーと、いす		ざせき
ひこうき、のりもの		ひこうき
ろけっと、のりもの		ろけっと
いかり、みなと		いかり
よっと、のりもの		よっと
ふね、ふえりー、のりもの		おおがたせん
ぼーと、きょうてい、のりもの		きょうていぼーと
いえ、はうす		いえ
いえ、はうす		にわつきのいえ
びる、たてもの		びる
がっこう、すくーる、たてもの		がっこう
ゆうびんきょく、ゆうびん、たてもの		ゆうびんきょく
びょういん、たてもの		びょういん
ぎんこう、ばんく		ぎんこう
えーていーえむ		えーていーえむ
がそりんすたんど、じーえす		がそりんすたんど
こんびに、しーぶいえす		こんびに
ほてる、たてもの		ほてる
ほてる、たてもの		らぶほてる
ふんすい		ふんすい
きょうかい、ちゃべる、たてもの		きょうかい
けっこん、きょうかい、うえでいんぐ		はーとまーくつききょうかい
でばーと、ひゃっかてん、たてもの		でばーと
しろ、てんしゅかく、おしろ		にほんのおしろ
しろ、きゃっする、おしろ		せいようのおしろ
こうじょう、たてもの		こうじょう
あんてな、でんば		あんてな
わかばまーく、しょしんしゃ、はじめて		わかばまーく
しんにゅうきんし、ひょうしき		しんにゅうきんし
ちゅうしゃじょう、ぱーきんぐ		ちゅうしゃじょう

読 み	変換	音声読み上げ
しんごう、しんごうき		さんれんしきしんごうき
こうじちゅう、こうじ		こうじちゅう
はた、ふらぐ		はた
といれ、おてあらい、けししょうしつ		といれ
といれ、おてあらい、けししょうしつ		といれ
といれ、おてあらい、けししょうしつ		といれ
ふる、ばす、しゃわー		ばすたぶ
にほん、にっぽん、じゃぱん		にほん
ふじさん、ふじ、やま		ふじさん
とうきょうたわー、たわー、とうきょう		とうきょうたわー
じゅうのめがみ、あめりか、にゅーよーく		じゅうのめがみ
もあい、もやい、もやいそう		もあい
でんわ、くろでんわ		でんわ
でんわ、じゅわき		じゅわき
すまほ、けいたい、でんわ		けーたい
ぼそこん、びーしー、しごと		ぼそこん
ふあっくす		ふあっくす
ぼけべる、ぼけっとべる		ぼけっとべる
てれび、でいすぶれい、もにたー		てれび
らじお		らじお
しんぶん、にゅーす		しんぶん
かめら、さつえい		かめら
かめら、びでお		びでおかめら
まいく、からおけ、うたう		まいく
へっどほん、おんがく		へっどほん
かめら、むーびー、えいが		えいしやく
むーびー、えいが、しなま		さんきやくつきえいしやく
げいじゅつ、びじゅつ、あーと		ばれっと
ちけっと、きっぷ、いべんと		ちけっと
しーでいー、でいーぶいでいー、ぶるーれい		しーでいー
でいーぶいでいー		でいーぶいでいー
びでお、かせっとてーぶ、ぶいえいちえす		びでおかせっと
えむでいー、みにでいすく		えむでいー
ふるっぴーでいすく、ふるっぴー		ふるっぴーでいすく
うでどけい、とけい		うでどけい
めざまし、とけい		とけい
すなどけい、とけい		すなどけい
すなどけい、とけい		すながおちきったすなどけい
なふだ		ちゅーりっぷがたのなふだ
ふうせん、ぼるーん		あかいふうせん
ちゅうしゃ、けんけつ、びょういん		ちゅうしゃき
くすり、かぶせる、びょういん		かぶせるがたのくすり
さいふ、がまぐち		がまぐちさいふ
かーど、くれじっとかーど		くれじっとかーど
かね、どる、おかね		どるぶくる
えんぴつ、かく、めも		えんぴつ
べん、まんねんひつ		まんねんひつのさき
くりっぴ、てんぷ		くりっぴ
はさみ、きる、とこや		はさみ

読 み	変換	音声読み上げ
がびょう、ぶっしゅびん、びん		がびょう
がびょう、ぶっしゅびん、びん		がびょう
じょうぎ、ものさし		じょうぎ
じょうぎ、さんかくじょうぎ、さんすう		さんかくじょうぎ
ほん、ぶっく		みどりいろのほん
ほん、ぶっく		あおいろのほん
ほん、ぶっく		きいろいほん
ほん、ぶっく		ほん
ほん、ぶっく		かさねられたさんさつのほん
ほん、ぶっく		ひらいたほん
ふおるだ、ふあいる		ふおるだ
ふおるだ、ふあいる		ひらいたふおるだ
ふせん、ぶっくまーく、まーく		ふせん
ぶっくまーく、しおり、たんざく		しおり
ぶりんと、ページ		ぶりんと
ぶりんと、しりょう、ページ		ぶりんと
のーと		のーと
のーと		のーと
のーと		のーと
くりっぷぼーど、めも、かいらんばん		かいらんばん
めも、のーと、しごと		めも
めいし、かーどほるだー		かーどほるだー
かれんだー、すけじゅーる、よてい		かれんだー
かれんだー、すけじゅーる、よてい		ひめくりかれんだー
チャーと、ぐらふ、かぶか		かぶかチャーと
ぐらふ、ぼうぐらふ、チャーと		ぼうぐらふ
ぐらふ、チャーと、あいあーる		みぎかたあがりのおれせんぐらふ
ぐらふ、チャーと、あいあーる		みぎかたさがりのおれせんぐらふ
れんち、せってい、すばな		れんち
とんかち、はんまー、かなづち		とんかち
なっと、ぼると		なっと
どあ、とびら		どあ
けんじゅう、びすとる、てっぼう		けんじゅう
かいちゅうでんとう、らいと		かいちゅうでんとう
でんち、ぼってりー、じゅうでん		かんでんち
でんげん、こんせんと、じゅうでん		でんげんこーど
べる、かね		べる
ぶざー、ちゃいむ、すびーかー		すびーかー
おうえん、めがほん		めがほん
すびーかー、おんりょう		すびーかー
むしめがね、けんさく、さがす		むしめがね
むしめがね、けんさく、さがす		むしめがね
ゆうびん、ぼすと		からのゆうびんうけ
ゆうびん、ぼすと		ゆうびんぶつがはいったゆうびんうけ
ゆうびん、ぼすと		ぼすと
こづつみ、つつみ、にもつ		こづつみ
ぶれぜんと、おくりもの		ぶれぜんと
かぎ、きー、ろっく		かぎ
かぎ、ろっく		しまっているなんきんじょう

読 み	変換	音声読み上げ
かぎ、ろっく		あいているなんきんじょう
かぎ、ろっく、きー		かぎ
かぎ、ろっく		かぎ
ちゃくしん、すまほ、でんわ		ちゃくしん
まなーもーど、ばいぶ、まなー		まなーもーど
でんげんおふ、おふ		でんげんおふ
でんば、あんてな、ぼりさん		でんばさんぼん
めーる、てがみ		めーる
めーる、いーめーる		いーめーる
じゅしん、めーる、てがみ		めーるじゅしん
じゅしん、めーる、てがみ		めーるじゅしん
らぶれたー、めーる、はーと		らぶれたー
つばやき、はつげん、こめんと		こめんと
ゆうびん、そうしん		そうしんばこ
ゆうびん、じゅしん		じゅしんばこ
おーけー、けってい、おっけー		おーけー
えぬじー		えぬじー
ぶいえず、ばーさす、たい		えいごのぶいえず
にゅー、しん		えいごのにゅー
あつぷ、こうしん		あつぷ
ふりー、むりょう		ふりー
あいでいー		あいでいー
くりあ、さくじょ、しーえる		くりあ
とっぷ		とっぷ
くーる		くーる
ゆう、あり、ゆうりょう		ゆうりょう
む、なし、むりょう		むりょう
つき、つきぎめ		かんじのつき
もうしこみ、しん		もうしこみ
わり、わりびき、わりまし		かんじのわり
さーびす、さ		さーびす
してい		してい
えい、えいぎょう		えいぎょう
きんし、げんきん、きん		きんし
くう、あき		くうしつ くうせき くうしゃまーく
ごうかく		ごうかく
まん、まんしつ、まんせき		まんしつ まんせきまーく
ここ		ここ
しゅく、おいわい、いわう		おいわい
か		かのう
とく、まるとく		まるとく
まるひ、ひみつ		まるひ
きんし		きんし
じゅうはちきん、あだると、きんし		じゅうはっさいみまんきんし
たばこ、きんえん		きんえんまーく
たばこ、きつえん		たばこ
だんせい、おとこ		だんせい
じよせい、おんな		じよせい
あかちゃん、べびー		あかちゃん

読 み	変換	音声読み上げ
いんぷおめーしょん、おしらせ、あんない		いんぷおめーしょん
くるまいす、ぱりあぷりー		くるまいすまーく
りさいくる、えこ		りさいくる
こびーらいと、しー		こびーらいと
れじすたーどとれーどまーく、あーる		れじすたーどとれーどまーく
とれーどまーく		とれーどまーく
えん、かね、おかね		えんまーく
どる、かね、おかね		どる
どる、かね、おかね		どるさつ
りょうがえ、どる、えん		どるえんりょうがえ
ぷりーだいやる、ぷりーだいはる		ぷりーだいやる
たす、ぷらす		ぷらす
ひく、まいなす		まいなす
かける		かける
わる		わりざんきごう
はな		さくら
こめ、あすたりすく		あすたりすく
りんく、くさり		くさり
まきもの、すくろーる		まきもの
いおりてん、うた		いおりてん
ー、なみ		なみせん
ー、くるり		くるり
うえ、あげ、やじるし		うわむきやじるし
した、さげ、やじるし		したむきやじるし
うえ、やじるし		うえやじるし
した、やじるし		したやじるし
みぎ、やじるし		みぎやじるし
ひだり、やじるし		ひだりやじるし
じょうげ、やじるし		じょうげやじるし
さゆう、やじるし		りょうやじるし
みぎうえ、ななめ、やじるし		みぎななめうえやじるし
みぎした、ななめ、やじるし		みぎななめしたやじるし
ひだりうえ、ななめ、やじるし		ひだりななめうえやじるし
ひだりした、ななめ、やじるし		ひだりななめしたやじるし
やじるし、みぎ		みぎにもどるやじるし
やじるし、もどる、ひだり		ひだりにもどるやじるし
おん、やじるし		りょうやじるしとえいごのおん
えんど、やじるし		ひだりやじるしとえんど
すーん、すぐ、やじるし		みぎやじるしとえいごのすーん
ぼっく、もどる、やじるし		ひだりやじるしとぼっく
こうしん、るーぷ、やじるし		るーぷやじるし
みぎ、さいせい、やじるし		みぎやじるし
ひだり、やじるし		ひだりやじるし
みぎ、はやおくり、やじるし		はやおくり
ひだり、まきもどし、やじるし		まきもどし
うえ、やじるし		うえやじるし
した、やじるし		したやじるし
うえ、やじるし		うえやじるし
した、やじるし		したやじるし

読 み	変換	音声読み上げ
さんかく、うえ	▲	あかいさんかく
さんかく、した	▼	あかいしたさんかく
いちじ、じかん	🕒	あなるぐどけいいちじ
にじ、じかん	🕒	あなるぐどけいにじ
さんじ、じかん	🕒	あなるぐどけいさんじ
よじ、じかん	🕒	あなるぐどけいよじ
ごじ、じかん	🕒	あなるぐどけいごじ
ろくじ、じかん	🕒	あなるぐどけいろくじ
しちじ、ななじ、じかん	🕒	あなるぐどけいしちじ
はちじ、じかん	🕒	あなるぐどけいはちじ
くじ、じかん	🕒	あなるぐどけいくじ
じゅうじ、じかん	🕒	あなるぐどけいじゅうじ
じゅういちじ、じかん	🕒	あなるぐどけいじゅういちじ
じゅうにじ、れいじ、じかん	🕒	あなるぐどけいじゅうにじ
おひつじざ、せいざ	♂	おひつじざ
おうしざ、せいざ	♂	おうしざ
ふたござ、せいざ	♀	ふたござ
かにざ、せいざ	♄	かにざ
ししざ、せいざ	♋	ししざ
おとめざ、せいざ	♊	おとめざ
てんびんざ、せいざ	♎	てんびんざ
さそりざ、せいざ	♏	さそりざ
いてざ、せいざ	♐	いてざ
やぎざ、せいざ	♑	やぎざ
みずがめざ、せいざ	♒	みずがめざ
うおざ、せいざ	♓	うおざ
へびつかいざ、せいざ	♉	へびつかいざ
まほうじん、ろくぼうせい、うらない	♁	まほうじん
えーがた、えー、けつえきがた	A	えーがた
びーがた、びー、けつえきがた	B	びーがた
えーびーがた、えーびー、けつえきがた	AB	えーびーがた
おーがた、おー、けつえきがた	O	おーがた
あるふあべつと、おおもじ	♠♣♠♣	あるふあべつとおおもじ
あるふあべつと、こもじ	♠♣♠♣	あるふあべつとこもじ
すうじ	1234	すうじ
きごう	♠♣♠♣	きごう
あるふあべつと、えーびーしー、えいご	♠♣	えーびーしー
はーと、とらんぶ、すーと	♥	とらんぶのはーと
すべーど、とらんぶ、すーと	♠	とらんぶのすべーど
だいや、とらんぶ、すーと	♦	とらんぶのだいや
くらぶ、とらんぶ、すーと	♣	とらんぶのくらぶ
まる	○	まる
ばつ	×	ばつ
ぼつ	☒	しろぬきぼつ
ちえつく	✓	ちえつく
ちえつく	✓	しろぬきちえつく
ちえつくぼつくす、ちえつく	☑	ちえつくぼつくす
らじおぼたん、まる	●	らじおぼたん
まる	●	あかいまる

読 み	変換	音声読み上げ
まる		あおいまる
まる		あかるいはいいろのまる
まる		こいはいいろのまる
しかく		あかるいはいいろのしかくぼたん
しかく		おおきいあかるいはいいろのしかく
しかく		おおきいこいはいいろのしかく
しかく		ちいさいあかるいはいいろのしかく
しかく		ちいさいこいはいいろのしかく
しかく		ちゅうくらいにあかるいはいいろのしかく
しかく		ちゅうくらいのこいはいいろのしかく
しかく		あかるいはいいろのしかく
しかく		こいはいいろのしかく
しかく		こいはいいろのしかくぼたん
しかく、ひしがた、だいや		きいろのひしがた
しかく、ひしがた、だいや		あおいろのひしがた
しかく、ひしがた、だいや		ちいさいきいろのひしがた
しかく、ひしがた、だいや		ちいさいあおいろのひしがた
しゅくじつ、こっき		しゅくじつのはた

記号・かな・英数字読み上げ一覧

音声読み上げ設定を「自動で読み上げ」に設定しているとき(→P.160)に、入力した文字や変換候補一覧の文字を選択した場合の読み上げを記載しています。

・入力変換して確定したときの読み上げや、カーソルの移動のしかたによって、異なる読み上げを行う場合があります。

■全角記号

入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ
、	とーてん	＼	ぼくすらっしゅ	±	ぶらすまいなす
。	くてん	～	から	×	かける
，	こんま		にじゅうたてせん	÷	わる
．	びりおど		たてせん	=	いこーる
・	なかぐる	…	さんてんりーだー	≠	のっといこーる
:	ころん	..	にてんりーだー	<	しょーなり
;	せみころん	‘	ひだりいんようぶ	>	だいなり
?	ぎもんぶ	’	みぎいんようぶ	≤	しょーなりいこーる
!	かんたんぶ	“	ひだりにじゅういんようぶ	≥	だいなりいこーる
ゝ	だくてん	”	みぎにじゅういんようぶ	∞	むげんだい
°	はんだくてん	(かっこ	∴	ゆえに
′	あくさんてぎゅ)	とじかっこ	♂	おす
、	ぼくくおーと	[きっこうかっこ	♀	めす
”	うむらうと]	とじきっこうかっこ	°	ど
^	きゃれっと	[だいかっこ	′	ふん
—	おーばーらいん]	とじだいかっこ	”	びょー
—	あんだーらいん	{	ちゅうかっこ	°C	どしー
、	かたかなくりかえし	}	とじちゅうかっこ	¥	えん
ゞ	かたかなだくてんくりかえし	<	やまかっこ	\$	どる
>	かなくりかえし	>	とじやまかっこ	¢	せんと
ゞ	かなだくてんくりかえし	《	にじゅうやまかっこ	£	ぼんど
//	おなじく	》	とじにじゅうやまかっこ	%	ばーせんと
全	どう	「	かぎかっこ	#	しゃーぷ
々	かんじくりかえし	」	とじかぎかっこ	&	あんど
♂	しめ	『	にじゅうかぎかっこ	*	こめじるし
○	ぜろ	』	とじにじゅうかぎかっこ	@	あっとまーく
—	ちよーおん	【	すみつきかっこ	§	せくしょん
—	だっしゅ	】	とじすみつきかっこ	☆	ほし
-	はいぶん	+	ぶらす	★	くろぼし
/	すらっしゅ	-	まいなす	○	まる

入力文字	音声読み上げ
●	くろまる
◎	にじゅーまる
◇	ひしがた
◆	くろひしがた
□	しかく
■	くろしかく
△	さんかく
▲	くろさんかく
▽	さんかく
▼	くろさんかく
※	こめじるし
〒	ゆーびんばんごー
→	みぎやじるし
←	ひだりやじるし
↑	うえやじるし
↓	したやじるし
≡	げたきごー
∈	ぞくする
∋	ふくむ
⊆	ぶぶんしゅうごう
⊇	ぶぶんしゅうごうふくむ
⊂	しんぶぶんしゅうごう
⊃	しんぶぶんしゅうごうふくむ
U	がっぺー
∩	きょーつー
∧	および
∨	またわ
¬	ひてー
⇒	ならば
⇔	どーち
∀	すべての
∃	ある
∠	かく
⊥	すいちよく
(こ
θ	らうんどでー
∇	なぶら
≡	ごーどー
≡	にありーいこーる

入力文字	音声読み上げ
≪	ひじょーにちーさい
≫	ひじょーにおーきい
√	るーと
∞	そーじ
∞	ひれー
∴	なぜならば
∫	いんてぐらる
∫∫	だぶるいんてぐらる
∫	おんぐすとろーむ
%∞	ばーみる
#	しゃーぷ
b	ふらっと
♪	おんぷ
†	だがー
‡	だぶるだがー
¶	だんらくきごー
○	まる
A	あるふぁ おおもじ
B	べーた おおもじ
Γ	がんま おおもじ
Δ	でるた おおもじ
E	いぶしろん おおもじ
Z	つえーた おおもじ
H	いーた おおもじ
θ	しーた おおもじ
I	いおた おおもじ
K	かっぱ おおもじ
Λ	らむだ おおもじ
M	みゅー おおもじ
N	にゅー おおもじ
Ξ	くざい おおもじ
O	おみくろん おおもじ
Π	ばい おおもじ
P	ろー おおもじ
Σ	しぐま おおもじ
T	たう おおもじ
Υ	うぶしろん おおもじ
Φ	ふぁい おおもじ
X	かい おおもじ

入力文字	音声読み上げ
Ψ	ぶしー おおもじ
Ω	おめが おおもじ
α	あるふぁ
β	べーた
γ	がんま
δ	でるた
ε	いぶしろん
ζ	つえーた
η	いーた
θ	しーた
ι	いおた
K	かっぱ
λ	らむだ
μ	みゅー
ν	にゅー
ξ	くざい
ο	おみくろん
π	ばい
ρ	ろー
σ	しぐま
τ	たう
υ	うぶしろん
φ	ふぁい
χ	かい
ψ	ぶしー
ω	おめが
A	あー おおもじ
B	べー おおもじ
B	べー おおもじ
Γ	げー おおもじ
Д	でー おおもじ
E	いえー おおもじ
È	よー おおもじ
Ж	じえー おおもじ
З	ぜー おおもじ
И	いー おおもじ
Й	いくらとかや おおもじ
K	かー おおもじ
Л	える おおもじ

入力文字	音声読み上げ
M	えむ おおもじ
H	えぬ おおもじ
O	おー おおもじ
P	べー おおもじ
R	える おおもじ
C	えす おおもじ
T	てー おおもじ
Y	うー おおもじ
Φ	えふ おおもじ
X	はー おおもじ
Ц	つえー おおもじ
Ч	ちえー おおもじ
Ш	しゃー おおもじ
Щ	ししゃー おおもじ
Ъ	つぼるでいーすなーく おおもじ
Ы	いー おおもじ
Ь	みゃーふいーすなーく おおもじ
Э	えー おおもじ
Ю	ゆー おおもじ
Я	やー おおもじ
a	あー
б	べー
в	べー
г	げー
д	でー
е	いえー
ё	よー
ж	じえー
з	ぜー
и	いー
й	いくらとかや
к	かー
л	える
м	えむ
н	えぬ
о	おー
п	べー
р	える
с	えす

入力文字	音声読み上げ
Т	てー
у	うー
φ	えふ
х	はー
ц	つえー
ч	ちえー
ш	しゃー
щ	ししゃー
ъ	つぼるでいーすなーく
ы	いー
ь	みゃーふいーすなーく
э	えー
ю	ゆー
я	やー
—	よこけいせん
	たてけいせん
┌	した みぎけいせん
┐	した ひだりけいせん
└	うえ ひだりけいせん
┘	うえ みぎけいせん
├	たて みぎけいせん
┤	した よこけいせん
┴	たて ひだりけいせん
┬	うえ よこけいせん
┼	たて よこけいせん
—	よこふとけいせん
	たてふとけいせん
┌	したふと みぎふとけいせん
┐	したふと ひだりふとけいせん
└	うえふと ひだりふとけいせん
┘	うえふと みぎふとけいせん
├	たてふと みぎふとけいせん
┤	したふと よこふとけいせん
┴	たてふと ひだりふとけいせん
┬	うえふと よこふとけいせん
┼	たてふと よこふとけいせん
├	たてふと みぎけいせん
┤	した よこふとけいせん
┴	たてふと ひだりけいせん

入力文字	音声読み上げ
├	うえ よこふとけいせん
┤	たて よこふとけいせん
┴	たて みぎふとけいせん
┬	したふと よこけいせん
┼	たて ひだりふとけいせん
┬	うえふと よこけいせん
┼	たてふと よこけいせん
①	まるいち
②	まるに
③	まるさん
④	まるよん
⑤	まるご
⑥	まるろく
⑦	まるなな
⑧	まるはち
⑨	まるきゅう
⑩	まるじゅう
⑪	まるじゅういち
⑫	まるじゅうに
⑬	まるじゅうさん
⑭	まるじゅうよん
⑮	まるじゅうご
⑯	まるじゅうろく
⑰	まるじゅうなな
⑱	まるじゅうはち
⑳	まるじゅうきゅう
㊀	まるにじゅう
I	わん
II	つー
III	すりー
IV	ふおー
V	ふあいぶ
VI	しっくす
VII	せぶん
VIII	えいと
IX	なйн
X	てん
ミ _リ	みり
キ _ロ	きろ

入力文字	音声読み上げ
セン	せんち
メール	めーとる
グラム	ぐらむ
トン	とん
アール	あーる
ヘクタール	へくたーる
リットル	りっとる
ワット	わっと
カロリ	かるりー
ドル	どる
セント	せんと
パーセント	ばーせんと
ミリバル	みりばーる
ページ	ぺーじ
mm	みりめーとる
cm	せんちめーとる
km	きろめーとる

入力文字	音声読み上げ
mg	みりぐらむ
kg	きろぐらむ
cc	しーしー
m ³	へーぼーめーとる
平成	へーせー
〃	たてがきにじゅういんよーぶ
〃	たてがきとじにじゅういんよーぶ
No.	なんばー
KK	けーけー
TEL	でんわ
Ⓐ	まるうえ
Ⓑ	まるなか
Ⓒ	まるした
Ⓓ	まるひだり
Ⓔ	まるみぎ
(株)	かっこかぶ
(有)	かっこゆー

入力文字	音声読み上げ
(代)	かっこだい
明治	めーじ
大正	たいしょー
昭和	しょーわ
≡	にありーいこーる
≡	ごーどー
J	いんてぐらる
♠	ふあい
Σ	しぐま
√	るーと
⊥	すいちよく
∠	かく
└	ちよっかく
△	さんかっけー
∴	なぜならば
∩	きょーつー
∪	がっぺー

※ 空白は「くうはく」と読み上げられます。
 ※ 実際の表示と異なるものがあります。

■ 半角記号

入力文字	音声読み上げ
!	かたたんぷいはんかく
”	にじゅういんようぷいはんかく
#	しゃーぷいはんかく
\$	どるはんかく
%	ばーせんとはんかく
&	あんどはんかく
'	いんようぷいはんかく
(かっこはんかく
)	とじかっこはんかく
*	こめじるしはんかく
+	ぶらすはんかく
,	こんまはんかく
-	まいなすはんかく
.	びりおどはんかく

入力文字	音声読み上げ
/	すらっしゅはんかく
:	ころんはんかく
;	せみころんはんかく
<	しょーなりはんかく
=	いこーるはんかく
>	だいなりはんかく
?	ぎもんぷいはんかく
@	あっとまーくはんかく
[だいかっこはんかく
¥	えんはんかく
]	とじだいかっこはんかく
^	きやれっとはんかく
_	あんだーらいんはんかく

入力文字	音声読み上げ
`	ぼくくおーとはんかく
{	ちゅうかっこはんかく
	たてせんはんかく
}	とじちゅうかっこはんかく
~	おーばーらいんはんかく
。	くてんはんかく
┌	かぎかっこはんかく
┐	とじかぎかっこはんかく
、	とーてんはんかく
・	なかぐろはんかく
-	ちよーおんはんかく
ゝ	だくてんはんかく
°	はんだくてんはんかく

※ 空白は「くうはくはんかく」と読み上げられます。
 ※ 実際の表示と異なるものがあります。

■ : 半角数字入力モードでは、「#」は「しゃーぷ」、「*」は「こめじるし」と読み上げられます。

■かな（特種のみ）

入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)
あ	—	ひらがなのあ こもじ
い	—	ひらがなのい こもじ
う	—	ひらがなのう こもじ
え	—	ひらがなのえ こもじ
お	—	ひらがなのお こもじ
っ	—	ひらがなのっ こもじ
ゃ	—	ひらがなのゃ こもじ

入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)
ゆ	—	ひらがなのゆ こもじ
よ	—	ひらがなのよ こもじ
わ	—	ひらがなのわ こもじ
ゐ	—	わぎょうのい
ゑ	—	わぎょうのえ
を	—	わぎょうのを

■カナ（カタカナ）

入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)
ァ	はんかく かたかな のあ こもじ	ぜんかく かたかな のあ こもじ
ア	はんかく かたかな のあ	ぜんかく かたかな のあ
ィ	はんかく かたかな のい こもじ	ぜんかく かたかな のい こもじ
イ	はんかく かたかな のい	ぜんかく かたかな のい
ゥ	はんかく かたかな のう こもじ	ぜんかく かたかな のう こもじ
ウ	はんかく かたかな のう	ぜんかく かたかな のう
ヴ	—	ぜんかく かたかな のう°
ェ	はんかく かたかな のえ こもじ	ぜんかく かたかな のえ こもじ
エ	はんかく かたかな のえ	ぜんかく かたかな のえ
ォ	はんかく かたかな のお こもじ	ぜんかく かたかな のお こもじ
オ	はんかく かたかな のお	ぜんかく かたかな のお
カ	—	ぜんかく かたかな のか こもじ
カ	はんかく かたかな のか	ぜんかく かたかな のか
ガ	—	ぜんかく かたかな のが
キ	はんかく かたかな のき	ぜんかく かたかな のき
ギ	—	ぜんかく かたかな のぎ
ク	はんかく かたかな のく	ぜんかく かたかな のく

入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)
グ	—	ぜんかく かたかな のぐ
ケ	—	ぜんかく かたかな のけ こもじ
ケ	はんかく かたかな のけ	ぜんかく かたかな のけ
ゲ	—	ぜんかく かたかな のげ
コ	はんかく かたかな のこ	ぜんかく かたかな のこ
ゴ	—	ぜんかく かたかな のこ
サ	はんかく かたかな のさ	ぜんかく かたかな のさ
ザ	—	ぜんかく かたかな のざ
シ	はんかく かたかな のし	ぜんかく かたかな のし
ジ	—	ぜんかく かたかな のじ
ス	はんかく かたかな のす	ぜんかく かたかな のす
ズ	—	ぜんかく かたかな のす
セ	はんかく かたかな のせ	ぜんかく かたかな のせ
ゼ	—	ぜんかく かたかな のぜ
ソ	はんかく かたかな のそ	ぜんかく かたかな のそ
ゾ	—	ぜんかく かたかな のぞ
タ	はんかく かたかな のた	ぜんかく かたかな のた

入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)
ダ	—	ぜんかく かたかな のだ
チ	はんかく かたかな のち	ぜんかく かたかな のち
ヂ	—	ぜんかく かたかな のぢ
ツ	はんかく かたかな のつ こもじ	ぜんかく かたかな のつ こもじ
ツ	はんかく かたかな のつ	ぜんかく かたかな のつ
ヅ	—	ぜんかく かたかな のづ
テ	はんかく かたかな のて	ぜんかく かたかな のて
デ	—	ぜんかく かたかな ので
ト	はんかく かたかな のと	ぜんかく かたかな のと
ド	—	ぜんかく かたかな のだ
ナ	はんかく かたかな のな	ぜんかく かたかな のな
ニ	はんかく かたかな のに	ぜんかく かたかな のに
ヌ	はんかく かたかな のぬ	ぜんかく かたかな のぬ
ネ	はんかく かたかな のね	ぜんかく かたかな のね
ノ	はんかく かたかな のの	ぜんかく かたかな のの
ハ	はんかく かたかな のは	ぜんかく かたかな のは
バ	—	ぜんかく かたかな のば
バ	—	ぜんかく かたかな のば
ヒ	はんかく かたかな のひ	ぜんかく かたかな のひ
ビ	—	ぜんかく かたかな のび
ピ	—	ぜんかく かたかな のび
フ	はんかく かたかな のふ	ぜんかく かたかな のふ
ブ	—	ぜんかく かたかな のぶ

入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)
ブ	—	ぜんかく かたかな のぶ
ヘ	はんかく かたかな のへ	ぜんかく かたかな のへ
ベ	—	ぜんかく かたかな のべ
ベ	—	ぜんかく かたかな のべ
ホ	はんかく かたかな のほ	ぜんかく かたかな のほ
ボ	—	ぜんかく かたかな のぼ
ボ	—	ぜんかく かたかな のぼ
マ	はんかく かたかな のま	ぜんかく かたかな のま
ミ	はんかく かたかな のみ	ぜんかく かたかな のみ
ム	はんかく かたかな のむ	ぜんかく かたかな のむ
メ	はんかく かたかな のめ	ぜんかく かたかな のめ
モ	はんかく かたかな のも	ぜんかく かたかな のも
ヤ	はんかく かたかな のや こもじ	ぜんかく かたかな のや こもじ
ヤ	はんかく かたかな のや	ぜんかく かたかな のや
ユ	はんかく かたかな のゆ こもじ	ぜんかく かたかな のゆ こもじ
ユ	はんかく かたかな のゆ	ぜんかく かたかな のゆ
ヨ	はんかく かたかな のよ こもじ	ぜんかく かたかな のよ こもじ
ヨ	はんかく かたかな のよ	ぜんかく かたかな のよ
ラ	はんかく かたかな のら	ぜんかく かたかな のら
リ	はんかく かたかな のり	ぜんかく かたかな のり
ル	はんかく かたかな のる	ぜんかく かたかな のる
レ	はんかく かたかな のれ	ぜんかく かたかな のれ
ロ	はんかく かたかな のろ	ぜんかく かたかな のろ

入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)
ワ	—	ぜんかく かたかな のわ こもじ
ワ	はんかく かたかな のわ	ぜんかく かたかな のわ
ヰ	—	ぜんかく かたかな のわぎょうのい

入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)
ヱ	—	ぜんかく かたかな のわぎょうのえ
ヲ	はんかく かたかな のを	ぜんかく かたかな のを
ン	はんかく かたかな のん	ぜんかく かたかな のん

■英字

入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)
a	えー	えー ぜんかく
b	びー	びー ぜんかく
c	しー	しー ぜんかく
d	でいー	でいー ぜんかく
e	いー	いー ぜんかく
f	えふ	えふ ぜんかく
g	じー	じー ぜんかく
h	えっち	えっち ぜんかく
i	あい	あい ぜんかく
j	じえー	じえー ぜんかく
k	けー	けー ぜんかく
l	える	える ぜんかく
m	えむ	えむ ぜんかく
n	えぬ	えぬ ぜんかく
o	おー	おー ぜんかく
p	ぴー	ぴー ぜんかく
q	きゅー	きゅー ぜんかく
r	あーる	あーる ぜんかく
s	えす	えす ぜんかく
t	ていー	ていー ぜんかく
u	ゆー	ゆー ぜんかく
v	ぶい	ぶい ぜんかく
w	だぶりゅー	だぶりゅー ぜんかく
x	えっくす	えっくす ぜんかく
y	わい	わい ぜんかく
z	ぜっと	ぜっと ぜんかく

入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)
A	えー おおもじ	えー おおもじ ぜん かく
B	びー おおもじ	びー おおもじ ぜん かく
C	しー おおもじ	しー おおもじ ぜん かく
D	でいー おおもじ	でいー おおもじ ぜん かく
E	いー おおもじ	いー おおもじ ぜん かく
F	えふ おおもじ	えふ おおもじ ぜん かく
G	じー おおもじ	じー おおもじ ぜん かく
H	えっち おおもじ	えっち おおもじ ぜん かく
I	あい おおもじ	あい おおもじ ぜん かく
J	じえー おおもじ	じえー おおもじ ぜん かく
K	けー おおもじ	けー おおもじ ぜん かく
L	える おおもじ	える おおもじ ぜん かく
M	えむ おおもじ	えむ おおもじ ぜん かく
N	えぬ おおもじ	えぬ おおもじ ぜん かく
O	おー おおもじ	おー おおもじ ぜん かく
P	ぴー おおもじ	ぴー おおもじ ぜん かく
Q	きゅー おおもじ	きゅー おおもじ ぜん かく

入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)	入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)
R	あーる おおもじ	あーる おおもじぜんかく	W	だぶりゅー おおもじ	だぶりゅー おおもじぜんかく
S	えす おおもじ	えす おおもじぜんかく	X	えっくす おおもじ	えっくす おおもじぜんかく
T	ていー おおもじ	ていー おおもじぜんかく	Y	わい おおもじ	わい おおもじぜんかく
U	ゆー おおもじ	ゆー おおもじぜんかく	Z	ぜっと おおもじ	ぜっと おおもじぜんかく
V	ぶい おおもじ	ぶい おおもじぜんかく			

■ 数字

入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)	入力文字	音声読み上げ (半角)	音声読み上げ (全角)
0	ゼロ	ゼロ ぜんかく	5	ご	ご ぜんかく
1	いち	いち ぜんかく	6	ろく	ろく ぜんかく
2	に	に ぜんかく	7	なな	なな ぜんかく
3	さん	さん ぜんかく	8	はち	はち ぜんかく
4	よん	よん ぜんかく	9	きゅう	きゅう ぜんかく

※ 変換候補一覧で数字を選択している場合は、表に記載の音声読み上げの前に「すうじの」と読み上げます。たとえば、「ゼロぜんかく」は「すうじのゼロぜんかく」と読み上げます。

顔文字読み上げ一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→P.40

音声読み上げ設定を「自動で読み上げ」に設定しているとき(→P.160)に、顔文字を入力変換して確定した場合の読み上げを記載しています。

- 変換候補一覧で選択しているときや、カーソルの移動のしかたによって、異なる読み上げを行う場合があります。

読み	変換	音声読み上げ
かお、ばい、あいさつ、おつかれ、ばいばい、おつかれさま	(^_^)/	ばい
かお、ばいばい、あいさつ、おつかれ、おつかれさま	(^ ^)/	ばいばい
かお、ばいばい、あいさつ、おつかれ、おつかれさま	(^_^)/	ばいばい
ばいばい、あいさつ	ゞ (^_^) byebye!!	ばいばい
かお、おーい、じゃあ、どーも、よろしく、あいさつ、おつかれ、ばいばい、おつかれさま	(^^)/	おーい
おーい、じゃあ、どーも、よろしく、あいさつ、おつかれ、ばいばい、おつかれさま	(^_^)/	おーい
かお、ばいばい、あいさつ、おつかれ、おつかれさま	(^^)/	ばいばい
かお、おーい、あいさつ、おつかれ、ばいばい、おつかれさま	(^_^)/	おーい
にこっ、あいさつ	(//〰〰//) f°	にこっ
やあ、あいさつ	~(-*)	やあ
ちわっ、あいさつ、おつかれ、ばいばい、おつかれさま	(*^_^)/	ちわっ
おはよう、あいさつ、どもども	ゞ (' ω ` = ' ω `)/	おはよう
ぐっ、ぐー、へんじ	(o^_)b	ぐー
ぐっ、ぐー、へんじ	(≧ω≦)b	ぐー
はい、へんじ	(・∀・n)	はい
かお、おっけー、へんじ	(^-^*)ok	おっけー
かお、りょうかい、へんじ	(` _ `)ゞ了解!	りょうかい
かお、やあ、あいさつ	(o_°_o)/	やあ
かお、やあ、あいさつ、おはよう	(=° ω °)/	やあ
かお、にこっ、わらう	(^_^)	にこっ
かお、にこっ、うれしい	(^_^)v	ぴーす
かお、うほほ、にこっ、わーい、うれしい	(^o^)	わーい
かお、うきうき、うれしい	o(^o^o)	うきうき
かお、にこっ、うれしい	(o^_^o)	ぼっ
かお、にこっ、うれしい	(*^_^*)	にこっ
かお、きたー、にこっ、わらう、にや	(・∀・)	きたー
かお、わーい、うれしい	ゞ (^▽^)/	わーい
かお、わーい、うれしい	ゞ (' _ `)/	ふっ
かお、にこっ、うれしい	(*^▽^*)	わーい
きらーん、うれしい	(☆▽☆)	きらーん
やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、うれしい	(^^)v	ぴーす
にこっ、うれしい	(=〰〰=)	にこっ
かお、にこっ、うれしい	(` ' v `)	にこっ
かお、うれしい、ありがとう、ありがと	(≧▽≦)	うれしい
にこっ、すまいる、わらう	:)	にこっ

読み	変換	音声読み上げ
びーす、うれしい	V(^O^)	びーす
ちゅっ、にこっ、わらう	(^3^)/チュ	ちゅっ
わくわく、うれしい	((o(^-^o))	わくわく
かお、にこっ、わらう、ありがとう、ありがと	(^^)	にこっ
いえい、ぶい、びーす、うれしい	v(^o^)	びーす
かお、やったね、びーす、にこっ、ぶい、うれしい	(^_^)v	びーす
にこっ、わらう	(^・^)	にこっ
かお、わーい、わらう	(^O^)	わーい
おーい、はーい、わらう	(^O^)/	おーい
やったね、びーす、にこっ、ぶい、わらう	(^O^)v	びーす
わらう)^o^(わーい
わーい、わらう、やったー、おわた	\(^o^)/	ぼんざーい
かお、にこっ、すまいる、わらう	:-)	にこっ
きゃー、うれしい、ありがとう、ありがと	\ (≧▽≦)/	うれしい
ぐー、うれしい	d=(^o^)=b	ぐー
きゃー、うれしい	e=v(*^▽^)/	きゃー
うれしい	(@^O^@)	うれしい
むふふ、うれしい	(´ 艸 ´)	むふふ
かお、あいた、いたい、いてー、ひえー、なく、ごめん、おねがい、ごめんなさい	(>_<)	いたっ
かお、うるうる、なく、かなしい	(T^T)	えーん
かお、しくしく、なく、かなしい	(T_T)	しくしく
かお、しくしく、なく	(/_:)	しくしく
かお、びくっ、かなしい	(+_+)	びくっ
かお、がっくり、かなしい	(x_x)	いたっ
かお、くすん、なく	(/_:)	くすん
かお、ぐすん、なく、かなしい	(つд`)	ぐすん
かお、がっくし、かなしい	〇 ` _	がっくし
かお、しょぼん、かなしい、しょぼーん	(´・ω`)	しょぼん
しくしく、なく	(;O;)	しくしく
かお、なく	(>_<。)	いたっ
かお、しくしく、なく	(;:)	しくしく
なき、うるうる、なく、かなしい	(T-T)	えーん
なき、うるうる、なく、かなしい	(TOT)	うるうる
いたい、なく、かなしい	(/_:。)	なく
なく、かなしい	:<	かなしい
かお、なき、ぐすん、なく	(;´д<)	ぐすん
えーん、なく、かなしい	°´(ノД´)°´	えーん
かお、こら、ごるあ、ごるあ、おこる	\(*´Д´)/	こら
かお、ばんち、おこる	o_)=O☆	ばんち
かお、ちゃぶだい、おこる	(ノ"ノ)ノ`└└	かえれー
こら、おこる、いら	(_-#)	びくっ
かお、ふまん、おこる	:-)	ふまん
こら、おこる	ψ(´◇´)ψ	こら
こらっ、おこる	(ノ`△´)/	こらっ
ぶんぶん、むかつ、おこる、ぶん	(●´ε´●)	むかつ

読み	変換	音声読み上げ
かお、ぼりぼり、てれる	(^^ゞ	ぼりぼり
かお、てへ、てれる、あせあせ	f(^_^)	ぼりぼり
にこっ、ぼっ、てれる	(#^.^#)	にこっ
えへっ、てれる	(*^.^*)	えへっ
てれ、てれる	(//▽//)	てれ
てへっ、てれる	(*~)	てへっ
てへっ、てれる	(=° ω° =)	てへっ
かお、こまる、てれ、てれる	(*´ 旦 `*)	てれ
てれる	:p	てへっ
うふふ、てれる	(^▽)	うふふ
かお、びくっ、おどろき	(*~*)	びくっ
かお、おどろき	(..?)	めがてん
かお、おどろき	(..:)	めがてん
かお、うーん、おどろき	(°-°)	ほけー
かお、びくっ、おどろき	(@_@)	びくっ
かお、ぎくっ、おどろき	(-:)	ぎくっ
かお、きらーん、おどろき	(-☆)	きらーん
がーん、おどろき、まじ	(□□)!!	あせ
かお、ほかーん、おどろき	(° o° ;)	ほかーん
かお、びっくり、がーん、ぎく、おどろき	Σ(□□)!	がーん
えっ、おどろき、まじ	(□◇~)	えっ
えっ、おどろき	ヽ (° □° ;) ノ	えっ
えっ、おどろき、まじ	(;° □°)	えっ
かお、がくがく、おどろき、まじ	((((° 旦 ;))))	がくがく
かお、ぎくっ、てつや、おどろき	(=_=)	てつや
おどろき	(..:)	めがてん
ぎくっ、ぎよ、おどろき	(° o°)	ほけー
ぎくっ、ぎよ、おどろき	(° o° ;)	ぎくっ
びくっ、ぎよっ、おどろき	(@_@。)	びくっ
かお、ほかーん、おどろき、えー	(° 旦°)	ほかーん
うーん、おどろき	(° _°)	うーん
おどろき	(.o.;	めがてん
おどろき	(. _.)	めがてん
おどろき	(. _:)	めがてん
おどろき	(.o.)	めがてん
おおー、びっくり、おどろき	(° o°)/	びっくり
ぎくっ、おどろき	(° o° ::)	ぎくっ
がーん、おどろき、まじ	Σ(° □° ;)	がーん
かお、ぎくっ、あせ、あせり、ごめん、ごめんなさい	(^^;)	あせ
かお、なぜ、ぎもん	(?_?)	なぜ
かお、ぎくっ、あせ、あせり	(-:)	じとっ
ばたばた、ぎもん	w=(° o°)=w	ばたばた
かお、えっ、ぎもん	σ(^_^ ;)?	あせ
かお、じー、ぎもん	(; _ _)ゞ-	じー
かお、あたふた、あせり	O(<>)<(><)O	ひえー
かお、あたふた、あせり、あせ	(° 旦° ; ≡ ; ° 旦°)	あたふた

読み	変換	音声読み上げ
かお、ぎくっ、あせり	^^;	あせあせ
ぎくっ、あせ、あせり、ごめん、ごめんなさい	(^^;;	あせあせ
かお、ぎくっ、あせ、あせり	(^_^)	あせあせ
ぎくっ、あせ、あせり、ごめん、ごめんなさい	(^_^;	あせ
ぎくっ、あせ、あせり	(~_~)	ほへー
ぎくっ、あせ、あせり、ごめん、ごめんなさい	(¥_¥;	ぎくっ
びくっ、あせり	(*_*;	びくっ
ぎくっ、あせ、あせり	^_^;	あせあせ
ぎくっ、なぜ、ぎもん	(?_?;	ぎくっ
にげる、あせり	e = r(·_·)⊥	にげる
ぎくっ、あせ、えっ、あせり	(° ∇° ;)	ぎくっ
じたばた、あせり	((O(>_<)O))	じたばた
ぎくっ、あせ、あせり、えっ	(;° 0°)	ぎくっ
うたう	(∇@)♪♪♪	うたう
かお、りょうかい、おっけー、らじゃ	(◇)ゞ	りょうかい
かお、ぺこり、ありがとう ありがと、ごめん、ごめんなさい	m(_)m	ぺこり
かお、ぺこり	_(_)_	ぺこり
ありがと、おねがい、ごめん、ぺこり、ありがとう、かお、ごめんなさい	<(_>)	ぺこり
いそぐ、にげる	≡≡≡^(*_~)/	にげる
こそこそ	(^_^);))))))コソコソ...	こそこそ
かお、がんばれ、ふぁいと	p(^-^)q	ふぁいと
ういんく	;)	ういんく
かお、ういんく	(^_~)	ういんく
いい	(· √ ·)イイ	いい
かんしゃ、ありがとう、ありがと	(^人^)	ごめん
かお、ぴんぼーん	!(^^)!	ぴんぼーん
かお、よしよし、おい	∖ (^)	よしよし
かお、ぶっ	(*≧m≦*)	ぶっ
げっつ	(σ·√·)σ	げっつ
かお、にやり	(¯—¯)	にやり
どうぞ、っ	(· √ ·)っ	どうぞ
どうぞ、おちゃ	(^-^)_旦~	おちゃ
きて、かもん、おいで、おーい	(卍° □°)卍	おいで
くちぶえ	♪~(¯ε¯)	くちぶえ
たばこ	(¯。¯)y~::~	たばこ
しゃきーん	(`·ω·´)	しゃきーん
せーふ	c(· √ ·)c	せーふ
かお、いっぷく	(-;)y~"	いっぷく
かお、いっぷく	(-;)y~°°°	いっぷく
うまい、たべる	(¯~¯)	うまい
おねがい	(¯人¯)	おねがい
かんばい、なかま、たっち、なかま	(^-^)(^-^)	なかま
かお、よしよし	(i_i)\(^_^)	よしよし
つんつん	(^∇^)(σ)°)	つんつん

読み	変換	音声読み上げ
たすけて	~~(m´ ㇀ `)m	たすけて
いひひ	~~(m` ʒ ´)m	いひひ
かお、めもめも、かきかき、めも	ø(. _)xExE	めもめも
もしもし	(° ∇ ^) mシシ	もしもし
あーん	(´ □)	あーん
やれやれ	ㄣ (̄ ∇ ̄) ㄣ	やれやれ
はあ、ためいき	(´ へ `)	ためいき
ためいき	(; _)=3	ためいき
かお、うーん	(- ;)	うーん
ふいぶん、じまん	(´ ー)	ふっ
よだれ	(´ ー)	よだれ
ふっ	(̄ ー + ̄) ヲ	ふっ
ほへー	(̄)	ほへー
かお、ほへー	(o)	ほへー
かお、むしめがね	(p _)	むしめがね
かお、じとっ	(-)	じとっ
じとっ	(-)	じとっ
かお、ちちち	(-)凸	ちっちちち
どれどれ	(..)	うーん
ちらっ	[壁]_)	ちらっ
いたい	(+ 。 +)	いたい
かお、ねてる、ねる、おやすみ	(-)zzz	ぐーぐー
ねむい	(_)。oO	ねる
かお、ふーん	(´ _ > `)	ふーん
ねむい	(UoU)	ねむい
くま	(^ I) ^	くま
かお、いぬ	U ^ I ^ U	いぬ
ぼい	ホ イ ヅ (_ -) / ^	ぼい
よだれ	、 (° ∇ 、 °) /	よだれ
さかな	> °))) ≧	さかな
ありがとう、ありがと	(* ^ ^ *)	
ありがとう、ありがと	(* . *)	
ありがとう、ありがと	(* ^ * ^ *)	
ありがとう、ありがと	(* ^ . ^ *)	
ありがとう、ありがと	(o ^ ∇ ^ o)	
ありがとう、ありがと	m (.) m	
ありがとう、ありがと	(* ω *)	
ありがとう、ありがと	(o ^ o ^ o)	
ありがとう、ありがと	(´ ∇ ´ ●)	
ありがとう、ありがと	(= ^ . . ^) v Thanks!!	
ありがとう、ありがと	Thank you ♪ (^ ∇ ^ *)	
いか	< コ ≧	いか
うれしい	(≧ w ≦)	うれしい
うれしい、はっと	< :)	うれしい
かお	(^ _ ^)	にこっ
かお	(_)	しくしく

読 み	変 換	音声読み上げ
かお	(=_=)	てつやあけ
かお	:-0	おー
かお	_(^)_	ぺこり
ねこ	(=^_^=)	ねこ
わるた	wwwww	

※「かお」は「かおもじ」と入力しても変換できます。

※ 実際の表示と異なるものがあります。

トラブルシューティング (FAQ)

◆故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/>
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P.243
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■電源・充電

●本端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.24
- 電池切れになっていませんか。→P.25

●本端末の電源が切れない

- ⊖を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

※ 強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

●充電ができない(充電中に充電ランプが点灯しない、または点滅する)

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.24
- アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P.27
- ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのコネクタが本端末または付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。→P.26
- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。→P.26
- 卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇する場合があります。温度が高い状態では安全のために充電が行われない場合があるため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■端末操作・画面

●電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

●ボタンを押しても動作しない

- 開閉ロックを起動していませんか。→P.180

●電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるような電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

●ドコモnanoUIMカードが認識されない

- ドコモnanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.23

●ボタンを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながらワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●ディスプレイが暗い

- 省電力の状態になっていませんか。→P.27
- 照明設定を変更していませんか。→P.155
- エコモードを設定していませんか。→P.171

●ディスプレイがちらつく

照明設定を「自動で調整」に設定すると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P.155

●ディスプレイに残像が残る

- 本端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- 本端末を開いたまましばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●時計がずれる

長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付時刻設定を「自動で設定する」に設定して電波のよい所で電源を入れ直してください。→P.170

● 端末動作が不安定

- アプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（ご購入時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、本端末を初期化することで症状が改善されることがあります。

次の方法でセーフモードを起動してください。

- 電源を切った状態で  を2秒以上押し、docomoのロゴ表示が消えてから待受画面が表示されるまでの間、 または **決定** を押し続ける

セーフモードが起動すると画面下部に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

- ※ セーフモードで起動する前に本端末のデータをバックアップすることをおすすめします。

- ※ セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

■ 通話・音声

● 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 次の設定を変更していませんか。
 - 通話中の受話音量 → P.53
- 次の機能を設定すると相手の声が聞き取りやすくなります。
 - はっきりボイス → P.54
 - ゆっくりボイス → P.54
 - あわせるボイス → P.170
- 市販の保護シートで受話口をふさいでいませんか。
- 受話口を耳でふさいでいませんか。

● 通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- ドコモnanoUIMカードを入れ直してください。 → P.23
- 電池パックを入れ直してください。 → P.24
- 電源を入れ直してください。 → P.27
- 電波の性質により圏外ではなく、アンテナマークが4本表示されている状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 次の設定を変更していませんか。
 - 電話帳指定着信拒否/許可 → P.173
 - 非通知理由別着信設定 → P.175
 - 登録外着信拒否 → P.174
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

● 着信音が鳴らない

- 電話着信音量を「消音」に設定していませんか。 → P.157
- 次の機能を起動していませんか。
 - 運転中モード → P.52
 - マナーモード → P.177
 - 機内モード → P.180
- 次の設定を変更していませんか。
 - 電話帳指定着信拒否/許可 → P.173
 - 非通知理由別着信設定 → P.175
 - 無音着信時間設定 → P.172
 - 登録外着信拒否 → P.174
- 次の設定を「0秒」にしていますか。
 - 伝言メモの呼出時間設定 → P.58
 - オート着信設定の応答時間 → P.152
 - 留守番電話サービスの呼出時間 → P.61
 - 転送でんわサービスの呼出時間 → P.61

● ダイヤルボタンを押しても発信できない

- 次の機能を設定していませんか。
 - おまかせロック
 - 機内モード → P.180
 - ダイヤル発信制限 → P.184

● 通話中、自分の声が相手に届かない、または届きにくい/通話中、自分の声が相手に途切れて聞こえる

- 騒音が大きい環境下で通話するときに口元とマイク（送話口）が離れていると、自分の声を騒音として検出・抑圧してしまい、自分の声が相手に途切れて聞こえたり、届かなかったりする場合があります。騒音が大きい環境下での通話は、口元とマイク（送話口）を近づけてご利用ください。
- マイク（送話口）を指でふさいでいませんか。

■ メール

● メールを自動で受信しない

- メールを自動的に受信しないように設定してないかを確認してください。 → P.81

■ カメラ

● カメラで撮影した静止画やビデオがぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ ワンセグ

● ワンセグの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。
- チャンネル設定をしていますか。
 - チャンネル設定 → P.133

■ データ管理・データ表示

● データ転送が行われない

- USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■歩数計・活動量計

●歩数計・活動量計がカウントされない

歩数計・活動量計ご利用時の注意事項をご確認ください。→P.147

■その他

●画面の縦／横表示の切り替えができない

- ・オートローテーション設定を「切替えない」に設定していませんか。→P.30
- ・使用している機能がオートローテーションに対応していませんか。→P.30

●ディスプレイが真っ暗で決定ボタンが点滅している

- ・省電力の状態になっていませんか。→P.27
- ・エコモードを設定していませんか。→P.171

●本端末を閉じているとき、ランプが点滅する

- ・次の設定を変更していませんか。
- 新着お知らせ設定 (ランプ) →P.178

●本端末を開くたびに決定ボタンが点滅している i コンシェルへのインフォメーションを受信していませんか。→P.100

◆エラーメッセージ一覧

●エラーが発生しました。

赤外線通信中にエラーが発生しました。データを送受信が終了するまで本端末を正しい位置から動かさないでください。→P.101

●遠隔操作可能なサービスは未契約です

留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。利用するには別途ご契約が必要です。

●圏外です

電波の届かない所かデータ通信サービスエリア外にいるため実行できません。

●このカードでは本機能は利用できません

他社のSIMカードを挿入しているため、起動できませんでした。

●このサイトのセキュリティ証明書には問題があります。

証明書の有効期限が切れています。

●時刻がリセットされたため、このデータを取得できません。時刻を自動設定にして電源を入れ直してください

日付・時刻を手動で設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。→P.170

●しばらくお待ちください

- ・音声回線設備が故障、または音声回線ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
- ・110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

●しばらくお待ちください (バケット)

バケット通信設備が故障、またはバケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります

受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい所に移動してください。

●接続相手が見つかりません

赤外線通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま一定時間が経過しました。本端末を正しく配置してから操作し直してください。→P.101

●接続が中断されました

電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●ダイヤル発信が制限されています

ダイヤル発信制限中は禁止されている操作ができません。→P.184

●データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？

[「1」戻す] を押してお買い上げ時の状態に戻さないと起動できません。

●データまたはmicroSDカードが壊れています

- ・microSDカードに保存しているデータまたはmicroSDカードに問題があるため、アクセスできません。次の操作を行ってください。
- 新しいmicroSDカードの取り付け→P.105
- microSDカードの初期化→P.106

●問い合わせできませんでした

電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●ドコモnanoUIMカードが異なるためご利用できません

ドコモnanoUIMカードのセキュリティ機能により操作できません。

●ドコモUIMカードを挿入してください

ドコモnanoUIMカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。→P.23

●認証できませんでした

- ・認証パスワードが正しくないため、赤外線通信でのデータの全件送信ができませんでした。→P.102
- ・認証パスワードが正しくないため、赤外線通信でのデータの全件受信ができませんでした→P.103

●非対応のデータです

赤外線通信で受信したデータが本端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

● **不正なmicroSDカードです。著作権保護機能は利用できません**

何らかの原因でmicroSDカード内の認証領域にアクセスできません。エラーの発生したmicroSDカードには、データを保存できません。

● **ページが見つかりませんでした**

ウェブページは一時的にご利用いただけないか、URLが変更された可能性があります。

● **microSDカードの保存領域がいっぱいです**

microSDカードの保存領域が足りないため、データの移動／コピー、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。→ P.108

● **PINロック解除コードがロックされています**

ドコモショップの窓口にお問い合わせください。

保証とアフターサービス

❖ 保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 電池パック F33、リアカバー F87、卓上ホルダ F49は無料修理保証の対象外となります。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

❖ アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?とと思ったら」をご覧ください(→P.238)。それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様の取り扱い不良（外部接続端子・ディスプレイなどの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができません可能性があります）
- ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

[https://www.nttdocomo.co.jp/support/](https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html)

[trouble/repair/shop/compatible/index.html](https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html)
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承くださいの上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

以下のような場合は改造とみなされる場合があります。

- ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
- 接着剤などにより本端末に装飾を施す
- 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。

銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができませんので、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。

- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。

- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

- 本端末のカメラ、受話口、スピーカー、ワンタッチダイヤルボタン(3)、(4)と(5)周辺に磁気が発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によっては修理できないことがあります。

◆お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて◆

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

F-02Jのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページでご案内いたします。

- 更新方法は、以下の3種類があります。
 - 自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
 - 即時更新：今すぐ更新を行います。
 - 予約更新：予約した時刻に自動的に更新します。

✓お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ソフトウェア更新のご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。充電しながら行うことをおすすめします。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
 - 通話中
 - 圏外が表示されているとき
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - 日付と時刻を正しく設定していないとき
 - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
 - ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないとき
 - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態のよい所で、移動せずに実施することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。

- ソフトウェア更新が不要な場合は、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときは「ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はダウンロードを開始できません」または「ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中は書換え処理を開始できません」と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のF-02J固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合には、端末が起動しなくなることや、「ソフトウェア更新に失敗しました。」と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリを起動しないでください。

◆ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

◆ソフトウェアの自動更新設定

- お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新を行う」に設定されています。

1 待受画面で **(メニュー)** ▶ **[* 設定を行う]** ▶ **[# その他の設定を行う]** ▶ **[1 ネットワークサービスを設定する]** ▶ **[0 その他のサービスを設定する]** ▶ **[6 ソフトウェアを更新する]**を押す

2 「自動更新設定の変更」を押す

3 「自動で更新を行う」または「自動で更新を行わない」を押す

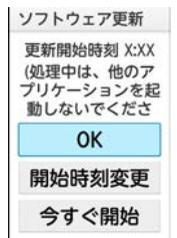
◆ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに (ソフトウェア更新あり) が表示されます。

-  (ソフトウェア更新あり) が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、 (ソフトウェア更新あり) は消えます。

1 お知らせ一覧を開く ▶ 通知を選択 ▶ 決定を押す

書き換え予告画面が表示されます。



<書き換え予告画面>

2 目的の操作を行う

確認終了: 「OK」を押す

待受画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。

時刻の変更: 「開始時刻変更」を押す

予約更新→P.245 「ソフトウェアの予約更新」

すぐに書き換える: 「今すぐ開始」を押す

即時更新→P.244 「ソフトウェアの即時更新」

✓お知らせ

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに (ソフトウェア更新あり) が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が「自動で更新を行わない」に設定されている場合やソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

◆ソフトウェアの即時更新

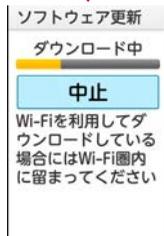
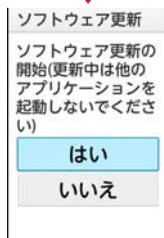
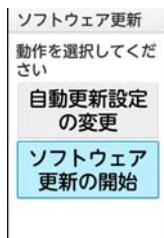
すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには設定メニューから起動する方法と書き換え予告画面から起動する方法があります。

<例> 設定メニューからソフトウェア更新を起動する

1 待受画面で [メニュー] ▶ 「*設定を行う」▶ 「#その他の設定を行う」▶ 「1ネットワークサービスを設定する」▶ 「0その他のサービスを設定する」▶ 「6ソフトウェアを更新する」▶ 「ソフトウェア更新の開始」▶ 「はい」を押す

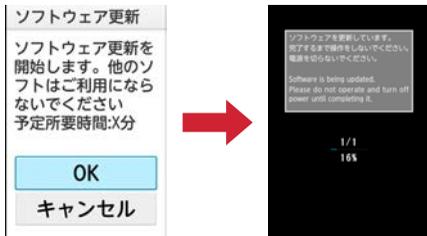
- ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。



書き換え予告画面からの起動: 書き換え予告画面を表示 ▶ 「今すぐ開始」を押す

2 「ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください」と表示され、約10秒後に自動的に書き換え開始

- 「OK」を選択すると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中はすべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することはできません。
- ソフトウェア更新が完了すると、自動的に再起動が行われ、待受画面が表示されます。



❖ソフトウェア更新完了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに通知されます。お知らせ一覧を開く ▶ 通知を選択すると、更新完了画面が表示されます。

◆ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておきます。

1 書き換え予告画面を表示 ▶ 「開始時刻変更」を押す

2 時刻を設定 ▶ 「設定」を押す

❖予約の時刻になると

開始時刻になると「ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください」と表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

✓お知らせ

- 更新中はすべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することはできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にF-02Jの電源が切れている場合は、電源を入れた後、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実施時にステータスバーに  (ソフトウェア更新中断 端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください) が表示された場合は、以下の状態でないことを確認し、再度ソフトウェア更新を行ってください。
 - 圏外
 - 電池パック外れ
 - 他機能との競合

主な仕様

■本体

品名	F-02J	
サイズ	高さ約111mm×幅約52mm×厚さ約16.7mm	
質量	約129g（電池パック装着時）	
内蔵メモリ	ROM：8GB RAM：1GB	
連続待受時間※1、2、3	FOMA／3G	静止時（自動）：約500時間
	LTE	静止時（自動）：約400時間
連続通話時間※2、3、4	FOMA／3G	約370分
	VoLTE（音声通話）	約290分
ワンセグ連続視聴時間※5	約380分	
充電時間※6	ACアダプタ 05	約110分
	DCアダプタ 04	約110分
ディスプレイ	種類	ディスプレイ：TFT 背面ディスプレイ：STN
	サイズ	ディスプレイ：約3.0inch 背面ディスプレイ：約1.2inch
	発色数	ディスプレイ：16777216色 背面ディスプレイ：1色
	解像度	ディスプレイ：横480ピクセル×縦854ピクセル（フルワイドVGA） 背面ディスプレイ：横64ピクセル×縦64ピクセル
撮像素子	種類	裏面照射型CMOS
	サイズ	1/4インチ
カメラ有効画素数	約810万画素	
カメラ記録画素数（最大時）	約800万画素	
デジタルズーム	静止画	最大約6.0倍（80段階）
	動画	最大約6.0倍（80段階）
静止画記録サイズ	8メガ最高画素（3264×2448） 6メガびったり（3264×1864） SNS（2048×1536） 画面びったり（1920×1080） メール添付（640×480）	
動画記録サイズ	画面びったり（1280×720） サイズ小（640×480）	
無線LAN	IEEE802.11b/g/n準拠※7	
Bluetooth機能	バージョン	4.1※8
	出力	power class 1

対応プロファイル※9

HFP（1.6）、HSP（1.2）、SPP（1.2）、HID（1.0）、A2DP（1.2）※10、AVRCP（1.5）、HOGP（1.0）

- ※1 連続待受時間とは、本端末を閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、本端末を閉じて電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- ※2 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になる場合があります。
- ※3 通話やインターネット接続をしなくても、カメラ、音声読み上げなどの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- ※4 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
- ※5 ワンセグ連続視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。
- ※6 充電時間とは、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。高温、低温時に充電すると、充電時間は長くなります。
- ※7 IEEE802.11nは、2.4GHzに対応しています。
- ※8 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※9 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※10 SBCに対応しています。

■電池パック

品名	電池パック F33	公称電圧	3.8V
使用電池	リチウムイオン電池	公称容量	1,500mAh

◆本端末で撮影した静止画と動画のファイル形式について

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	.jpg
動画	MP4	.mp4

◆動画の録画時間（目安）

撮影サイズ	動画1件あたりの最大録画時間
画面びったり	約58分

携帯電話機の比吸収率 (SAR)

この機種F-02Jの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は1.136W/kg（※2）、身体に装着した場合のSARの最大値は0.593W/kg（※3）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

富士通のホームページ

<http://www.fmwworld.net/product/phone/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model F-02J mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (*1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 1.136 W/kg (*2) and when worn on the body is 0.593 W/kg (*3). There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the

technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpaO2-O2.html> (In Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

FUJITSU LIMITED Website:

<http://www.fmwworld.net/product/phone/sar/> (in Japanese only)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

◆ Declaration of Conformity

Trade Mark: Fujitsu
 Model Name: F-02J
 Hereby, Fujitsu Connected Technologies Ltd. declares that the RE product of "F-02J" is in compliance with RED 2014/53/EU. The full text of the EU DoC is available at the following internet address:
<https://www.fmworld.net/product/phone/doc/>

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR*¹ limits*² for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR*¹ value, when tested for compliance against the standard was 1.084 W/kg*³ for HEAD and 1.512 W/kg*³ for BODY. While there may be differences between the SAR*¹ levels of various phones and at various positions, they all meet*⁴ the EU requirements for RF exposure.

- *1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
- *2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.
- *4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Radio type / Description		Transmitter Frequency	Maximum Output Power
UMTS	FDD 1	1920-1980MHz	24.5dBm
LTE	FDD 1	1920-1980MHz	23.8dBm
WLAN	IEEE 802.11b	2400-2483.5MHz	14dBm
	IEEE 802.11g	2400-2483.5MHz	14dBm
	IEEE 802.11n	2400-2483.5MHz	14dBm
Bluetooth	Bluetooth	2400-2483.5MHz	10dBm

The manufacturer of this product is Fujitsu Connected Technologies Ltd. with its registered place of business at 1-1, Kamikodanaka 4-chome, Nakahara-ku, Kawasaki, Kanagawa 211-8588, Japan. The Authorized Representative for RED is Fujitsu Services Ltd. with its registered place of business at 22 Baker Street, London, U.K, W1U3BW.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions :
 - ① this device may not cause harmful interference, and
 - ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves. This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a

wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.629 W/kg*, and when worn on the body, is 0.795 W/kg*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> (please search on FCC ID VQK-F02J).

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines.

Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

* Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate

radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>

Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.



Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

◆ 著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆ 商標について

- 「FOMA」「dメニュー」「iモード」「iアプリ」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「トルカ」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD CALL」「WORLD WING」「iチャンネル」「公共モード」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「マチキャラ」「エリアメール」「iコンシェル」「iスケジュール」「かんたんデコメ」および「エリアメール」ロゴ、「iコンシェル」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キヤッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Googleは、Google Inc. の商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴは  SD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth® smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は本社に帰属します。
- 「16x16（15x15）ゴシック」のビットマップフォントは株式会社モリサワより提供を受けています。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®  の商標です。
- LINEはLINE株式会社の商標または登録商標です。
- iWnn® OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2016 All Rights Reserved.
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。



◆ その他

- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画や動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
 - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA,LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com> をご参照ください。
- 「学研モバイル国語辞典」「学研モバイル和英辞典」「学研モバイル英和辞典」は、学研編集の著作物です。

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。
待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **「端末情報」** ▶ **「法的情報」** ▶ **「オープンソースライセンス」** をご参照ください。オープンソースライセンスに基づき当社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
http://spf.fmworld.net/oss/oss_fp/

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 他社のSIMカードを取り付ける

2 本端末の電源を入れる

3 SIMロック解除コードを入力▶ **決定** を押す

4 「ロック解除」を押す

▼お知らせ

- SIMロックの解除状態については、待受画面で **(メニュー)** ▶ **[*]設定を行う** ▶ **[#]その他の設定を行う** ▶ **[#]高度な設定を行う** ▶ **「端末情報」** ▶ **「端末の状態」** を押すと、「SIMロック状態」でご確認いただけます。

索引

ア行

アクセスポイント	187
確認	187
初期化	187
追加	187
新しいAPN	187
アニメーション→画像	
アフターサービス	241
アプリ	
キャッシュ消去	189
データ消去	189
無効化	189
アプリケーション	189
アプリケーション情報	129
アルバム	109, 115, 121
あわせるビュー	170
あわせるボイス	170
暗証番号	181
あんしんスキャン	142
あんしんナンバーチェック	143
イマドコかんたんサーチ	146
イマドコサーチ	146
イヤホン切替設定	152
イヤホンスイッチ設定	150
インターネット	94
オンライン入力	39
ウィジェット表示	188
運転中モード	52
エコモード	171
エニーキーアンサー設定	50
絵文字入力	42
絵文字読み上げ一覧	209
エリアメール	90
遠隔初期化	172
応答拒否SMS	173
応答保留	51
オートスピーカーホン機能	51
オート着信設定	152
オートローテーション設定	30
オートGPS	146
オープンソースソフトウェア	253
お薬アラーム	
設定	139
登録	139
お知らせ情報	31
お知らせタイマー	136
おまかせカメラ	112

おまかせでか着信	157
おまかせランダム待受	155
おやすみモード	135
音声入力	45
音声呼び出し	
機能	169
電話帳	168
音声読み上げ	162
切り替え操作	161
設定	160
送出先切り替え	161
単語登録	167
マナーモード中の読み上げ設定	161
ルール	163
音声録音→ボイスレコーダ	
音量調節	
受話音量	160
受話音量（通話中）	53
電話着信音量	157
電話着信音量（着信中）	51
メール・メッセージ受信音量	159
音量ボタン	22

カ行

カーソル	28, 39
海外利用	
帰国後の確認	195
出発前の確認	192
設定	192
滞在先で滞在国外に電話をかける	193
滞在先で滞在国内に電話をかける	193
滞在先で電話を受ける	194
通信サービス	191
ガイド行	32
外部機器接続	105
外部接続端子	22
開閉ロック	180
顔文字読み上げ一覧	232
拡大鏡	113
画像	113
アルバム	115
移動	115
削除	116
撮影	112
情報を表示	114
並び順を変更	116
表示	113
表示・保存（メール）	80
保存容量	116
待受画面に設定	114
メール作成	114

ダイヤル発信制限	184	定型文入力	43
ダイヤルボタン	21	ディスプレイ	21
卓上ホルダ	26	ガイド行	32
タスク管理	34	画面配色設定	154
単語登録／削除	44	照明設定	155
短縮ダイヤル設定	65	待受画面設定	153
誕生日	171	データ一括削除	179
端末暗証番号	181	データ転送	101
変更	182	データ添付	77
端末情報	190	デコメール®	
地図／GPS機能	144	作成	75
着信音設定		テンプレート	76
電話着信音	157	電源ON／OFF	27
メール・メッセージ着信音	158	伝言メモ	57
メロディー覧	207	開始／停止	57
着信中オープン応答	50	クイック伝言メモ	59
着信中の操作		再生	58
応答保留	51	削除	59
オートスピーカーホン	51	伝言メモメッセージ選択	58
オープン応答	50	呼出時間設定	58
クイック伝言メモ	59	電卓	124
着信音量調節	51	電池	
着信履歴	55	充電	25
削除	56	電池残量警告音	176
操作	56	電池バック	24
電話帳登録	67	取り付け／取り外し	24
表示	55	添付データ	
直前通話時間	178	受信	80
追加番号を入力して発信	47	送信	77
通常メール作成	73	追加／解除	77
通信状態表示	179	テンプレート	
ツータッチダイヤル	65	メール作成	76
通話音声メモ→通話メモ		電話	
通話中自局番号表示設定	175	受ける	49
通話中の操作		かける	46
自局番号表示	175	緊急通報	46
受話音量調節	53	スピーカーホン機能	54
スピーカーホン	54	着信振動	158
通話中保留	54	はっきりボイス	54
通話メモ	60	ゆっくりボイス	54
電話帳表示	54	電話着信音量（着信中）	51
はっきりボイス	54	電話帳	65
ゆっくりボイス	54	グループの設定	70
通話メモ	60	削除	70
再生	60	指定着信拒否／許可	173
削除	60	修正	69
保護／解除	61	詳細表示	68
通話モード	176	短縮ダイヤル設定	65
使いかたガイド	38	登録	66
つながりほっとサポート	137	登録件数確認	71
定型文登録	43	登録内容をコピー	70

ワンタッチダイヤル登録.....	62	非通知理由別着信設定.....	175
電話帳検索.....	67	日付時刻設定.....	170
音声検索.....	68	ビデオ→動画.....	
グループ検索.....	68	ビデオ撮影.....	117
電話番号検索.....	68	響カット.....	55
フリガナ検索.....	68	不在着信.....	56
メモ検索.....	68	ブックマーク.....	96
50音順検索.....	67	ブラウザ.....	94
電話帳検索優先設定.....	69	プロフィール.....	34
動画.....		変換候補一覧.....	41
アルバム.....	121	ボイスダイヤル.....	168
アルバム再生.....	122	ボイスメニュー.....	
移動.....	121	登録.....	169
再生.....	119	登録内容確認.....	169
再生・保存（メール）.....	80	ボイスレコーダ.....	136
削除.....	122	防水／防塵／耐衝撃性能.....	17
撮影.....	117	ポーズ.....	47
情報を表示.....	120	保証.....	241
照明を設定.....	123	歩数計・活動量計.....	146
並び順を変更.....	123	設定.....	147
メール作成.....	120	履歴確認.....	148
登録外着信拒否.....	174	履歴削除.....	149
時計表示設定.....	154	ボタン確認音.....	160
ドコモアプリパスワード.....	172		
ドコモあんしんスキャン.....	142		
ドコモのサービス.....	172		
ドコモnanoUIMカード.....	23		
暗証番号.....	24		
取り付け／取り外し.....	23		
トルカ.....	137		

ナ行

ナビを使う.....	145
入力モード切り替え.....	40
入力予測機能.....	42
認証情報.....	190
インストール.....	190
消去.....	190
表示.....	190
ネットワーク暗証番号.....	181
ネットワークサービス.....	61
海外.....	195

ハ行

背面ディスプレイ.....	22, 32
設定.....	155
はっきりボイス.....	54
あわせるボイス.....	54
発信者番号通知.....	175
発信者番号通知／非通知.....	47
光センサー.....	22

マ行

マーカー一覧.....	
背面ディスプレイ.....	32
待受画面.....	30
待受画像配信元設定.....	155
待受画面.....	30
設定.....	153
マチキャラ.....	156
マナーモード.....	177
マルチカーソルボタン（十字ボタン）.....	22
水抜き.....	19
無音着信時間設定.....	172
迷惑電話対策機能.....	
開始／停止.....	140
迷惑メモの再生.....	140
迷惑メール.....	86
報告.....	86
メール.....	72
移動.....	84
簡単作成.....	72
圏内自動送信.....	73
コピー.....	93
削除.....	84
指定受信／拒否設定.....	86
自動受信.....	78
受信音量.....	159
受信振動.....	159

ACアダプタ	27	切断	188
APN	187	追加	188
Bluetooth通信	103	Wi-Fi	185
接続	104	画面消灯時	186
接続解除	104	簡単登録	185
ペア設定	104	詳細設定	186
ペアリング解除	104	接続	185
dアカウント	172	切断	186
dメニュー	94	追加	185
Google検索	94	WPS	186
i コンシェル	100	WORLD CALL	48
インフォメーション	100	WORLD WING	191
i スケジュール		186 / 184	47
削除	129		
表示	128		
i チャンネル	99		
テロップ	99		
LINE	143		
microSDカード	105		
アルバム	109		
初期化	106		
データ復元	141		
データ保存	141		
取り付け／取り外し	105		
表示・再生	108		
本端末に移動／コピー	108		
本端末から移動／コピー	107		
PINコード	181		
使用	182		
設定	182		
変更	183		
PINロック解除	183		
PINロック解除コード (PUK)	181		
QRコード読み取り	123		
コード読み取り	123		
分割QRコード	124		
SAR	247		
SIMロック解除	253		
SMS			
削除 (本端末本体)	89		
作成	88		
自動受信	89		
受信SMS表示	89		
設定	90		
送達通知	90		
返信	89		
VoLTE	176		
VPN	188		
接続	188		

オンラインでの各種お手続き・ご契約内容の確認など

本端末から 待受画面で▶「[i]dメニューを見る」
▶「My docomo(お客様サポート)」
▶「ドコモオンライン手続き」

パソコンから My docomo
(<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)
▶「ドコモオンライン手続き」内の項目を選択

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「ドコモオンライン手続き」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「ID/パスワード」が必要です。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

- 運転中モード→P.52
- 公共モード(電源OFF)→P.52
- 伝言メモ→P.57
- バイブレータ(振動)→P.158、P.159
- マナーモード→P.177



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は運転中モード／公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
(らくらくホンセンター)

■携帯電話／一般電話共通

(5く5く) (みんな)

☎ 0120-6969-37

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申し込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

☎ (局番なしの) 113 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

☎ 0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

海外からのお問い合わせ先 (紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

[+]を画面表示 -81-3-6832-6600 (無料)

(「+」は「0」キーを1秒以上押します。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600 (有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。



ドコモ「あんしん」ミッション

みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。



Li-ion 00



販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社

16.9 (1.4版)
CA92002-9428

